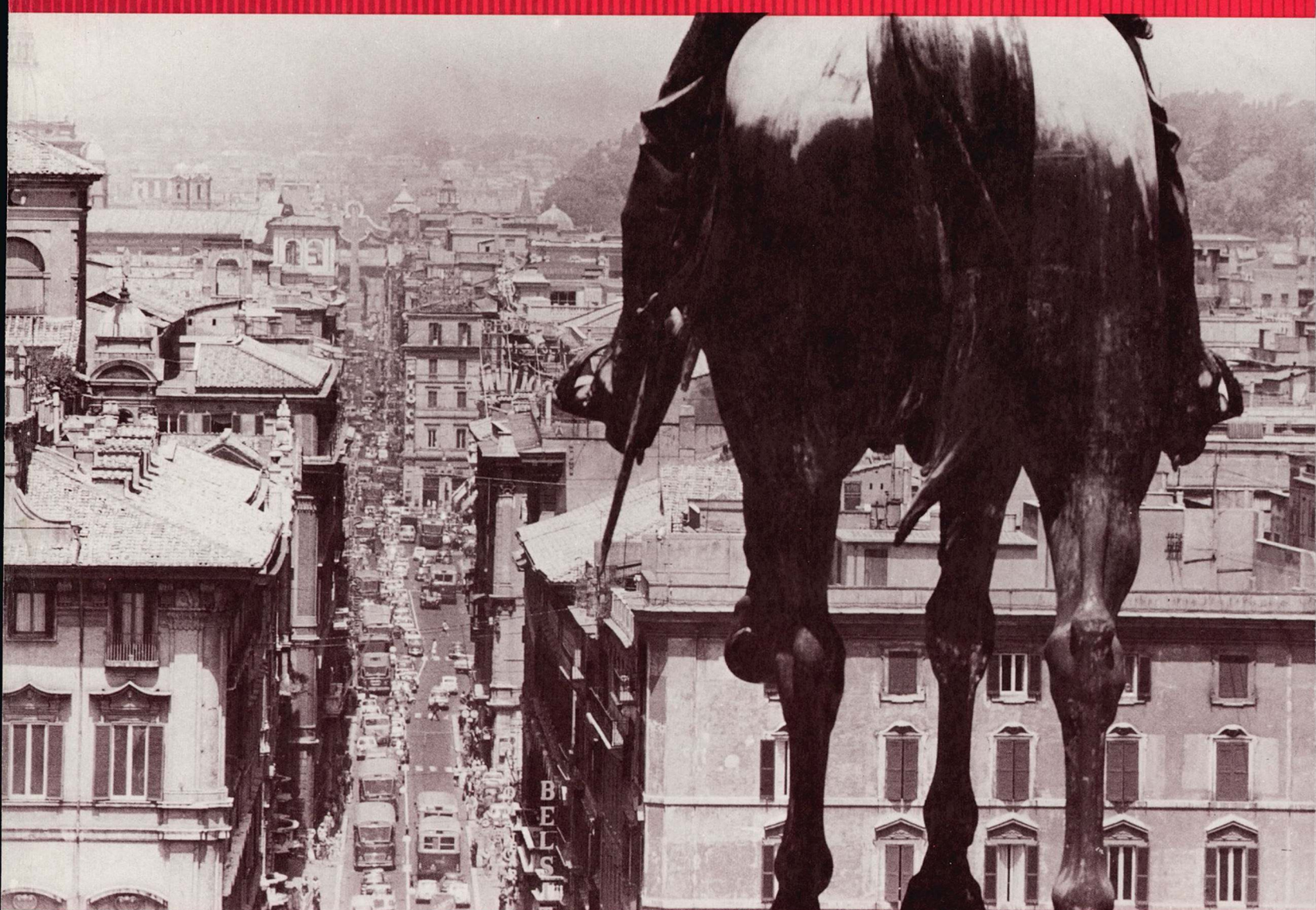
建築と社会

社団法人 日本建築協会　昭和51年1月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可

1976
VOL.57
通巻646号
1

特集●証言'76—デザインの動向



Rome, standing with Statue (old Rome)

ARCHITECTURE AND SOCIETY
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

フリントコート®

マスチックフローリング

耐久性のすぐれた防湿床材



飯田町紙基地センター
設計監理：国鉄東京建築工事局　施工：清水建設・熊谷組・鉄建建設共同企業体
使用場所：床　仕様番号：F－9®

特　長

1　耐久性：耐久性にすぐれている。
2　耐摩性：摩耗の度合が低く、ホコリなど生じない。
3　すべり抵抗性：すべり抵抗性にすぐれている。
4　復元性：弾性があり、万一亀裂ができても使用している間に復元する。
5　粘着性：多少湿っていても、コンクリート、金属、木など、どんな面にもよく粘着する。
6　不燃性：引火のおそれがなく、ガス工場、爆薬工場の床に使用されている。
7　無毒無臭：完全無毒で各種食品工場、貯蔵庫に多く使用されている。

フリントコートについてのお問合せは下記へ

FLINTKOTE®

株式会社シエル石油大阪発売所
フリントコート施工販売部

大　阪　〒532　大阪市淀川区西中島２丁目11番30号　☎(06) 303－7131
東　京　〒104　東京都中央区宝町2丁目4番地(第2ぬり彦ビル3階)　☎(03) 562－4646
名古屋　〒461　名古屋市東区東門前町3の47(日本橋ビル4階)　☎(052)931－8537
広　島　〒730　広島市東白島町１５番６号(西林ビル３階)　☎(0822)21－1224
福　岡　〒810　福岡市中央区舞鶴１－１－５(舞鶴ビル３階)　☎(092) 77－1961

謹賀新年
1976

'76年を迎えて

（社）日本建築協会会長　塚本猛次

明けましておめでとうございます。

石油ショック以来の景気の沈滞は昨年も引き続いて進み、三木内閣もあらゆる模索を続けながら、日本の栄光を維持するために、努力を重ねております。

景気の回復を望むのは日本だけではなく、世界各国がその努力を続けております。その具体的な表れはランブイエ城における六ヶ国首脳会議でありましょう。世界各国が、お互いに民族意識を高めるとともに一大転換機を迎えて、貿易面、文化交流面でも互いに近接しつつあり、両面において新たな段階を迎えることと思われます。そして、経済界の状況が再びトンネルに入ったとしても21世紀への対応策とともに新しい傾向に向かっていくことは何といっても明るいことではないでしょうか。

21世紀を迎えるについては多くの教育的、物質的、生物的、技術的な苦しい暗い処理の世界を経ていくでしょうが、それを通り抜けてこそ明るい世界が招来されるものと思います。徒に、既成概念にとらわれた前時代的社会処理では取り返しのつかない誤りを犯すことになりはしないでしょうか。

こんなことを考えていくとき、新たに都市計画や建築技術にたずさわるわれわれが、この低成長から、新たな転換機を迎えたとき、どんな社会的ニーズが生まれてくるでありましょうか。住宅政策も今のままでよいでしょうか。再開発も、さては建築基準法も、どうあるべきでしょうか。かような模索を通して次の対策への勉強をしていかないと問いに答えられなくなると思います。

大阪の中之島に芸能文化センター建設の構想を実現するために関経連から鈴木剛氏（ホテルプラザ社長）を団長とする都市文化開発海外調査団が組織され、すでに米国を訪問してきました。その結果は、きわめて示唆に富んだ展望をもたらしてきております。このような文化施設の充実とともに、大阪の技術的都市構造の完成こそ、求められるべきものであります。うわべだけの文化生活にならぬためにも、都市形態が人間のためのものでないといけないと思います。

以上のように考えていくとき、わが日本建築協会もその使命がどこにあるのかを求めて、社会に答えていかねばなりません。今後、相当期間お互いに苦悩に耐えて次の時代を待ちたいものであります。

幸いに本会は、会員の皆様の物心両面のご援助で雑誌の発行から諸施策まで、相当の成果をおさめることができました。

本年も困難な一年とは思いますが、会員各位におかれても健康に充分留意され、強く、明るく前途に希望を持って新たな一年を迎えようではありませんか。

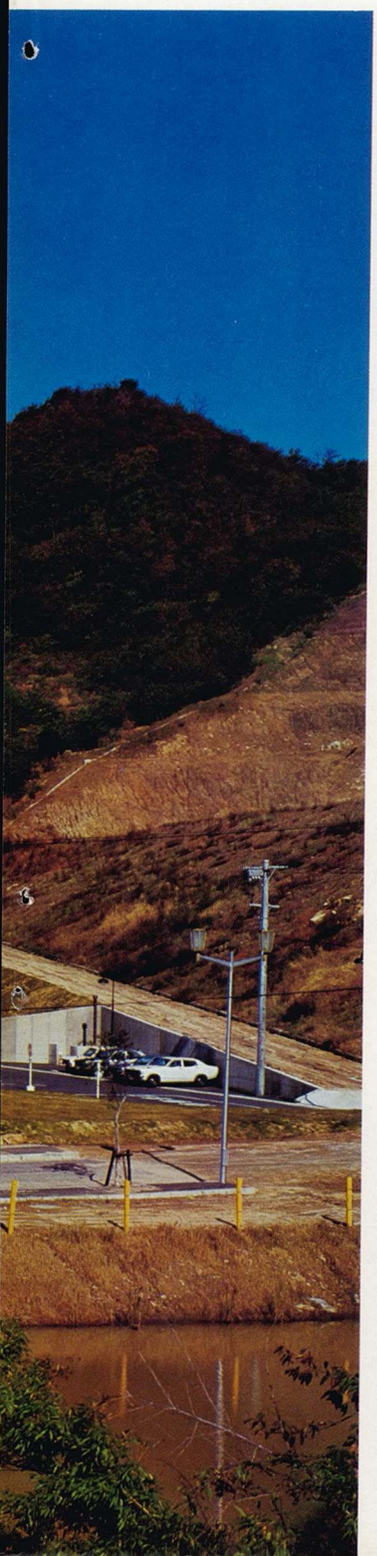
川崎製鉄水島研修所

設計　川崎製鉄水島製鉄所建築課
　　浦辺建築事務所
施工　清水建設広島支店

所在地　倉敷市福田町広江2485－1
敷地面積　8,255.0㎡
建築面積　2,708.6㎡
延床面積　4,967.6㎡
構造規模　ＲＣ＆ＳＲＣ．４Ｆ
工　期　昭和49年３月～昭和50年９月



家具	高島屋
床タイル	国代耐火工業所
カーペット	フォルム ユニ
照明器具	大光電機
ロビー家具	ホウトク







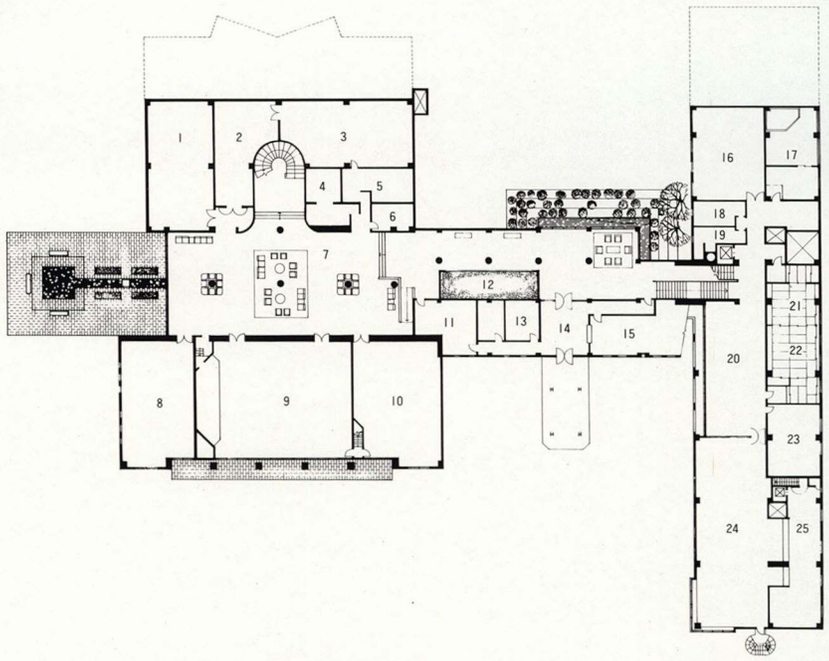


上：宿泊棟塔屋より研修棟を見る。（遠景は水島の市街。左方にコンビナートの一部が見える。）　　下：研修棟2階屋上より宿泊棟を見る。

川崎製鉄水島研修所

設計　川崎製鉄水島製鉄所建築課
　　浦辺建築事務所
施工　清水建設広島支店

平面図　1：800



研修棟1階平面図　　宿泊棟2階平面図

1 L L 教室
2 倉庫
3 空調機械室
4 女子便所
5 男子便所
6 コピー室
7 ラウンジ
8 中教室
9 講堂
10 中教室
11 講師控室
12 光庭
13 応接室
14 玄関
15 事務室
16 卓球室
17 浴室
18 女子便所
19 男子便所
20 ラウンジ
21 娯楽室（和室）
22 娯楽室（和室）
23 娯楽室（洋室）
24 食堂
25 厨房

電気設備　川鉄電気設備工事株式会社
倉敷市水島川崎通1丁目　TEL 0864－46－7677

給排水衛生 空調設備　川崎設備工業株式会社
倉敷市連島町連島63　TEL 0864－46－2200

造作内装　株式会社 高島屋
岡山市本町6番30号　TEL 0862－32－2101

型枠工事　有限会社 鈴木組
倉敷市川入字広芝851－1　TEL 0864－24－0527

弐土工事　有限会社 友杉工務店
倉敷市茶屋町292－2　TEL 0864－28－0439

鉄筋工事　河本鋼業株式会社
倉敷市連島町連島143　TEL 0864－44－6736

金属製建具　川鉄アルミニウム工業株式会社
神戸市東灘区魚崎南町2－7－5　TEL 078－431－2221

バレー・テニスコート　長谷川体育施設株式会社
大阪市福島区上福島中1－38－2　TEL 06－453－2031

石　関ヶ原石材株式会社
広島市平塚町8－22　TEL 0822－43－1241

内装　平松建材株式会社
倉敷市昭和1－2－22　TEL 0864－22－9111

塗装　株式会社 長崎塗装店
広島市紙屋町1－1－13　TEL 0822－47－9365

ガラス　谷本ガラス工業株式会社
岡山市大福1201－5　TEL 0862－82－4171

タイル・ユニットバス　伊奈製陶株式会社
広島市田中町5－9マルチビル　TEL 0822－44－1701

タイル　株式会社平田エンヂニヤリング
岡山市中央町3－21　TEL 0862－77－9010

外装タイル　岩尾磁器工業株式会社
大阪市北区壺屋町2－36　TEL 06－353－6171

外装吹付　株式会社 エービーシー商会
岡山市丸の内1－2－4　TEL 0862－25－0188

左官　株式会社 岡本組
岡山市津島321　TEL 0862－52－6006

パールスキン吹付　東邦パーライト㈱広島営業所
広島市大手町5－3－5　TEL 0822－44－6360



右：玄関と研修棟
カットは研修と断面図

川崎製鉄水島研修所



研修棟・1階ホール



宿泊棟・2階ラウンジ



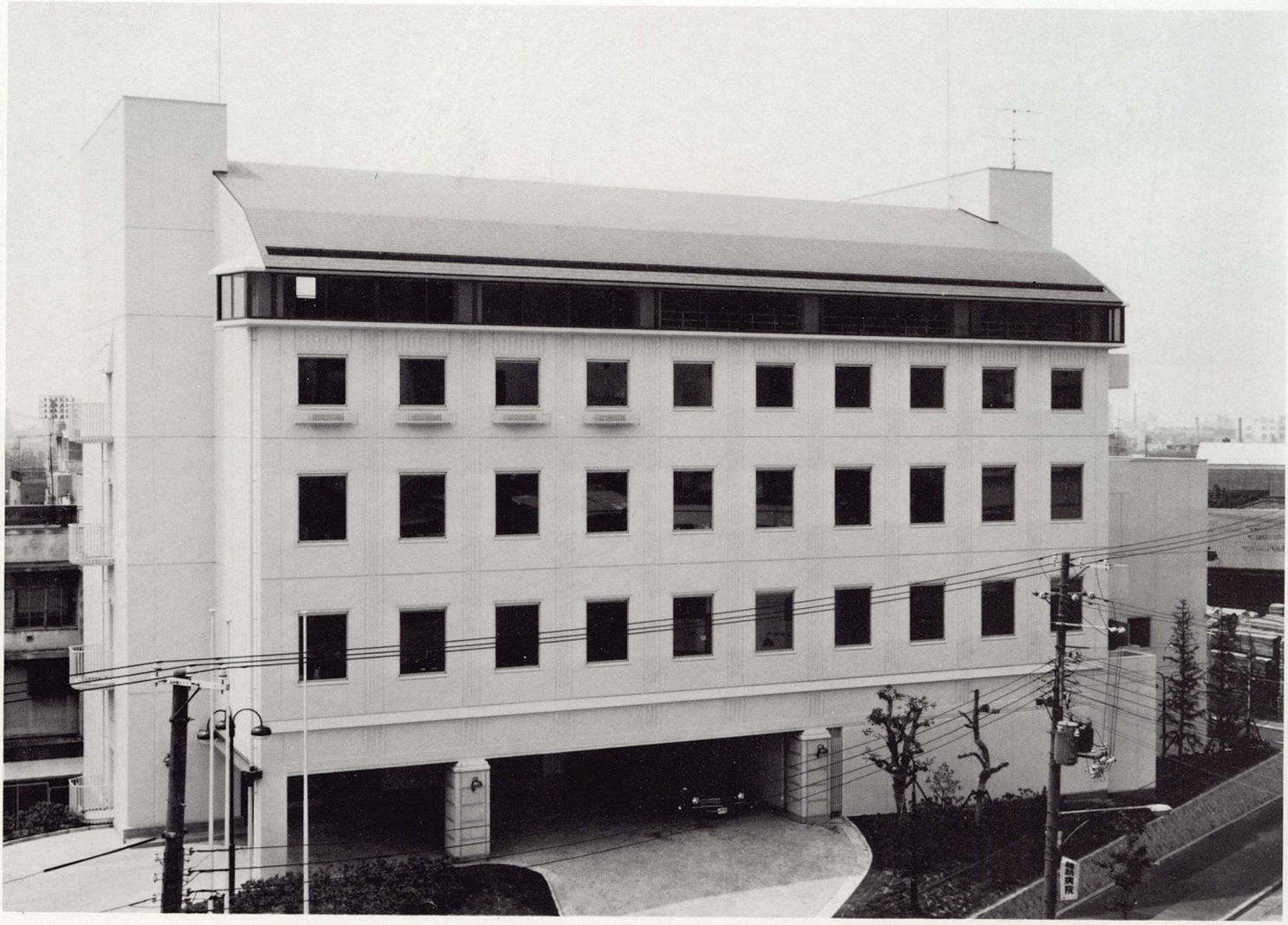
宿泊棟・宿泊室

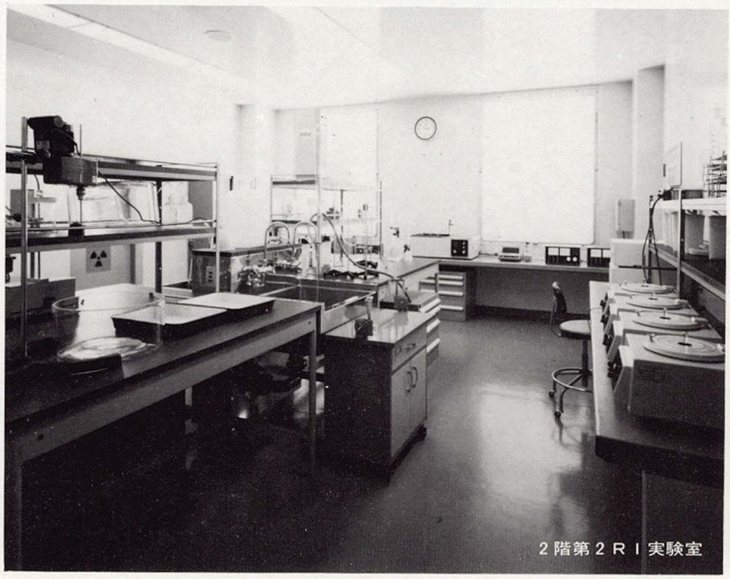
撮影　東出清彦

鐘紡ガン研究所

所 在 地：神戸市兵庫区御崎町１－９－１
建築面積：　627.31㎡
延床面積：3,239.46㎡
構造規模：ＲＣ　Ｂ１、５Ｆ、Ｐ１
工　　期：1974.４～1975.５

設計　浦辺建築事務所
施工　竹中工務店





2階第２ＲＩ実験室



4階図書室

ユニチカショッピングセンター

オークタウン

設計施工　竹中工務店



所 在 地：奈良県大和高田市幸町３－18
建築面積：８,415.８㎡
延床面積：33,894.９㎡
構造規模：ＲＣ　４Ｆ、６Ｆ、Ｐ１
工　　期：1974.９～1975.11



大和高田市は、奈良県南部の商業都市として発展してきた。市の中心地、近鉄高田駅前のユニチカ工場跡地14万㎡の中 12,000 ㎡の遊休地を利用してショッピングセンターを計画したものである。市の都市計画に沿って設計したマスタープランのうち、第一期工事である。空間のふくらみと効率化を計って、人工台地を用い、後背地開発をジョイントしやすいように、核店舗、専門店をブロック別に配置した。人工台地上の広場は光と緑あふれる街である。広場に植えられたかしの木は、オークタウンという名前に、イメージづけられている。オークタウンは、子供に親しまれるように劇場や遊び場をもち、広場に配置された彫刻、時計、ショッピングセンターのモニュメントである自動織機は、広場の演出要素として用意された。建物外壁は古都奈良のイメージから、じゅらく色を選び、床はレンガタイルにより親密さを計った。モール底裏の鮮明な色は、各フロアーの売場のテーマカラーでもある。

狩野忠正／竹中工務店





左：モールから大型店をみる
上：正面外観
下：専門店通路からモールをみる

撮影　東出清彦

ユニチカショッピングセンター
オークタウン

設計施工　竹中工務店

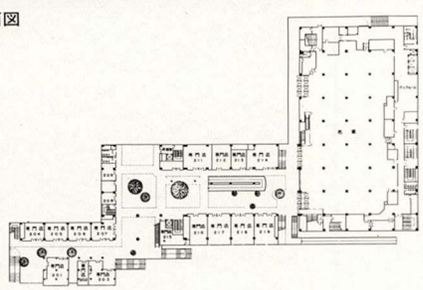


モール吹抜回り夕景

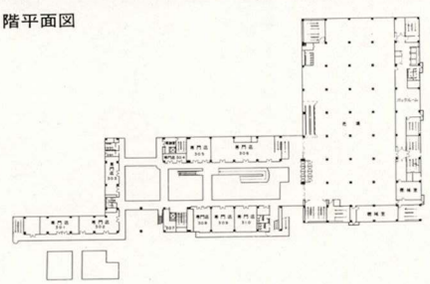


大型店からモールをみおろす

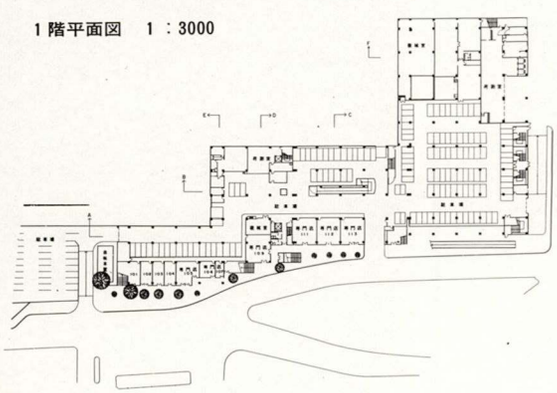
2階平面図



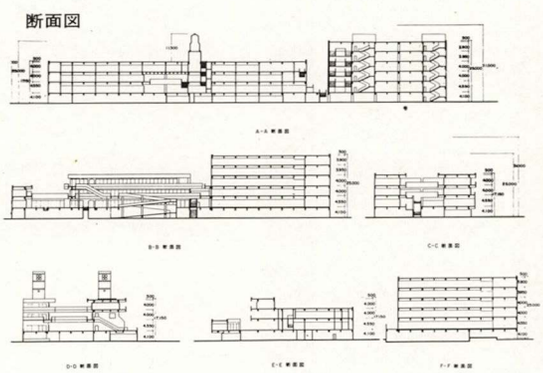
3階平面図



1階平面図　1：3000



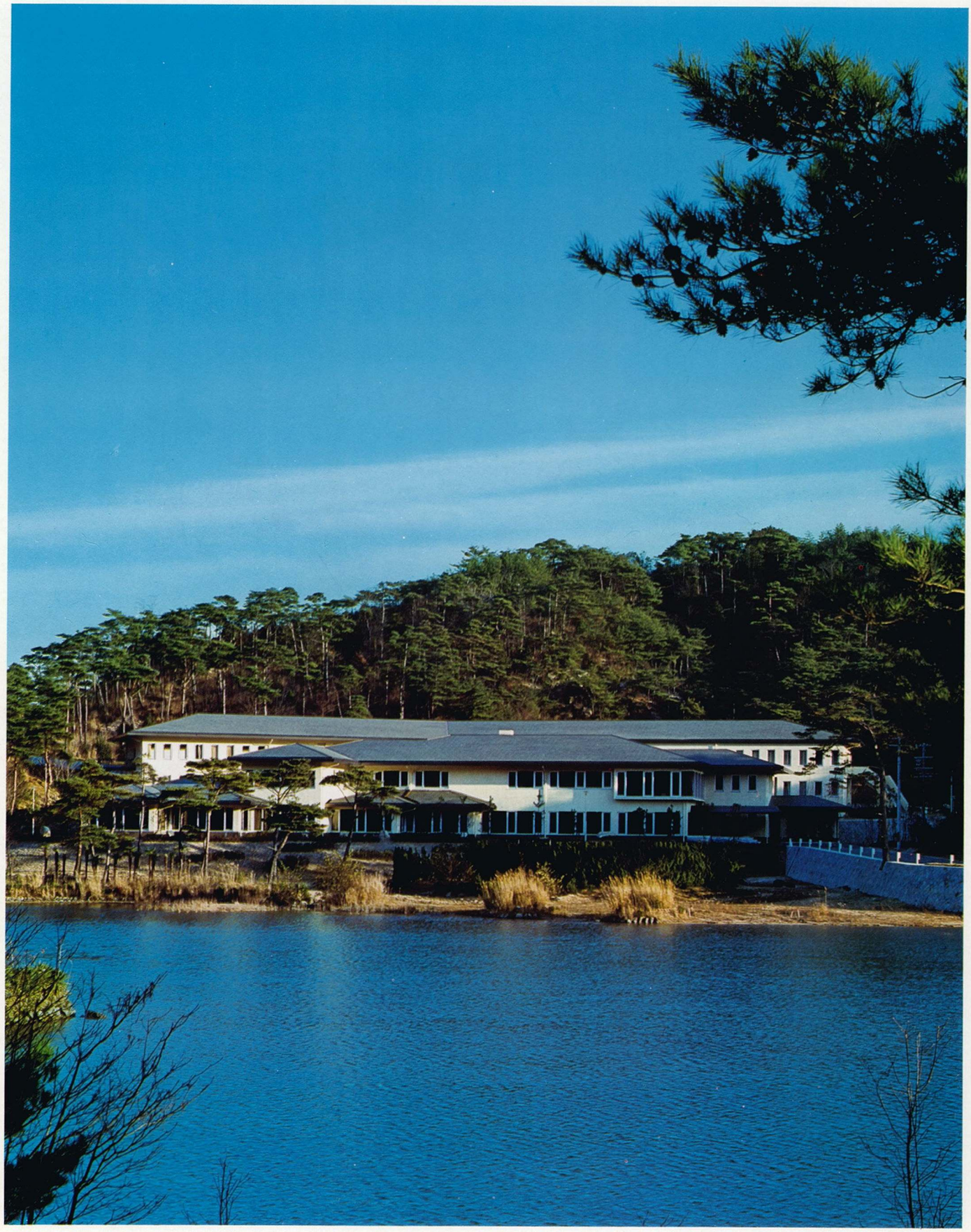
断面図



六甲ハウス

所 在 地：芦屋市奥山１－44
建築面積：2,945.95㎡
延 面 積：4,578.28㎡
構造規模：RC、屋根S造 B１、２F
工　　期：1975.3～1975.11

設計施工　錢高組

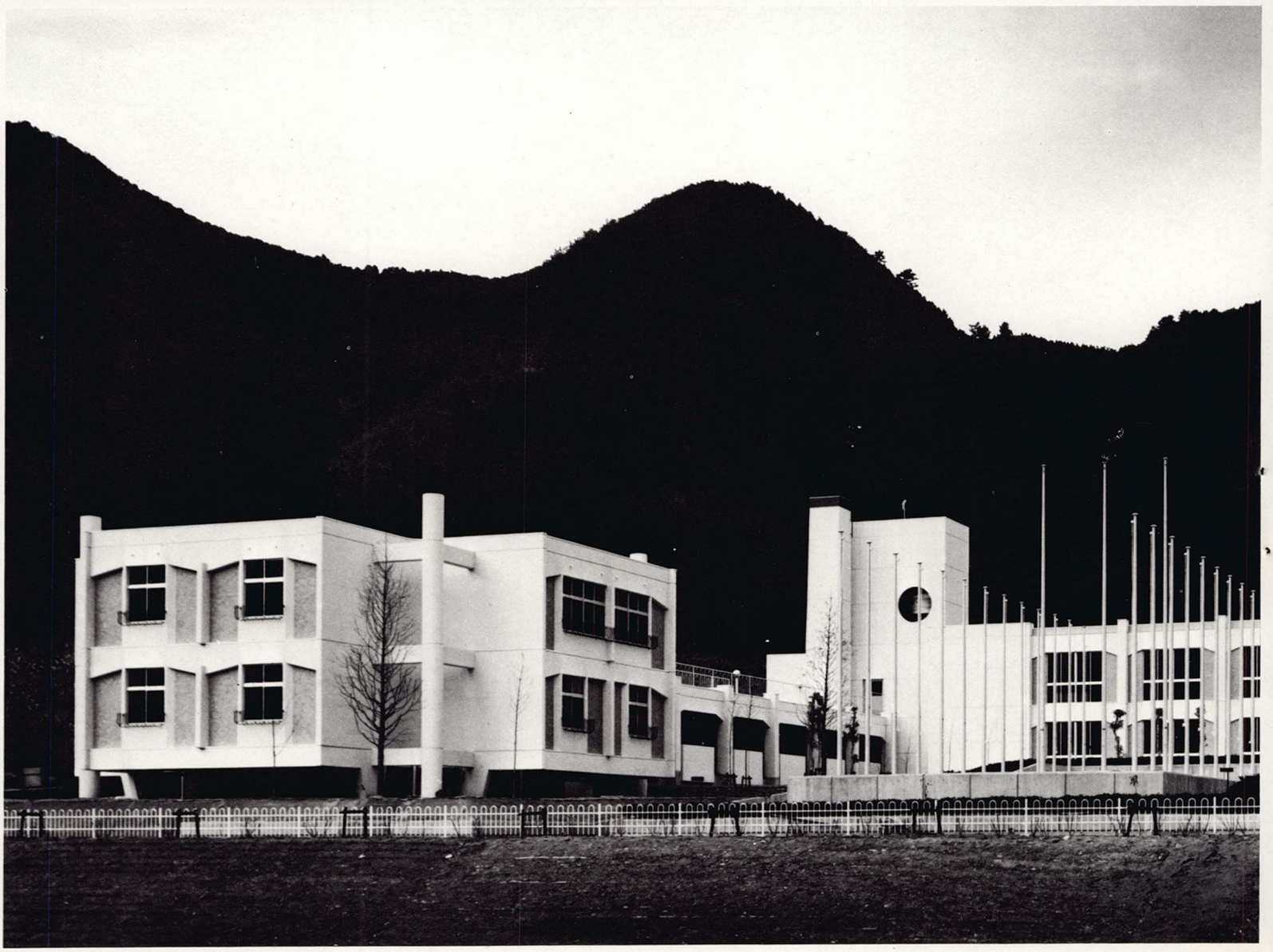


兵庫県立西播文化会館・
西播生活科学センター

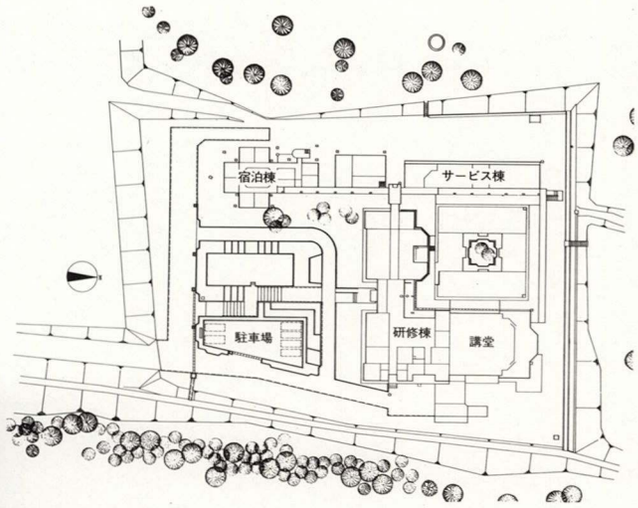
施工　進藤組







設計監理：兵庫県建築部営繕課
所 在 地：兵庫県揖保郡新宮町宮内
敷地面積：51,600㎡
建築面積：2,100㎡
延床面積：3,470㎡
構造規模：ＲＣ　２Ｆ、Ｐ２
工　　期：1974．12～1975．12

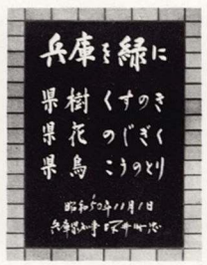


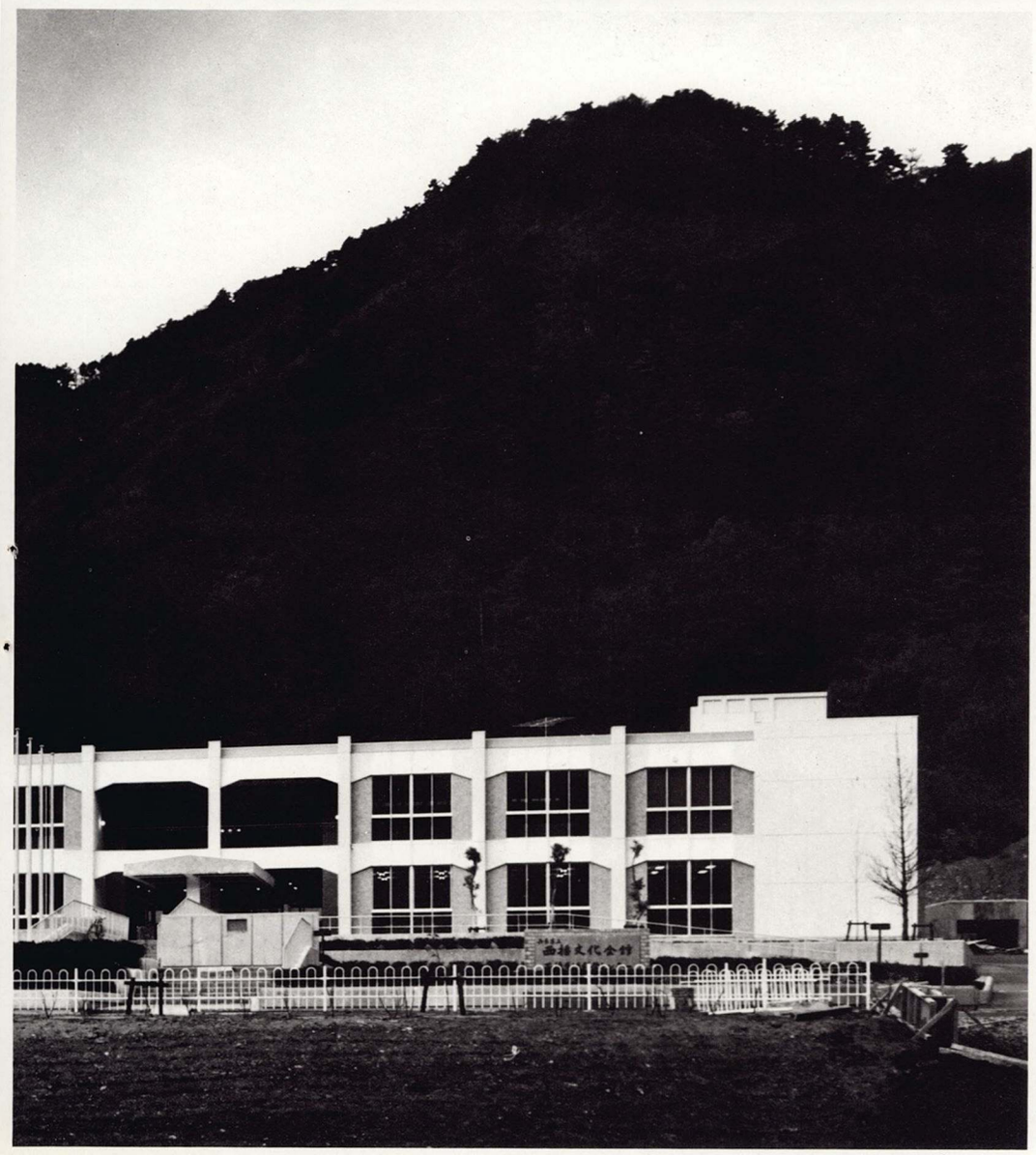




1 | 2 | 3 | 4
5

1．廊下北東隅より中庭をみる　2．サービス棟より中庭をみる
3．展示室　4．宿泊棟ホール吹抜　5．正面外観





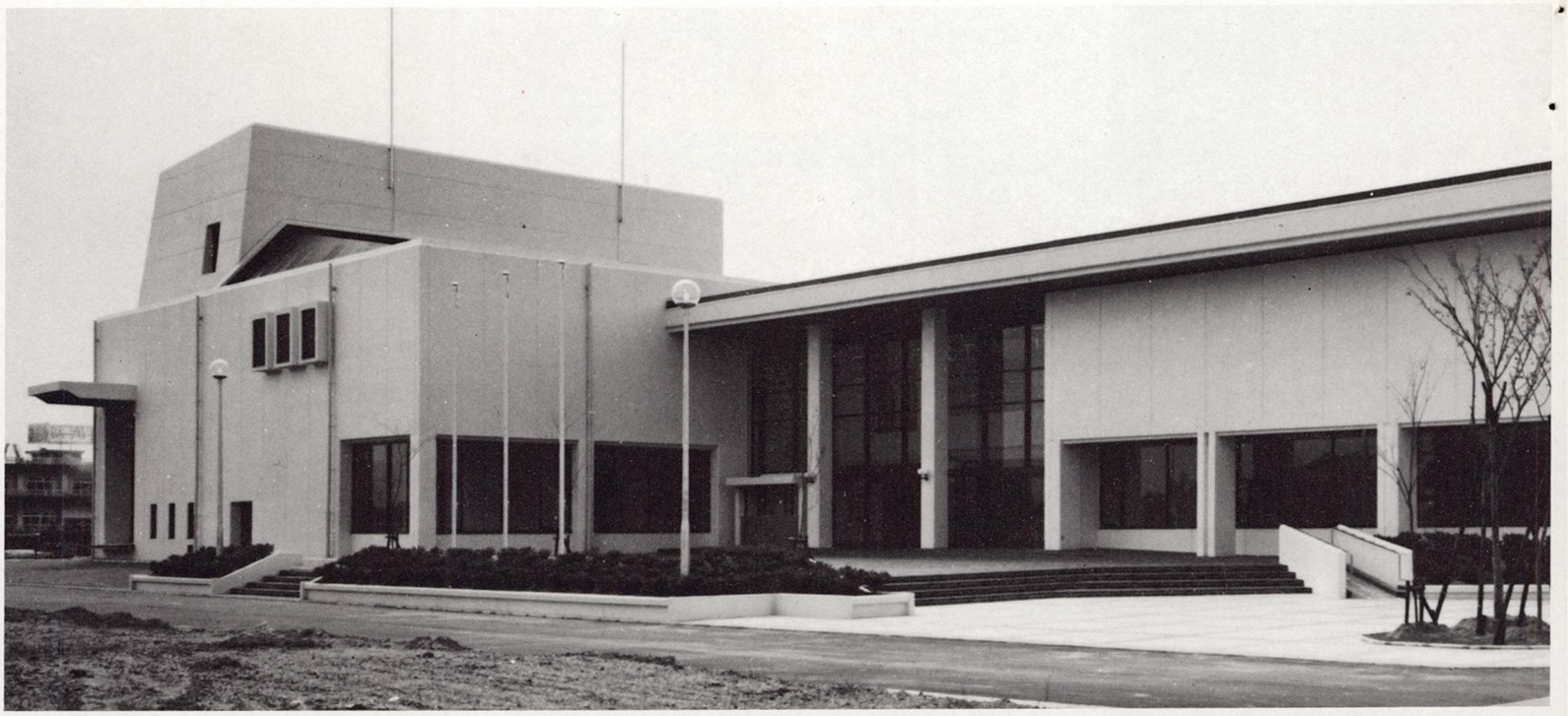
この会館は、人間尊重の精神を基盤に、地方における文化の高揚と、生活の向上をめざし、しあわせな地域社会作りを推進するための活動の拠点として、県下に建設が進められてきた地方文化会館の第３番目のものである。

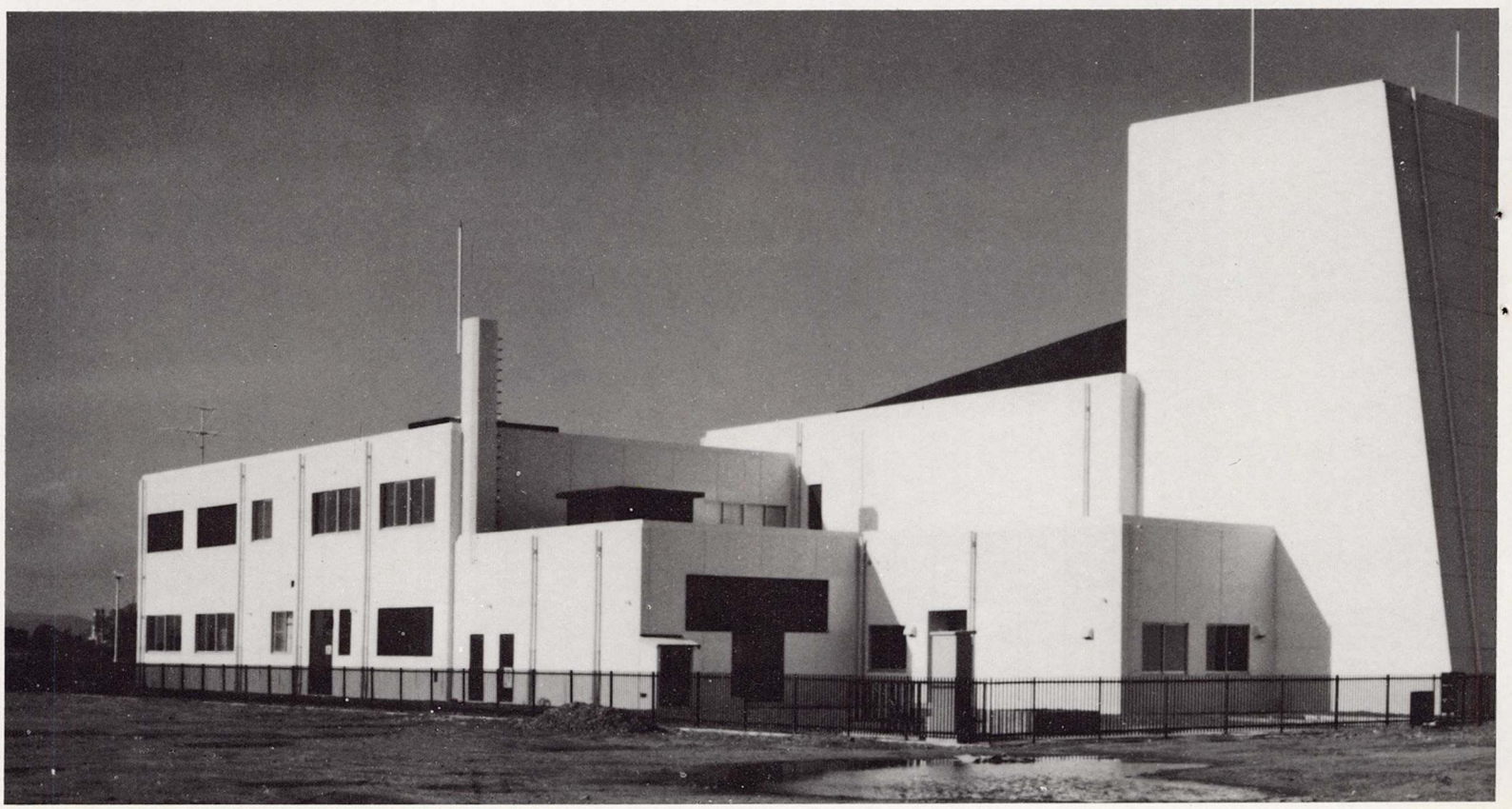
本県揖保郡新宮町の北西部に位置するこの敷地は、周辺小高い松林の山に囲まれた豊かな自然に恵まれている。ここに講演を始めとする各種文化活動、合宿、会議、研修、美術展示等々、多様な利用機能が集約されているが、この利用目的の多様性は、関連機能別に分類された４つのブロックにゾーニングすることによって処理されている。各ゾーンを別棟とすることで利用室相互の独立性を確保し、同時に、棟によって区画される外部空間にも積極的に機能性を付与していくように配慮されている。また、周辺環境との調和を考慮し、四季の推移による色彩の変化に対応させるために、外壁仕上をアイボリーホワイトを基調とし、外観の統一を計るとともに、袖壁部分のみシャモットタイルの淡い色調を配して、ファサードにアクセントを与え、自然との対比的調和を保っている。さらに、内部居室においては、その目的とする機能が充分果されるように、講堂における舞台、照明設備、研修棟における調理実習、視聴覚実習等の設備機器の充実にも意が注がれており、その空間の特性に応じた個性的空間演出が試みられている。

門内秀裕・河野正彦／兵庫県営繕課

滋賀県立長浜文化芸術会館

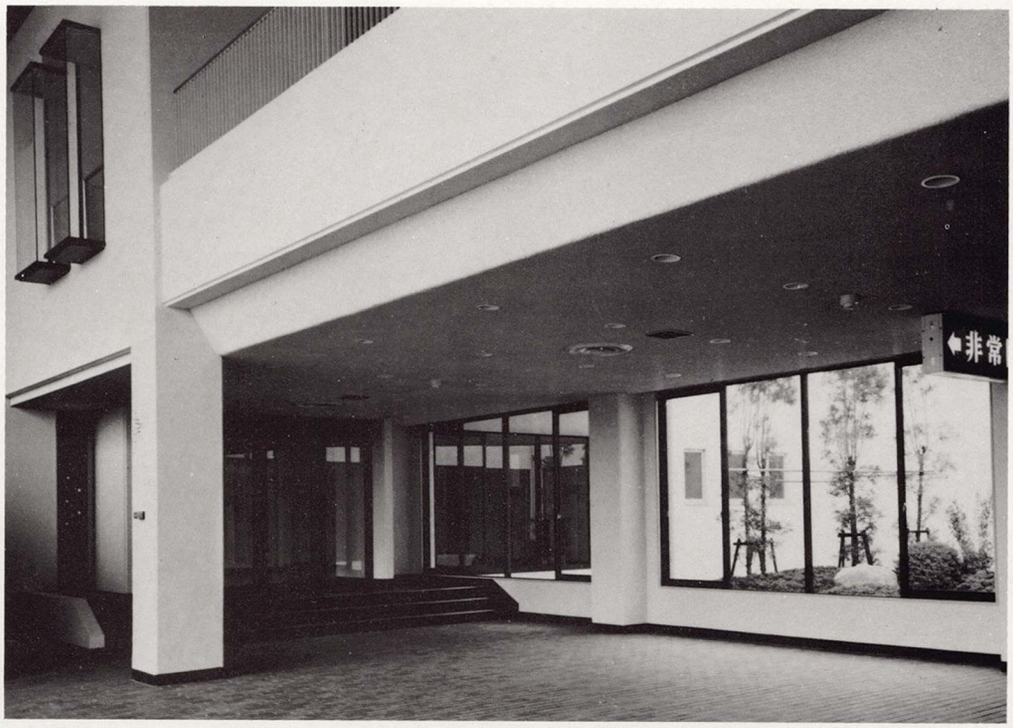
施工　熊谷組

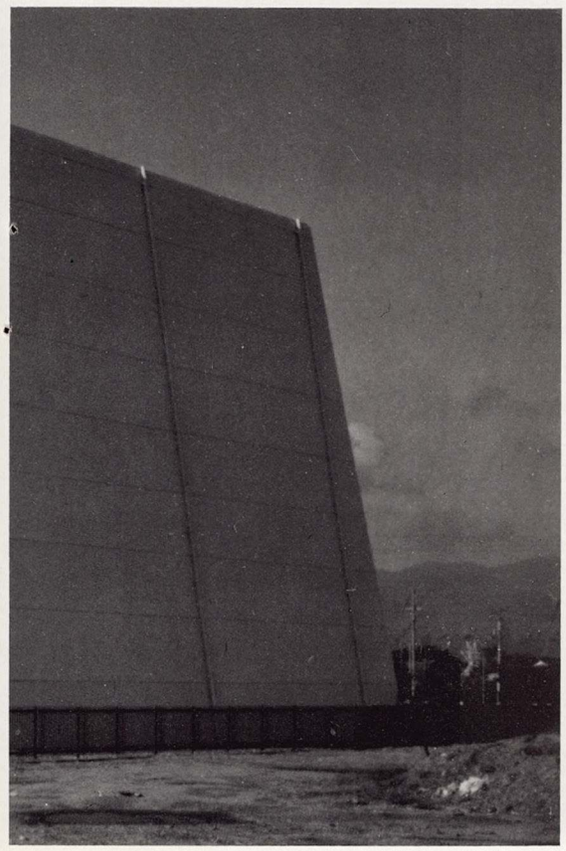




設計・監理：富家建築事務所
監　　理：滋賀県土木部建築課
所 在 地：滋賀県長浜市大島町大島
建築面積：2,128.2㎡
延床面積：2,939.5㎡
構造規模：RC一部S造　2F
工　　期：1974.7～1975.10









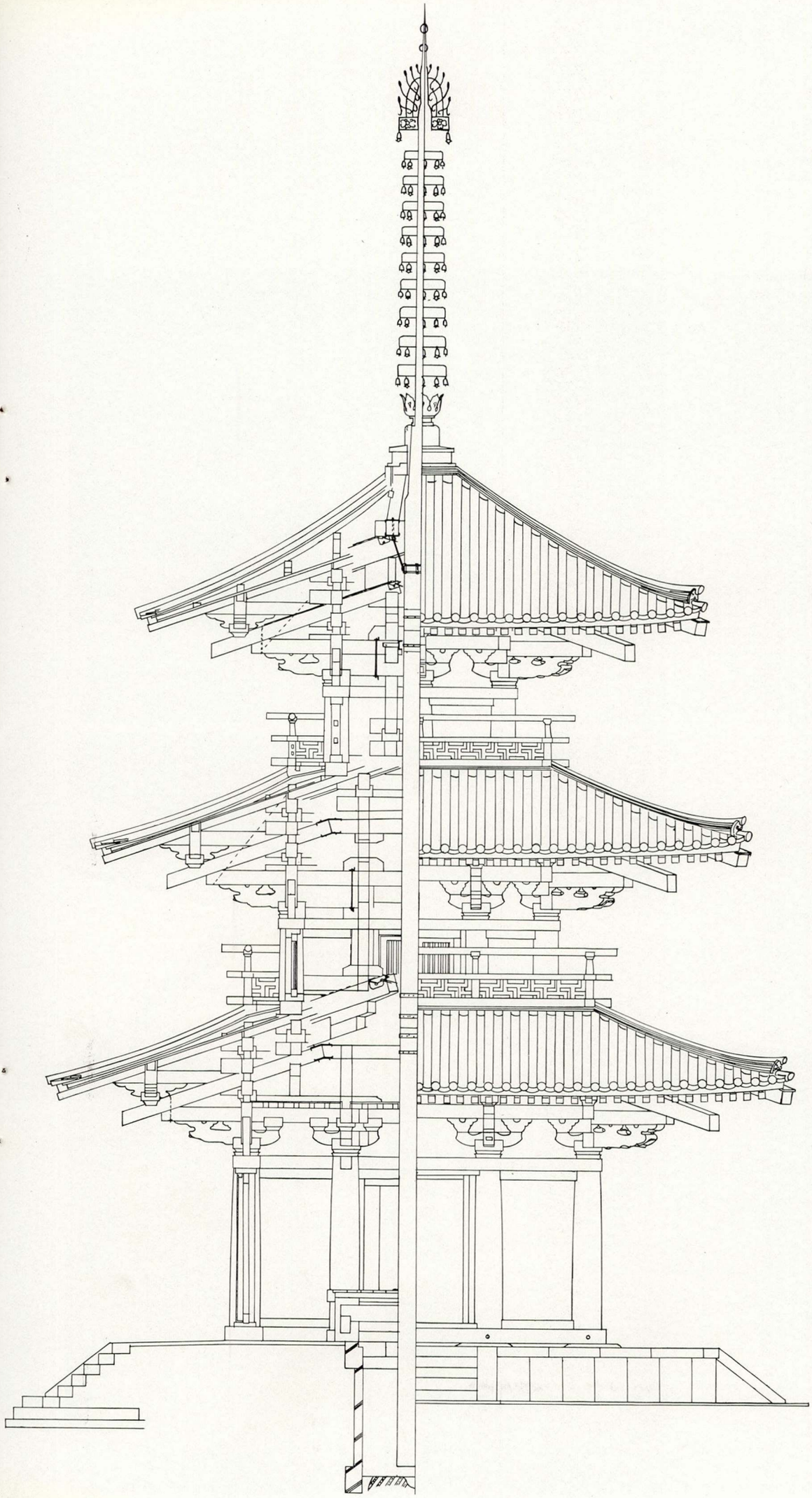
法輪寺三重塔

施工　清水建設

設　　計：竹島卓一
棟　　梁：西岡常一
所 在 地：奈良県生駒郡斑鳩町三井1571
建築面積：152.7㎡(基壇面積)
延床面積：477.2㎡
構造規模：木造三重塔、最高部Ｈ＝25.82ｍ
工　　期：1973.8～1975.3







法輪寺は奈良斑鳩の里にある由緒ある寺で、7世紀の後半創建された法隆寺様式の大寺院であった。ことに三重塔は、有名な法隆寺五重塔によく似て、飛鳥様式を伝える貴重な建造物であり、近くの法起寺三重塔を加えて「斑鳩の三古塔」と呼ばれ、およそ1300年前の姿を伝えていたが、昭和19年7月21日落雷により焼失してしまった。

しかしながら、幸なことにこの塔はかつて関野貞博士によって解体修理が行われたことがあり、この際の図面がのこっていたため、もとの姿に正確に復元しうる見込があった。そこで、住職故井上慶覚師によって再建が発起され、関野博士の弟子にあたる竹島卓一工学博士が設計を担当され、法隆寺宮大工棟梁西岡家が独特の技術をもって協力して再建することとなった。

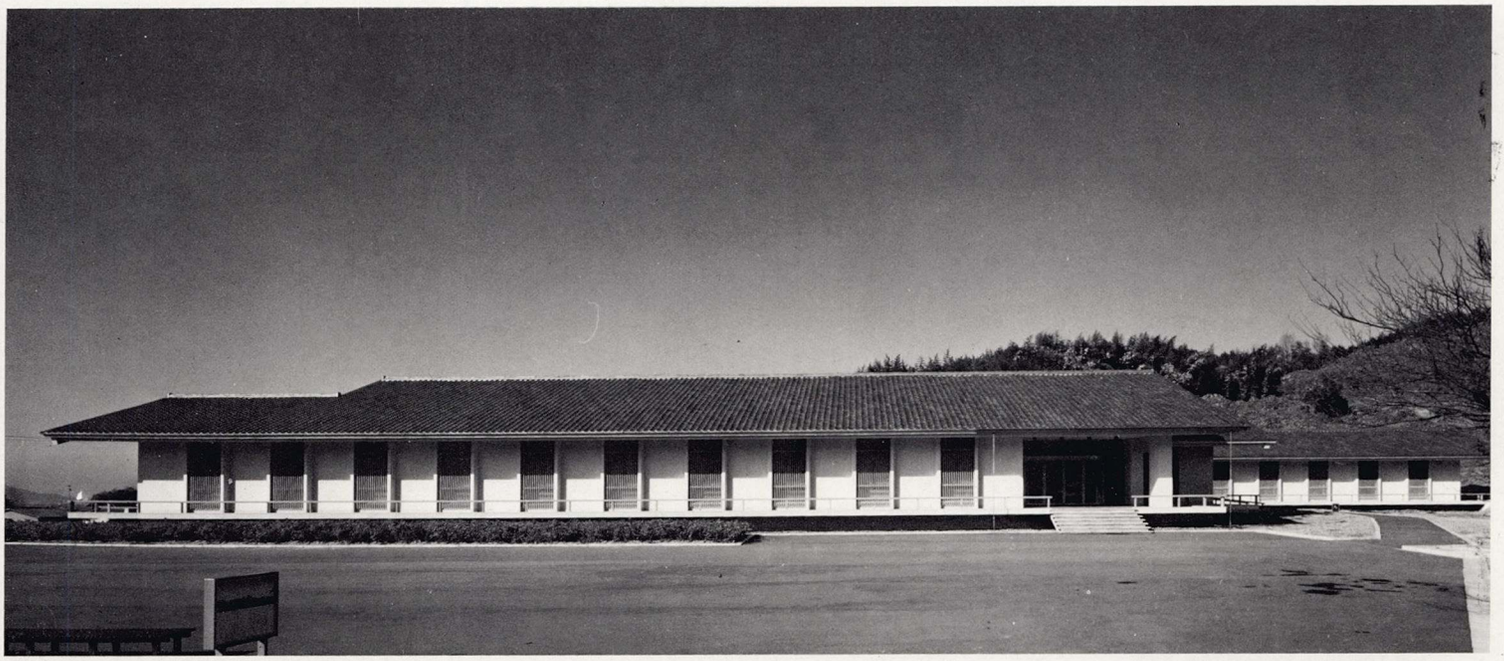
再建の理念は、塔を復元することであり、とうぜん木造檜造りとなるが、建造に要する檜材は樹令一千年以上のものを含む良材が必要であった。しかし、日本国内では入手することができなかったので、台湾において調達した。工事にあたっての方針は、①再建する塔は、創建当時意図したであろう形式・方法に統一する、②構造的欠陥は、現代の建築技術によって合理化する、の2点である。この方針にもとづいて飛鳥様式を現代に再建するため、数々の努力がつくされたが、現代技術によって合理化した結果、基壇と初重の出入口、及び三重目と相輪などにおいて新たな工夫がなされた。施工と構造面での考案の主な点をあげると、側回りの斗栱（ときょう）など横木で積み上げる分量に見合うだけ、内回り柱筋に立てる束の上下に横木を加えて軒先の垂下を防止していること、深い軒を支える斗栱の部材を内部で緊結しトラスとして作用させるようにしている、その結果斜材にかなりの張力を負担させることになったため、最少限鉄材を使用していることである。

また、最上階では、四方に突きでる軒の広さに対し、内側の塔身の部分の屋根が狭いので内外の重さの釣合いがとれないため、心柱をカサの柄と骨のように中心で吊って荷重の釣合いをとるようにしている。

大工工事にあたっては、古代のヤリカンナが使用された。飛鳥建築の特徴とされている温かさ柔らかさは、現在使われている台カンナでは再現することができないからである。木は生きており、一本一本違う性格やクセをもっている。一千年の檜の生命を知り、一千年のお堂の生命にうつしかえる。工事関係者の全員が飛鳥の三重塔を建てるという誇りをもって仕事にあたった。竹島博士は20世紀の技術を駆使して創建当時の理想を追求した。西岡棟梁をはじめとする宮大工たちは、伝来の技法をできる限り忠実に守ることで、飛鳥びとの信仰に迫った。このように、現代の衆智を集め、伝統の技術の粋をつくして再建された法輪寺三重塔は、完成と同時に悠久の時間の中に組込まれて、円熟の姿を子孫に伝えてゆくことであろう。

国立飛鳥資料館

施工　村本建設





基本設計：谷口吉郎
実施設計：近畿地方建設局営繕部
所 在 地：奈良県高市郡明日香村大字奥山601
建築面積：1,224㎡
延床面積：2,540㎡
構造規模：ＲＣ　Ｂ１、１Ｆ
工　　期：1973．１～1975．３
電　　気：新生電業　大阪市大淀区豊崎東通３－３ TEL 06－372－2277
空調・給排水・衛生：第一工業　大阪市北区富田町30 TEL 06－364－6661

撮影　東出清彦



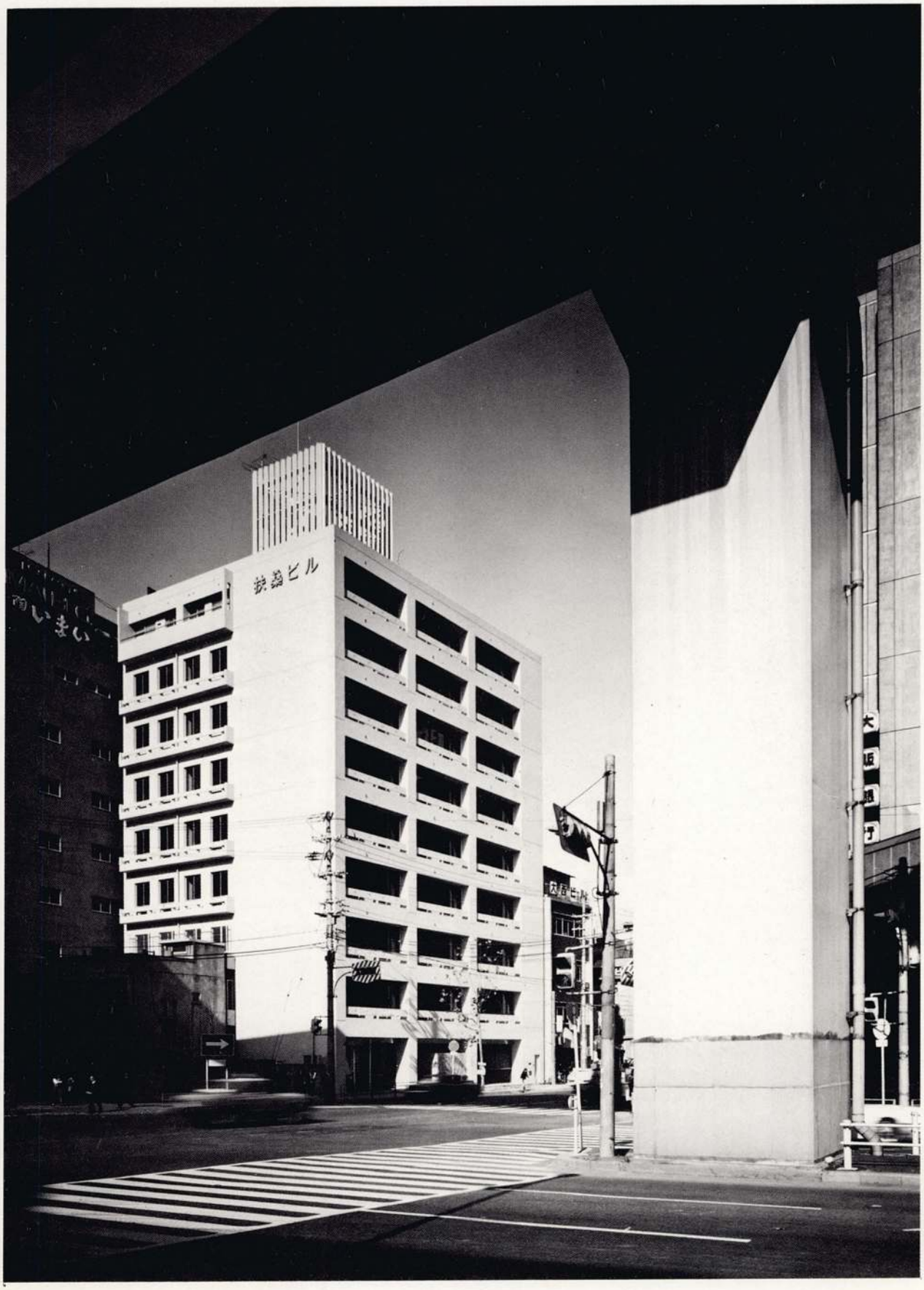




扶桑ビル

設　　計：清水和弥設計事務所
所 在 地：大阪市西区阿波座上通り１－13、14、15
建築面積：　408.35㎡
延床面積：3,630㎡
構造規模：SRC　B1、9F、P2
工　　期：1974.7～1975.11

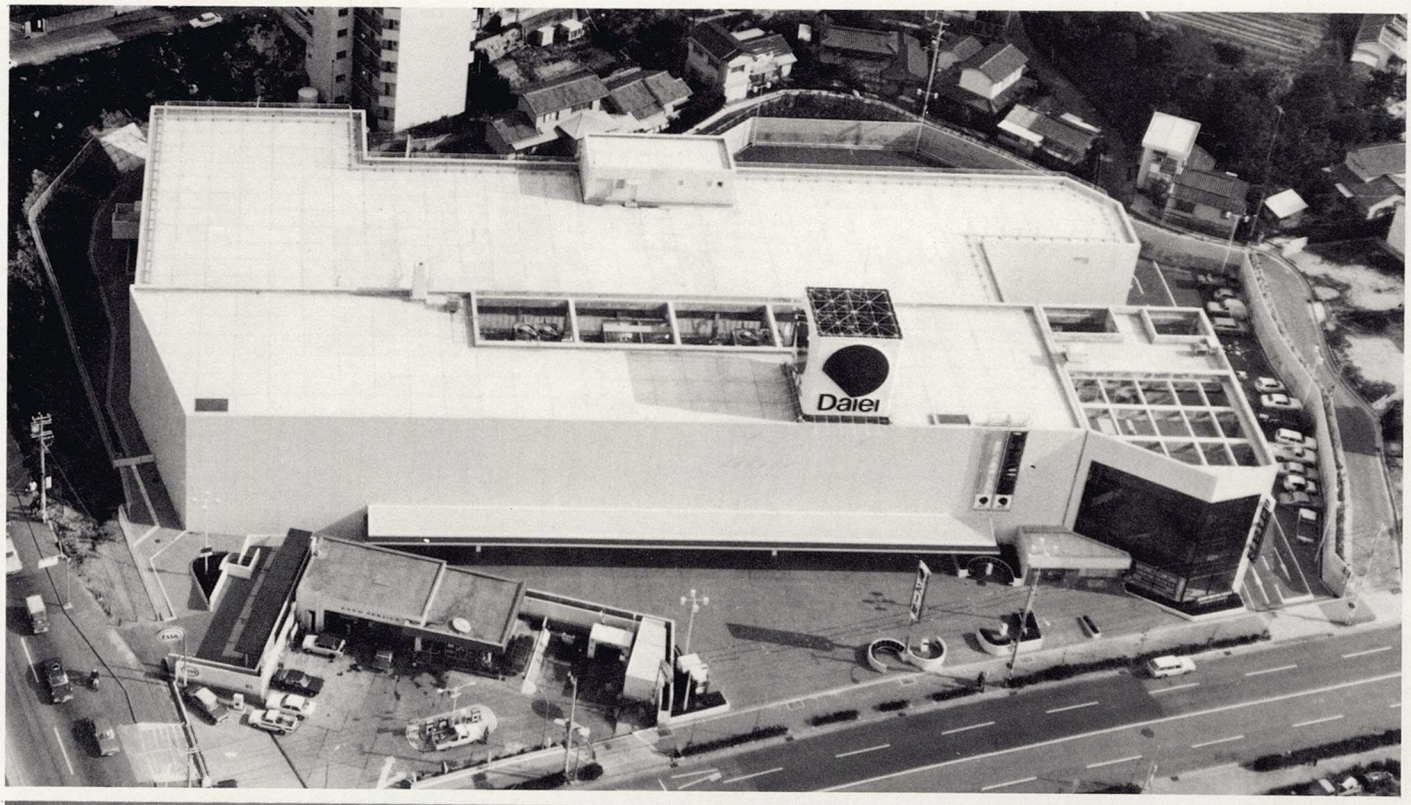
施工　淺沼組



ダイエー舞子
ショッパーズプラザ

所 在 地：神戸市垂水区舞子台６－20－17
建築面積：　4,865㎡
延床面積：14,725㎡
構造規模：RC　B１、３F
工　　期：1974.10～1975.10

設計施工　鹿島建設





八重桜カントリー クラブハウス

所 在 地：奈良県天理市山田町
建築面積：　962㎡
延床面積：3,352㎡
構造規模：RCおよびS造　2F
工　　期：1975.4～1975.11

設計施工　奥村組







東播カントリー倶楽部ハウス

所 在 地：兵庫県加東郡東条町秋津字中尾
建築面積：4,172.99㎡
延床面積：4,558.10㎡
構造規模：RC一部S造　2F
工　　期：1974.11～1975.9

設計施工　鴻池組







舞鶴カントリー
クラブハウス

設　　計：尾崎建築設計事務所
所 在 地：舞鶴市大字栃尾字稗田
建築面積：2,008.49㎡
延床面積：2,712.47㎡
構造規模：RC　2F
工　　期：1974.12～1975.8

施工　不二建設



大阪市立淀川区民センター
老人福祉センター

設　　計：大阪市建築局
所 在 地：大阪市淀川区野中南２－１－５
建築面積：1,186.79㎡
延床面積：2,515.14㎡
構造規模：RC　４Ｆ
工　　期：1974.12～1975.10

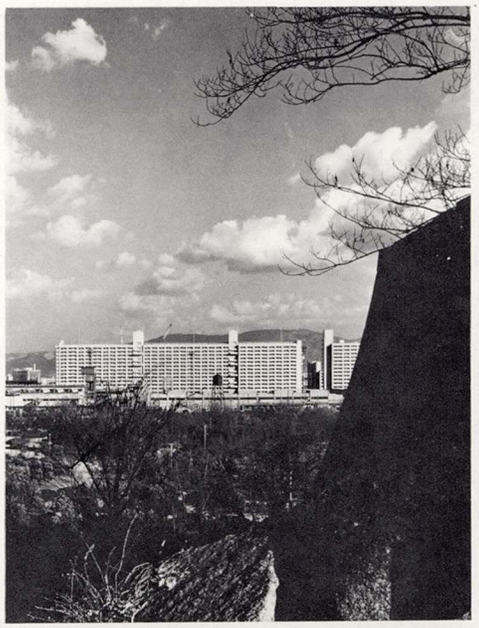
施工　甲南建設工業



日本住宅公団
森之宮(2)市街地住宅

設　　計：東畑建築事務所
所 在 地：大阪市城東区森之宮町２－２－２
敷地面積：34,098.12㎡
建築面積：　4,603.57㎡
延 面 積：53,129.69㎡
構造規模：SRC　15F、P２
工　　期：1973.3～1975.11

施工　フジタ工業

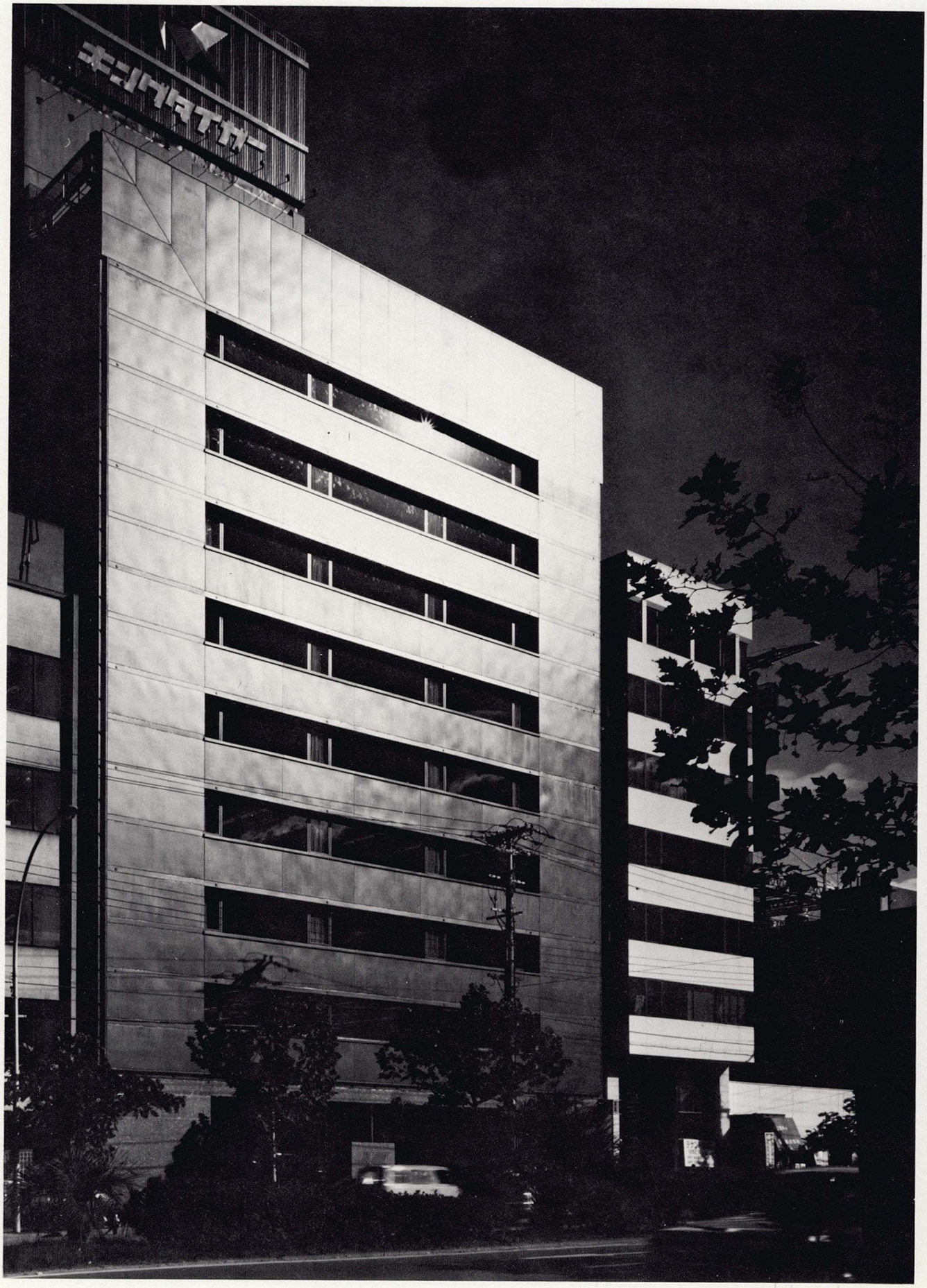




大賀株式会社本社ビル

設　　計：計画工房DNA
所 在 地：大阪市東区谷町１－32
建築面積：　572.7㎡
延床面積：4,080.2㎡
構造規模：SRC　10F、P２
工　　期：1974.9～1975.9

施工　藤木工務店



愛知県保養リハビリテーション センター木曽川荘

施　　工：大亜建設
所 在 地：愛知県中島郡祖父江町
建築面積：1,974.68㎡
延床面積：3,000.62㎡
構造規模：RC　2F
工　　期：1972.1～1973.6

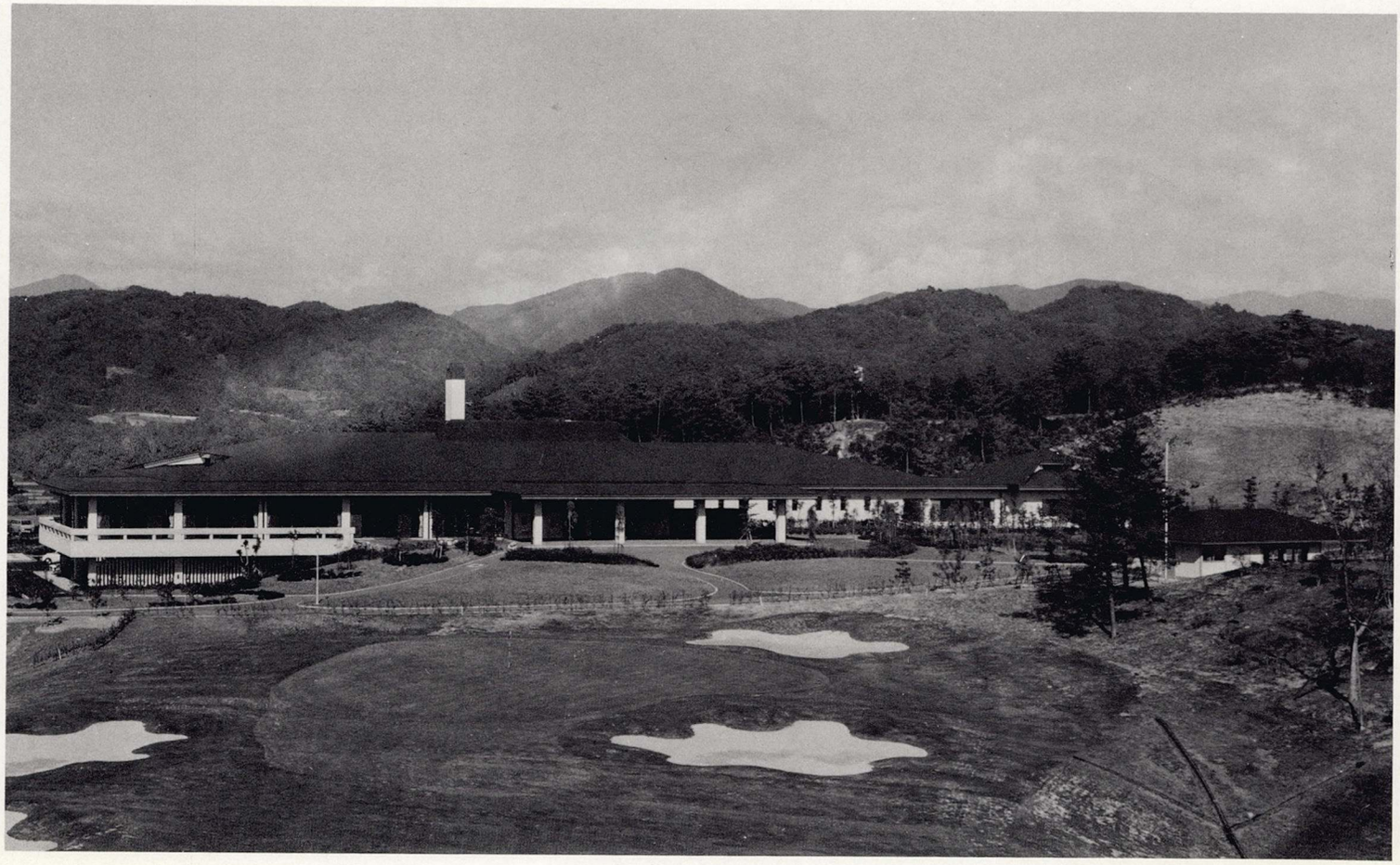
設計　大建設計



作州武蔵カントリー倶楽部
クラブハウス

施　　工：新井組
所 在 地：岡山県勝田郡勝田町大町
建築面積：2,836.16㎡
延床面積：2,983.32㎡
構造規模：RC　B1、1F
工　　期：1974.12～1975.10

設計　東畑建築事務所



鐵鋼会館

施　　工：不動建設
所 在 地：大阪市西区立売堀南通り３－84
建築面積：　676㎡
延床面積：1,560㎡
構造規模：RC、S　３F
工　　期：1974.10～1975.10

設計　日建設計



関西サイクルスポーツセンター

施　　工：奥村組
所 在 地：大阪府河内長野市天野町1304外
建築面積：3,487.71㎡
延床面積：5,415.46㎡
構造規模：RC　B1、2F
工　　期：1973.11～1974.6
　　1975. 5～1975.7

設計　安井建築設計事務所



日本建築協会常設委員会・本年の抱負

教育委員会本年の抱負

教育委員長　岡田光正

谷口大先輩という、大もの委員長のあとをうけて、昨年からやらせていただいています。教育委員会の主な仕事は、講習会やデザインコンクールを実施することで、昨年も「建築工事実務講習会」と「工高生デザインコンクール」を行い、いずれも好評、盛会でした。とくに「工高生デザインコンクール」は史上最高の応募数となりましたが、今年はさらに記録がのびるよう、一層のお力添えをお願いする次第です。

「鉄筋コンクリート構造物の耐震安全性についての講習会」は、前委員長時代からの懸案事項でもあり、今年はぜひともご期待にそえるようにしたいと思っています。なお、講習会には常に新しい企画が必要ですから、テーマやアイデアなど積極的にお寄せ下さるようお願いいたします。

出版委員会本年の抱負

出版委員長　小林　清

会員各位にとって有益な実務に役立つ図書出版を念頭に種々検討し、時には会員有志の意見も拝聴しながら企画を樹てることに努力いたしておりますが、期待にお添いできないことを申し訳ないと思っております。

目下、神戸大学教授工学博士山田稔先生ご執筆の「鉄筋コンクリート構造物の耐震安全性」(実例を網羅して)の編集作業を進めており、できるだけ早く発刊し、会員各位のお役に立ちたいと考えております。

新風を吹きこんで

事業委員長　窪田　祐

当委員会は、見学会小委員会、広報小委員会、若い会員の集い小委員会の三つの小委員会によって構成され、委員総数58名という大きな委員会になっております。

昨年、実施しました諸事業は、そのほとんどのものは、会員の方々の多数が参加して戴きまして、企画担当者として大変感謝しております。

本年は、最近の社会状勢の変化の中で、それに対応するために、企画の新しい展開が、一層、望まれるであろうと考えておりますが、ベテランぞろいの委員構成の中に、新しい方々の積極的な参加を進め、当委員会に新風を吹きこみ、会員参加による有益な事業活動の場となるようにしていきたいと考えております。

会員の皆様のご支援とご参加をお願いいたします。

建材委員会本年の抱負

建材委員長　山田幸一

建材委員会は官公庁・建築事務所・建設業および大学・研究所など、幅広い範囲の委員を網羅し、その時々に最も注目をあびている材料、あるいは緊急に解決を要するような問題点を含んでいる材料を採り上げ、そのメーカーあるいは施工者を招いて討論を重ね、必要に応じて工場・現場などの見学を行ってきた。その成果は担当主査がとりまとめ本誌上に発表し、広く会員一般の参考に供することにしている。この基本方針は今後も踏襲したいが、しかし、ここ数年の傾向は委員自身の勉強にはなっても会員全体の利益に直結するような業績が少なかったように思われる。この反省の上に立って、本年は関連部門――データーシート・住宅など――との連繋を密にし、協会全体として有機的な発展を図るような方針を考えたい。具体的方法は検討中であるが、各方面からのご助言・ご指導を仰ぎたいと思っている。

編集委員会本年の抱負

編集委員長　松村慶三

困難な情況の中にも目出度く新年を迎えました。今世紀最後のturning pointを折り返したことになります。日進月歩の文明と変幻万化の世相の中で、しかも各分野各層にわたる広い範囲の会員の皆様方に「建築と社会」誌は何をお届けすべきかは今年も私どもの大切な課題となるでしょう。建築をとりまくものの様相をその時々適確に捉えて残してゆくことも大切な使命の一つだと考えますが、その意味で、本号の特集も混沌の中の建築界の一つの証言として価値あるものと信じます。また協会機関誌の特質を生かして、より多くの会員に直接間接、編集に参画していただき、あるいは有効な媒体として活用を願って、自分たちの会の雑誌だという暖かい気持の連帯をひろげてゆくことが何より大切だと思いますので、一層のお力添えをお願いいたします。

本年度の抱負

住宅委員長　小西　岬

一昨年よりそごう百貨店に会場を変えた恒例のよろず相談住宅展も、昨年は、七階の良くて広い会場の提供や、P.R.も従来のものに加えて大阪府、市の協力でＰＲ誌に掲載して戴いて各家庭まで入り込むなど、きめ細かく行き届いたお蔭で大成功を収め得た。

本年は、不況次第では昨年以上に出展依頼に困難が伴うと思われるが、歴史あるよろず相談住宅展、加えて国土緑化運動の一環として住宅の緑化について、今年内に資料をまとめるつもりである。

今後展覧会のますますの発展を期しているので、従来にまして関係各位のご指導、ご協力をお願いしたい。

建築データシート委員会本年の抱負

建築データシート委員長　井上　滉

何事でもこれで充分目的を達成したということが少ないようです。データシートにおきましても、発足以来8年を過ぎ、890シートを優秀な委員諸君と作成してきました。委員会ではいつも総合目次の検討、新規シートの選定、既刊シートの改訂等が、意図するように満足できず、どうするかが議題となっていました。しかし常に少しでもより良い内容のシートの作成を心掛けて努力して参りました。

今年も一層の努力の上に、新しい企画を加えて一同頑張る所存です。

昨年訪日されました中国視察団の方々へ合本を贈呈し、親善の一端に寄与したと自負し、喜んでいます。

終わりに常に裏方として委員会をお世話下さる事務局の方々へ紙上より厚くお礼申し上げます。

法規委員会本年の抱負

法規委員長　市川　宏

今年こそはほのかにもせよ光に明るさが期待できるとはいえ、まだ当分どうしようもないこの不景気では、開きなおって抱負を述べるのも気がひけるというもの。

もともとが最も地味な当委員会ではあるが、委員の半数を行政当局からお願いし、月例の委員会を官民の接点として鋭意法規の問題点等を中心に意見の交換を行っている。その成果は当然直接、間接に行政面に反映させていただくとともに、またその一部を法令コーナー、法規特集等のほか　できる限り機会をみつけて皆様にお伝えするよう努力していきたいと考えている。ひと頃続いた法令の改正ラッシュも、国会混乱のあおりを受けてこのところ下火であるし、建設界もこの不景気とあって、当委員会も比較的平隠無事、といっては語弊があるが、お蔭でかえってじっくり腰を落ちつけて法規の検討に取り組めそうな気がしている。

◀会員の受章

このたび下記会社の方々が、建築界に盡くされた功績によって叙勲並びに国家褒章を受けられました。

ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

記

秋の叙勲

勲三等旭日中綬章　錢高輝之氏　（錢高組社長）
〃　瑞宝章　淺沼猪之吉氏　（淺沼組会長）
〃　〃　淺野　清氏　（愛知工業大学教授）
〃　〃　池田総一郎氏　（元京大教授）
〃　〃　白井周二氏　（元清水建設副社長）
勲五等双光旭日章　染木正夫氏　（愛知県建築審査会会長）
〃　〃　南　長吉氏　（斉久工業会長）

国家褒章

藍授褒章　田中政二氏　（大島応用化学工業社長）
〃　山本末男氏　（大末建設社長）
黄授褒章　上西圭治氏　（大気社社長）
〃　清水和彌氏　（清水和彌設計事務所長）
〃　徳永正三氏　（徳永田村建築事務所長）

◀完成した薬師寺金堂の見学会

さきに工事中の薬師寺金堂を見学いたしましたが、この復原新築の金堂は、4年余りの歳月と工事関係者のなみなみならぬ努力の結晶で白鳳の面影を再現されたように燦然とかがやき、49年6月に竣工いたしました。

このたび薬師寺殿のご厚意と監理技師の吉岡勇蔵氏、西岡常一棟梁及池田建設殿のご協力により、ご本尊をうつされる4月の落慶式の前に見学できることになりました。

吉岡技師は文化財保存事務所で古建築修理に半生を捧げられた方、また西岡棟梁も古建築の施工にはなくてはならないベテランの方、この方々が全力をつくして薬師寺金堂工事に専念された努力は金堂の隅々細部に至るまで伺われ、立派な建物として後世に残ることと信じます。

再度の見学とともに貴重なお話をお聞きするよい機会を得ました。また、この歴史的な金堂復興にご参加願うのも意義のあることと思い、写経の勧進も含めて多数お申込み下さるようお待ちいたします。

日　時　昭和51年1月24日(土)集合13.40→解散16.00

集合場所　近鉄奈良線「西ノ京」駅改札口付近・目標会旗

〔参考〕交通費は各自負担のこと。片道運賃難波より260円
近鉄、難波駅発・奈良行快速電車（10分間隔で運行）→西大寺にて橿原行または天理行普通に乗り替えて2ッ目「西ノ京」駅下車、所要時間約45分

定　員　40名

会　費　1,300円（写経料その他、当日受付でいただきます。）

申　込　往復はがきに限ります。はがきは1名に1枚限りとし、「薬師寺金堂見学会」と明記の上、氏名・勤務先名・所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上1月16日(金)までに建築協会事業課へ。ただし定員に達した時は抽せんで決定します。

◀サントリー山崎ディスティラリーを見る

本会恒例の酒蔵見学を、本年度はウイスキーのふる里といわれているサントリー山崎工場をみることにいたします。

山崎ディスティラリーはわが国初のウイスキー工場として、大正12年にサントリー㈱の初代社長、鳥井信治郎氏が全国各地を踏査してやっと捜しあてて設立されたもので、この地、山崎は山水の利に恵まれ、ウイスキー造りには最適の条件を整えたところで工場の敷地の90%までがモルト（原酒）ウイスキーの貯蔵庫にあてられ、酒庫には膨大な数のモルトウイスキーの樽が永い眠りをつづけており、恵まれた風土のもとで《世界の名酒サントリー》と呼ばれるにふさわしいすぐれたウイスキーを次々と世に送り出しています。

今回、サントリー㈱のご厚意と安井建築設計事務所のご協力により久々にウイスキー工場の見学を企画いたしました。多数ご参加下さい。

日　時　昭和51年2月6日(金)　集合　14時→解散　16時

集合場所　国鉄・東海道線「山崎」駅改札口付近・目標会旗

〔参考〕交通費は各自負担のこと。大阪より片道150円
国鉄上り（京都方面）快速乗車→「高槻」駅にて普通に乗り替えて1ッ目の「山崎」駅下車（所要時大阪より約30分）

定　員　50名

会　費　300円

申　込　往復はがきに限ります。はがきは1名に1枚限りとし、氏名・勤務先名・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「サントリー山崎工場を見る」と明記の上1月26日(月)までに建築協会事業課へ。ただし定員に達した時は抽せんで決定します。

◀伊藤萬ビル新築工事の見学

船場のどまん中、繊維街とオフィス街の中心地、御堂筋本町の東南かどに総合商社伊藤萬商事のビルが建設中です。

大正8年当時、SRC造石貼の大阪でも有数の建物であった旧伊藤萬ビルの跡地に建てられたこのビルは、都市の環境浄化に積極的に取り組む意図のもとに、このたび毎日工業技術賞を受賞された竹中工務店の開発による無公害の省エネルギー空調システム「TACNES-HR」が採用されています。

また外国産マホガニヤンレットの花崗石を用いた外装、2.5m四方の大型ガラスで構成された窓が特徴的で、御堂筋面にピロティーより地下店舗へ、地下鉄へと直接連絡できる都市機能を有した合理的な美しいオフィスビルとなっています。

今回は竹中工務店殿のご協力により見学いたします。多数ご参加下さい。

日　時　昭和51年2月28日(土)集合14：00→解散16：00

集合場所　伊藤萬ビル・1号門出入口付近（同ビルの北側）・目標会旗
ただし地下鉄・御堂筋線「本町」駅下車、地上へ→御堂筋、本町交叉点の東南角地

定　員　40名

会　費　200円

申　込　往復はがきに限ります。はがきは1名に1枚限りとし、氏名・勤務先名・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「伊藤萬ビルの見学会」と明記の上2月16日(月)までに建築協会事業課へ。ただし定員に達した時は抽せんで決定します。

工事概要

所在地　大阪市東区本町4丁目46番地
建築主　伊藤萬ビルディング株式会社
設計・施工　株式会社竹中工務店
構造種別　基礎　PC造　骨組　地下階SRC造　地上階　柱SRC造、梁S造
床版　1階床以下　RC造　2階床以上　デッキプレート捨型枠PC造
階数　地下3F、地上13F、塔屋4F
高さ　地上　GL+56.50m　地下　GL−14.15m
敷地面積　2,422.24m²　基準階階高　3.40m
建築面積　1,721.68m²　用途　3F→13F　事務所
延床面積　26,267.06m²　地下3F→2F　銀行・店舗・駐車場
基準階床面積　1,113.17m²　工期　昭和48年11月14日→昭和51年3月末日

このたび㈱あめりか屋社長前野慶太郎氏より、会館4階集会室の天井修理、並びに天井及び壁面の塗装工事をご寄贈いただきました。お陰で室内も見違える程美しくなりました。ここに誌してそのご好意に対し厚く御礼申しあげます。

昭和50年12月　社団法人日本建築協会

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

安部　章

松下電器産業株式会社　近畿電設営業所
〒541 大阪市東区高麗橋1—12(和幸ビル)　電話06(201)1421

安部恒夫

安部建設株式会社　取締役社長
〒559 大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号 電話06(678)3212代
〒559 自宅・大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号
電話06(671)7774

阿部暢

東洋土建株式会社　取締役社長
〒546 大阪市東住吉区田辺東ノ町6丁目33 電話06(692)1331～5
〒546 自宅・大阪市東住吉区田辺本町3丁目188
電話06(629)0780

名誉正会員

青盛繁男

青盛建材株式会社　取締役社長
〒733 広島市舟入幸町19—10　電話0822(92)3200
〒734 自宅・広島市翠町1507の10　電話0822(51)6730

青山正義

株式会社 青山建築積算事務所 取締役所長
〒550 大阪市西区江戸堀1—128　江南ビル　電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市右京区大原野上里勝山町14—6
電話075(331)8082

赤崎尚信

株式会社　赤崎建築事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区立売堀北通1の90　第三富士ビル
電話06(541)7625代
〒659 自宅・芦屋市三條町47番30　電話0797(31)8781

浅井貞治

株式会社 双星社竹腰建築事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区豊宮町3番2住生豊崎ビル　電話06(373)2281
〒659 自宅・芦屋市東山町213　ローズハイツ芦屋406号
電話0797(31)2339

代表取締役社長 **浅井潤一**
代表取締役所長 **浅井　謙**

株式会社 浅井建築設計事務所
〒542 大阪市南区安堂寺橋通5—30　第2農林会館5階
電話06(245)4651代
〒583 自宅・羽曳野市羽曳ケ丘2—5—6　電話0729(56)2152
〒583 自宅・羽曳野市羽曳ケ丘5—18—1　電話0729(57)3588

浅井　泰

株式会社　笠谷工務店　専務取締役
〒659 芦屋市業平町4—2　電話 0797 (22) 0703
〒659 自宅・芦屋市翠ケ丘町13—5　電話0797(22)5291

浅井洋司

RAD同人 団建築事務所代表
〒542 大阪市南区北桃谷町33—1　第3松屋ビル983～4号
電話06(763)3109

浅野真澄

株式会社 浅野建築設計事務所 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区城南寺町9—27　電話06(768)0201
〒572 自宅・寝屋川市成田西町4番21号　電話0720(31)1750

浅沼茂夫

株式会社　淺　沼　組　取締役社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話06(768)5222
〒168 自宅・東京都杉並区下高井戸3丁目17番1号
電話03(302)1922

浅沼誠夫

株式会社　淺　沼　組　専務取締役
〒543 大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話06(768)5222
〒630-02 自宅・生駒市東松ケ丘7番30号　電話07437(3)4805

浅海正雄

浅海電気株式会社　代表取締役社長
〒530 大阪市北区老松町1丁目22番地　電話06(362)8701～8
〒665 自宅・宝塚市御殿山2丁目31—50—109号
電話0797(85)0745

東　秀保

株式会社　東建築設計事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区天神橋筋3丁目67　マチスビル
電話06(358)5598
〒572 自宅・大阪府寝屋川市成田町15—25　電話0720(31)3986

姉川正男

東光電気工事株式会社大阪支社取締役支社長
〒541 大阪市東区高麗橋5丁目28番地　電話06(202)0325
〒565 自宅・吹田市藤白台4の30の12　電話06(872)3214

網野　栄

株式会社　研　文　社　代表取締役
〒530 大阪市北区堂山町66　電話06(361)0351代

安藤俊雄

安藤俊雄建築設計事務所　所　長
〒540大阪市東区常盤町2の30高木産業ビル 電話06(942)4602～3
〒560 自宅・豊中市上野西2丁目16—29　電話06(856)0619

井崎梁次

株式会社　井崎工務店　代表取締役
〒640 和歌山市北河岸4丁目1番地　電話0734(24)5195代
〒640 自宅・和歌山市玉薬丁2丁目5番地　電話0734(22)0382

井上秋次

井上窯業株式会社　代表取締役
〒543 大阪市天王寺区生玉町40番地　電話06(771)2825～7
〒659 自宅・芦屋市川西町4番23号　電話0797 (22) 5930

井上浄夫

株式会社　井上冷熱　代表取締役会長
〒550 大阪市西区江戸堀1の101　電話06(441)8531代
〒663 自宅・西宮市甲子園三番町9の5　電話0789(41)4661

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

井上久雄

株式会社井上久雄建築設計事務所 代表取締役所長

〒550 大阪市西区京町堀1—38 千島ビル
電話企画部06(443)7386
設計部06(443)7338

〒565 自宅・吹田市青山台3丁目20番7号 電話06(831)3256

名誉正会員

井上福蔵

株式会社 井 上 組 代表取締役

〒534 大阪市都島区網島町6番25号 電話06(352)4031～4
電話 06(351)0530

〒577 自宅・東大阪市東石切町6丁目4番4号 電話0729(81)2526

井上達明

株式会社 井上達明建築事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区鶴野町51番地 安田ビル 電話06(372)2821代

〒555 自宅・大阪市西淀川区竹島3丁目7の4 電話06(473)1069

伊地知堅一

大鉄工業株式会社 取締役社長

〒530 大阪市北区茶屋町38番地 電話06(361)0171

〒661自宅・尼崎市南武庫之荘5丁目13番15号 電話06(438)2148

伊藤喜三郎

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 代表取締役社長

〒102 東京都千代田区紀尾井町3番地 文芸春秋ビル
電話03(263)1481代～7

〒141 東京都品川区東五反田3-16-55 電話03(441)5437

伊藤三郎

大栄電気株式会社大阪支店 専務取締役支店長

〒550 大阪市西区京町堀2—35 電話06(443)0631

〒550 自宅・豊中市北桜塚3—8—7 電話06(854)7747

飯田精次郎

共同設計株式会社 取締役社長

〒530 大阪市北区富田町9番地 電話06(364)5836

〒105 東京事務所・東京都渋谷区渋谷1丁目10番1号
八千代ビル内 電話03(407)0912 03(409)1837

〒730 広島事務所・広島市牛田本町4丁目8—16
電話0822(21)0436

生田重政

日本建設株式会社 取締役社長

〒541 大阪市東区安土町4丁目5番地 電話06(261)7591～8

〒659 自宅・芦屋市朝日ケ丘22番11号 電話0797(23)0657

池田昭

株式会社 池田宮彦設計事務所 代表取締役

〒542 大阪市南区瓦屋町三番丁68 オートセンタービル3階
電話06(761)0360

〒591 自宅・堺市東上ノ芝町2丁321 電話0722(52)7753

諫早信夫

フドウ建研株式会社 社長

〒110 東京都台東区台東1—2—1 日本地所第二ビル
電話03(835)2661

〒157 東京都世田谷区南烏山2—18—4 電話03(300)3705

石井蔀

東洋基礎工業株式会社大阪営業所 常務取締役営業所長

〒550 大阪市西区京町堀1丁目156 中谷ビル
電話06(441)6678～9

〒565 自宅・大阪府豊中市新千里北町3丁目1番地
新千里北町第三団地C40の204 電話06(872)3050

石上利吉

株式会社 不二建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区江戸堀北通1—19 オカダビル
電話06(441)2232～3

〒662 自宅・西宮市枝川町10番69の304 電話0798(48)7756

石川清

星和企業株式会社 取締役兼技師長 建設部長兼調査役

〒533 大阪市東淀川区山口町325番の1
星和地所新大阪駅前ビル10F 電話06(323)9374

〒546 自宅・大阪市東住吉区田辺東之町1の56 電話06(719)7915

名誉正会員

石川寛三
石川宏

石川建築事務所

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町111番地 電話06(779)9491代

〒665 自宅・兵庫県宝塚市雲雀丘山手1丁目5番1号
電話0727(59)2963

石川良興

日本冷熱工産株式会社 取締役社長

〒564 吹田市豊津町40番38号 電話06(387)2000

〒560 自宅・豊中市螢ケ池東町4丁目7番12号 電話06(841)0032

石田綽男

株式会社 石田建築研究所 代表取締役

〒108 東京都港区高輪4丁目2番6号 電話03(443)9321～3

〒150 東京都渋谷区宇田川町2—1 渋谷ホームズ320
電話03(476)5244

〒155 自宅・東京都世田谷区代沢4—31—6 電話03(422)4452

石原季夫

株式会社 石原建築設計事務所 代表取締役

〒530 大阪事務所 大阪市北区宗是町1 大ビル916
電話06(443)1225～6

〒100 東京事務所 東京都千代田区内幸町1—3—6
新日比谷ビル 電話03(502)8921～4

〒650 自宅・神戸市生田区中山手通6—38 電話078(341)2073

泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区真砂町48-1 オオシマビル 電話06(364)9071

板井正彦

西松建設株式会社大阪建築支店 取締役支店長

〒540 大阪市東区釣鐘町2丁目41番地 電話06(942)1131大代

〒272 留守宅・市川市平田3—21—5 電話0473(23)2647

市川繁雄

日本管工業株式会社 取締役社長

〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～5

〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

今西茂雄

株式会社今西建築デザインルーム代表取締役

〒550 大阪市西区北堀江通2丁目47番地 電話06(541)3051～3

〒550 自宅・大阪市西区北堀江通2丁目47番地 電話06(541)3054

謹賀新年　昭和51年元旦　(50音順)

今西壽雄

株式会社 今西組 取締役社長
〒543 大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1 上六ビル内 電話06(779)3361
〒592 自宅・大阪府高石市羽衣2丁目4番1号 電話0722(61)1179

今元康彦

近畿電気工事株式会社 取締役副会長
〒530 大阪市北区南扇町11番地 電話06(312)1281
〒560 自宅・豊中市北桜塚4丁目5番5号 電話06(852)5887

岩井金三郎

株式会社 大亜建設 代表取締役
〒460 名古屋市中区栄4－1－1 中日ビル 電話052(262)7531
〒464 自宅・名古屋市千種区月見坂町1－23 電話052(751)3724

名誉正会員

岩佐信也

〒630 自宅・奈良市法蓮町南2丁目1079の1 電話0742(23)2890

名誉正会員

岩崎甚太郎

〒666 自宅・兵庫県川西市花屋敷1丁目32の11 電話0727(59)9317

岩崎茂雄

恒和化学工業株式会社 取締役会長
〒561 大阪府豊中市豊南町南6丁目3番13号 電話06(332)5721
〒659 自宅・芦屋市三條町86番地 電話0797(22)2746

岩崎徹

株式会社 岩崎建築設計事務所 代表取締役
〒630 本社・奈良市法蓮立花町1046 電話0742(22)2217
〒630 奈良事務所・奈良市大森町57の3 農協会館内 電話0742(22)2283代
〒631 自宅・奈良市学園北1丁目5－11 電話0742(45)1513

岩崎久雄

高千穂電機株式会社 取締役社長
〒534 大阪市都島区中野町4丁目8番10号 電話06(358)1171代
〒565 自宅・豊中市新千里南町3丁目34－7 電話06(831)5118

岩崎弘

株式会社教育施設研究所大阪事務所常務取締役所長
〒550 大阪市西区立売堀北通2の27 電話 06(531)0913
大信ビル2階3階 電話 06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町1046 電話0742(22)2217

岩本義心

野村建設工業株式会社 取締役社長
〒541 大阪市東区高麗橋2丁目9番地 電話06(202)4791代

上田宇三

株式会社 日匠設計 代表取締役
〒580 本社・大阪事務所 大阪府松原市西大塚1－5－6 電話0723(31)3857代
〒529－18 滋賀事務所 滋賀県甲賀郡信楽町長野 電話07488(2)1378
〒580 自宅・大阪府松原市西大塚1－5－20 電話0723(31)1554

上西圭治

株式会社 大氣社 代表取締役社長
〒530 大阪市北区中之島2－22 新朝日ビル5階 電話06(203)3721
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14 電話0797(22)5949

植野寿雄

株式会社 寿建築積算事務所 所長
〒542 大阪市南区塩町通2丁目28 高津ビル 電話06(261)2720
〒588 自宅・堺市大美野5－9 電話0722(37)1162

内輪勝

株式会社 創構造建築事務所 代表取締役
〒733 広島市十日市町1丁目2番20号 電話0822(91)4495
〒730 自宅・広島市中山299の6 電話0822(89)1658

浦野三男

株式会社 浦野設計事務所 取締役社長
〒452 名古屋・名古屋市西区上小田井2丁目10番地 電話052(503)1211・(502)1991
〒113 東東・東京都文京区本郷1－27－8 本郷ハウス 電話03(811)9128・9585
〒452 自宅・名古屋市西区上小田井2丁目10番地 電話052(502)1991・4501

浦辺鎮太郎

株式会社 浦辺建築事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区梅田8番地 新阪急ビル 電話06 (341)1727 (341)1680
〒662 自宅・西宮市甲東園1丁目7の8 電話 0798(51)0389

榎栄

株式会社 東峰美建
〒574 大阪府大東市赤井1丁目3の23 電話 0720(72)1850代

榎習一

株式会社 三都建築事務所 取締役所長
〒540 大阪市東区谷町4丁目2 金岡ビル内 電話06(941)7113代
〒567 自宅・茨木市美沢町7 A－209 電話0726(35)1834

遠藤剛生

株式会社 遠藤剛生建築設計事務所 所長
〒541 大阪市東区伏見町2丁目22 青山ビル 電話06(203)0888
〒562 自宅・箕面市桜ケ丘3丁目10番4号 電話 0727(22)2064

小川正

株式会社 竹中工務店 常務取締役
〒541 大阪市東区本町4－27 電話 06 (252) 1201

小河吉之助

株式会社 小河建築設計事務所 代表取締役所長
〒542 本社・大阪市南区瓦屋町4番丁8 電話06(763)2301代
〒106 支社・東京都港区六本木5－18－3 六本木ベニービル7階 電話 03(583)9501代
分室・和歌山・箕面新船場・北陸金沢・滋賀
〒573 自宅・枚方市香里ケ丘12丁目22－37 電話 0720(54)0690

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

尾原庸夫

株式会社 松田平田坂本設計事務所 大阪事務所所長

〒530 大阪市北区堂島上3－10 電話 06 (344) 7821

〒338 自宅・埼玉県与野市大字上落合540—1—1—103 電話0488(52)7544

大井弘治郎

株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1丁目76福岡ビル 電話06(444)4521～2

〒562 自宅・箕面市百楽荘4丁目4－11 電話 0727(21)4113

名誉正会員

大倉三郎

西日本工業大学 学長

〒606 自宅・京都市左京区下鴨北園町33 電話 075(781)0636

大下繁樹

日成建設株式会社 取締役社長

〒730 広島市東白島町17番4号 電話0822(28)0281代

〒730 自宅・広島市白島北町13番18号 電話0822(21)1863

名誉正会員

大下順三郎

大下順良

大下浩正

熊澤六朗

平和建設株式会社

〒536 大阪市城東区関目町1丁目40 電話 06(939)4741代

大林芳郎

株式会社 大林組 取締役社長

〒540 大阪市東区京橋3丁目37番地 電話 06 (943)1131

〒658 自宅・神戸市東灘区御影町御影字上の山1682の1 電話 078(85)2501

大森久司

近畿電気工事株式会社 取締役会長

〒530 大阪市北区南扇町11番地 電話 06 (312) 1281

〒630 自宅・奈良市今辻子町12 電話 0742(22) 2390

岡澤勇

岡澤建築設計事務所 所長

〒530 大阪市北区梅ヶ枝町146 梅ヶ枝ビル2階 電話 06(362)6082代

〒567 自宅・大阪府茨木市大字清水433 電話 0726(43)5230・8953

名誉正会員

岡田孝男

帝塚山学院大学 教授

〒589 大阪府南河内郡狭山町 電話 0723(65)0865

〒565 自宅・吹田市千里山西5丁目40—4 電話 06 (384)3019

岡橋作太郎

株式会社 日建設計 相談役

岡本繁一

近畿電気工事株式会社 取締役社長

〒530 大阪市北区南扇町11番地 電話 06 (312) 1281

〒640 自宅・和歌山市三木町南ノ丁18 電話0734(23)0308

岡本行善

株式会社 昭和設計 代表取締役社長

〒550 大阪市西区長堀北通1丁目8番地 四ツ橋ビル 電話 06(532)3421代

〒659 自宅・芦屋市岩園町35－7 電話0797(31)3201

岡本全男

筧組建設株式会社 取締役社長

〒543 大阪市天王寺区東高津町14—5 電話06(768)1515代

〒557 自宅・大阪市西成区玉出東1丁目6番15号 電話06(661)3317

岡山竹雄

株式会社 岡山建築事務所 一級建築士事務所 代表取締役

〒604 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町670 京都フクトクビル7F 電話075(255)0537～8

〒612 自宅・京都市伏見区深草平田町18 電話075(641)0536

奥野晴弘

株式会社和光建築設計事務所代表取締役社長

〒556 大阪市浪速区新川3丁目630 電話 06(633)0141～3

〒550 自宅・大阪市西区北堀江御池通3丁目40番地 電話06(541)0261

奥村嘉正

奥村重兵衛株式会社 取締役社長

〒530 大阪市北区伊勢町22番地 電話06(312)4131代

〒620 自宅・西宮市南郷町14番34号 電話0798(71)0011

奥村安太郎

奥村組土木興業株式会社 代表取締役社長

〒552 大阪市港区市岡3丁目5番18号 電話06(572)5301

〒552 自宅・大阪市港区市岡3丁目8番3号 電話06(571)0571

海上静一

株式会社 海上静一建築事務所 代表取締役

〒541 大阪市東区博労町2丁目41番地 中博ビル 電話 06(271)1149・(261)4428～9

〒591 自宅・大阪府堺市日置荘西町13番地2 電話0722(85)2120

梶本秀尾

八千代電設工業株式会社 取締役社長

〒540 大阪市東区森之宮東之町392 電話 06(941)6531代

〒588 自宅・堺市大美野107の4 電話 0722 (37) 2548

数井利美

株式会社 西村建築事務所 取締役社長

〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1番地 旭ビル 電話 078(521)0205・0207

〒654 自宅・神戸市須磨区白川台2丁目39—13 電話078(741)5862

兼高勇

有限会社 兼高設計事務所 代表取締役

〒590 堺市翁橋1丁4番5号 スカイビル堺3F 電話0722(22)1643

〒590 自宅・堺市三国ケ丘御幸通81-2 電話0722(32)1603

謹賀新年　昭和51年元旦　(50音順)

鎌谷秀男

修成建設専門学校　校長

〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19—30　電話06(474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種4丁目3番3号　電話0797(72)1380

神谷新一

コクヨ株式会社　取締役

〒557 大阪市東成区大今里南6—1—1　電話06(976)1221
〒657 自宅・神戸市灘区五毛通3—2—21　電話078(861)0596

亀井晃治

一級建築士事務所 株式会社 A.R.I.(あり)建築事務所　代表取締役社長

〒542 大阪市南区谷町7丁目12番地の1 新谷町第3ビル・2F　電話06(768)1771代
〒631 自宅・奈良市中町1番地の479　電話0742(43)1226

柄谷吉太郎

株式会社 柄谷工務店　取締役社長

〒660 尼崎市玄番南之町4番地　電話06(411)1451

川岸繁夫

株式会社 川岸窯業商店　代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町2丁目98番地　電話06(532)0461代
〒563 自宅・池田市天神1丁目10—10　電話0727(61)8598

川口喜代枝

株式会社 篠田川口建築事務所　所長
株式会社 協同設備事務所　所長

〒461 名古屋市東区富士塚町3丁目2番地 電話052(962)7581代
〒464 自宅・名古屋市千種区稲舟通2丁目7番地 電話052(751)2613

川崎軍一

近畿電気工事株式会社広島支社取締役支社長

〒730 広島市稲荷町4番1号　住友生命広島ビル 電話0822(62)1471
〒734 広島市宇品御幸2丁目2番2号　電話0822(51)7535

川崎敬三

株式会社 近畿建設　取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀5丁目118 和光ビル　電話06(448)5601
〒556 自宅・大阪市浪速区新川2丁目666　電話06(632)7369

川谷勇

川谷建築設計事務所　自営

〒606 京都市左京区一乗寺清水町15　電話075(781)1148代
〒606 自宅・京都市左京区一乗寺清水町15 電話075(781)1148代

川村宏

株式会社 汎建製作所　代表取締役

〒554 大阪市此花区西島町1丁目8番5号　電話06(462)4661
〒699-11 自宅・大和郡山市冠山町2—55　電話07435(2)5995

河裾和夫

螢光産業株式会社　代表取締役

〒531大阪市大淀区本庄川崎町2丁目18番地4 電話06(371)5146

河原義夫

新日本空調株式会社大阪支店　取締役大阪支店長

〒530 大阪市北区堂島浜通り1—25—1　電話06(344)6031
〒659 自宅・芦屋市岩園町23番34号　電話0797(31)5492

神崎吾明

株式会社 神崎組　取締役社長

〒670 姫路市北條口86の3　電話0792(23)2021代
〒670 自宅・姫路市北條口62　電話0792(23)0210

木藤友樹

株式会社 団地サービス西部支社　常務取締役 西部支社長

〒536 大阪市城東区森之宮1丁目5番101号　電話06(969)1001

木下國男

内外パーキング施設株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1丁目32番地　電話06(441)0477代
〒560 自宅・豊中市北桜塚3丁目9番15号　電話06(853)0892

木下秀一

株式会社 ナイガイ　代表取締役社長

〒530 大阪市北区堂島北町16　電話06(345)9055 06(343)1727直
〒550 自宅・大阪市西区京町堀2丁目102　電話06(441)2503

名誉正会員

城戸武男

株式会社 城戸武男建築事務所 代表取締役所長

〒460 名古屋市中区栄1—22—27　電話052(231)5451代
〒460 自宅・名古屋市中区栄1—22—27　電話052(201)4061

清田文永

株式会社 梓設計　代表取締役社長

〒141 東京都品川区西五反田2—27—3　電話03(492)3591
〒164 自宅・東京都中野区中野5—37—23　電話03(387)1539

熊澤六朗

平和建設株式会社　常務取締役

〒536 大阪市城東区関目町1丁目40番地 電話06(939)4741代～5
〒564 自宅・吹田市内本町3丁目23番8号　電話06(381)0451

栗山和三

株式会社 シエル石油 大阪発売所　本部長

〒532 大阪市淀川区西中島2丁目11番30号　電話 06(303)7131
〒651-11 自宅・神戸市北区若葉台1—4—29　電話078(593)7528

黒田譲

黒田建設株式会社　専務取締役

〒830 久留米市大石町32番地　電話0942(32)3417
〒830 自宅・久留米市白山町547番地　電話0942(34)8527

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

桑田正造

桑田硝子株式会社　取締役社長

〒650 神戸市生田区多聞通4－9　電話078(371)1861代

〒653 自宅・神戸市長田区五位ノ池町3丁目1-1
電話078(621)3807

名誉正会員

小早川美武

美工装飾株式会社　社長

〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9—41　電話 06(651)0105

〒557 自宅・大阪市西成区玉出東2丁目10—17
電話 06(653)0023

児島義矩

株式会社　巴商会大阪支店　取締役 大阪支店長

〒530 大阪市北区堂島上2－38　電話06(344)1441代

〒665 宝塚市雲雀ケ丘1－9－8　メゾン花屋敷203号

小泉善重

株式会社　栄和設計事務所 取締役社長

〒553 大阪市福島区福島3丁目1番54号　電話06(452)1651

〒583 自宅・大阪府羽曳野市高鷲7丁目3番11号
電話0729(55)4416

小林一夫

甲南建材興業株式会社　代表取締役 常務取締役

〒532 大阪市淀川区十三本町2-4-28　電話06(309)0841

高武主計

コータケ建築設計事務所　所長

〒550 大阪市西区江戸堀5丁目110番地の2　末弘ビル
電話06(448)2408・0178

〒550自宅・大阪市西区北堀江御池通6丁目21
北堀江コーポ706号　電話06(531)2812

小坂忠勝

株式会社　東海設計　代表取締役

〒460 名古屋市中区栄3－7－1　電話052(261)2651代

〒467 自宅・名古屋市瑞穂区岳見町4—20—2 電話052(831)4459

小林清

株式会社　新住宅社　代表取締役

〒530 大阪市北区常安町17番地　電話06(444)4677

〒545 自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号 電話06(654)0584

河内義就

有限会社 河内義就設計事務所 代表取締役

〒730 広島市上幟町2番37号　電話0822(28)2271代

〒739-17自宅・広島市高陽町字翠光台1—237 電話08284(2)4141

小崎修

株式会社　ミラノ工務店　相談役

〒604 京都市中京区夷川通河原町東入絆田町310
電話075(231)0177

〒606 自宅・京都市左京区下鴨北園町63番地 電話075(781)0676

小林四郎

太陽工藤工事株式会社　取締役社長

〒553 大阪市福島区福島7丁目22番8号　電話06(452)1151大代

鴻池藤一

株式会社　鴻池組　取締役社長

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地
ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)

〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86　電話075(461)1526

小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所 取締役社長

〒541 大阪市東区南本町4丁目41番地 イヨビル6階
電話06(252)8088代

〒101 東京事務所・東京都千代田区岩本町2丁目9番地
藤野ビル　電話 03 (861)9538

〒662 自宅・西宮市五月ケ丘6番35号　電話 0798(33)5120

小林政一郎

東洋土建株式会社　取締役

〒546 大阪市東住吉区田辺東之町6-33　電話06(692)1331代

〒518-64 自宅・三重県名張市桔梗丘1-6-61　電話05956(5)0400

支所長 近藤貢

日本住宅パネル工業協同組合　大阪支所

〒530 大阪市北区富田町46番地
第二富田町ビル　電話06(313)3321

小中村繁次郎

冨士建設機工株式会社　代表取締役

〒601 京都市南区東九條河西町27番地　電話075(691)0791～2

〒601 自宅・京都市南区東九條河西町27番地 電話075(691)8224

小林得志

株式会社 小林得志建築事務所 代表取締役所長

〒530 大阪市北区堂島北町20　藤田ビル　電話 06(341) 5650 5658 5659

〒662 自宅・西宮市丸橋町6－16　電話0798(66) 2394

佐々木米太郎

社団法人　日本建築協会京都支部　支部長

〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町645
電話075(211)2857
(211)2877

小西岬

株式会社 田中小西建築事務所 取締役社長

〒550 大阪市西区阿波座南通2の60　電話06(532)4051

〒546 自宅・大阪市東住吉区平野西脇町373の4
電話06(701)0297

小山武

住友建設株式会社大阪支店　常務取締役 大阪支店長

〒541 大阪市東区北浜5丁目22　電話06(220)8712

〒532 自宅・大阪市淀川区西中島1丁目11の16
メゾン淀川1018号　電話06(304)2805

佐治誠次

株式会社 佐治建築事務所　代表取締役

〒550 大阪市西区立売堀南通1—24　カクダイビル
電話06(541)5831

〒662 自宅・西宮市苦楽園一番町1—36　電話0798(36)2516

謹賀新年

昭和51年元旦

（50音順）

佐藤音松

株式会社 今西組 取締役会長

〒543 大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1 上六ビル内
電話06(779)3361

〒659 自宅・芦屋市六麓荘町12番32号 電話0797(32)0310

佐藤次夫

株式会社 佐藤武夫設計事務所 代表取締役

〒105 東京都港区新橋4丁目6番15号 DKB新橋ビル6階
電話03(436)3511代

〒156 自宅・東京都世田谷区赤堤1—16—13 電話03(420)5810

佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所 取締役社長

〒540 大阪市東区島町2丁目7番地 電話06(943)1371代

〒662 自宅・西宮市雲井町4の9 電話0798(22)1569

佐野春吉

森井電業株式会社 取締役副社長

〒530 大阪市北区玉江町1丁目17番地 正宗ビル
電話06(443)8381大代

雑賀孝夫

株式会社 雑賀建築設計事務所 代表取締役

〒640 和歌山市西汀丁1番地 電話0734(31)1371代～5

〒640 自宅・和歌山市小松原通り5丁目1番地
電話0734(23)5888

雑賀幸夫

株式会社 大阪雑賀建築事務所 代表取締役

〒543 大阪市天王寺区東平野町5丁目9番地 吉盛ビル
電話06(772)4426・4436

〒573 自宅・枚方市香里ケ丘7丁目11—16 電話0720(54)0004

澤井修

株式会社 大和商会 取締役社長

〒542 大阪市南区高津町4番丁73 電話 06(631)6221代

〒577 自宅・東大阪市下小阪79 電話 06 (721) 0098

四方靖郎

四方設計工務株式会社
一級建築士事務所 代表取締役社長

〒612 京都市伏見区深草関屋敷町32—2
電話075(641)6091・6092・6324

〒612 自宅・京都市伏見区深草関屋敷町32—2

紫冨田忠雄

日新工業株式会社大阪支店 支店長

〒533 大阪市東淀川区瑞光通4丁目30番地の2
電話06(329)7737大代

〒533 自宅・大阪市東淀川区瑞光通4—30—2 電話06(328)3343

清水和彌

株式会社 清水和彌設計事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区万才町43 浪速ビル 電話 06(312)7278

〒560 自宅・豊中市中桜塚4丁目3番10号 電話 06(852)7056

清水愛明

株式会社 清水工業所 代表取締役

〒531 大阪市大淀区南浜町3—14 電話06(372)2851代

〒662 自宅・兵庫県西宮市南郷町3—12 電話0798(22)1184

宍戸正輔

日本建鐵株式会社大阪支店 支店長

〒530 大阪市北区梅田町47 新阪神ビル9階 電話06(341)4331

〒664 自宅・伊丹市梅ノ木6—7—19 吉川マンション
電話0727(72)3768

品川二三男

株式会社 品川建築事務所 代表取締役所長

〒910 福井市田原1丁目1番20号 電話0776(22)6683

〒910 自宅・福井市経田町70—2 電話0776(23)3552

名誉正会員

篠原太郎

株式会社 なにわ建築設計事務所 取締役所長

〒550 大阪市西区南堀江通2の48 電話06(531)4428

〒562 自宅・箕面市箕面5—7—6 電話0727(23)3836

渋谷幸雄

渋谷金属産業株式会社 取締役社長

〒542 大阪市南区鍛冶屋町5 2 電話06(211)7333

〒581 自宅・八尾市二俣252の7 電話0729(22)8644

島田孝治

株式会社 片山鉄工所 代表取締役社長

〒551 大阪市大正区南恩加島町1番地 電話06(552)1231大代

〒661 自宅・兵庫県尼崎市武庫之荘3丁目1-1
イトーピア308 電話06(432)7387

島村忠男

西日本建設業保証株式会社 取締役社長

〒540 大阪市東区上町5番地 電話06(762)5701代

白井周二

清水建設株式会社 常任顧問

〒550 大阪市西区土佐堀通2—2 電話 06(443)5431

〒612 自宅・京都市伏見区桃山町島津53—2 電話075(601)3435

名誉正会員

白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事

〒541 大阪市東区両替町1丁目13番地 電話06(942)1461

〒558 自宅・大阪市住吉区墨江中1の68 電話06(671)3792

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所 取締役社長

〒530 大阪市北区高垣町1番地 電話06(372)7151代

進藤汎海

株式会社 企画設計社 代表取締役

〒556 大阪市浪速区日本橋東4—16 電話06(643)3631

〒662 自宅・西宮市柏堂町83—3 電話0798(72)3070

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

須賀　孝

須賀工業株式会社　取締役社長
〒550 大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話06(441)5171
〒662 自宅・西宮市雲井町6番14号　電話0798(33)0269

須賀好富

株式会社　近畿建築構造研究所　所長
〒543 大阪市天王寺区椎寺町76 天王ビル　電話06(771)3216代
〒577 自宅・東大阪市下小阪172－2　電話06(789)8114

菅谷健児

大阪電気暖房株式会社　取締役社長
〒550 大阪市西区江戸堀1－60　電話06(441)8231

杉村正三郎

阪急電気工事株式会社　取締役社長
〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目13番15号　電話06(302)0231代
〒665 自宅・宝塚市栄町3丁目9番20号　電話0797(86)3623

銭高輝之

株式会社　銭高組　取締役社長
〒550-91 大阪市西区阿波座上通3丁目2番地
電話06(531)6431大代

相臺淳吉

日新工業株式会社　専務取締役
〒120 東京都足立区千住東2丁目21番28号　電話03(882)2424
〒271 自宅・松戸市北松戸3の7の3　電話0473(62)9314

田賀勉

株式会社 田賀建築設計事務所 取締役社長
〒550 大阪市西区北堀江通4丁目33番地　電話06(531)7193代
〒586 自宅・河内長野市千代田台町13—13　電話07215(3)0455

田口信夫

株式会社　恵美須建設　代表取締役
〒606 京都市左京区浄土寺馬場町151 電話075(761)1151
〒606 自宅・京都市左京区鹿ケ谷法然院町7 電話075(771)3543

田中政二

大島應用化学工業株式会社　取締役社長
〒578 東大阪市新庄114番地　電話06(745)5121代
06(745)6736～8
〒536 自宅・大阪市城東区野江東ノ町4-99　電話06(931)3506

田渕誠也

株式会社 田渕建築設計事務所 代表取締役
〒640 和歌山市下町19番地　電話0734(31)0261～2
〒640 自宅・和歌山市下町19番地　電話0734(31)0261～2

田村隆資

田村建築設計事務所　所長
〒640 和歌山市北ノ新地田町6－1　電話0734(22)6751
〒640 自宅・和歌山市吉屋丁2－1　電話0734(24)6038

高橋慶夫

株式会社　大建設計　取締役社長
〒550 大阪市西区京町堀2丁目75　電話06(441)9351
〒533 自宅・大阪市東淀川区相川中通2丁目2-4
電話06(340)0935

名誉正会員

竹腰健造

株式会社　双星社竹腰建築事務所
〒530 大阪市北区豊宮町3番2 住生豊崎ビル　電話06(373)2281
〒662 自宅・西宮市松園町7番22号　電話0798(24)2650

橘泰治

東邦パーライト株式会社　取締役社長
〒540 大阪市東区森之宮西の町594　電話06(941)9445～9
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号　電話0722(91)2267

立田清

有限会社 柳々堂(建築専門書店)
〒550 大阪市西区京町堀2－49　電話06(443)0167～8
営業所：鴻池ビル　電話06(251)8233

谷川丈夫

株式会社　西原衛生工業所大阪店　代表取締役 専務
〒531 大阪市大淀区中津南通4丁目11番地　電話06(458)3531代

知見義夫

春日設備工業株式会社　取締役社長
〒601 京都市南区西九条春日町48　電話075(681)6455(691)9228
〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48　電話075(691)3860

地頭政人

小俣シャッター工業株式会社 大阪駐在監査役
〒530 大阪市北区此花町2丁目51　第5新興ビル
電話06(353)7377代
〒661 自宅・尼崎市東富松字長溝331—25　電話06(421)5228

千原大五郎

株式会社　大建設計　代表取締役副社長
〒105 東京本社・東京都港区新橋1—10—7　大和銀行新橋ビル
電話03(572)4595代
〒550 大阪本社・大阪市西区京町堀2—75　電話06(441)9351代
〒251 自宅・神奈川県藤沢市鵠沼松が岡1—15—25
電話0466(23)3124

津村健児

オリエンタルメタル製造株式会社 代表取締役
〒660 尼崎市昭和南通り3丁目26番地　電話06(412)5131

塚本猛次

株式会社　日建設計
〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

辻本豊

株式会社 辻本豊一級建築設計事務所代表取締役
〒640 和歌山市東長町中ノ丁12—3 電話0734(24)6346代
〒640 自宅・和歌山市東長町中ノ丁12—3 電話0734(24)6346代

一級建築士 栂野正春

株式会社 栂野建築事務所 代表取締役社長
〒640 和歌山市五番丁4番地 電話 0734 (22) 2826

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役所長
〒675-13 兵庫県小野市上本町240小野ビル 電話07946(2)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063 電話07946(2)4668

手塚尚義

大垣セメント工業株式会社 代表取締役社長
〒530 大阪市北区金屋町1丁目1番地 電話 06(353)4101
〒567 自宅・茨木市西駅前町4の1012 電話0726(23)3833

時岡保雄

株式会社 三和地質 代表取締役
〒550 大阪市西区靱本町4丁目35番地
電話06(443)7606代・4157

中尾義昭

株式会社 旭設計事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区靱1丁目123番地 近畿富山会館5F
電話06(445)2050代
〒657 自宅・神戸市灘区六甲台町7番19 ハイツ六甲308号
電話078(881)2907

寺田徳重

大成建設株式会社 顧問
〒541 大阪市東区本町4丁目27 電話 06(262)1131
〒562 自宅・大阪府箕面市桜井2丁目4-39 電話0727(21)4641

時実丹一

共立建設株式会社大阪支店 取締役支店長
〒540 大阪市東区内本町2丁目45番地 大阪内本町電電ビル6階
電話 06(942)2491
〒662 自宅・西宮市門戸荘17—12 ルネ門戸314号
電話0798(53)0780

中川匠

中川匠建築設計事務所 所長
〒530 大阪市北区浪花町38 新興ビル 電話06(371)3651
〒665 自宅・宝塚市売布4丁目15-18 電話 0797 (86) 2391

寺西芳一

株式会社 寺西建築設計事務所 代表取締役
〒658 神戸市東灘区本庄町2丁目13番24号 電話078(451)2456
電話078(411)0139
〒664 自宅・伊丹市寺本字松崎17番地4 電話0727(81)0289

時山龍太郎

時山設計事務所 所長
〒530 大阪市北区曾根崎上2丁目21番地 美都ビル
電話06(361)6248
〒532 自宅・大阪市淀川区三国本町2丁目7番21号
電話06(393)9557

中川真佐吉

アポロ印刷株式会社 代表取締役
〒540 大阪市東区北新町2丁目7 電話06(942)2951〜5

傳馬正明

ムツミ産業株式会社 代表取締役
〒550 大阪市西区靱本町2丁目47番地 電話06(441)0378
〒531 自宅・大阪市大淀区中津浜通1—3
中津リバーサイドコーポC-929 電話06(371)0385

徳永正三
田村又夫

徳永・田村建築事務所
〒541 大阪市東区博労町2—41 中博ビル 電話06(262)2310
〒103 東京都中央区日本橋兜町2-36 太洋ビル 電話03(668)3056

名誉正会員

中澤誠一郎

株式会社 中澤建築事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区富田町38 高橋ビル北5号館 電話06(363)3881
〒570 自宅・守口市滝井元町3の27 電話06(991)1848

東郷武

大和ハウス工業株式会社 取締役
〒550 大阪市西区阿波座中通1丁目40番地 電話06(532)6351

富家宏泰

株式会社 富家建築事務所 所長
〒604 京都市中京区烏丸押小路東入 電話075(231)6357代
〒603 自宅・京都市北区平野八丁柳町68—1 704号
電話 075 (463) 0050

中出隆俊

(各種防水工事及スレート工事施工請負)
株式会社 中出商会 代表取締役
〒652 神戸市兵庫区上沢通6丁目1の1 電話078(511)4501〜4

名誉正会員

東畑謙三

株式会社 東畑建築事務所 代表取締役
〒541 大阪市東区伏見町5—19 電話 06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉町縄手下1680 電話078(851)5043

内藤資忠

株式会社 内藤建築事務所 代表取締役会長
〒606 京都市左京区田中大堰町189 電話075(781)6195
〒606 自宅・京都市左京区北白川山の元町38 電話075(781)3353

中原茂

株式会社 中原茂建築事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区靱本町3丁目90番地 岡崎橋ビル
電話06(445)0039

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

中原英雄

株式会社 創美設計 代表取締役
〒530 大阪市北区末広町17 日生不動産扇町ビル9階
電話06(312)3587代
〒659 自宅・芦屋市打出小槌町1番地405

西村治一郎

西村建築設計事務所 所長
〒542 大阪市南区河原町2丁目1510 宮浦ビル4F
電話06(633)9624
〒571 自宅・門真市寿町3番5号 電話06(908)0626

橋詰一雄

株式会社 橋詰工務店 取締役社長
〒604 京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326
電話075(801)2356代
〒604 自宅・京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326
電話075(841)2803

中村豊

株式会社 日邦建築企画設計 代表取締役
〒530 大阪市北区梅ヶ枝町114 関西ビル 電話06(362)1766代
〒600 自宅・京都市下京区七条通東堀川西入八百屋町12
電話075(371)2755

根津耕一郎

株式会社 根津建築事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区梅ヶ枝町81 大阪弁護士ビル
電話06(364)8301代
〒655 自宅・宝塚市川面6丁目19番10号 電話0797(86)6226

橋本久清

吉野石膏株式会社大阪支店 取締役支店長
〒530 大阪市北区堂島浜通1-25 新大ビル 電話06(344)6691

永井賢城

株式会社 久米建築事務所 取締役社長
〒106 東京都港区西麻布1丁目13番11号 電話03(403)0251大代
〒251 自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8の26 電話0466(36)7706

会長 野崎謙三
社長 津田輝夫

株式会社 山下設計
〒104 東京都中央区八丁堀2の7の1 電話03(552)8311代

名誉正会員

浜口幹三郎

株式会社 淺沼組相談役
〒543-91 大阪市天王寺区東高津町8の1 電話06(768)5222
〒631 自宅・奈良市二名町3336－7 電話0742(43)1091

名誉正会員

永田鼎三

大阪電気暖房株式会社 相談役
〒550 大阪市西区江戸堀1の60 電話06(441)8231
〒560 自宅・豊中市上野東3の2の10 電話06(855)3710

野中駒市

野中建産株式会社 取締役社長
〒550 大阪市西区靱本町2－29 電話06(441)6631

林茂

株式会社 林設計事務所 代表取締役
〒531 大阪市大淀区長柄中通り3-45 電話06(351)6831
〒565 自宅・吹田市竹見台2丁目11番5号 電話06(871)8625

成田正彦

株式会社 設計事務所ゲンプラン 代表取締役
〒550 大阪市西区土佐堀通3—61 電話06(443)8216
〒662 西宮市甲子園九番町12—10 電話0798(47)3227

能勢次郎

株式会社 能勢建築設計事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区江戸堀5丁目118番地 和光ビル7階
電話06(443)6451代

林唯夫

株式会社 昭和設計 代表取締役専務
〒550 大阪市西区西長堀北通1丁目8番地 四ッ橋ビル
電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台3丁目41—11 電話06(872)3608

名誉正会員

西澤藤生

株式会社 大林組顧問
〒540 大阪市東区京橋3—37 電話06(943)1131
〒659 自宅・芦屋市東山町112－26 電話0797(23)2137

長谷川幸雄

株式会社 新日本設備計画 代表取締役社長
〒530 大阪市北区金屋町2丁目31 電話06(353)4061

原正太郎

アスニュー工業株式会社 取締役会長
〒532 大阪市淀川区西中島1丁目8番29号 電話06(301)9081～4

西嶋徳太郎

株式会社 大建設計 取締役会長
〒550 大阪市西区京町堀2－75 電話06(441)9351代
〒562 自宅・箕面市桜ケ丘3丁目11番地35号 電話0727(21)2432

萩正勝

株式会社萩・勝俣建築設計事務所 代表取締役
〒153 東京都目黒区青葉台2—20—14 電話03(719)1734代

原精一

甲南建設工業株式会社 代表取締役
〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号 電話06(302)1551
〒662 自宅・西宮市名次町12番9号 電話0798(22)1504

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

原田重信
原田孝太郎

原田セメント化工株式会社 代表取締役会長 代表取締役社長
〒554 大阪市此花区西九条4丁目3—34 電話06(462)1212代
〒661 自宅・尼崎市塚口町3丁目41—8 電話06(421)4518

代表取締役 **福永薫**
代表取締役 **福永健一**

株式会社 福永建築設計事務所
〒542 大阪市南区順慶町通4の61 電話06(251)3102
〒542 自宅・大阪市南区順慶町通4の61 電話06(251)5189

藤田毅

株式会社 デム建築事務所 代表取締役
〒641 和歌山市秋葉町2番5号 電話0734(45)1467代
〒640 自宅・和歌山市中ノ島116の2 電話 0734 (32)1586
旧名 中尾建築設計事務所
旧姓 中尾 毅

伴一郎

株式会社 西原衛生工業所大阪店 代表取締役社長
〒531 大阪市大淀区中津南通4—11 電話06(458)3531代

福村久

日本住宅パネル工業協同組合 常勤相談役 大阪支所駐在 西日本地区担当
〒530 大阪市北区富田町46番地 第二富田町ビル 電話06(313)3321
〒565 自宅・吹田市竹見台2丁目2番4号 電話06(831)8971

藤原稔恭

株式会社 藤原工務店 取締役社長
〒562 箕面市箕面3—1—60 電話 0727 (21)7268
〒562 自宅・箕面市箕面4—15—40 電話 0727 (21)2774

名誉正会員

坂静雄

財団法人 日本建築総合試験所 理事長
〒565 本所・大阪府吹田市藤白台5の125 電話06(872)0391
〒531 大淀分室・大阪市大淀区長柄西通2の35 電話06(351)7217

福賴圭蔵

株式会社 新興建材工業所 取締役社長
〒550 大阪市西区南堀江通6の39 電話06(541)5757代
〒558 自宅・大阪市住吉区住吉町242の22 電話06(673)5120

藤村清一

株式会社 日新建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区壺屋町1丁目66番地 電話06(352)6161代
〒631 自宅・奈良市登美ケ丘5丁目5—5 電話0742(44)0201

日比生正

日比生設計株式会社 代表取締役
〒810 福岡市中央区平尾1丁目5番12号 電話092(531)3623代
〒816 自宅・大野城市大字御井539の14 電話 092 (591)4669

藤井章

株式会社 藤井工業所 取締役社長
〒520 大津市本宮2の2の9 電話0775(23)0119代
〒606 自宅・京都市左京区松ケ崎泉川町23 電話075(781)5333

藤本庄之助

株式会社 工盛社
〒536 大阪市城東区鴫野西5丁目18—9 電話06(961)4460
〒536 自宅・城東区鴫野西5丁目16—43 電話06(962)1288

平田作太郎

株式会社 平田タイル 代表取締役
〒550 大阪市西区阿波座中通1丁目5 電話06(532)1234代
〒600 自宅・京都市下京区綾小路通大宮東 電話075(801)1806

藤井稔

阪神不動産株式会社 常務取締役
〒530 大阪市北区梅田町47 電話 06 (346) 1171

船橋明

高砂熱学工業株式会社大阪支店 常務取締役 大阪支店長
〒530 大阪市北区芝田町55 北阪急ビル 電話06(372)2511

福田朝生

株式会社 双星社竹腰建築事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区豊宮町3番2 住生豊崎ビル 電話06(373)2281
〒677 自宅・西宮市甲子園砂田町2番8号 電話0798(48)0989

藤木鐵三

株式会社 藤木工務店 取締役社長
〒540 大阪市東区両替町1の13 電話06(942)1461代

堀林郁夫

堀林建築設計事務所 所長
〒604 京都市中京区油小路三条上ル 英守ビル内 電話075(241)1403
〒617 自宅・長岡京市今里宇津久志17-9 電話075(921)8497

福中定三郎

社団法人 日本建築協会 常務理事
〒541 大阪市東区北浜3の37 電話06(231)9648
〒573 自宅・枚方市香里園町26の68 電話0720(31)0549

藤田邦昭

株式会社 都市問題経営研究所 所長
〒530 大阪市北区太融寺町98-5 阪急東ビル 電話06(312)3918
〒658 自宅・神戸市東灘区岡本8丁目10-1 岡本ハウス605 電話078(411)3989

取締役会長 **本田史郎**
取締役社長 **本田英行**

本田工業株式会社
〒530 大阪市北区芝田町65-1 電話06(372)0372代
〒607 自宅・京都市東山区山科御陰平林町2 電話075(581)2217

謹賀新年　昭和51年元旦　(50音順)

名誉正会員

本多正道

〒658 自宅・神戸市東灘区御影町岸本1566　電話078(851)7604

松本六郎

松本金物株式会社　取締役社長
〒543-91 大阪市天王寺区上綿屋町6　電話06(779)1581大代
〒580 自宅・松原市北新町2丁目3の7　電話0723(31)0158

南長吉

斎久工業株式会社 代表取締役会長
〒530 大阪市北区常安町11番地　電話06(443)5041代
〒661 自宅・尼崎市塚口町6—20—7　電話06(421)5136

前野慶太郎

株式会社 あめりか屋　取締役社長
〒530 大阪市北区常安町17　電話06(444)1501
〒659 自宅・芦屋市翠ケ丘町4番18号　電話0797(22)2005

名誉正会員

松本与作

第一生命保険相互会社　顧問技師
〒100 東京都千代田区有楽町1—13—1　電話03(216)1211
〒145 自宅・東京都大田区田園調布3—17—3　電話03(721)4723

宮飼克二

社団法人　日本建築協会兵庫支部　支部長
〒650 神戸市生田区下山手通5丁目23　電話078(351)2800直

松浦潤一郎

株式会社　松浦構造設計事務所　代表取締役
〒657 神戸市灘区八幡町4丁目9—27　六甲ビル
電話 078(861)3304 (881)3302

丸山信

株式会社　丸山建築事務所 代表取締役
〒107 東京都港区北青山3丁目5番25号
電話03(401)2287・6703・2426
〒901-22 出張所・沖縄県宜野湾市大山1003
電話09889(7)2974・4077

宮後健

株式会社　宮後建築事務所 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区上沙町6丁目35番地　電話06(772)0165代
〒543 自宅・大阪市天王寺区上沙町6丁目35番地
電話06(772)0167

松岡晃一郎

アイエム換気工業株式会社　代表取締役
〒556 大阪市浪速区芦原町1183番地　電話06(561)3901
〒590 自宅・堺市車之町東2丁2の9　電話0722(38)2582

三上富三

株式会社 汎美建築設計事務所 代表取締役
〒604 京都市中京区御池通御幸町西入 京都府旅館会館ビル2階
電話075(231)4638・6472
〒604 京都市中京区御池通堺町西入御所八幡町225
電話075(222)0006

宮崎辰敬

宮崎辰五郎建築事務所　所長
〒466 名古屋市昭和区折戸町5丁目13　電話052(751)3096
〒466 自宅・名古屋市昭和区折戸町5丁目13 電話052(751)3096

松田昌久

株式会社 都市設計　所長
〒541 大阪市東区高麗橋3丁目7番地　電話06(231)6617
〒665 自宅・宝塚市青葉台1丁目2—9　電話0797(72)2362

三木清経

エスエム工業株式会社　取締役社長
〒559 大阪市住之江区東加賀屋1—8—16　電話06(685)1661代

宮武伊三郎

社団法人　大阪建設業協会　常務理事
〒540 大阪市東区京橋3丁目70　電話06(941)3651

松村慶三

株式会社 浦辺建築事務所　取締役 設計室長
〒530 大阪市北区梅田8　新阪急ビル11階　電話06(341)1680

三谷忠義

株式会社 三谷設計　代表取締役
〒694 島根県大田市久手町波根西上777の1　電話08548(2)8121
〒694 島根県大田市久手町波根西225の2　電話08548(5)8320

村石秋吉

浪速合板株式会社　取締役社長
〒556 大阪市浪速区幸町3丁目2番地の1　電話06(561)2201代
〒659 自宅・芦屋市岩園町10番16の401号　電話0797(31)2643

名誉正会員

松村雄二

株式会社 松村組　代表取締役社長
〒530 大阪市北区空心町1丁目70番地　電話06(353)1131

道田泰治郎

〒661 自宅・尼崎市立花町1丁目27—7　電話06(429)4009

村上二郎

サンエス石膏株式会社　社長
〒530 大阪市北区堂島北町20　藤田ビル　電話06(344)6526
〒565 自宅・吹田市千里山西3丁目7番5号　電話06(384)1002

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

村田よ志子

明研化学工業株式会社 代表取締役
〒673 明石市藤江中谷町888番地 電話078(928)3456代
〒655 自宅・神戸市垂水区塩屋町西の田164 電話078(751)4186

安井忠生

株式会社 安井建築設計室 代表取締役
〒550 大阪市西区靱1丁目130番地 電話06(448)2765～6
〒558 自宅・大阪市住吉区長居町東6丁目24 電話06(673)5254

山田保

有限会社 山田保建築設計事務所 代表取締役
〒730 広島市紙屋町2丁目3番1号革屋町ビル4階
電話0822(48)2562代

名誉正会員

村野藤吾

有限会社 村野，森建築事務所 代表取締役
〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2—3—8 電話06(624)0926
〒665 自宅・宝塚市清荒神2丁目18—27 電話0797(86)2559

籔本弦三

株式会社 笹川組 取締役社長
〒520 大津市打出浜13－15 電話0775(23)2314
〒520-21 自宅・大津市瀬田南大萱町2087—4 電話0775(45)3966

山田恒治

株式会社 山田工務店 取締役社長
〒650 神戸市生田区北長狭通3丁目13番の1
電話078(321)6451代
〒651-12 自宅・神戸市北区山田町上谷上古々山29
電話078(581)2055

室谷山水

室谷商事株式会社 取締役社長
〒650 神戸市生田区北長狭通4丁目1 英和ビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市生田区山本通4丁目108の37
電話078(221)5050

藪本芳一

藪本一級建築士事務所
〒640 自宅・和歌山市東長町10丁目13 電話0734(22)9930

名誉正会員

山田文次

山田工業株式会社 取締役会長
〒550 大阪市西区京町堀1—62 電話06(443)8161
〒665 自宅・宝塚市南口1丁目2—2 電話0797(72)2511

森忠一

有限会社 村野，森建築事務所
〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2—3—8 電話06(624)0926
〒665 自宅・宝塚市武庫山1－10—8 電話0797(72)4461

山家啓助

株式会社RIA建築綜合研究所大阪支店 支店長
〒530 大阪市北区太融寺町33大阪合同ビル 電話06(312)9154～5

山田昌次

花豊造園株式会社 専務取締役
〒600 京都市下京区大宮通五条下ル 電話075(341)2246代
〒600 自宅・京都市下京区大宮通五条下ル 電話075(341)6980

森岡俊男

関西電力株式会社 取締役社長
〒530 大阪市北区中之島3－5 電話 06 (441)8821

山口吾郎

不二建設株式会社 取締役社長
〒550 大阪市西区阿波座上通4丁目8番地 電話06(541)5534代
〒665 自宅・宝塚市雲雀丘1丁目13番25号 電話0727(59)2018

山根正次郎

株式会社日建設計

名誉正会員

森定松之祐

〒536 自宅・大阪市城東区諏訪3丁目7の27 電話06(962)1478

山崎敏明

辰巳興業株式会社 取締役社長
〒650 神戸市生田区栄町2丁目21 電話078(321)0655代
〒662 自宅・西宮市五月ヶ丘5の7 電話0798(26)2763

山本憲三

株式会社 ヤマト電気商会 専務取締役
〒530 大阪市北区西堀川町15 電話06(364)3056代
〒524 自宅・滋賀県守山市今宿町 電話07758(2)2665

八十島健二

株式会社 竹中工務店 常務取締役
〒541 大阪市東区本町4－27 電話06(252)1201
〒663 自宅・西宮市甲子園二番町5—30 電話0798(41)0598

山下密男

合同特許建材工業株式会社 代表取締役
〒546 大阪市東住吉区駒川町3—54 電話06(702)7814代
〒546 自宅・大阪市東住吉区田辺東之町3—193
電話06(621)9086

山本末男

大末建設株式会社 取締役社長
〒542 大阪市南区大和町1番地 電話06(213)0555

謹賀新年

昭和51年元旦

(50音順)

山本　泰

株式会社　第一建築設計事務所　代表取締役
〒530 大阪市北区富田町46　第二富田町ビル　電話06(312)5925
〒665 自宅・宝塚市山本台2丁目5—14　電話0797(89)1223

名誉正会員

若林季雄

鹿島建設株式会社大阪支店
〒542 大阪市南区鰻谷西之町6　不銀ビル　電話06(245)2311代
〒636 奈良県生駒郡三郷町信貴ケ丘211　電話0745(72)4121

名誉正会員　追補

岡本　弘

近畿大学理工学部　講師
久保田建材工業株式会社　顧問
〒573 自宅・枚方市東香里2-7-20　電話0720(54)4123

山本博三

朝陽電気株式会社　代表取締役
〒530 大阪市北区中之島3の3　朝日ビル内
電話06(385)1361代
〒565 自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号　電話06(872)9087

若山　繁

近畿電気工事株式会社　専務取締役
〒530 大阪市北区南扇町11　電話06(312)1281
〒661 自宅・兵庫県尼崎市武庫之荘2丁目25番11号
電話06(436)1381

追補

川瀬啓一郎

扶桑管工業株式会社　代表取締役
〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地　電話075(861)1157
〒616 自宅・京都市右京区太秦安井車道町21　電話075(811)1509

吉岡源治郎

高砂熱学工業株式会社大阪支店　取締役大阪支店次長
〒530 大阪市北区芝田町55番地 北阪急ビル　電話06(372)2511

鷲尾健三

明石工業高等専門学校
〒674 明石市魚住町西岡679　電話07894(7)1151

追補

島村佐次郎

島村建築事務所
〒640 和歌山市四番丁4　電話0734(22)3338・4335
〒640 自宅・和歌山市四番丁4　電話0734(22)3338・4335

吉田信武

株式会社　吉田建築事務所 取締役社長
〒550 大阪市西区北堀江上通3丁目22番地　電話06(538)2991代
〒574 自宅・大東市住道1丁目7—5　電話0720(72)0409

渡邊　勇

中央ビルディンス土地コンサルタント　一級建築士 不動産鑑定士
〒164 東京都中野区中央4-6-12-105　電話03(384)4810
〒465 自宅・名古屋市名東区神丘町2-48-3　電話052(701)4203

追補

社長 **永井　基**
副社長 **福田好雄**

住友ウォールシステム株式会社
〒100 東京都千代田区神田美土代町1 住友商事美土代ビル
電話03(294)8511大代

蓮佛　亨

株式会社　京都建築事務所 代表取締役
〒604 京都市中京区三条柳馬場東入　電話075(211)7277代
〒611 自宅・宇治市南陵町2丁目1—4　電話0774(23)2172

渡辺　恵

東洋シヤッター株式会社　取締役会長
〒540 大阪市東区両替町1—12　日生ビル　電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号　電話06(856)0988

追補

深江　實

大装株式会社　社長
〒550 大阪市西区西長堀北通4—14　電話06(532)0171

和田眞一

株式会社　東　和　組　代表取締役
〒530 大阪市北区梅ケ枝町175　電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町3番8　電話0797(22)3282

追補

一坪古寿

三井プレコン株式会社大阪支店　常務取締役 大阪支店長
〒541 大阪市東区博労町2—41中博ビル406号　電話06(271)7936
〒594 自宅・大阪府和泉市観音寺町312-5　電話0725(43)1128

追補

代表取締役 **藤本一男**
社員一同

株式会社　都市・建築設計工房
〒542 大阪市南区安堂寺橋通3—40　第二芦池ビル8階
電話06(252)8757代

名誉正会員

若林繁吉

二葉屋装備工業株式会社　取締役社長
〒564 摂津市東別府3丁目7番8号　電話06(349)9193代
〒605 自宅・京都市東山区清水2丁目232番地
電話075(561)6283

追補

取締役会長 **今村　騰**
取締役社長 **平木　寛**

中央電気工業株式会社
〒530 大阪市北区梅ケ枝町56　電話06(312)8881大代

追補

堀内史郎

第一工業株式会社大阪支店　取締役支店長
〒530 大阪市北区富田町30番地　電話06(364)6661代
〒573 自宅・大阪府枚方市朝日丘町12-18　電話0720(41)5396

コミュニティをメーキャップする

マルエス印 アスファルトシングル

■マルエスシングル　8色
■BPシングル　8色
■ランダムシングル　3色



マルエスランダムシングルで家を一層美しく!!

すでに欧米諸国では、屋根葺き材の主流はシングルとなっております。
最近日本においても建築様式の多様化にともない、壁状屋根は増加の一途を辿っています。
マルエスランダム・シングルは、この壁状屋根に最もマッチした素材として開発されたものです。
従来のシングルでは難しいとされていた、力量感・立体感を家全体に、もたせることも特徴の一つです。

カナダ直輸入の高級屋根材

BP BUILDING PRODUCTS OF CANADA LIMITED

マルエスランダムシングル

《カラー》
RS−1(シダーウッド)/ RS−2(レッドウッド)/ RS−3(ドリフトウッド)

マルエス S 日新

マルエスシングル製造発売元・BPシングル日本総発売元

日新工業株式会社

本　　社■120／東京都足立区千住東2丁目21番28号
TEL　東京(882)2424(代表)
大阪支店■533／大阪市東淀川区瑞光通4丁目30の2
TEL　大阪(329)7737〜7740
営 業 所■札幌・山形・東京・名古屋・広島・九州

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

98 共同住宅に対する特例基準の適用について

共同住宅については、いわば個人住宅の集合体であって、その構造によっては、出火等の危険性が著しく低いものがあるので、従来、消防用設備等の設置については、消防法施行令第32条の規定を適用することにより、大幅に緩和の措置がとられてきたが、近年、これら共同住宅も高層化、大規模化、複合用途化（いわゆるゲタばき住宅）されてきたので、今回、自治省消防庁において、新たに、別記の基準（建設省との協議による）を定め、同基準に適合するものについて、前記と同様の措置がとられることになったので、今後の設計、施工上の参考に資することとします。

なお、「消防法の一部改正に伴う共同住宅の取扱について」（自消乙予発第118号）は、50．7．31限り廃止されました。

（大阪市消防局予防部　田中隆夫）

●共同住宅等に係る消防用設備等の技術上の基準の特例について

（昭和50年5月1日消防安第49号　各都道府県消防主管部長あて　消防庁安全救急課長）

第1　特例基準

共同住宅、寄宿舎又は下宿は、常時多数の者が生活しているものであるが、いわば個人住宅の集合体であり、その構造によっては火災の危険性が著しく少いと認められるものがあることにかんがみ、消防法施行令（以下「令」という。）別表第1(5)項ロに掲げる防火対象物（令第8条の規定の適用により同項に掲げる防火対象物とみなされるものを含む。以下「共同住宅等」という。）に係る消防用設備等の技術上の基準については、次のとおり令第32条の規定による特例を認めて差し支えないものであること。

1．消火器具

(1)　令第10条第1項の規定に基づき消火器具を設置しなければならない共同住宅等のうち、次のアからカまでのすべてに適合するものは、その10階以下の部分については、当該規定にかかわらず消火器具を設置しないことができるものとする。

ア．主要構造部が耐火構造で、かつ、住戸、共用室（居住者の集会、遊戯等の用に供する室をいう。以下同じ）倉庫、機械室、電気室その他これらに類する室（以下「住戸等」という。）と他の住戸等とが開口部のない耐火構造の床又は壁で区画されていること。

イ．住戸等と廊下、階段等の共用部分とを区画する壁を耐火構造とし、かつ、当該壁の開口部の面積が1の住戸等につき2㎡以下であること。ただしこれにかかわらず住戸等の主たる出入口及びバルコニーその他これらに類するものからそれぞれ異なる経路により地上又は避難階へ避難（以下「2方向避難」という。）することができ、かつ、住戸等の主たる出入口が直接外気に開放（多雪寒冷地においては、随時開放することができる不燃性の建具が設けられている場合を含む。以下同じ。）されている廊下、階段等に面する住戸等（以下「2方向避難・開放型住戸等」という。）のうち3、アからカに適合する共用室にあっては8㎡以下、その他にあっては4㎡以下とすることができる。

ウ．イの壁の開口部は、1ヵ所2㎡（イの共用室にあっては4㎡）以下とし、甲種防火戸又は乙種防火戸（主たる出入口部分に設けられるものは、常時閉鎖式の甲種防火戸に限る。）を設けたものであること。ただし、直接外気に開放されている廊下、階段等に面する住戸等の1㎡以下の開口部にあっては、この限りでない。

エ．イの共用部分の壁及び天井の仕上げが、不燃材料であること。

オ．住戸等の外壁の開口部とその直上階の住戸等の外壁の開口部との間は、幅90cm以上の耐火構造の壁又は外壁面から50cm以上突出した耐火構造のひさし、バルコニーその他これらに類するもので防火上有効にさえぎられていること。

カ．3階以上の階にある住戸等については、その床面積が100㎡以下のものであること。

(2)　消火器具を各住戸ごとに設置する場合は、消防法施行規則（以下「規則」という。）第6条第6項の規定は、適用しないものとする。

2．屋内消火栓設備、屋外消火栓設備及び動力消防ポンプ設備

令第11条第1項、第19条第1項及び第2項又は第20条第1項及び第2項の規定に基づき屋内消火栓設備、屋外消火栓設備又は動力消防ポンプ設備を設置しなければならない共同住宅等のうち1、(1)アからオまでに適合するものは、これらの規定にかかわらず、これらの設備を設置しないことができるものとする。

3．スプリンクラー設備

共同住宅等の11階以上の階にある共用室のうち、次のアからカまでのすべてに適合するものは、令第12条第1項第9号及び同条第2項第1号並びに規則第13条第1項及び第2項の規定にかかわらず、スプリンクラー設備を設置しないことができるものとする。

ア．共用室とその他の部分とがウの開口部を除き耐火構造の壁及び床で区画されていること。

イ．共用室の壁及び天井（天井がない場合にあっては、屋根）の室内に面する部分（回り縁、窓台その他これらに類する部分を除く。）の仕上げを不燃材料又は準不燃材料でしたものであること。

ウ．アの区画する壁の開口部及び当該開口部に設ける防火戸は、規則第13条第1項第1号ロ及びハの規定に適合するものであること。

エ．共用室から2方向避難することができるものであること。

オ．共用室の床面積が200㎡以下であること。

カ．ストーブ等の火気使用設備又は器具（密閉燃焼方式等転倒及び着火の恐れのないものを除く。）が設けられていないこと。

4．自動火災報知設備

(1)　令第21条第1項の規定に基づき、自動火災報知設備を設置しなければならない共同住宅等で1、(1)、アからオまでに適合するもののうち、次のア、イ又はウに該当する部分には、当該規定にかかわらず、当該設備を設置しないことができるものとする。

ア．住戸等のすべてが2方向避難開放型住戸等であるものの10階以下の部分

イ．ア以外のもので、その住戸等のすべてが2方向避難することができる住戸等であるものの6階以下の部分

ウ．ア及びイ以外のもので、そのすべての住戸等の主たる出入口が直接外気に開放されている廊下に面し、かつ、当該廊下から地上又は避難階に通ずる直通階段（直接外気に開放されているものに限る。）が2以上設けられているものの6階以下の部分

(2)　共同住宅等に自動火災報知設備を設置する場合は、次のアからキまでによることができるものとする。

ア．感知器は、居室、収納室（押入れ、納戸等で4㎡以上のものをいう。）、倉庫、電気室、機械室その他これらに類する室並びに直接外気に開放されていない廊下、階段その他の通路に設けること。ただし、1、(1)、アからカまでに適合する共同住宅等にあっては、10階以下の住戸内又は、寄宿舎等の宿泊室内に限り設けないことができる。

イ．規則第23条第5項の規定により煙感知器を設けなければならない場所には、差動式若しくは補償式の感知器のうち1種若しくは2種又は定温式の感知器のうち特種若しくは1種（公称作動温度75度以下のものに限る。）を設けることで足りる。

ウ．1の警戒区域は、階段室型のものに限り令第21条第2項第1号の規定にかかわらず5階までにわたることができる。

エ．地区音響装置は、一斉鳴動方式とすることができる。

オ．地区音響装置を、各住戸等ごとに設ける場合又は階段室型のものにおいてその5階以下ごとにその中間階の階段部分に設ける場合は、規則第24条第5号の規定は適用しないものとする。

カ．地区音響装置の音量は、各住戸等ごとに設ける場合に限り規則第24条第5号イの規定にかかわらず65ホン以上とすることができる。

キ．建築基準法施行令第20条の2第2号ハに規定する中央管理室が設けられていないものにあっては、電磁継電器を備えた装置をもって受信機とみなす。

ク．警報区域及び地区音響装置に関する規定を適用する場合、1の住戸等の階数が2以上にわたり、かつ、当該住戸等から廊下又は階段への出入口が1の階のみにある住戸等（いわゆるメゾネット型の住戸等）の階数は、1とみなす。

5．非常警報設備

(1)　令第24条第3項の規定により非常ベル及び放送設備又は自動式サイレン及び放送設備を設置しなければならない共同住宅等においては、当該規定にかかわらず非常ベル又は自動式サイレンを設けることで足りるものとする。

(2)　非常ベル又は自動式サイレンは、4、(2)、ウ、エ、オ、カ及びクに準じて設けることができるほか、各住戸等ごとに起動装置を設ける場合は、規則第25条の2第2項第2号の2、イ、ハ及びニの規定は適用しないものとする。

6．その他

(1)　消防機関へ通報する火災報知設備については、共同住宅等の付近に公衆電話が設置（設置が確実な場合を含む。）されておれば当該設備を省略することができるものであること。

(2)　避難器具に関する基準の特例については、別に通知するまでの間、従前どおりであること。

第2　施行期日等

1．この基準は、昭和50年8月1日から運用されたいこと。なお旧基準が適用されていた既存の共同住宅については、今回の改正により消火器具、非常警報器具又は非常警報設備に関する規定がさかのぼって適用されることとなるが、共同住宅の特殊な状況を勘案して既存の共同住宅で旧基準に適合しているものに対しては、当分の間適用しないものとする。

2．この基準の施行に伴い、旧基準は廃止するものとする。

読者の頁

読者の頁では、日常の設計業務における設計者の姿勢を『私の設計姿勢』のテーマでの投稿をいただきました。なお、スペースの都合により、一部は次号にて紹介させていただきます。

《私の生活姿勢》

住宅設計に思うこと

木元 秀行

日本は四季の区別が明確な美しい国である。しかし、都市に生活する者には四季が感じられない。なぜだろう。あまりに忙がしすぎて目を向けてみる余裕がないのか、あるいは移り変りを見い出す場所が少ないせいだろうか。流れゆく時の停止した一瞬に、ふと殺ばつとした心を見るのは私だけだろうか。

私は公共住宅の設計にたずさわる者の一人であるが、その中で私は、その住宅に住む人々の生活の幸せを願い、住み良い住宅を提供したい、そう思いながら仕事をしている。しかし、今の公共住宅はその性格から止むを得ない側面があるにしても、非常に画一的でけっして住み良いものではないという批判をよく聞かされる。私はこの批判を率直に受けとめなければならないと思う。

「住み良さ」という概念は様々な内容をもつもので、単に住戸や住棟の画一性が解決されただけでは実現できるものではないが、私の今の仕事の守備範囲の中では、最も大きな課題として考えている。その場合、住戸や住棟を形態的にひねってみたりして視覚的な変化を期待する方法ではなく（それも大切なことでは、あるが）、私の考えているのは生活の容器としての豊かさを、生活者の立場に立って実現していきたいのである。

私はすでに建っている住宅をできるだけ訪問するよう心がけている。そこでの対話や観察からどれだけ多くのものをくみとるかは、同じ生活者としての経験や、設計者としての感受性が要求される。そしてまた、そのような感受性のそだつ母胎となるものは自然に対する関心と愛情であり、また人間への愛情ではないかという気がする。

ある住宅に住んでいる人は、わずかなスペースを見つけてささやかな花壇を作っている。もうすぐくちなしの花がきれいに咲きますよ、見に来て下さい、という。身障者住宅に住んでいる人たちからの痛切な要望を聞く。私はこのような生活の現場に入っていくことの中に、設計作業の真の基盤があると思う。日頃は雑務も多く、思うようには現場に出かけていくこともできないが、この設計姿勢をこれからも根気よく追求していきたい。（神戸市住宅局住宅建設課）

《私の設計姿勢》

建築設計の課題

林 浩二

現代ほど建築とは、あるいは建築するとは何かという問いがなげかけられている時代はない。かって建築は、ごく限られた人々のためのものにすぎなかった。が、現代において建築は、社会全体のものとなり、一般に開放された。しかし、果して現代は、建築を自分のものとしてその手中に収めているだろうか。都市は、その生命を充分に躍動させているだろうか。誰しもこのような疑問あるいは反省をいだいていることと思う。

ここで、一つ一つの建築について見てみると、私にはそれほど悪い影響力を持ったものはないように見えるのだが、それが、いったん都市・あるいは地域的スケールになると、それは廃墟の相を呈してくる。いや、この場合、廃墟というのは適当でない。私は廃墟とは、ある意味で美しいものであり、そこには夢があるものだと思っているから。

それでは、なぜこのような情態になってしまったのか。計画時において建築家は、その全神経を与えられた敷地内に投入し、そこにおこるあらゆる障害（経済的な制約等）を乗り越えるべく、全精力を傾ける。したがって、その敷地内に限定すれば、それほど悪くはないものができあがる。たとえば、オープンな空間を志向し、ピロティを採用する。人々がそこに集い、憩いの場となるように…。このように、環境を考慮した計画もある。ところが、多くの場合、そこは設計者の意図どおりには、なかなか使用されない。それは、内部においてのみ満足しようとする自閉症的な空間ではないのか。

都市、あるいは地域は、個々の建築から成立しているが、決してそれ単独で考えられるものではない。もっとトータルな視点の上に立つ計画が必要であろう。そこに流れる秩序はどんなものか。現代の都市のもつ秩序とは、すなわち法規であろう。すべての建築は、多かれ少なかれ法規に支配されている。もっと新しい秩序が創られるべきである。この場合の秩序とは「規格」ではない。極言すれば「規格」を作らないというような秩序といえる。

さて、現実にこういった課題に対し、個々の建築家はどうすればよいのだろうか。これは、はなはだ難しい問題である。私に関して言えば、現在、何もできない。この難問を解く力もなければ、地位もない。ただ望むことは、現在の情況が中途半端にとどまることなく、さらに進行し、都市の崩壊・地域社会の破滅が極限にまで達し、現在のところ建築家内部にとどまっているところの建築家の社会的責任が、広く一般に問われるようになることである。（大林組設計部）

《私の設計姿勢》

個の主張は本当に具現化されているだろうか?

安原 秀

マスメディアによって与えられる情報過多現象について、一方では、過多であることが自由を意味するとし、多様化こそが民主的であるのだという考え方がある。しかし反面では、一億総白痴化という言葉があったように、過多現象が受取る側の思考力を鈍らせ、判断の基準を見失なわせる結果になっていることも見過ごせない。問題になるのは、一見非常に多様であるかに見えて、その実、ある一方的な見方からの情報の氾濫であった時、否応なしに麻痺させられてしまった思考力をもってしては、本質を正確に判断出来る状態にあるのかどうかの判断が出来かねる状態に置かれてしまうことではないだろうか。非常にまわりくどいいい方をしたが、私たちの日常の行為の中で、専門家もそれ以外の人々も一緒になって、もう一度その辺りを考え直す必要があると思うからである。

私たちの最近関係した仕事を例にとってみると、1）ある環境改善目的の開発事業にともなって、周辺の住民にかなりの被害が出て、その調査を依頼された。すでに起こってしまった被害の調査なので、住民側は当然、強硬に補償を要求していたが、私たちはあとになって、次の点に気づいた。それは環境改善の為に計画された行為と裏腹に存在せざるをえない欠陥部分として、根本的に問題になる点はどこにあったのか、そして、それをどうとらえて、どのように意志表示すればよかったかという議論が、住民の側に殆どなかったということである。いわゆる公害の結果に対して拒否することは出来るのだが、その発生源の計画段階での素朴な判断能力を麻痺させられている状態をここに見ることが出来る。そしてこのことは、計画者側の独走の歴史がそうさせたといえないだろうか。

2）プレファブ住宅を建てて数年を経た人から、建て替え計画の依頼があった時の話。建てる前には、メーカーのカタログを集め、セールスマンの意見をよく聞いて決定した。当初は、非常に満足していたのだが、時を経るに従ってどうにも居心地が悪い、何が原因かを考えてみるに、出来合いの家に生活の方をなじませる努力の明け暮れがストレスのもとであったことに思い至った。そこで建て替えの決心をしたということである。ここで問題にせねばならないことは、住宅が、プレファブ住宅だったから悪くて、オーダーメードの住宅ならば良いということではなく、住宅を与える側からの情報の氾濫が、受け取る側の思考能力を麻痺させる結果になっている点であろう。自分の生活の場を、自分の頭で考える努力を怠った受取り手が悪いことは明らかなのだが、次元を変えて考えてみるならば、受取る側のたしかな対応があれば供給される住宅の質も良くなって行くであろうということになる。

混乱し、悪化した生活環境をすこしでも良くして行く努力をすることが出来るとすれば、専門家といわれる人々が、押しつける側ではなく、はかない抵抗を強いられている側とともに考える努力こそ必要であろう。（安原中筋建築研究所）

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

住民主体の建築活動をめざして 広範な建築家技術者の合意と行動を

――新建第5回大会――

新建築家技術者集団は、創立以来、住みよい環境づくりをねがって、5年間各地域で活動し、会員数約1,900名、21支部に達したが、その第5回大会が、去る11月2日、3日、東京の全理連会館において、標記大会スローガンのもとに開かれた。高度成長から低成長へ転換した日本経済と建築界の状況をふまえて、住民運動の質的な発展のなかで、建築家・技術者の対応の現状とその基本的展望があきらかにされた。「地域にねざした建築活動を日常的にすすめ、地域住民のなかに入って、建築家・技術者の主体的な活動をすすめよう」という新建研究集会（9月14日於金沢）のアピールにもとづいて、自治体との対応をどうつよめるか、住民や使用者の真の要求をどうとらえるか、新建の理念をどう手法として具体化していくか、職場の民主化や交流をどうすすめるかなど、真剣に議論されて、大会報告が採択された。

住宅要求運動大阪連絡会結成

去る11月22日、大阪府立中小企業文化会館にて府民の手で住宅要求運動の前進をめざして、大阪府職員労働組合・公団住宅自治会関西協議会・新建築家技術者集団大阪支部・全大阪公営住宅連合会・全大阪借地借家人組合連合会・日本住宅公団労組大阪支部が呼びかけ団体となって結成されたもので、府県レベルでははじめてのもの。安くて住みよい公共住宅の大量建設の要求実現などをめざして今後運動を進めていく。

なお、当日、記念講演として「住宅政策の現状と解決の方向」（講師：住田昌二）が行われた。

国鉄芦屋駅周辺の再開発

神戸大学・建築計画研究室（嶋田勝次助教授）が芦屋市の委託で調査・研究を進めてきた「国鉄芦屋駅周辺環境再開発基本計画」がまとまった。計画では国鉄芦屋駅の南北両ブロック61,000m²に3～12階の商業住居ビルを八棟建設。北ブロックには高級品の専門店やホテル、南ブロックには文化・芸術施設を集めるもの。

第9回軽金属協会建築賞募集

㈳軽金属協会では、アルミニウムを利用して建築技術の発展に貢献した優れた建築作品の設計者の功績をたたえることを趣旨とした、第9回軽金属協会建築賞の募集を行っている。

●応募および推薦の対象となる建築物

1. 昭和47年7月から50年6月末までの3ヵ年間に竣工した、単一または一群の建築作品。（一般住宅、インテリア、ならびに改装を含む）
2. 日本人が設計したもの。
3. 現地調査の可能な建築作品。

●応募および推薦の方法

1. 応募または推薦者は、個人、グループ、官庁、事務所、会社などのいずれであるかを問わず。
2. 受付締切日　昭和51年1月31日
3. 受付場所　㈳軽金属協会建築賞事務局
   〒103東京都中央区日本橋2-1-3
   （日本橋朝日生命館）
   電話03（273）3041㈹
4. 必要書類　応募または推薦をなさる方は、「軽金属協会建築賞応募（推薦）申入書」を上記事務局宛お申しこみ下さい。

●審査基準

前記の趣旨に沿り次記の事項に合致した優れた建築作品。

1. アルミニウムを合理的に使用したもの。
2. 建築におけるアルミニウムの利用開発に貢献したもの。
3. アルミニウム利用が独創性に富んだもの。

※なお、詳細は上記㈳軽金属協会建築賞事務局にお問いあわせ下さい。

樹の話シリーズ・17

すぎ

Gryptomeria japonica D. Don
すぎ科

杉の樹を知らない人はまずいないだろう。円錐状の形と深緑色の姿は誰もが見て知っている。もっとも、杉と桧の区別のつかない人も中にはいるが……。杉が万人の知る樹となったのは、桧と並んで日本における2大林業木だからであり、どこの山や谷に行っても必ずと言ってよいほど杉が植林されていて、杉林や杉山を見る機会が沢山あったわけである。日光や箱根の杉並木や、「お山の杉の子」の唄で代表されるように、杉は国土緑化や緑の羽根運動の象徴のような樹である。その分布する地域も青森県から九州の屋久島までで、人工植栽されたものは札幌にもあり、ほぼ日本全国に渡っている。それほど普遍的な樹だけに、杉について書かれた文献は古くより多数あり、また地方色豊かなエピソードも多く、更に各地に大木や……杉と固有名詞のついた名木が数多く残っている。それらの文献に「すぎ」の名前の由来も記されていて、「木直也故にスギといふ、すぎはすぐ也」「すぎは木直なる故に直木といふ」。

杉は常緑の針葉樹で高さ40mにも及ぶ大木となり、円錐形の樹冠、通直な幹、先の尖った針状の葉が特徴的である。1属1種で、学名の示す通り日本固有の樹であって、外国では自生したものは見られない。17世紀末に初めて海外に紹介され、その後種子がイギリス、ロシア、インド、オランダ、アメリカなどに送られ栽培されたが、概して生育は良くないらしい。杉の生育には雨量が大きな要因になるからであろう。杉は雨の多い日本に適し、特に雨量の多い屋久島では樹令1000年以上のものが多数あり、屋久杉と呼ばれ天然記念物になっている。この屋久杉の切株にウイルソン株と呼ばれるものがあって、株の周囲20m以上、切株の内部は洞穴のようになっていて、その広さ20畳敷である。隅に祠があって木魂神社と書かれてあった。

杉は我々の日常生活に深く関わりを持つが、特に酒と杉は関係が深く、酒樽には杉材が最適で、また酒屋の軒端に杉葉をかかげて商標にしたり、新酒の出た目印に杉葉を丸く輪にして軒に吊ったりしたという。

杉は元来林業木であって造園樹ではなかったが、それでも昔から生垣にしたり、屋敷林や寺社境内林あるいは街道の並木として用いられてきた。しかし、このような造園的な利用形態は現在の都会では皆無といってよいほど見られなくなっている。それは「杉は水を呼ぶ」と言われるように、流通のよい地下水分、良好な排水条件、湿潤な空気を必要とするので、大気汚染と乾いてやせた土質の都市では杉にとっては環境が過酷である。

庭園樹として杉を使うときは普通の杉ではなく、変種でアシオスギ、俗に台杉と呼ばれるものが多い。この種は下枝が長く下垂して伏状になり、切口からよく発芽する性質があり、これを利用して梢頭と下枝の一部を残して他の枝を伐ると主幹は一本の軸になり、数年後に枝が数本横から出てくる。この枝打ち作業を何度もくり返し行ない、主幹の軸は50年ぐらいで伐採して、これがいわゆる磨丸太として床柱などに使用されれる。このような仕立て方をした台杉を庭園樹として利用するのだが、値は高価スギる。林業としては、これは京都の北山で磨丸太を生産するために植林され、一般に北山杉と呼ばれている。急峻な山の斜面で、丹念に下枝を刈られた幾条もの通直な幹を冬の陽に白く反射させ、その梢頭に深緑の丸く可愛げな樹冠を乗せた北山杉の姿は、川端康成をして、「あたかも冬の花のようだ」と言わしめた。北山杉は一月の花かもしれない。

〈森下記〉

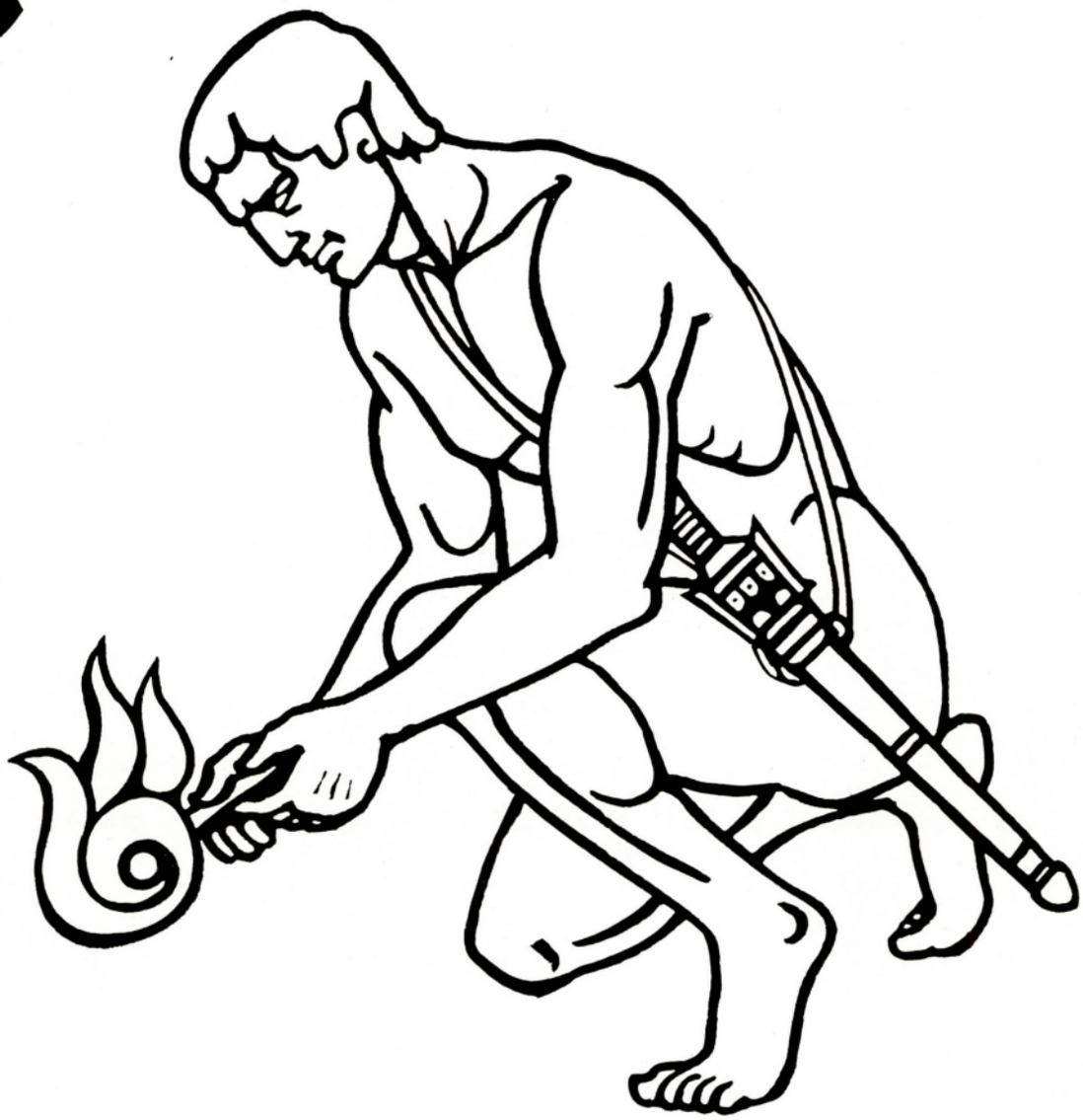


ダイスギ



果枝





※ギリシャ神話でプロメテウスは〈予見する者〉ともいわれ、天上の火を人間にあたえました。

《現代のプロメテウス》

近電工はあすを具現します

総合設備産業のパイオニア――――

〈近電工〉は新しい時代の展開とともに成長をつづけます。電気工事はもとより計装・空調・土木工事まで、その総合力を広範な分野で発揮し、国際的レベルの技術・技能をほこる精鋭企業として、70年代のエネルギーを先導します。

電気・計装・空調・土木

近畿電氣工事株式會社

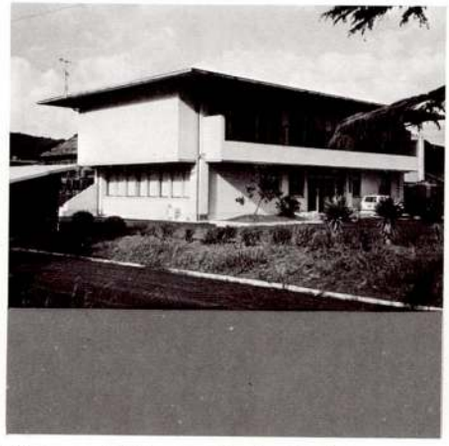
取締役社長 岡本繁一

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a. 所在地　b. 敷地面積　c. 建築面積　d. 延面積　e. 構造規模　f. 工期



1171. 愛知淑徳大学

設計：竹中工務店
施工：竹中工務店
a. 愛知県愛知郡長久手町大字長久手字片平
c. 1,135.5㎡
d. 4,132.3㎡
e. RC、B1、3F
f. 昭和49年7月～昭和50年5月



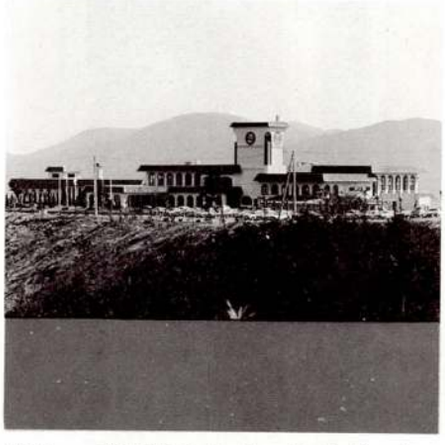
1172. 近江八幡市立島公民館

設計：渡部建築設計事務所
施工：井上組
a. 近江八幡市北津田
b. 1,852.088㎡
c. 255.596㎡
d. 389.527㎡
e. RC、2F
f. 昭和49年12月～昭和50年3月



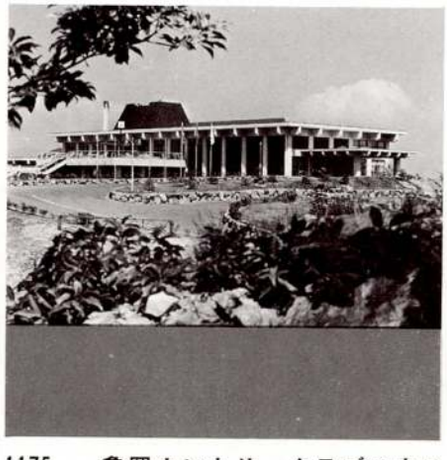
1173. 日新製鋼六甲保養所

設計：大建設計
施工：戸田建設
a. 神戸市灘区六甲山町北六甲4512
b. 3,171.89㎡
c. 309.73㎡
d. 749.63㎡
e. RC、B1、2F
f. 昭和49年6月～昭和50年7月



1174. 新城カントリークラブハウス

設計：A.R.I建築事務所
施工：三井建設
a. 名古屋市中区栄4－3－26
c. 2,425㎡
d. 4,123㎡
e. RC、2F
f. 昭和49年8月～昭和50年7月



1175. 亀岡カントリークラブハウス

設計：A.R.I建築事務所
施工：大林組
a. 京都府亀岡市東別院町
c. 2,746.99㎡
d. 3,384.89㎡
e. RC、2F、一部平屋
f. 昭和49年5月～昭和50年6月



1176. 八尾山本第2小学校

設計：大建設計
施工：辻本工務店・龍華土建
a. 八尾市西山本町3－12
b. 17,857.85㎡
c. 2,577.82㎡
d. 5,885.34㎡
e. RC、一部S、4F
f. 昭和49年9月～昭和50年3月



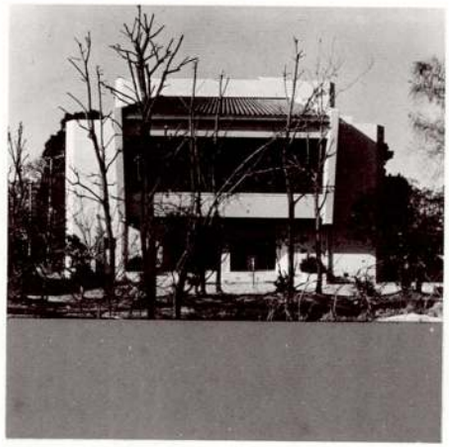
1177. ニチメン四条グランドハイツ

設計：京都建築事務所
施工：清水建設
a. 京都市右京区山之内池尻町7
b. 4,199㎡
c. 2,471㎡
d. 26,057㎡
e. SRC、B1、11F、P1
f. 昭和48年9月～昭和50年7月



1178. 泉北HPC

設計：大阪府建築部
施工：清水建設
a. 堺市高蔵寺1352－2番地
b. 12,400㎡
c. 1,267㎡
d. 15,159㎡
e. HPC、14F、P1、(2棟)
f. 昭和48年10月～昭和50年3月



1179. 近松記念館

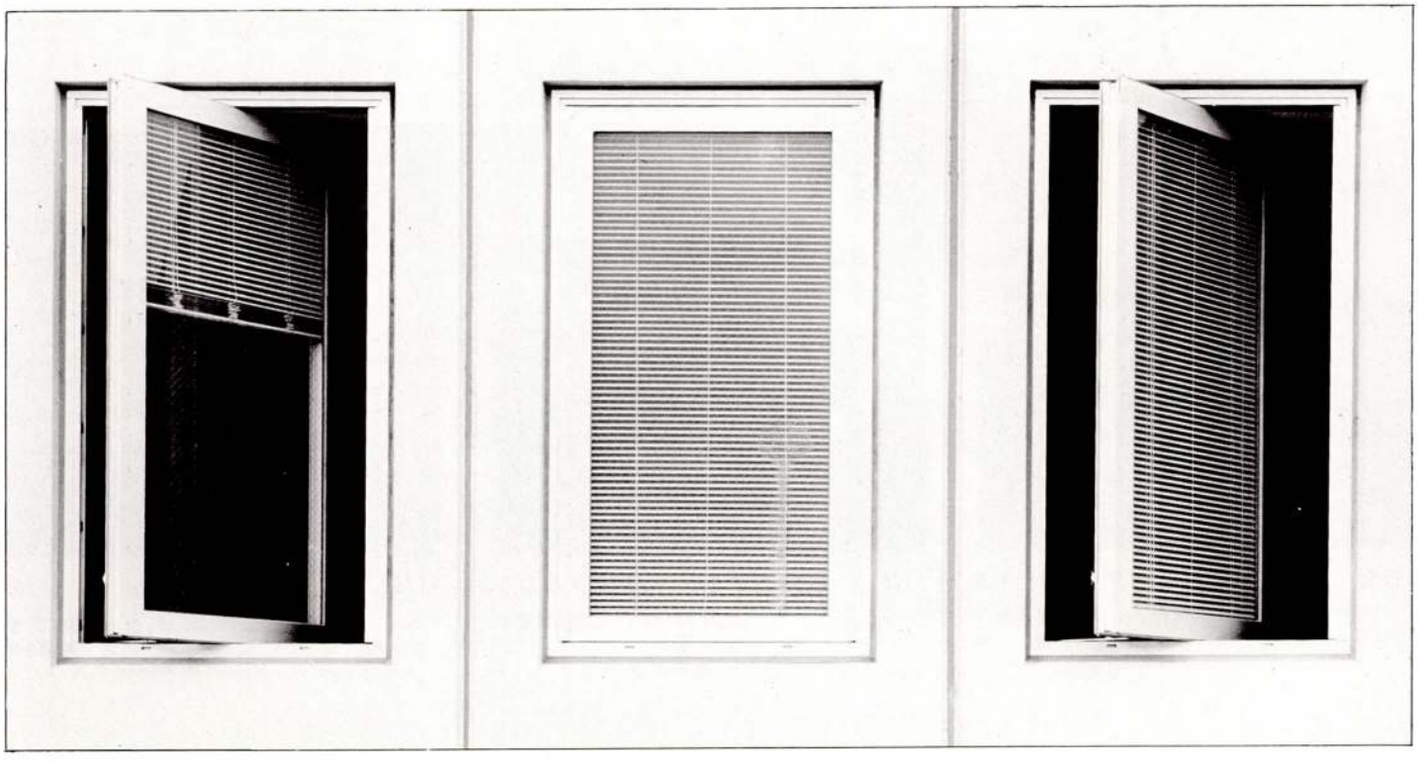
設計：柄谷工務店
施工：柄谷工務店
a. 尼崎市久々知字向小路一番地
b. 19,201.761㎡
c. 379.490㎡
d. 804.206㎡
e. RC、3F
f. 昭和50年4月～昭和50年11月

住友のブラインド内蔵サッシ

WINKLE

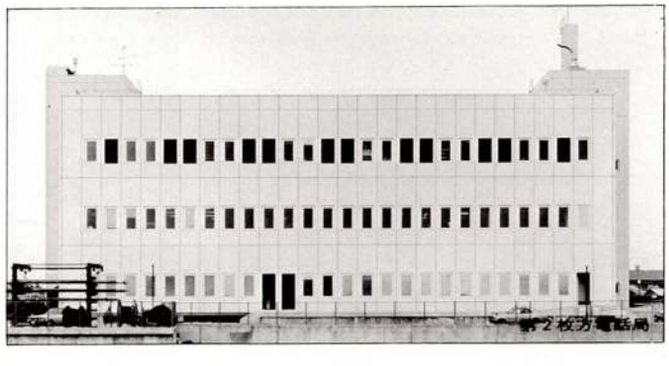
ウインクル

ウインクルはきらめき、まばたくカラフルなブラインドとサッシ（竪軸回転窓および嵌殺し窓）とを一体化させた機能的で、高性能な住友のブラインド内蔵サッシです。



――営業品目――

オーダーカーテンウォール
スタンダードカーテンウォールシリーズ
オーダーサッシ・ドア
レディメイド　ビル用サッシシリーズ
（ＤＲ－60　ＤＲ－70）
（ＤＡ－60　ＤＡ－70）
各種防潮パネル：各種防音パネル



JIS表示許可工場　KJ製作認定工場

住友ウォールシステム株式会社

本　　社　東京都千代田区神田美土代町1番地（住友商事美土代ビル）ＴＥＬ03(294)8511(大代表)〒101
大阪支社　大阪市東区南本町５－14(住友生命南本町ビル)ＴＥＬ06(252)1881(大代表)〒541
営業所　札幌・東関東・西関東・北関東・仙台・名古屋・関西・岸和田・広島・福岡
出張所　全国24ヶ所
工　　場　群馬・埼玉・大阪（堺分工場）

建築の眼

加藤邦男　京都大学助教授・工学部建築系教室
山地英雄　大阪府建築部住宅建設課長
木村輝久　大建設計設計課
太田進一　大林組工務部工務課長

★1月号より6月号まで上記4氏で担当

みる——異常視と正常視

建築において視ることについて考えてみたい。精神医学の小田晋氏が、ある雑誌に鴨長明編「発心集」の一説語を引いて、宗教体験と精神疾患の幻覚について述べておられる。浄土から仏や天人が車に乗って迎えに来るという明らかな幻覚に導かれたある貴族の女性の臨終に、その場に居あわせた人びとは見事な往生であると賛嘆しあうが、呼ばれた導師は立ち去らず、彼の力でやがて女性は息を吹きかえし、今度は非常に弱々しい様子で亡くなり、導師は安堵して立ち去る。編者は、もともと信仰による神秘体験や回心に高い評価を与えているのであるが、ここでは悪魔的幻視として否定的評価をしている。これは、正常な宗教的体験と精神病的異常体験の問題である。幻視のほかに錯覚ということばもよく用いられる。大多数の人に認められる知覚を正常とするならば、錯覚はむしろ「正覚」であろう。われわれの意識の外に、即自的な客観性があるなどとは考えられぬとすれば、幻視と「正視」の区別も自明ではない。集団的幻覚などというものもありうることである。建築は、空間的構築であり、それは「眼」に視られるべく与えられている（donné à voir）。しかし、「ものを視る」ことの判断はどのようにして可能なのだろうか。（Ka）

専門家の意見

最近の「WHO」（世界保健機構）が、人間の健康を定義して「人間が身体すこやかに、心やすらかな状態」であるとしたように聞いたが、社会のありようも、このような人間の身体すこやかに、心やすらかな状態をつくりだすことに本来の意義が見出されるのではなかろうか。

しかし、われわれが現実の社会生活を営むためには、「たてまえ」と「ほんね」の谷間で、ついつい目先の恵沢にきゅうきゅうとし、あるいは現在の惰性の中にとっぷりと首までつかって、つかの間の安逸に身をまかせているのが一般である。日本建築協会という技術集団もあるいはこの集団を構成する個々の会員も、いわば現在の社会体制の中では恵まれた方のギルドに属するわけで、ややもすればその恵沢の中に、「金持ち喧嘩せず」的沈黙をきめこむ習性をみるのは私のひが目か。

一方、今の世の中は一般的に物言う習慣が普遍化して、たとえそのようなことが民主体制のありかたとしても、素人のやじ馬はともかくとして、昭和の魔女狩り的現象もわれわれの町づくりの分野でもなしとしないといわれる。このようなときにこそ、専門家の心を空しうした積極的な意見が望まれるのではなかろうか。（Y）

辰のこと

今年は辰年だが、辰といえば思い出すものに恐龍がある。SFや漫画によって子供にまでよく知られているあの巨大な恐龍が、大昔にその絶頂期の直後、急に滅亡してしまったが、その理由は、皮肉にも、恐龍を盛えさせた理由そのものだという。

生物が一旦ある環境に適応する能力を獲得すると、一層徹底して適応する方向へ進化する法則性があり、遂には、新しく環境に変化が起きても、それには適応できなくなり、昨日まで一番の長所だった能力によって、自分を滅ぼしてしまうのだそうだ。

経済効率の点では、規模といい、施設の内容といい、極限にまで進化した大型店舗ビルが、火災によって一挙に大きな棺桶に変化することなど身近な例である。これには、自分の狭い専門分野の中でベストを尽す専門家根性もその責を免れない。今や特定の目的のために抜群の効率を持つものは全て一度は疑ってかかる智恵が必要だ。

辰年の辰も、このような智恵の象徴として見れば、又、別の味わいがあるというものだ。（Ki）

実務段階での欠陥

突然破裂する清涼飲料ビン、危険な自動車、燃えだすテレビ、果ては放射能漏れ原子炉等々、しかもどれもが一流メーカー品、今まで信頼しきってきたものにこう次々と思いもよらぬ新聞記事を読まされると、最新技術に不信感を抱くのは誰しものことと思う。その点、わが建築界にはさしたる問題も起らず〝日本の建築技術は世界最高水準〟と、つい最近まで自負していたが、品質不良のコンクリート、中程度の地盤で崩壊する鉄筋コンクリート建築の新聞記事、欠陥建築物についてのテレビ放送などを見てショックを受けた。ついにわれわれまでが世間一般の最新技術に対する不信感台頭に加担してしまったのではないか。

しかし、思い直せばこれらの事故は技術そのものに欠陥がある訳ではなく、それを使いこなすわれわれ実務者の態度に起因するものではないか、技術はたしかに最高の水準を進んでいるのだが、実務段階で全くとるに足らない不注意、ちょっとした責任感の欠除から建築技術全般に及ぶ不信感に結びつけられるとしたら実に残念と言うほかない。われわれ建築実務関係者はここでもう一度原点にかえり、引き締まった気持で再出発する必要があるのではないか。（O）

お申込みが殺到しています

「新しいタイプ」の情報誌

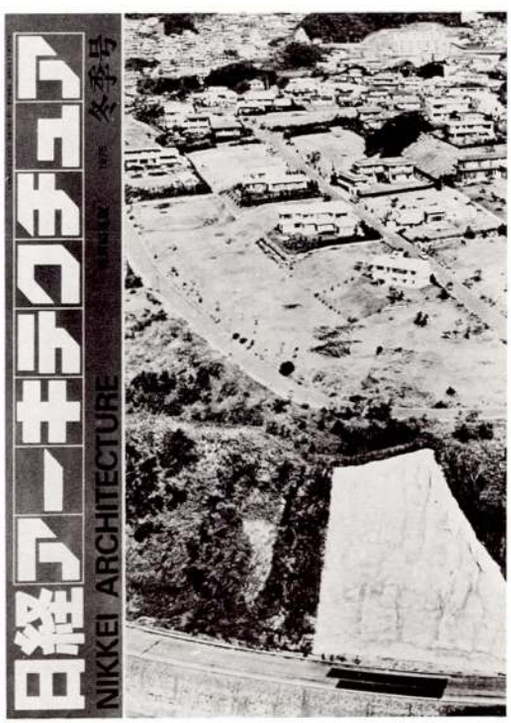
日経アーキテクチュア

いよいよ、4月5日に創刊

●予約お申込みをお急ぎ下さい。
特別編集版冬季号、春季号を無料で差しあげます(申込み〆切り:1月31日)。そして、4月5日からは隔週1冊のタイミングでご自宅へ直送します。

●新しいタイプの情報誌です。
設計、技術、建築の社会・経済までをカバー。海外代表誌と全面提携。隔週発行。調査データなどを駆使した実証的な記事内容。約150頁・ハンディタイプ。個人予約購読、ご自宅直送制。予約購読料:1年(26冊)7,000円〔1冊分269円〕、3年(78冊)14,000円〔1冊分179円〕)。

●お支払いは創刊後に。4月5日(創刊)号に同封の請求書と料金振替用紙で。



'75冬季号の内容

●インタビュー	岡田新一氏「都市環境作りは良質な都市財の蓄積から」
●都市防災	雑居ビル火災を徹底的に追究する
●住宅	ハウス55に見る低価格住宅実現のポイント
●中国技術	日中建築技術交流団が見てきた中国の最新状況
●リサイクリング	既存ビルの再利用で新たな収益を生み出す
●構造	米国にK字型ブレースによる新耐風方式が登場
●経営	"公共料金"になる設計監理報酬
●災害	亀井日大教授が語る八丈島台風被害の教訓
●教育施設	コスト高に工業化校舎で対抗
●提携誌から	米国建築界、最近の話題作
●地方建築家群像	静岡県の巻
●アンケート	現場施工担当者に聞く欠陥生コン対策のポイント
●海外著名建築家が語る現代建築の立脚点	ポール・ルドルフ、オブ・アルプ
●海外情報	米国の高層ビル、ガラス破損が訴訟問題に、ほか
●建設・設計界	大手5社が相次ぎ技術研究所拡充、ほか
●苦情・紛争	賠償責任保険に見る初歩的設計ミス
●na:あーと	彫刻・インテリア・ランドスケープ・インダストリアルデザイン
●建築インデックス	計量モデルによる、1年後の非住宅部門着工予測

予約購読申込書

(読者のプロフィールを正確に把握しニーズに応える雑誌づくりを行なう資料といたします。どうぞ全項目にご記入を。)建築と社会1月号

お名前/(フリガナ)	ご自宅住所/(〒　　) 電話番号/	
お勤め先/	電話番号/	役職及び所属部課/

お勤め先の職域〈該当のものに○印を〉/
1. 1級建築士事務所 2. 2級建築士事務所 3. 建設業(一式) 4. 建設業(専門) 5. 会社(営繕)
6. 官公庁 7. 公社公団 8. 学校 9. 建材業 10. 設備業 11. 不動産業 12. プレハブ業 13. その他

ご担当の職務〈該当のものに○印を〉/
1. 建築設計 2. 工事監理 3. 構造設計 4. 設備設計 5. 積算見積 6. 現場業務 7. 都市計画
8. 行政 9. 研究教育 10. 建材業務 11. その他技術的業務 12. 代願業務 13. その他

資格　〈該当のものにレ印を〉/一級建築士□　それに準ずる方(二級建築士□　その他□)

最終卒業校:　専攻学科:　卒業年度:昭和:大正:明治:　年卒

加入団体〈該当のものに○印を〉/
1. 日本建築学会 2. 日本建築協会 3. 日本建築家協会 4. 建築士事務所協会 5. 建築士会
6. 全日本建築士会 7. 都市計画協会 8. 日本住宅協会 9. その他

購読期間〈レ印をつけてください〉/1年(26冊)7,000円〔1冊分269円〕□　3年(78冊)14,000円〔1冊分179円〕□

日経マグロウヒル社販売部
〒101 東京都千代田区内神田2-1-2日経別館
TEL(03)270-0251〔代〕270-5910.8062〔直〕

建築と社会

©1917年創刊

ARCHITECTURE AND SOCIETY

表紙デザイン：吉井孝治＋松井昭光

●表紙写真：都市街路と人間No.1（ローマ）　現在でも地下を掘り起こすと遺跡が出て来て地下鉄工事もままならぬローマ。新都市エウルを作りながらも依然として遺跡や彫像にかこまれた市街地に、生活を続けている。ローマッ子のおおらかなバイタリティは、その昔、古代ローマ人の血を受け継ぐものかとも思われます。写真の彫像は新生ローマ解放の父、ヴイットリオ・エマニュエルII世のものですが、フオロ・ロマーノの裏側にこのモニュメントを作り上げたイタリヤ人気質というものも、外来者にとって不自然に見えても、それなりの理由があったのかも知れません。（古代？との共存）

●撮影者：吉井　孝治

1932年大阪生まれ
57年　大阪大学工学部構築工学科建築コース卒業
同年　日本住宅公団入所
67年　退職
68年　フォトコンテスト入賞・写真家として独立
69年　ヨーロッパ旅行
現在、アーバンフォトデザイナーとして、都市および都市の人々をテーマに活躍中。

昭和50年度編集委員会（順不同）

編集委員長	久保田進也	中川洋一
松村慶三	竹本丈太朗	西岡康夫
編集理事	十倉　稔	右田　宏
井上　滉	伴　一郎	尾路義一
岡田光正	星　忠甫	須賀好富
北垣智造	松原孝史	徳田裕英
小西　岬	三原清敬	藤岡正見
高野考二郎	山下博司	内田昌文
津田　祐	渡辺　忠	大倉良司
松村慶三	上原正行	志田　康
山田幸一	黒田達雄	河津隆之
前野慶太郎	隅谷康彦	佐々木友喜
菅谷健児	田中弘成	浅野満男
伴　一郎	沼田修一	石塚克彦
渡辺　忠	横川隆一	桐本弘之
副委員長	横山誠一	梶原　明
伴　一郎	若野幅三	平林　孝
横山誠一	荒木兵一郎	鈴木基之
鈴木基之	稲垣雅彦	高羽俊治
編集委員	片倉健雄	中村和隆
上森　肇	塩崎賢明	船井美彦

編集人	松井昭光
印刷	昭和51年1月20日
発行	昭和51年1月25日
発行人	福中定三郎
発行所	（社）日本建築協会 大阪市東区北浜3－37 電　06－231－9648 振替口座　大阪39975
印刷所	凸版印刷株式会社　関西支社 大阪市福島区海老江3－22－61 電　06－458－2251㈹
売価	1部　600円

■2月号特集予告
建築基礎構造の問題点
■3月号特集予告
医療施設
■4月号特集予告
施工材料

通巻646号・第57集・1976　**1**

CONTENTS　JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

■5月号特集予告
建築防災と法

特集・証言'76—デザインの動向

SPECIAL FEATURES ON TESTIMONY'76 ABOUT ARCHITECTURAL DESIGN

年頭のことば　'76年を迎えて／日本建築協会会長　塚本猛次……1

昭和50年中に竣工した新建築　川鉄製鉄水島研修所、鐘紡ガン研究所、ユニチカショッピングセンター・オークタウン、六甲ハウス、兵庫県立西播文化会館・西播生活科学センター、滋賀県立長浜文化芸術会館、法輪寺三重塔、国立飛鳥資料館、扶桑ビル、ダイエー舞子ショッパーズプラザ、八重桜カントリー・クラブハウス、東播カントリー倶楽部ハウス、舞鶴カントリークラブ・クラブハウス、大阪市立淀川区民センター老人福祉センター、日本住宅公団森之宮(2)市街地住宅、大賀株式会社本社、愛知県保養リハビリテーションセンター木曽川荘、作州武蔵カントリー倶楽部クラブハウス、鐵鋼会館、関西サイクルスポーツセンター……2

本年の抱負　日本建築協会常設委員会本年の抱負／日本建築協会常設委員長……32

会告　会員の受章。完成した薬師寺金堂の見学会。サントリー山崎ディスティラリーを見る。伊藤萬ビル新築工事の見学。……33

法令コーナー99　共同住宅に対する特例基準の適用について／田中隆夫……49

読者の頁　《私の設計姿勢》／木元秀行／林　浩二／安原　秀……50

建築と社会ニュース　新建第5回大会。住宅要求運動大阪連絡会結成。国鉄芦屋駅周辺の再開発。第9回軽金属協会建築賞募集。樹の話シリーズ・17　すぎ。……51

スケッチブック　最近竣工した新建築9点（No.1171～1179）……53

建築の眼　みる－異常視と正常視－／加藤邦男。　専門家の意見／山地英雄。辰のこと／木村輝久。　実務段階での欠陥／太田進一……55

作品作風　宗教法人妙道会教団聖地　設計：日建設計　施工：戸田建設……58
真如苑大阪精舎　設計：安井建築設計事務所　施工：大成建設……62
カトリック大浦教会　設計施工：大林組……70

デザインコンクール　団地内に建つ特定郵便局入選作品10点（審査委員長・池田有隣）……70

●特集／証言'76—デザインの動向

後期的近代の動向／向井正也……74

建築デザインについての証言'76

●断面からの証言—近代建築における28のセクションパターン—　紙野桂人／中原文雄／森田博信……80

●アンケート〝建築デザインについての証言'76〟……85
竹腰健造／村野藤吾／小田島兵吉／石川純一郎／東畑謙三／岡橋作太郎／西山夘三／浦辺鎮太郎／徳永正三／小川　正／岩本博行／彦谷邦一／西沢文隆／福田朝生／佐野正一／光安義光／徳岡昌克／蓮佛　亨／神出津嶺雄／川崎　清／根津耕一郎／水谷頴介／辻野純徳／出江　寛／指定真智雄／太田隆信／瀧　光夫／山崎泰孝／渡辺豊和／中島龍彦／浅井　謙／安藤忠雄／高松　伸

●評価の高い関西の建築作品……108

構造の頁　19　大スパン架構の設計にあたって／國枝治郎……112

設備の頁　19　低温における蛍光灯／矢後　朗……113

施工材料の頁　19　石灰系の膨張剤のコンクリートのひびわれ防止効果／日本建築協会建材委員会（和田得也）……114

都市設計資料　6　《河川》／神戸都市設計資料研究会……116

日本建築総合試験所だより　31　新年のごあいさつ／坂　静雄……118

月報　日本建築協会月間の動き（昭和50年11月分）……119

宗教法人 妙道会教団 聖地

滋賀県滋賀郡志賀町大字栗原字西勝寺野1602

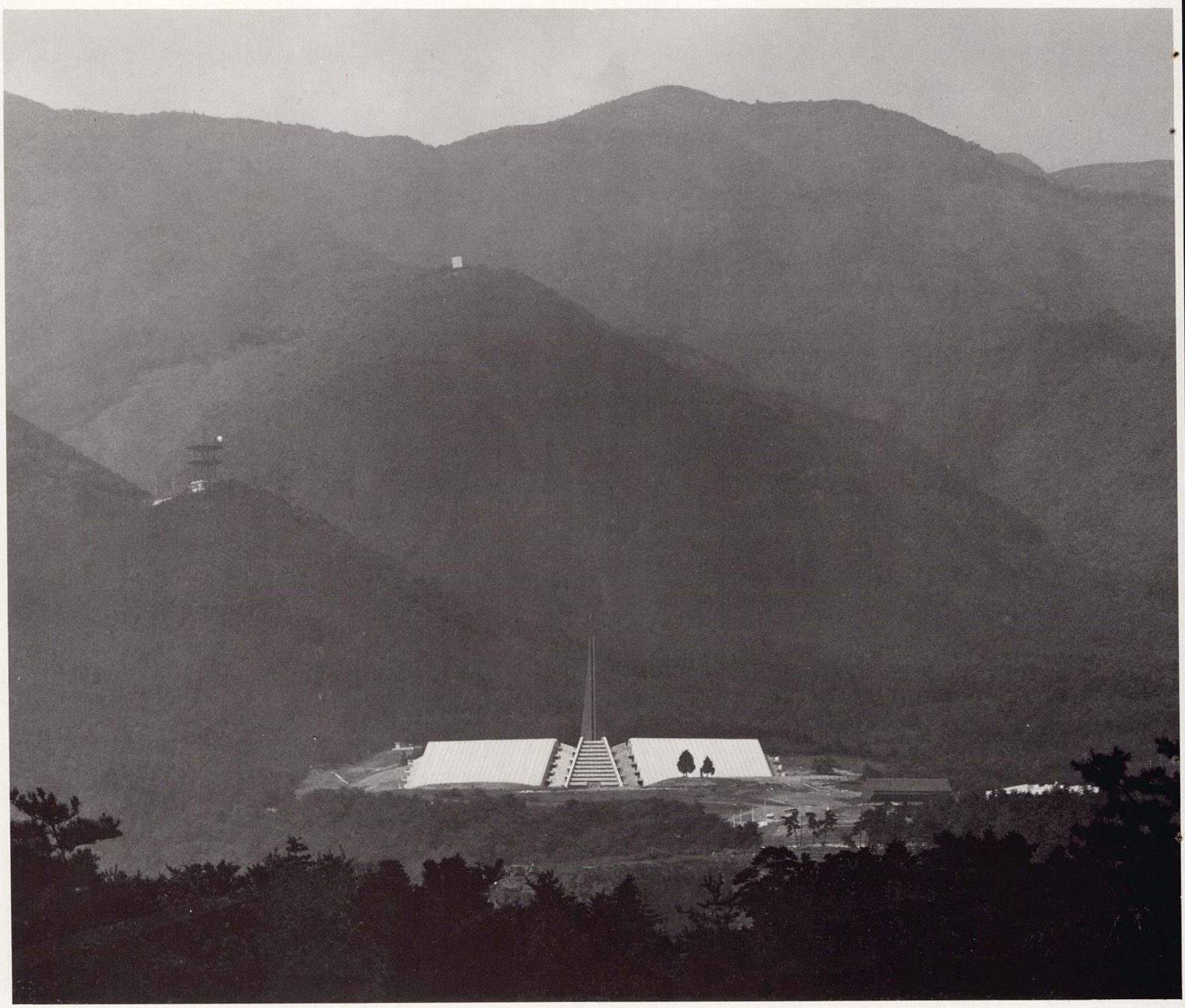
設　計　日建設計

施　工　戸田建設

電　気　近畿電気工事

空調衛生　新菱冷熱工業

敷地面積	291,477 m² （通路 3,288 m² 宅地 288,189 m²）	
	●宝塔・宝安殿	●聖　殿
用　途	記念塔	納骨堂
階　数	地下1階	地上5階
建築面積	約 80 m²	3,200 m²
延床面積	約120 m²	7,200 m²
高　さ	48 m	18 m
構　造	鉄骨及び鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート
外　装	アルキャスト	コンクリート化粧打 屋根プレキャストコンクリート
	●山　門	●会　館
用　途	収蔵庫	宿泊施設
階　数	地上2階	地下1階、地上2階
建築面積	290 m²	1,980 m²
延床面積	290 m²	3,880 m²
高　さ	14 m	12 m
構　造	鉄骨及び鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート一部鉄骨
外　装	銅板張　基礎石積	コンクリート化粧打
工　期	昭和48年7月～昭和50年6月	



鉄　骨　高田機工株式会社　大阪市浪速区敷津町2丁目33　TEL06－649－5100

タイル　井上窯業株式会社　大阪市天王寺区生玉町40　TEL06－771－2825

アルキャスト　久保田鉄工株式会社　大阪市浪速区船出町2丁目22　TEL06－648－2111

銅　板　株式会社 小野工業所　東京都墨田区石原4丁目12番1号　TEL03－624－2261　大阪06－304－0654

インテリア　株式会社 山本金属製作所　大阪市南区西賑町25　TEL06－761－0127

石　岡田石材工業株式会社　香川県木田郡庵治町3　TEL0878－45－9131

建　具　日鐵カーテンオール株式会社大阪支店　大阪市北区伊勢町30　伊勢町東洋ビル　TEL06－364－1171

P・S　ピー・エス・コンクリート株式会社大阪支店　大阪市北区絹笠町50　堂ビル　TEL06－363－2221

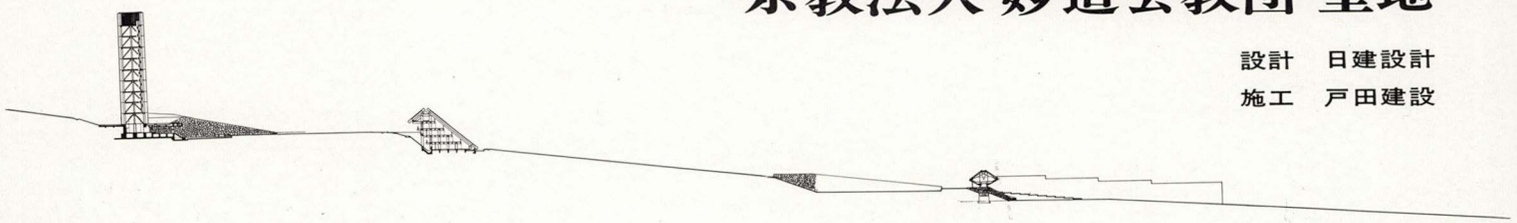
インテリア　株式会社 インテリア ソオラ　大阪市南区末吉橋通4－10　心斎橋プラザビル　TEL06－252－7977

造　園　株式会社 西川造園　枚方市北中振3丁目27－17　TEL0720－33－8998

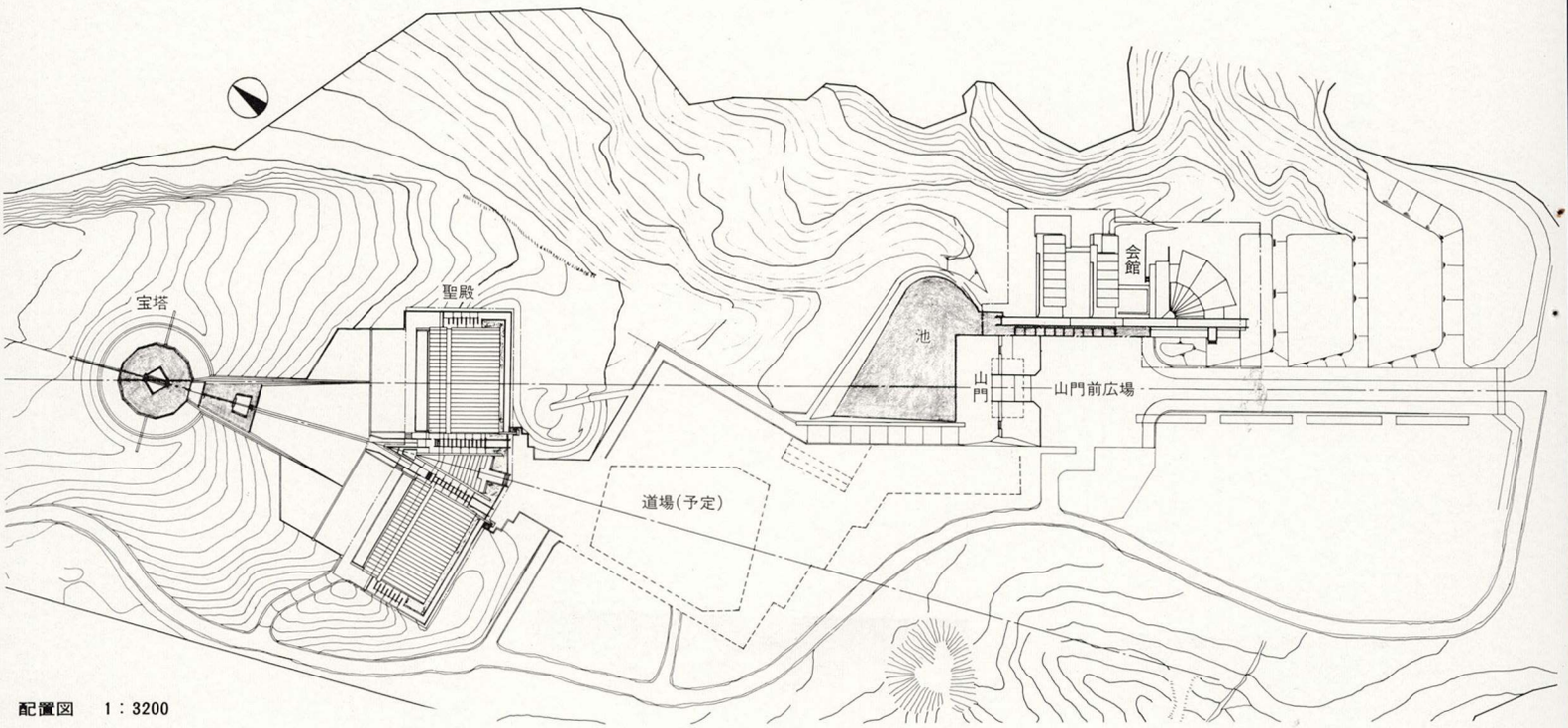


宗教法人 妙道会教団 聖地

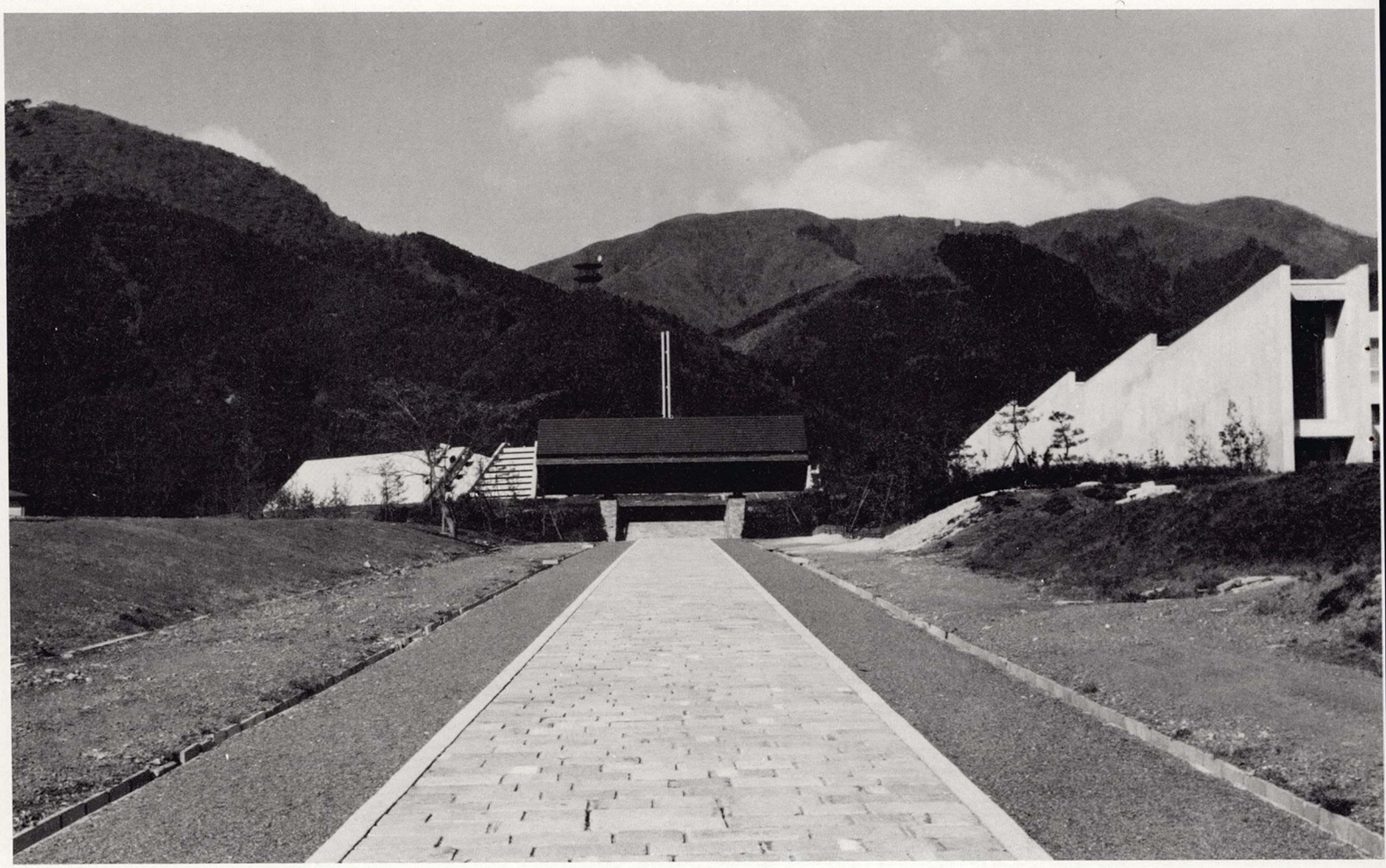
設計　日建設計
施工　戸田建設



断面図



配置図　1：3200



設計主旨

聖地は、眼下にびわ湖を見下す湖西・比良山系の南斜面に広がる。昔此の地一帯に仏教が栄えた頃、数多くの寺が点在していたとか。西勝寺野と呼ばれる敷地も、戦後開墾畑となり、その後檜三本を残すのみの草原であったが、法華、霊仙等の山なみに囲まれ、そんな雰囲気を残していた。

建築は1期として、宝塔、聖殿、山門、会館と呼ばれる四棟が完成し、それぞれ内部に宝安殿、礼拝堂納骨室、収蔵庫、宿泊施設等を持ち、外部に集いの広場を作り、参道をガイドする。礼拝の為の場は総て塔を正面に拝し、参道は建物に沿って、塔を見え隠れして登る。聖殿、山門は、聖・霊・練成の三ゾーンに区画する門である。広い自然の起伏の中に、建物は、塔・屋根・門・壁として、石垣・池・参道等と一体となって更に深い起伏を造る。

正門を上ると宝塔まで700M余、高低差60M、石畳みの参道は、会館の壁に沿って登り、山門前の広場に至る。"塀"として会館を隠す壁は、びわ湖の展望の為に段状に配置した宿泊棟、研修棟をスキップ階段で結ぶ一本の廊下である。山門は広場に向って、下の石段と対をなす屋根でく型に口を開き、聖、霊域に導き入れる。中の収蔵庫は、はね上式階段で閉ざされる。

山門の階段を上った池に、聖殿の屋根は塔の基壇として映す。屋根は、五層に並ぶ一万三千基の納骨壇を30MのＰＳＣで被っている。中央の礼拝堂と両側の納骨室をつなぐジグザグ階段の下をくぐり直登すると、宝塔前の広場に出る。聖殿に囲まれる広場では、5000人の式典が行われる。

1期工事の完成まで、教団が聖地を此処に定めて以来種々な難かしい折衝を続け、造成をし、工事期間中も、佐原会長をはじめ、建設委員、教団の方々の聖地に対する熱意の中で、13年を経て生れた。工事は、自然の厳しさの中で、想像以上に難かしいものであった。今後周囲の植栽計画の整備と併せ、他の建物も教団の発展と共に生れていくだろう。1工事で得た、感慨と教訓を生かし、更に深い聖地として完成していくことを願いたい。

橋本　厳／日建設計







前頁カラー　**聖殿**：礼拝室内部。

左頁　**山門**：聖域に入る門となり、門をくぐると塔を映す池に出る。
山門内は初代会長の遺品などを納める。

右上　**宝塔**：桧林に囲まれた池より漏出し、夜間は投光器により浮び上り遠方より望める。

右中　**聖殿**：塔と広場を取り囲み、納骨室バルコニーから全て塔が見える。
中央に集合した礼拝室をはさみ、両側に納骨室を持つ。

右下　**会館**：玄関ロビー
各棟は琵琶湖を望み、参道からは高い壁で隠されている。会員の宿泊・休憩施設。

撮影：ＳＳ現像所





真如苑 大阪精舎

設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　大成建設
空調衛生　須賀工業
電　　気　近畿電気工事

木工事 木製建具	内外木材工業株式会社	大阪市東区高麗橋詰町7－1　清水不動産ビル TEL 06－941－5454	金物 ステンレス建具	株式会社 田島順三製作所	大阪市東区平野町2－10 平和ビル TEL 06－203－4151
アルミ及 鋼製建具	不二サッシ販売株式会社	大阪市東区本町4－4　本町野村ビル TEL 06－262－2541	石及擬石	関ヶ原石材株式会社	大阪市都島区都島本通4丁目20－26 TEL 06－922－7661
クロス貼	有限会社 太田善商店	大阪市西区南堀江立花通2－10 TEL 06－531－3201	硝　子	株式会社 杉山硝子店	大阪市都島区中野町4丁目9－22 TEL 06－352－2845
タイル	青木産業株式会社	大阪市西区江戸堀5丁目132　新三輪ビル TEL 06－448－1913	塗　装	株式会社 石渡靖一郎塗装店	大阪市住吉区帝塚山東1－40 TEL 06－671－0151
左　官	株式会社 浪花組	大阪市南区玉屋町12 TEL 06－211－1501	舞台装置	三精輸送機株式会社	吹田市江坂町1丁目13－18 TEL 06－385－5621



△道場棟法前

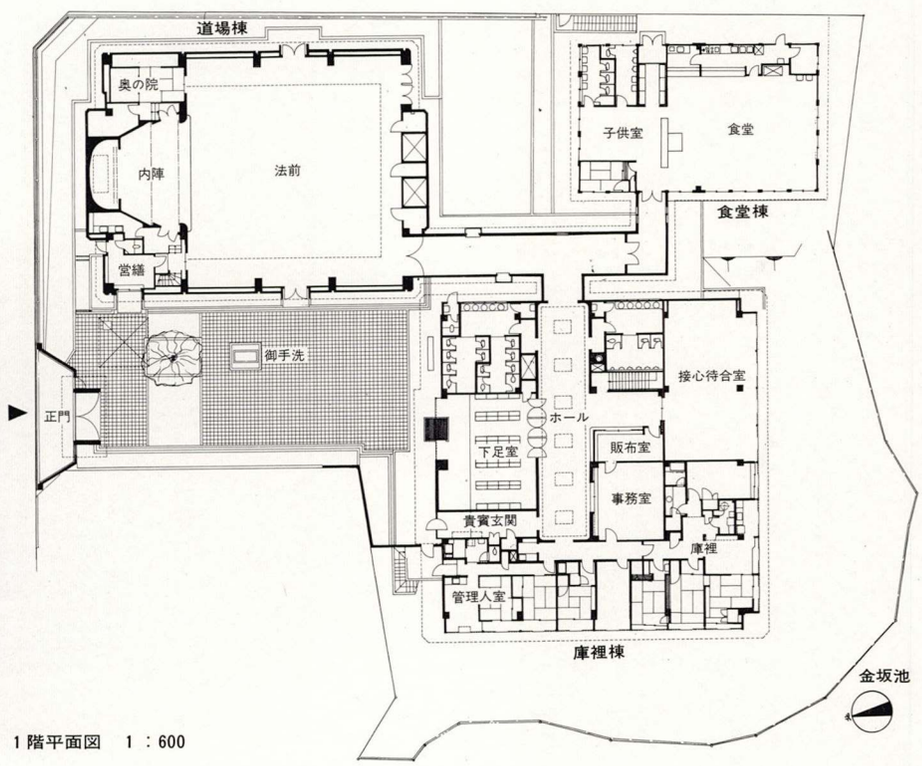
所在地	大阪府豊中市待兼山町370の5、6	
工　期	昭和49年７月～昭和50年５月	
規　模	敷地面積	3,069.52㎡
	建築面積	1,301.98㎡
	延床面積	1,832.83㎡
構　造	基礎構造	杭打基礎
	主体構造	鉄筋コンクリート造
		一部屋根 場所打ＰＣ造
		（ポストテンション ＶＳＬ工法）
		地下１階、地上２階
寸　法	最高部の高さ	9.75ｍ
	最高の軒高	6.90ｍ
	主なスパン	18.00×6.00ｍ
仕　上	外壁	エポキャスト吹付
	屋根	アスファルト露出防水
		砂利敷（一部白玉石敷）
設　備	空調設備	単一ダクト方式
		ガス二重効用吸収式冷凍機
		（130 ＵＳＲＴ）
	給排水設備	給水 市上水道（圧力給水方式）
		汚雑排水　市下水道
	電気設備	受電　6.6ＫＶ
		設備容量　250ＫＶＡ
		配　電　交流３相３線　210Ｖ
		交流単相３線　210/105Ｖ
		変圧器　動力用　100ＫＶＡ
		電灯差込用　150ＫＶＡ
	弱電設備	放送設備、ＩＴＶ設備、ＴＶ共聴
		防災設備（自動火災報知設備）
		非常照明設備、誘導灯設備
	舞台設備	舞台調光設備、舞台音響設備

▽正門より玄関を望む







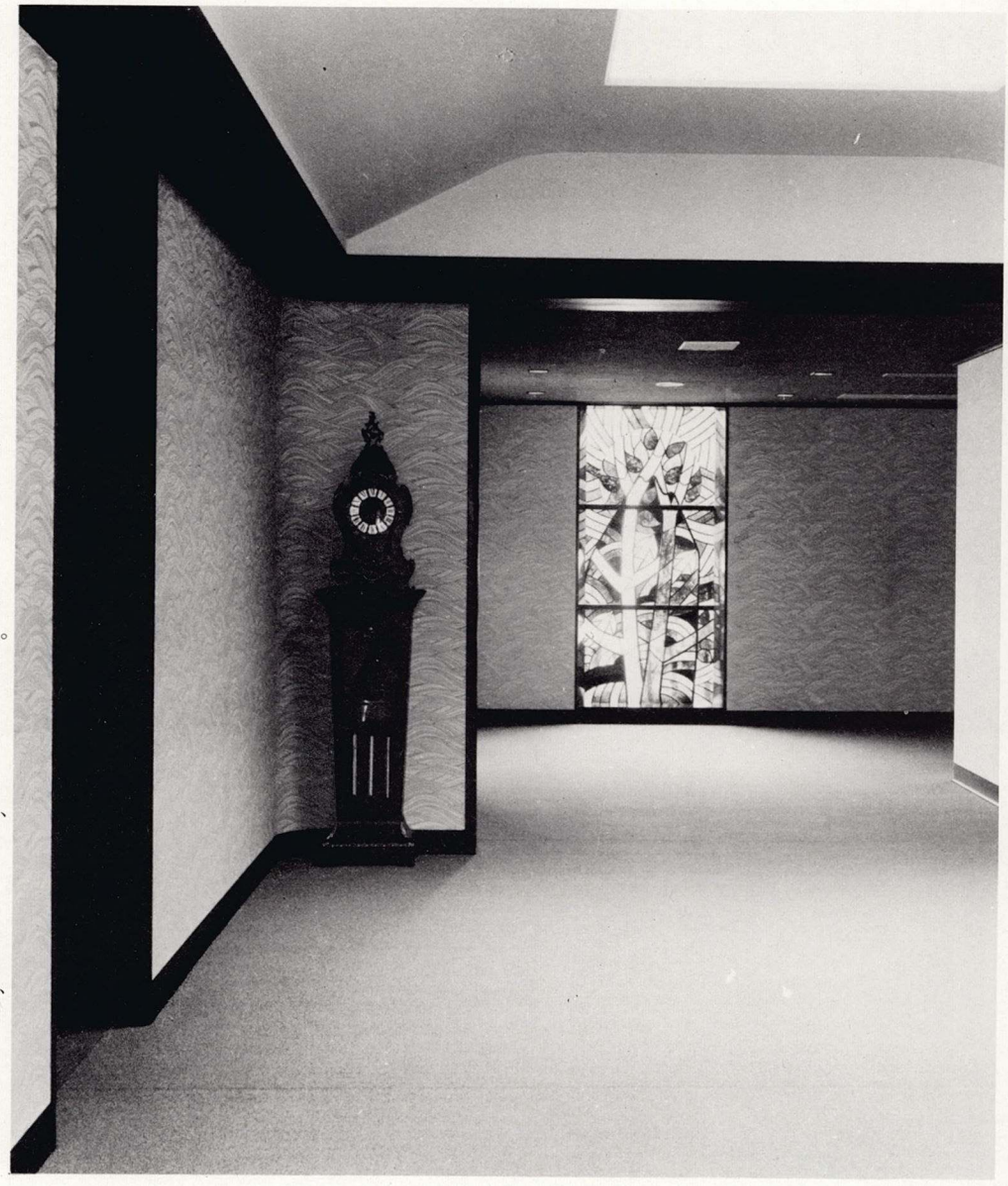

道場棟
奥の院
内陣
法前
営繕
御手洗
正門
子供室
食堂
食堂棟
接心待合室
ホール
販布室
下足室
事務室
貴賓玄関
庫裡
管理人室
庫裡棟
金坂池

1階平面図　1：600

真如苑 大阪精舎

設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　大成建設
空調衛生　須賀工業
電　　気　近畿電気工事

真如苑は、立川市に総本部をおく、涅槃経を教典とする佛教教団である。
大阪精舎は、豊中市北西部の高台の閑静な住宅地に計画された道場である。敷地は北側が道路に面し、南西の金坂池へと段状に低くなり、六甲山と大阪平野が遠望できる場所にある。
精舎の構成は、閉鎖的な空間を要求される道場棟と、開放的な空間をもつ庫裡棟からなる。
道場棟は、隣地眺望及び航空法の高さの制約の中で、18Mスパンの架構にポストテンション工法を取り入れ、高い天井による佛心の高揚を象徴する密教的な空間としてまとめた。
道場には、舞台装置、舞台調光装置をはじめ、精舎各室へ放送できるカラーＩＴＶ装置、音響装置を備えている。
庫裡棟は、眺望の開けた南側台地に配し、事務室のほか、トップライトにより自然光のさしこむ軟らかなホール、開放的な接心待合室、もっとも眺望の開けた南西の角には庫裡を配置した。地階には、機械室のほか、深理を求め佛と対話する相談接心室、傾斜地を利用し外気に面した場所には、教学を求める信徒のための智流院を設けた。



左上　道場棟西面
左下　正面広場
右上　ホールよりステンドグラスを望む
右下　ホール

撮影　ＳＳ現像所





地下１階平面図

カトリック大浦教会

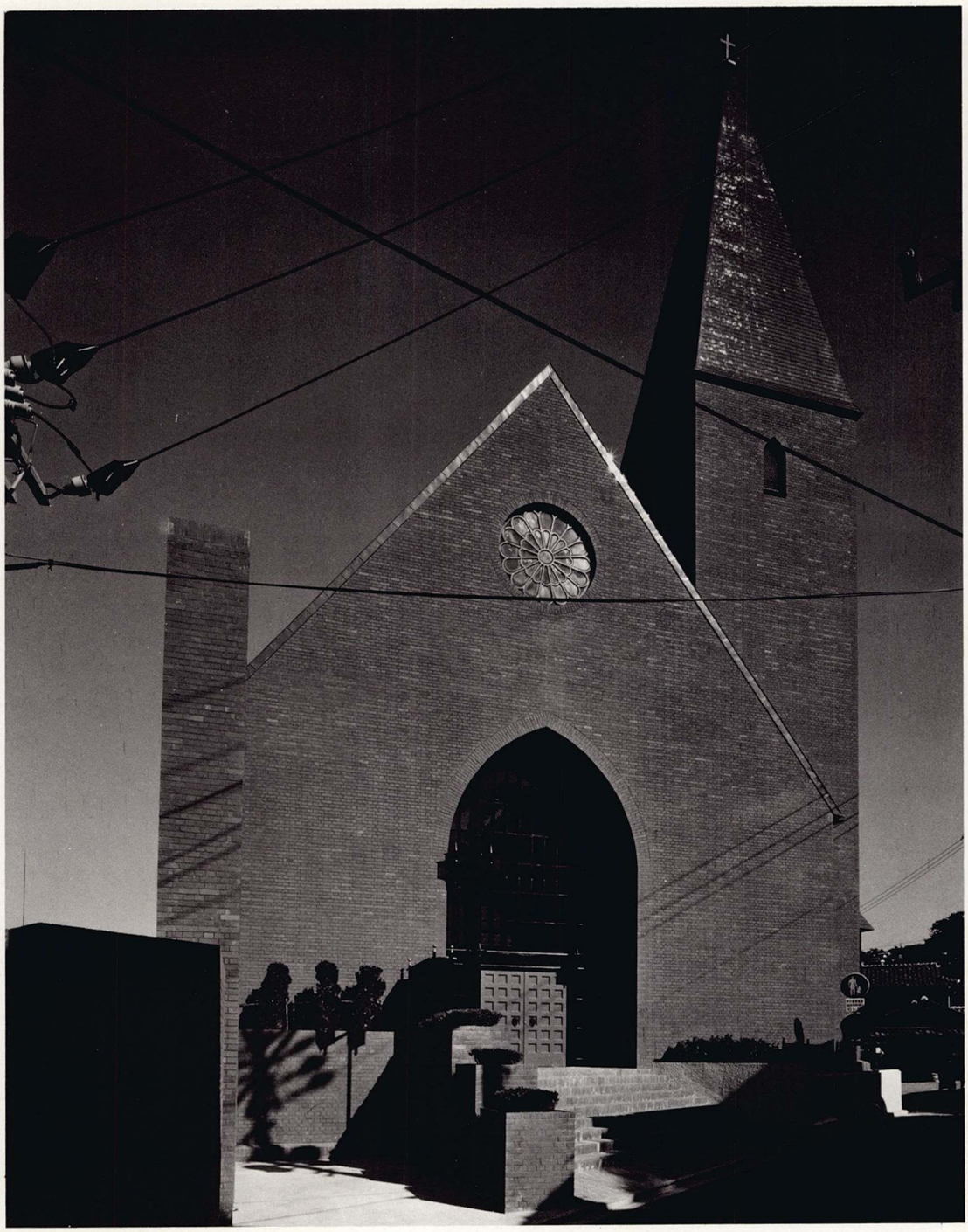
設計施工　大林組

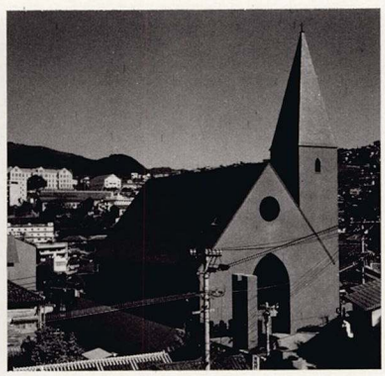
所 在 地　長崎市南山手町21
主要用途　カトリック聖堂
敷地面積　763.10㎡
建築面積　401.84㎡
延床面積　2,092.14㎡
規　　模　地下２階、地上３階、塔屋２階
高　　さ　基準ＧＬより軒高　6.450m
　　基準ＧＬより最高高　29.800m
構　　造　鉄筋コンクリート造　屋根鉄骨造
主要仕上　屋根：銅板13オンス一文字葺
　　外壁：煉瓦タイル貼（石炭釜）
　　建具：アルミニウムサッシ
　　ジュラクロン仕上
設　　備　空調：パッケージ方式
　　暖房：温水ボイラー（都市ガス）

右　カラー写真　御聖堂の内部から祭壇をみる。正面のステンドグラスは、イエズス様の御生涯の受胎告知から復活までの物語りで、設計は大林組、製作は大竹ステインドグラス。

下　御聖堂正面

写真撮影　江崎元識





電気
大阪電気暖房株式会社
大阪市西区江戸堀１－60
ＴＥＬ　06－441－8231

給排水・空調衛生
株式会社　八百山工務店
長崎市川平町1364
ＴＥＬ　0958－48－6234

外壁タイル貼工事
株式会社　淵上勝蔵商店
福岡市博多区須崎町６－２
ＴＥＬ　092－281－4445

外壁タイル製作
株式会社　国代耐火工業所
瀬戸市上本町305
ＴＥＬ　0561－48－1122
大阪：06－245－5184　東京：03－815－5333

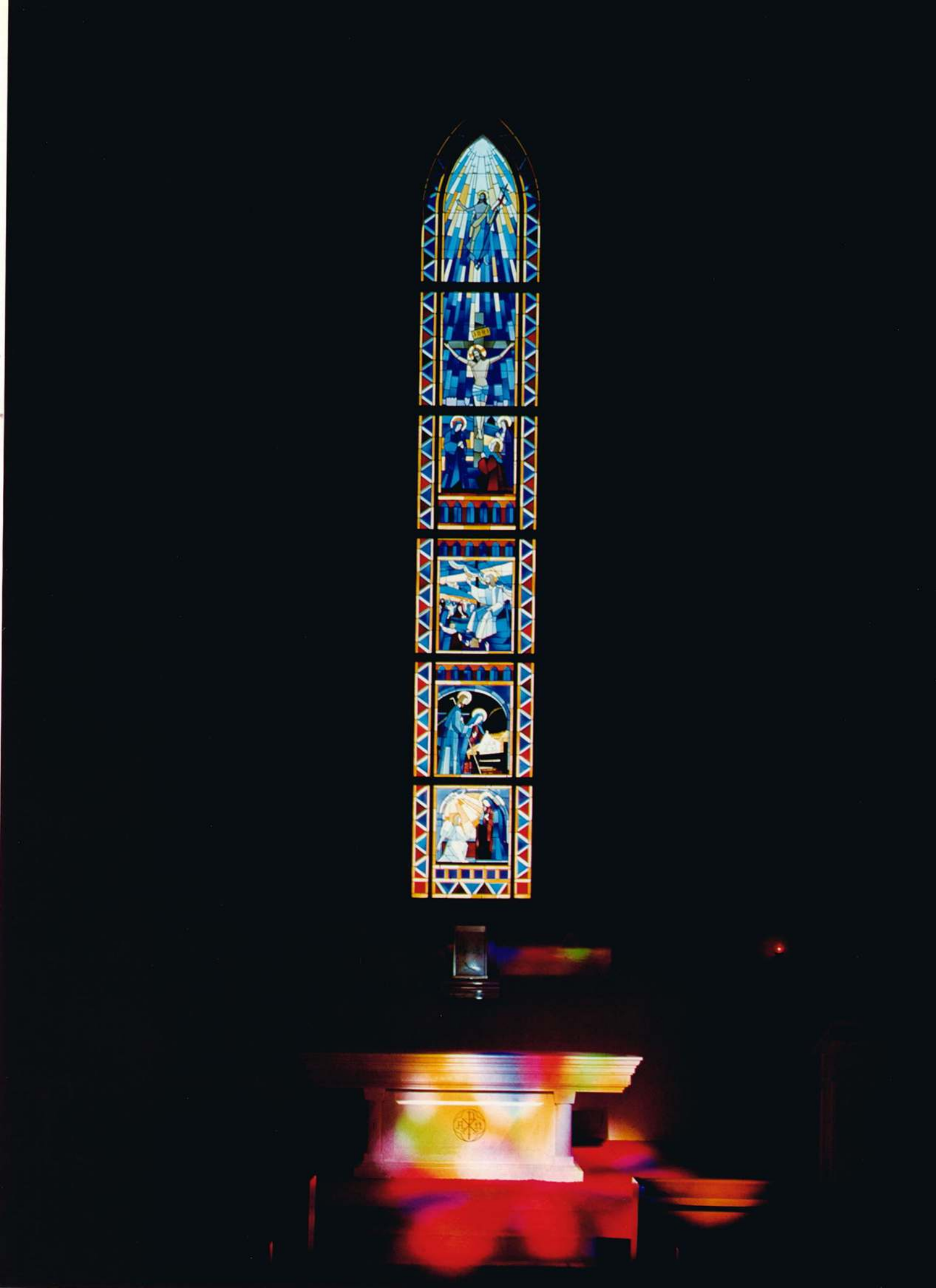
サッシ、ドアー
日本アルミニウム工業株式会社
福岡支店　福岡市博多区住吉３－１－80
ＴＥＬ　092－281－5831

屋根銅板葺
伊佐産業株式会社
福岡市博多区東比恵２丁目20－18
ＴＥＬ　092－441－6861

ガラス
川添硝子株式会社
長崎市江戸町２－25
ＴＥＬ　0958－26－5311

ステンドグラス製作
株式会社　大竹ステインドグラス
東京都中野区江原町３丁目５－５
ＴＥＬ　03－952－1228

内装
イトウ株式会社
長崎市銅座町９－14
ＴＥＬ　0958－26－9158

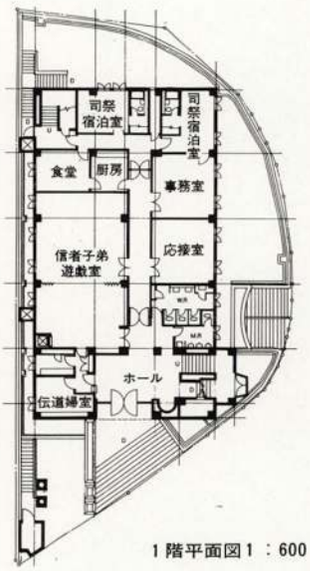


カトリック大浦教会

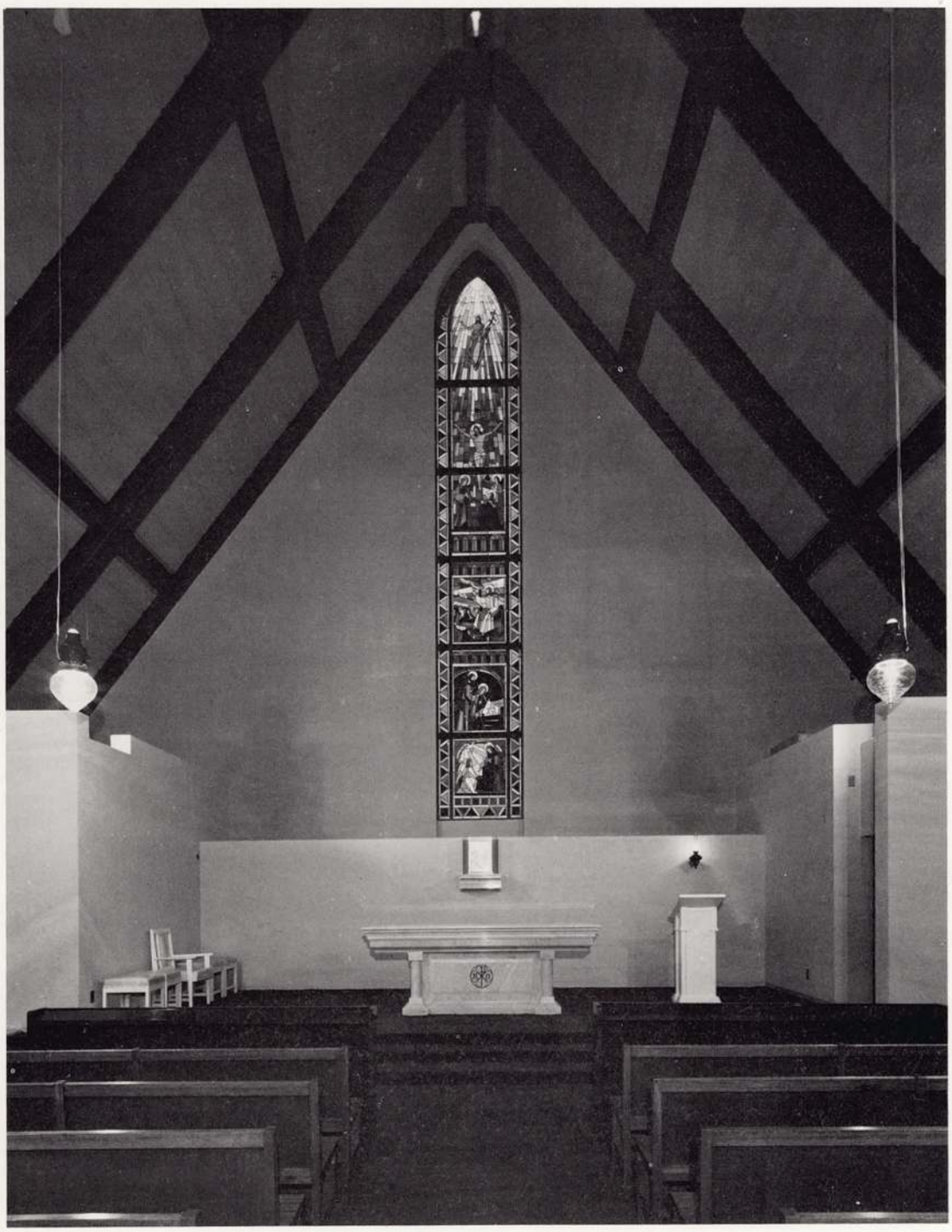
設計施工　大林組



配置図 1 ：1500



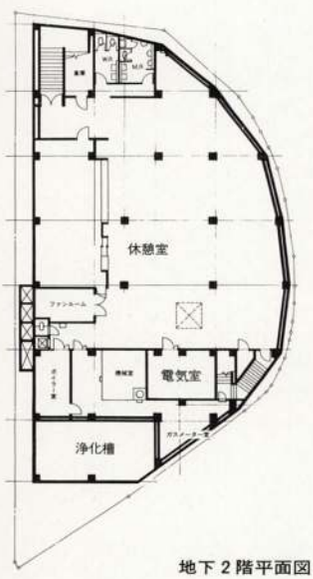
1 階平面図 1 ：600



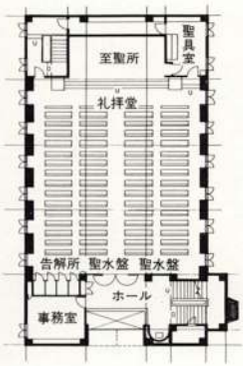
◀聖堂内部



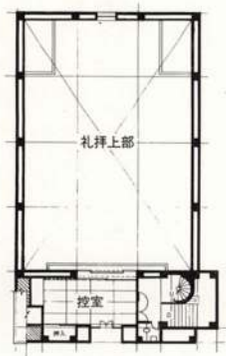
地下 1 階平面図



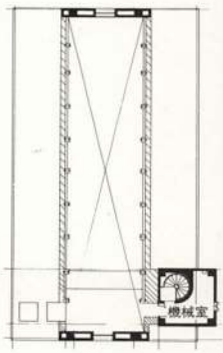
地下 2 階平面図



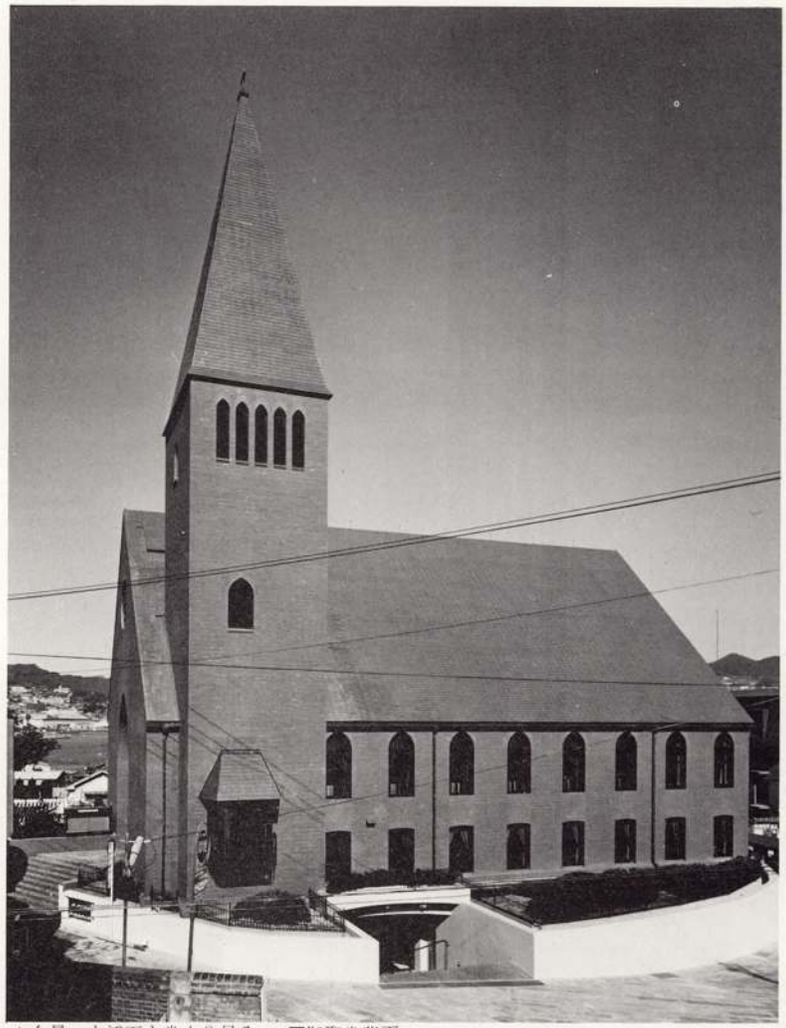
2階平面図



3階平面図



塔屋1階平面図



▲全景。大浦天主堂より見る。 ▼御聖堂背面



カトリック大浦教会について

カトリック大浦教会は26聖人の御一方であらせられる長崎県五島御出身のセントヨハネ五島様の御業をたたえ、木造ゴシック建築として有名な国宝大浦天主堂の正面にある階段を降りた広場に面した敷地に建立された教会である。天主堂が観光客の増加のために、ミサをはじめ教会行事が満足に行えない状態になってきたので、教会関係者および信者の間で御聖堂をとの声が高くなり、1975年が聖年にあたるのを記念して、1974年10月着工、1975年11月3日に祝別式を挙げられて落成したものである。

国宝・大浦天主堂は、幕末の1863年、フランスから来日された宣教師B.T.プチジャン司教によって建立されたもので、その頃、この附近は居留地であった。2年後の65年3月17日、浦上地区で永い間かくれキリシタンとして信仰を守りつづけてこられた信者が、この天主堂を訪れ、劇的な会話のちに信徒発見とキリシタンの復活が行われた。当時はまだキリスト教の弾圧の時代であり、長崎奉行所の知るところとなり73年(明治6年)、宗教の自由が宣言されるまで悲惨な迫害を受けたという、近代日本カトリック教会史上由緒ある教会で、全国から大勢の信者が巡礼に来られるところである。

一方、この御敷地の中には国宝の天主堂を中心として、右側には明治中期にフランス人神父の設計による、木造バルコニーを廻らした煉瓦造の司祭館（重要文化財）があり、この奥にはB．T．プチジャン神父のお建てになり、最近重要文化財の指定を受けた木造の神学校などがある。またこの敷地の廻りの南山手町一帯には、グラバー邸などの居留地時代の住宅、旧イギリス領事館などの煉瓦造の公館・商館・学校が点在し、建築史上なかなか興味のある建物が多く、澄み切った青い空と強い陽射しのもと落着いた南国風のエキゾチックな雰囲気に包まれているところで、長崎市が観光拠点として、とくに整備に力を入れているところである。

新しい教会は、このようなすばらしいロケーションとその歴史的背景を充分にふまえて、屋根鉄骨造の鉄筋コンクリート造、地上3階、塔屋2階、地下2階の規模でこの環境に充分とけ込ませるように心掛けると共に、神の家としての尊厳と、信仰の場としての落着いた親しみやすさをモチーフとしてとらえてみた。

正面玄関は観光客の雑踏の少ない西側道路に面して設け、2階に礼拝堂を設けた。礼拝堂の正面中央には、高さ9Mのイエズス様の御生涯を表わすステンドグラスの窓を設け、左側にはセントヨハネ五島様の御像を祀り、右側にはマリア様の御像が祀られる予定である。この御像と祭壇の甲板はイタリーへ注文して製作されたものである。礼拝堂背面のローズウィンドウは天主堂に建設当時から残っていて親まれているローズウィンドウを模したものである。1階の玄関ホールを入ったところは信者用会議室と司祭館などがあり、地下室の一部には以前この土地で売店を営業されていた信者の方のためのレンタルスペースになっている。

栄木 一成／大林組 本店建築本部 設計部

第21回工高生デザインコンクール入選作品

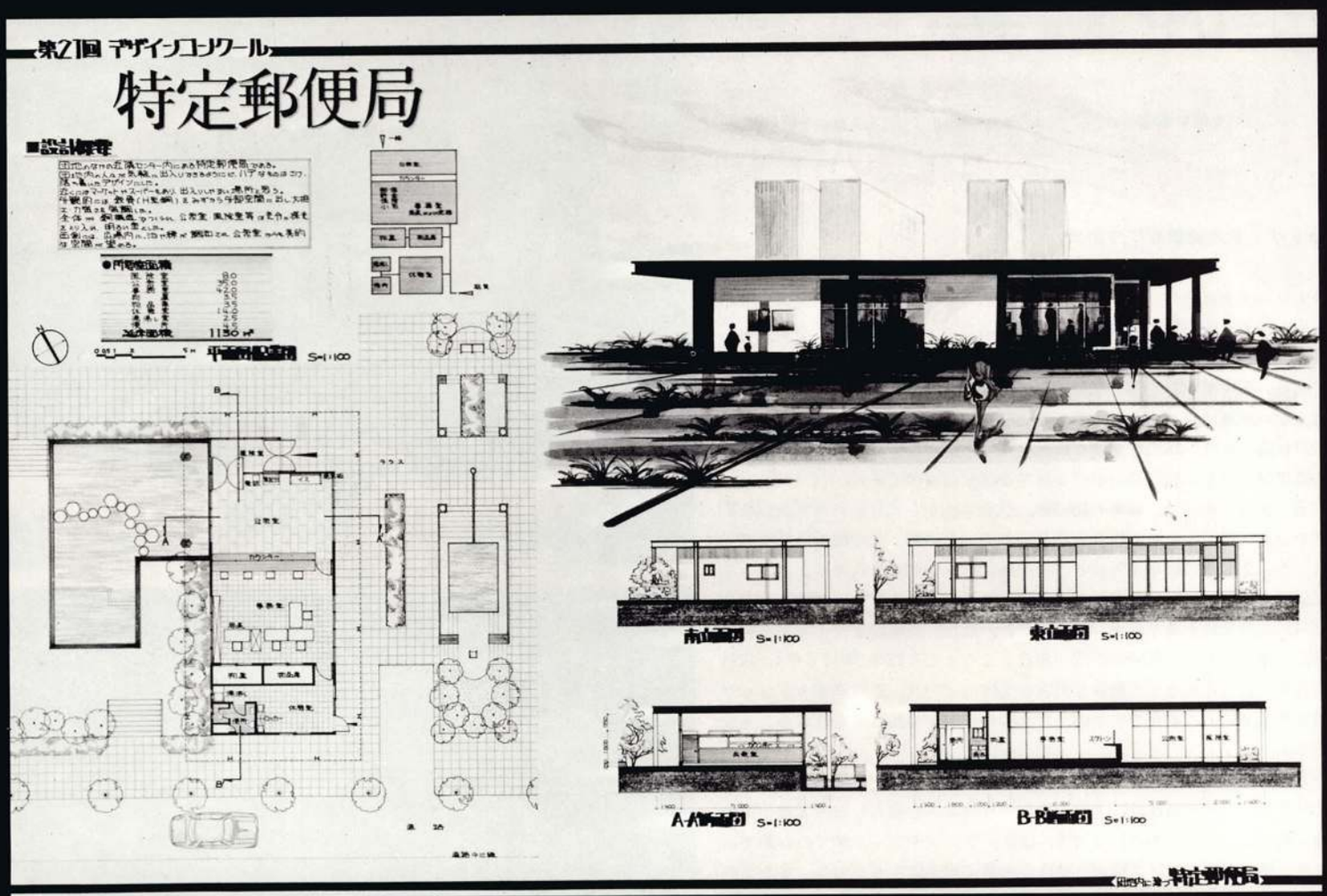
設計課題：団地内に建つ「特定郵便局」
主　　催：日本建築協会

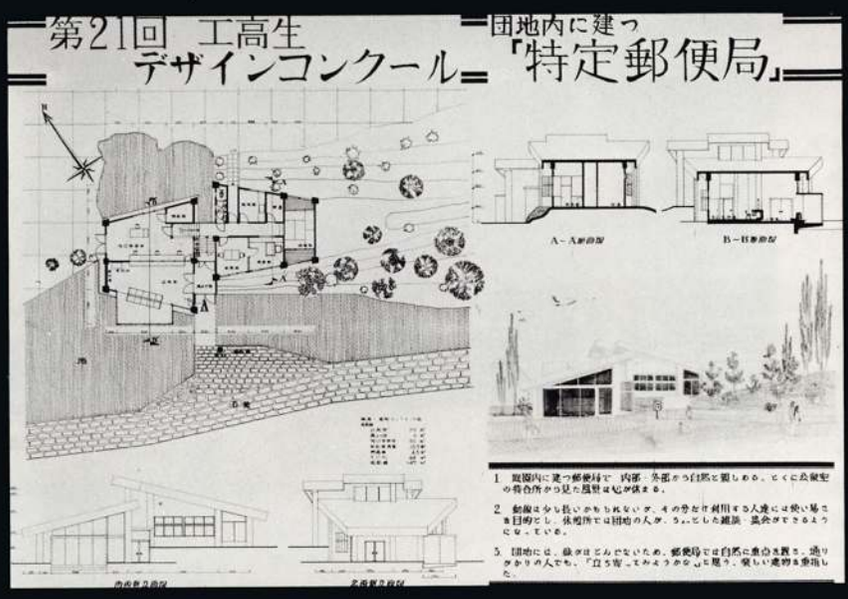
応募作品162点のうち、予備選考、第1次から第5次までの本審査を経て、入選作品10点を決定し、うち最優秀作品1点を選定した。

応募校　18校　　**応募点数**　162点

審査委員長／池田有隣　　**審査員**／青木　亮／尾崎勝弘／亀井晃治／桑田和明／小角　享／斎藤有弘／笹田剛史／多胡　進／田中弘成／竹延邦義／松崎　淳／山田　弘／山本純孝（50音順・敬称略）

〔掲載順不同〕





△ 最優秀賞　平田 幸隆

（大阪市立都島工業高校・3年）

最優秀入選の知らせを受けた時は、しばらく茫然とする感激でした。これに取組んだ最初は固定観念にこだわって、規定床面積も広過るように感じた。平面的には単純明快なオーソドックスなものとし、団地近隣住区内にある位置づけと鉄骨を外空間に出して立面を強調した。

◁ 入選　曽根 千秋

（静岡県立島田工業高校・2年）

学校で6人が選ばれてこの課題に取組むことになったが、はじめは考えがまとまらず不安でした。団地ということで緑を多く取入れた環境を考え、六角形や二戸建の平面を配置して、ふとヨットを想って立面が大屋根になったり、出来は別にしてじっくり書いた喜びがあった。

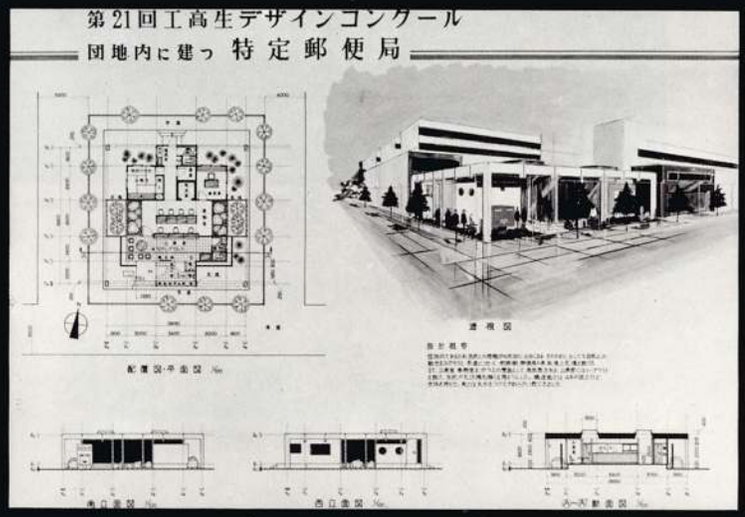
設計要項

1．敷地：団地内の近隣センター地区に自由に想定する。
2．規模：2階建以下の独立した建物とし、延べ面積100～150㎡とする。
3．構造：自由とする。
4．所要室・設備：(a)公衆室――筆記台・腰かけ・掲示板・公衆電話などを設ける。　(b)風よけ室
(c)窓口事務室――郵便・貯金・保険・小包の窓口業務を取り扱う。　（小包窓口の幅員は130cm以上、その他は120cm以上）
(d)事務室　(e)局長室　(f)職員休憩室
(g)物品庫――金庫室としての機能をそなえる。
(h)物置　(i)便所　(j)湯沸室
(k)外部施設――ポスト・掲示板・その他
〈注〉①（c）（d）（e）の諸室は1室としてもよい。　②集配業務は行わない。

総　評

地域社会と結びついた生活関連施設・公共的施設の一つとして、特定郵便局のデザインをいかに考えるかという難しい課題であったが、162点もの力作が集まり、うち10点が選ばれた。上記の、周辺環境に関する設定は、各自の意識の中で処理されるよう、自由度が大きく与えられていたため、結果的には、ふつうの単体建築の設計とどう違うかの点で、難しかったことと思う。

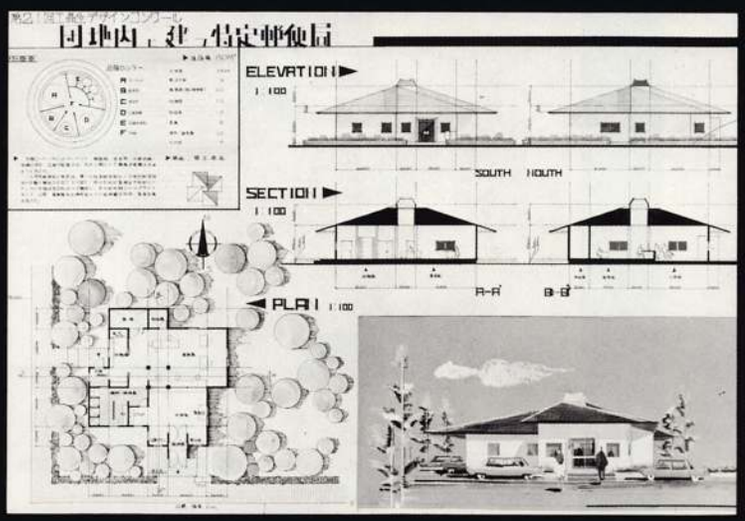
いつものことながら作品の技術性（ならびに完成度）とデザイン性（創造力・意匠力）とのバランスをどう評価するかが問題となり、慎重な討議が重ねられた。全体の1／4に当たる作品に、寸法線や所要室の欠落とかの記載不備があり、減点の対象となったが、それでもデザイン力の将来性を買われた作品も少なくなかった。課題内容をよく読むといった基本的な態度は常に注意すべきであろう。その上で、若く溢れ出るエネルギーを感じさせる豊かな創造を表現してほしいと思う。　（池田 有隣）



△ 入選　高橋 努

（名古屋市立工芸高校・3年）

担任の先生から入選を聞いた時は、喜びより驚きの方が大きかった。今の身近にある郵便局はどこに行っても形式化して同じ体裁である。団地の中で楽しい雰囲気をもつ点景としての郵便局の建物と、その周辺を形式を大胆に破って、平面でも立面でも変ったものを考えた。



△ 入選　大谷 一見

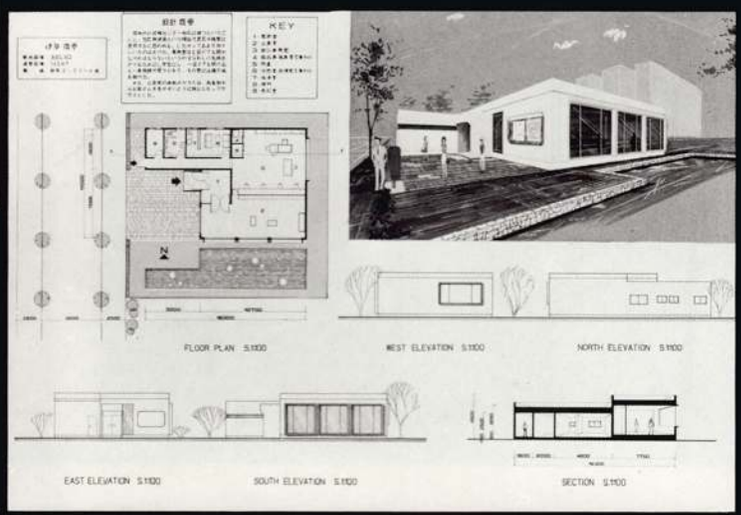
（大阪市立都島工業高校・3年）

庶民生活の中にある郵便局の位置づけから、近代風建築の中にあっても団地の郵便局は日本風な、落着きと気易さのあるものがよいと考えた。建物内の雰囲気には採光の影響が大きいと思い、利用者と局員が共に快適な感覚がもてる設計に重点をおいた。入選を母は喜んでくれた。

▽ 入選　岩本 明広

（大阪市立都島工業高校・3年）

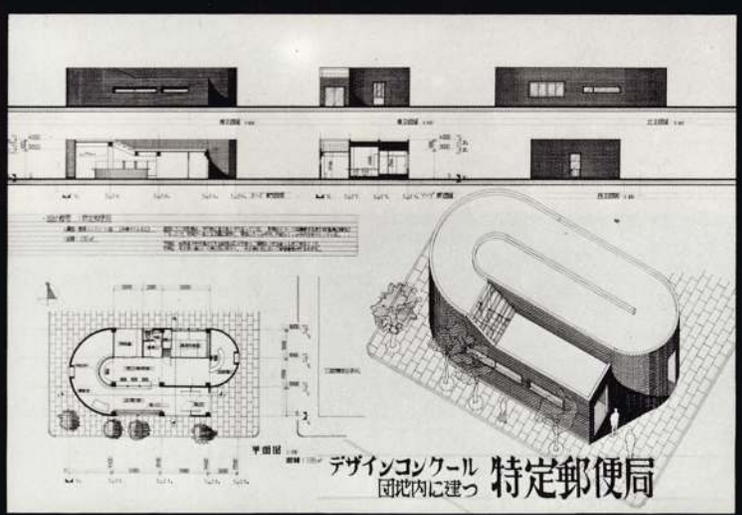
意気込んだ割に自分で納得できる作品にならなかったので、入選は嬉しかった。単独の建物でなく団地住区と連繋のもてる有機性に計画の重点をおいた。仰々しい感じを出さず、落着いたオープンな感覚に主眼をおいて考えてみた。公衆室の感じや風除室の形には工夫をした。

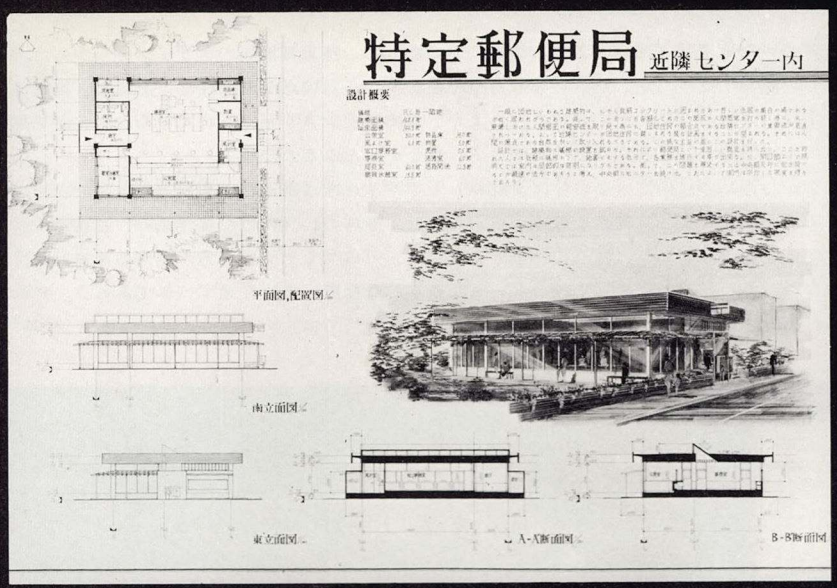


▽ 入選　河野 哲郎

（大阪市立都島工業高校・3年）

郵便局という固定されたイメージの建物の設計はやりにくかった。所謂公共空間は一般社会と遮断された場所であり、これを否定的立場で設計することに抵抗をもちながら、結局は閉された空間構成になったのは自分でも肯けない。でも自分の作品が出来上った歓びは別である。





▽ 入選　田村 光利

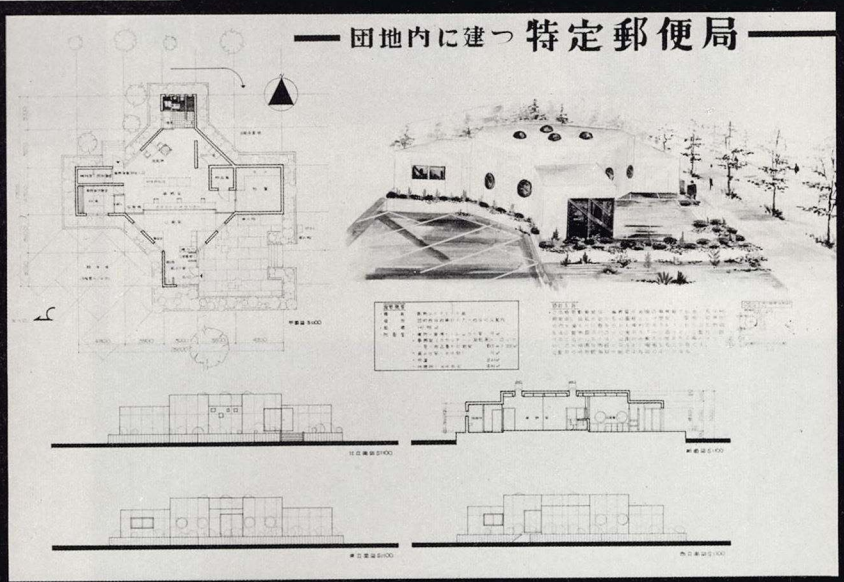
（大阪市立都島工業高校・3年）

図面が粗いので入選は期待しませんでした。喜びより反省が先に出ましたが考え方として、今の郵便局はどこに行っても狭く、ぶっつかり合うような不便さがある。それを解決するように重点を事務室処理においてみた。局員の動線とサービス機関としての機能を工夫した。

△ 入選　笹本 和美

（大阪市立都島工業高校・3年）

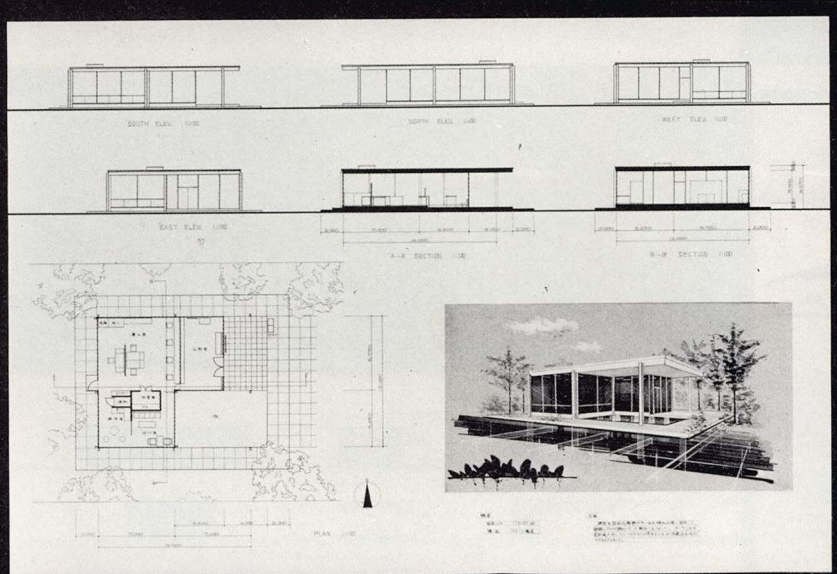
「自分のキャリアーは自分で身につける。」そんな意気込みで取組んでみた。団地のコミュニティとしての場という考えを出発点にしました。子供を連れたさまざまな人たちが集ってきて外部広場に遊び、建物内も融通性のある空間と採光をねらってみました。明るい局内が希望でした。

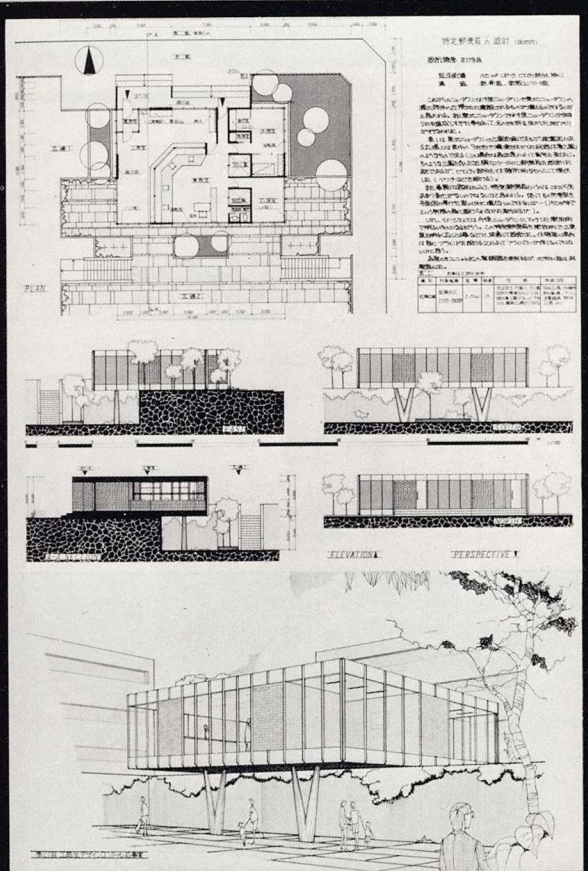


▽ 入選　堀 孝義

（大阪市立都島工業高校・3年）

下町の民家を利用した特定郵便局をすっきりした形でまとめようとしたが、併存建物として存在する現実に意欲がうすれた。だが、利用者のイメージとして生活のない建物の単純な形に、却って安心をもつかも知れない。そんな考えを主張したが、表現の物足りなさを感じます。





▷ 入選　金見 雅弘

（大阪市立都島工業高校・3年）

入選の知らせを受けたとき、不安から抜け出た喜びは言い表わせない。街の郵便局のイメージは目印となっても楽しいものではない。そこに明るい広場と語らいの場があるような欲張った考えで、この図面を自分の表現として描いてみたいと思った。細部への配慮が足りなかったように思う。

特集
証言'76——デザインの動向

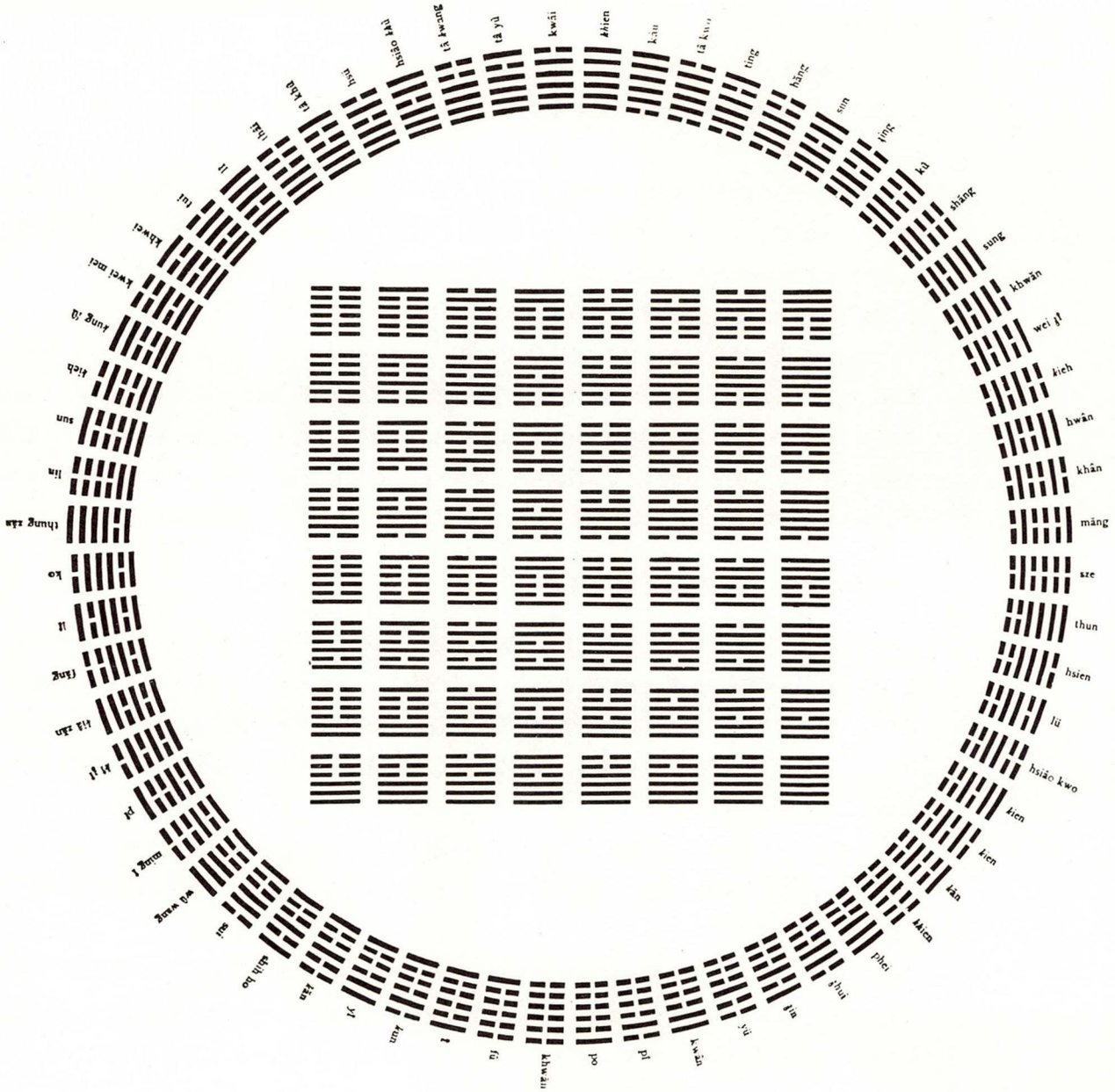
後期的近代の動向／向井正也

断面（セクション）からの証言—近代建築における28のセクションパターン／紙野桂人／中原文雄／森田博信

アンケート・建築デザインについての証言'76

関西の建築家33氏の証言

評価の高い関西の建築作品



この六線形グラフ図は「The RSVP cycles:Creative Processes in the Human Environment」(Lawrence Halprin著) P.21より

後期的近代の動向

向井正也

「〈変れば変るほど、それは同じものだ〉――おそらくこの言葉がいつか、現代の墓碑銘になる時が来るであろう。すべてのものが熱に浮かされ、しかも沈滞し、はてしなく変化し、しかも同時におそろしく画一化されている」

折にふれ私が、好んで心の中で口ずさむ、これはウラジミル・ウェイドレの警句である。（深瀬基寛訳）70年代もはやその半ばを過ぎようとする今日、この言葉の意味は、いっそう重い響きをわれわれの心に伝えるかのようである。

高度成長がモノも心も蝕んだ果てのこの澆季混濁の世に、さらに痛烈なパンチとなった、あの石油危機に発する〈大転換〉が、その後2年を経過して、ようやく近頃のいわゆるUターン現象として、そろそろ動き出す気配を見せはじめつつある現在、もはや〈世紀末〉とよびうる段階に移向したかに思われる後期近代主義（ザ・ニュー・モダーン）の建築には、いまなお混迷と沈滞の色が濃厚である。そのデザインの発展方向なども、ほとんど見定めがたい状態にあるといわざるを得ない。まさに舵も羅針盤もないボロ船で、運を天にまかせて大海原をあてもなく漂流するに似ている。かつての〈流動の70年代（フローティング・セブンティーズ）〉などという言葉も今では全く皮肉にきこえる始末である。こうした、〈明日の栄光〉へではなく、〈明日の翳り〉へと向かう、末期的近代の針路を求めてのQU-O VADIS のさまざまな試みが、70年代この方、わが国の建築ジャーナリズムをにぎわせてきた。本誌の今回の特集もまたその例外ではない。もとより私は、ここでモダン・デザインの方向などについてはいかなる判断ももちあわせはないのだが、この重大な歴史的節点をめぐる現下のデザインの特性的な諸傾向を、時代や社会との関連の下に前方向の視野の中に、あるていど照らし出せればと思う。

ヴァナキュラリズムというもの

19世紀の世紀末の建築もまた、今日と相似の混迷（カオス）の状況下にあった。デザイン面からすれば、このカオスとは当時の様式折衷主義にもとづく〈形式的混沌〉を指すもので、今やそれとは本質的に同じではないにしても、何らかの折衷主義的な形式的混沌の渦中にある後期近代主義が、そもそも建築運動として、発生し、発展した契機は、ほかならぬこの19世紀のカオスの排棄にあったとは皮肉な事実である。

この運動の思想の根本を支配した、いわゆる〈機能主義〉とは、建築創造を文章づくりにたとえるなら、昔のコトバや外国語など、借り物のコトバによらずに、どこからでもない、それ自身のコトバで表現しようとするものであった。

近代以前では、いわゆる様式建築はすべて、それぞれ固有の表現を示すことでヴァナキュラーだったといえるのに対して、折衷主義は、その表現の上で、もっぱら他領域の造形言語にあやかろうとするところから、素朴なヴァナキュラーとはあくまで一線を画し、これを意識的にとり扱う一つのイズムとしてのヴァナキュラリズムだったのである。

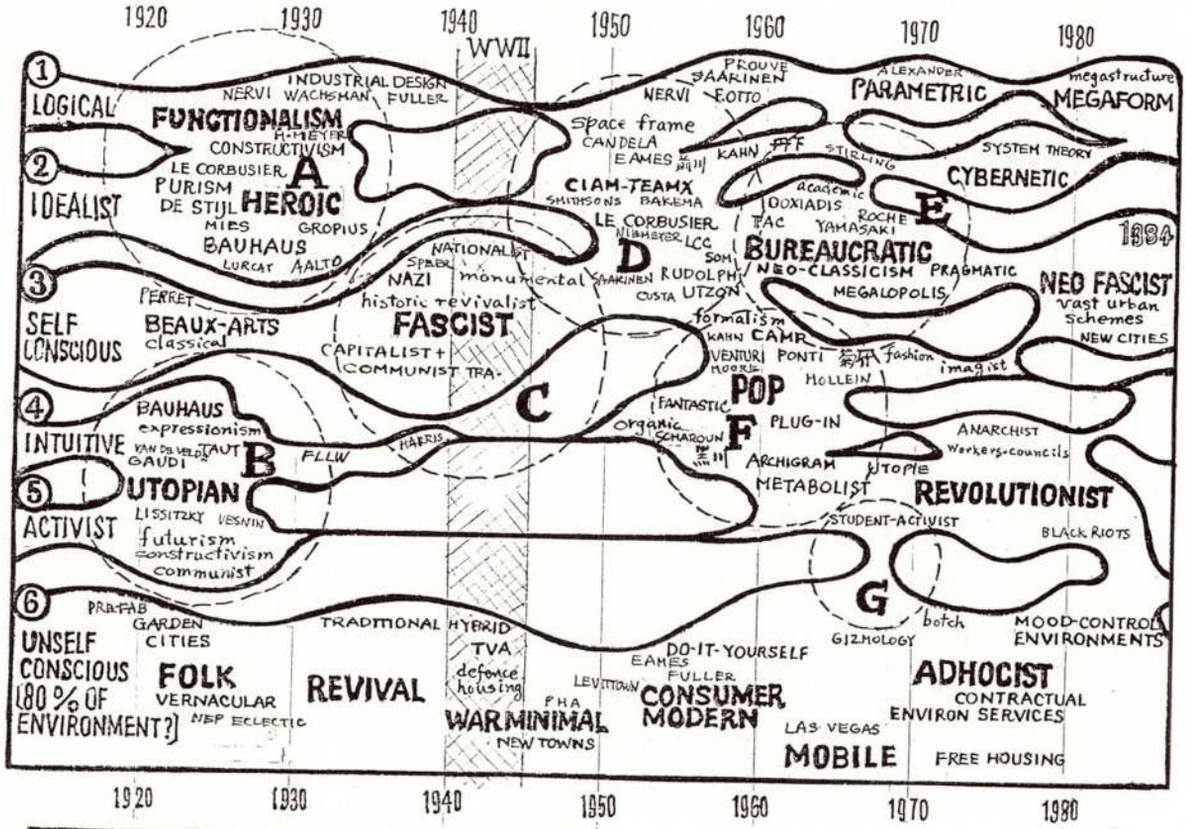
近代主義はその初期での伝統否定的、排他的傾向から次第に、それ自身の内部でではあるが、何らかの語彙の拡張をはかるようになるが、やがて後期に向かうにつれ、この拡張の傾向は外に向かって次第にエスカレートし、やがて後期のマニエリスム的段階において、他領域言語を大幅に包摂するに至るのであるが（F.1下図のⅣ段階の最大の楕円はこの包摂を図式化したもの）この包摂の傾向がいちじる

F1

ジェンクスの《進化の木》

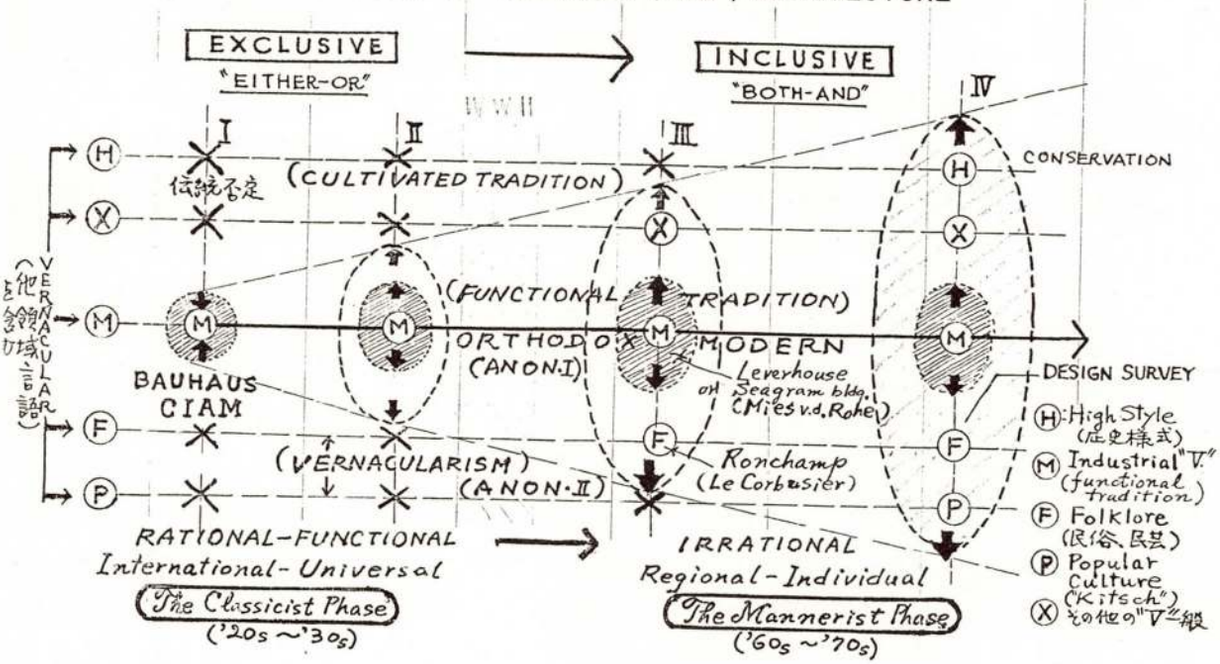
——近代建築の6つの伝統の系譜——

Charles Jencks :
ARCHITECTURE 2000
Predictions & Methods, 1971



ヴァナキュラリズムの系譜

THE DEVELOPMENT OF "DESIGNED" ("ISM") ARCHITECTURE



しくなるのは、何といっても60年代後期以後の、とくにアメリカ建築の思潮面においてである。そして、当時すでに前世紀的文化にかわって様式的ヘゲモニーをにぎるに至った新しい支配的文化（ハイカルチュア）としての、いわゆる正統派近代（オーソドックス・モダーン）（アメリカでの〈第二世代〉ジョンソン、ルドルフ等）に対抗的な姿勢を示したものは、アメリカの伝統的な大衆文化を新しい造形的語彙としてとりこもうと試みるヴァナキュラリズムとしての、擬似的な〈反・文化〉の姿勢をもつ、いわゆる〈第三世代〉（ヴェンチューリ、ムーア等）のグループであった。（F.ドゥルーニ〈現代建築・第三世代〉鹿島出版、での第三世代の意味は、歴史的規定があいまいで無意味である）

われわれが今後のデザインの動向を考える上で、まず注目すべきはこの〈第三世代〉である。それはヨーロッパや日本の同じ思想的傾向をもつ建築家の作品と表現形式の上でも通底する、何らかのマニエリスム的傾向をもった、現時点で若い建築家層に最も影響力をもつと考えられる国際的な第一線の作家グループを擁するものとして見のがし得ないものである。わが国でのその代表作家は磯崎新であり、彼はこれらの全グループを一括して〈解体派〉などと呼ぶのだが、この派の示す〈反〉の姿勢は、あくまで非現実的、観念的なものにしかすぎず、その動きはもとより60年代後半から70年代初めにかけてのいわゆるヒッピーやニュー・レフト等の運動とは心情的に併行するものの、これら対抗文化（カウンターカルチュア）の、産業社会に対する現実での強い抵抗姿勢とくらべた場合、とうてい同日に論ぜられるべきものではないと思われる。　一方わが国などでは、社会の現実面はもとより、建築創造の理論面においてすら、アメリカの〈第三世代〉のように、体制派の建築への抵抗や批判の姿勢がほとんど見られないことは、やはり何としても、もどかしくもの足りぬ気がする。

ともあれ、これらのグループはもともとサブ・カルチュアとしての抵抗文化の観念的な反映にすぎず、一面かなりファッショナブルな風俗的性格の強いものであるだけに、そうした母体の運動の退潮や挫折に加うるに、近時の大転換の過程の進展にともない、早晩変容を強いられ、やがてその名のように解体し、凋落する運命にあるのではなかろうか。アメリカの場合と異なりこれらには何よりも民族的伝統の強い背景が存在しないことなど、もともと植民地的、泡沫的な性格がつよいこともまた、こうした推測を裏づける上で一つの根拠を与えるものと考えられよう。

ジェンクスの〈進化の木〉

イギリスの建築評論家チャールス・ジェンクスは、その著〈建築2000〉（工藤国雄訳、ＳＤ選書、1971）で近代主義の発展を、1900年から2000年に亘る６つの伝統の流れとして大胆な未来予測を視覚化している。（Ｆ.1上図参照）もとより未来の部分に関しては、多分にＳＦじみた荒唐無稽さをふくむものだし、彼がこの書をものした時点と今日との間には、例の価値観のコペルニクス的転換という大きな断層が介在しており、あの高度成長期の申し子ともいえる未来学的幻想がもろくも崩れ去った今日、何をいまさらという感もする上に、未来の部分を除いたところにも図表上の位置づけに誤謬が散見されるなど、かなりの問題をふくむものではあるが、なおあつかい方によっては、将来への展望の上でここから思いがけぬ意味を見出しうる、創意にみちた建築史の方法上の労作といえる。Ｆ.1の上図は、私が彼の図表の原形をそこなわぬ程度に、私なりの説明の便宜上、手を加え、未来部分を省き、かつ簡略化したものだが、この図だけからでもわれわれは、近代主義のこし方行く末について示唆される多くのものがある。それをここで一々説明するユトリはないが、例えば上記アメリカの〈第二世代〉と〈第三世代〉の思想的対立は、Ｅのピューロクラティックの系とＦのポップの系との対立として示される。Ｅはこれに先行するＤのチーム・テンなど一連のブルータリズムの系から時代を遡行して第二次大戦中のアイロを経、西欧20年代（アーリィ・モダーン）の英雄時代に行きつくのだが、これは今日でのいわゆる正統派だけに止まらず、むしろそれとファシズム系の合流によることが示されているもので、ここでジェンクスは、この系列が今日すでに支配様式（ハイスタイル）に転化した、ＵＳでのテクノクラートによる新古典主義の段

階から、未来での巨大な新(ネオ)ファシズムの発展を想定している。一方これに対立する反体制的なポップの系Fは、ここに菊竹や黒川など、一連のメタボリズム・グループを配するのには問題があるとしても、ジェンクスがこの系をBの戦前の欧州での未来派や表現派など一連の幻想的建築家のグループと結びつけたことは一つの見識を示すものであろう。とくに意義深く思われるのは、こうしたポップの系がユートピア系の2つの源流、直観主義と行動主義のうち、どちらかというと直観主義の流れに属するものとしている点である。　上述のように、今日わが国で、少なくとも建築ジャーナリズムの表面で主導的な位置を占めるかに見られるものは、ほかならぬこれら幻想的直観的なポップ系にほかならないことは、彼らが作品と抱き合わせにする高度に観念的で晦渋(かいじゅう)をきわめ、ナンセンスで幼稚な創作の方法論に明らかである。その特徴は、建築の芸術性を異常に重視することから、その社会的現実的な裏付けや機能性に目をとざし、観念の世界に沈潜して、実体としてではなく虚構のデザインに非日常的でモノバナレのした造形意欲を働かせ、もっぱら美的表現にのみ偏執するところから、何よりもその倫理感(モラリティ)の喪失の上で、高級文化(ハイカルチュア)とはもとより、Uターン後の酷しい社会経済的気象条件の下でその進展が予想される大衆社会の現実からもとり残され、やがては上述のように、解体変容するか、あるいはまたその幻想性や反動性のゆえに図のように細々ながらネオ・ファシズムの線に連なるのではなかろうか。

私はここでジェンクスがポップの行動主義系の発展の延長上にその大発展を想定している〈革命家〉のグループが建築的に何を意味しているのか理解し難いのだが、彼がこれをGの個所で、彼のいわゆる〈無自意識的〉建築の伝統と考えているものに架橋している点に歴史的に重要な意味がみとめられると思う。この第6の流れは人間の全環境の80%を占めるとしているが、この数字はジェンクスによれば〈建築家〉に何ら影響されていない領域に関するもので、もしそれを建築家が〈デザイン〉しない領域として定義するならば、この比率はさらに98%にまで引き上げられるという。

ジェンクスが近代建築史の潮流の中に、この第6の伝統を正式に入れたことは、何よりも現代建築の未来への展望に画期的ともいえる大きな視野を広げた点で特筆すべき事柄だと私は考える。そもそも〈無自意識的〉な建築とは、実はデザイン不在の建築といいかえてもよい。つまりこの系はいまだかつて正当に建築としての扱いをうけてはこなかった。このことは今世紀に入ってからも今日まで然りであり、この図表中の6つの流れについても、第1から第5まではデザイン意識があることで建築として認められるもので、イギリスの建築史家B・オールソップはそうした建築と、第6の系列の〈建築〉との区別を、いみじくもDesigned Arch.とVernacular Arch.とに分けて論じているが、今日ようやくこうした区分を廃して、人間の全環境を建築という名で一括すべき機運が熟してきていることは、近年の地球的スケールでの環境破壊が人類の未来の生活での大問題の一つとされるに至ったことと考えあわせて、建築計画学的にも大きな開眼だといえよう。建築家が関係しようとしまいと、そこに芸術的意識があろうとなかろうと、人間が生活の手段としてつくったあらゆるモノを広く建築として、全人類的に原点から考えていこうとする態度は、建築を人間環境という、より広い視野の中で見つめ直し問い直すことで、ここに〈建築する〉とは〈環境をつくる〉ことと同義と考えられ、そうしたより高いヒューマンな次元からの建築という概念の再解釈においては、〈建築〉とは必ずしもタテモノを築造するといった〈開発〉の面だけを含むものではなく、ある環境をまもりそだてるといった、在来その反対概念と考えられていた〈保存〉あるいは〈保全〉の面をも同時に含むべきとする、画期的な内容をふくむものといえるようである。

アドホッキズムの行方

だが、この図表に含まれる新しい動向の示唆は、まだまだこれに止まるものではない。上記Gでの〈架橋〉のいみするものもその一つである。これは民俗的、あるいは大衆的な、無意識的でヴァナキ

ュラーな領域を、意識的なデザインの領域にとり入れようとする一種のヴァナキュラリズムであり、それは上記のポップ系の〈第三世代〉のさまざまな試みとして示されてきた。その典型例としては、ロバート・ヴェンチューリの〈ラスベガスの学習（ラーニング・フロム・ラスベガス）〉があげられよう。彼らはこれまで大衆向けの〈まがいもの〉Kitschとしてエリート層からヒンシュクを買ってきたような造形的要素をあえて建築に導入するという、ポップ・アートの建築版を目論む一方、意識的にしろ、ヴァナキュラーの側から美や創造性を主眼とする在来のデザインに挑戦するかのように、猥雑で月並みな表現をあえて試みるに至ったのである。要するにこれは建築と非建築の結合であり、ヴェンチューリのこうした作風は、その限りでは、まさに〈反・建築〉の名にふさわしいものといえる。

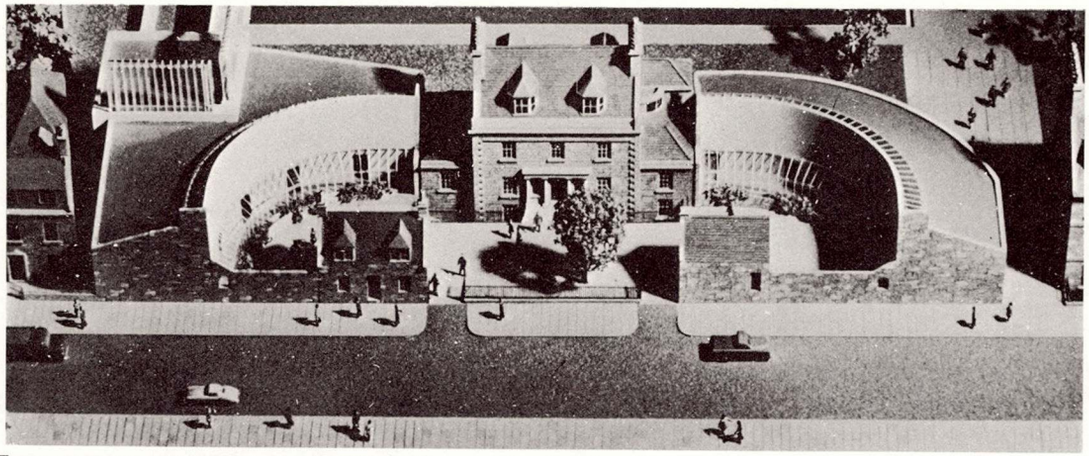
以上は建築家の側からの非建築への働きかけだが、一方その反対の大衆の側にも目を向ける必要があろう。図中の〈現代消費者（コンシューマーモダーン）〉系の日曜大工（DO−IT−YOURSELF）や素人細人（へたくそしごと）（Botch）など、わが国でもすでにかなりの進展を見せはじめてきているこの新しい〈建築〉的傾向は、今後大衆社会状況の一層の進展とともにホビーという形で将来の新しい生活文化形成の上で重要な役割を果たすものと考えられる。一方こうしたものと不可分の関連性において将来への〈建築〉の発展における重要な系となると推定されるものは、図中右下に示されたアドホッキズムだろう。これはいかにも、無意識的な大衆路線（ポップ）の行手を指し示すかのような、上述の広い建築概念にもとづく環境計画上の方法論的基礎を与えるものとして、きわめて興味ある新しい視点を提示するものだ。

アドホッキズム（Adhocism）とは、これまたジェンクスにより1968年命名された〝Ad hoc〟に由来するもので、それは〈あれこれの特殊な目的のために〉の文中の傍点を意味する、英語での〝for this〟にあたる。「てっとり早く目的を果たそうとするのがアドホッキズムの理想だ」とジェンクス自身が解説するように、その精神とは、ある目的のために臨機応変、ありあわせの手持ちの材料や手段でものをインスタントに処置するといった心がまえで、そこにふくまれる無計画性や偶然性などで、およそ〈デザイン〉とはウラハラな反・近代の線だといえる。モノを創る場合でも、例えばジェンクスの著〈アドホッキズム〉の共著者ナザン・シルバーが、既成の手術イスや自転車やトラクターの部品など既成品のガラクタをよせあつめて奇妙なイスを作例としてこの本の挿画にしているのでもわかるように、場合によっては適宜に特注品を加えることはあっても、およそ設計図無用の着想の面白さや偶然性のたすけにより、奇想天外な超特製の一品製作となる場合が多い。ジェンクスはこの精神による創造の利点として、デザインでは不可能な多様な組み合わせができること、マスプロ製品を個性化できること、金と時間とを大幅に節約できることの三点をあげているが、このシステムの長所は決してこうした、いわば好事家的、芸術家的なオブジェづくりに終わるものではなく、広く大転換（ユーターン）後の省資源をモットーとする、これからの新しい社会経済の下での人類の将来の環境計画の方法論的基礎の新しい知慧として活用できるものと考えられる。

もともとこうした考え方は何も事新しいものではなく、例えば都市や集落の発展過程などを見ても、人類はこれまでいつの時代においてもこの方式によってきたことがみとめられるのであって、ただ現代の産業社会の〈デザイン〉の方法による都市づくりだけが異質で不自然だったにすぎない。そうした思い上がった都市計画のあり方が、いまや将来の生活環境づくりや景観保全の立場などから根本的に問い直されようとしている今日、アドホッキズムの計画一般に占める方法論的な意味は大きいといえるのである。

＊　＊　＊　＊

昨年の建築界の一部は、まさに保存に明け保存に暮れたかの観がある。社会一般もまたこれに同調を惜しまなかったことは、例えばヨーロッパではこの年を〈建築遺産保存年間〉として各国の都市で歴史的町並み保存に積極的な姿勢を示したことにもうかがわれる。わが国とても、もとよりその例外ではなかったことは、たとえば大阪の中の島や神戸の北野町の歴史的景観を守る大衆運動などに明らかである。ごく一般的にいって環境保存の運動は、60年代半ば以後の高度成長に伴ういろいろの開発による、文化財や生活環境の破壊、あるいは各種の公害による環境汚染などを契機とするもので、それ



聖アンドリウス大学芸術センター（計画案1974）　J.スターリング　（Casabella 1975－3）

前庭左右の小さい建物は既存のもの、その街路沿いの壁面を、同一仕上げで、塀にて左右の増築部分の妻壁に連続させ、景観上の調和をはかっている。

が70年代に入りいっそう活発なものになりつつあった矢先で、価値観の大転換の源となったあの石油危機の発生である。これまでの風土や文化財の破壊はその反面において、失われていく古きよきものへの郷愁や愛惜という形で、一般に古物愛好（アンティック）の精神を生み、それが文化財や歴史環境の保存運動の一翼を形成してきたものと考えられるが、この大転換後の省資源時代の到来は、こうした動きを側面から決定的なものに高める上で大きな役割を果たすことになったといえよう。いまや都市計画や建築デザインは、環境の保全や景観との調和をぬきにしては考えられぬものになろうとしている。ことを狭く建物の設計にとってみても、今後はできる限り古いものを残すか、あるいはこれを再び新しい用に活用しようとする傾向が一部で強いものになろうとしている。その意味でこれからの建築デザインは、保全の見地から、何らかの歴史様式（ハイスタイル）との併置共存を前提とする、これまでよりもなおいっそう語彙の拡張されたヴァナキュラリズムの立場を余儀なくされるのではないか。（F1下図のⅣ段階で楕円のⒽの句摂はこのことの図式化である。）

そうした折衷例がこれまで皆無だったわけではなく、すでに1966年ハンス・ホラインによるウィーンのローソク店レッティのファサードなどもそうだが、これは未だその萌芽の域を出るものではなく、新旧とり合わせてのトータルなデザインはやはりごく最近の出来事だといえる。その一例としてジェームス・スターリングの聖アンドリウス大学芸術センターがあげられるが、これとても未だプロジェクトの段階でしかない。だが、さすがはスターリングだけあって、古い建物の部分と妥協的な調和を求めたりなどせずに、堂々と新しい部分に、存分の個性的表現をあたえることで、強烈な対比による調和として、古い建物部分を十分彼流にこなし切っている。

以上の意味から私は、昭和49年度日本建築学会作品賞が倉敷アイビィ・スクエアに授けられたことに歴史的な意義を見出す。これは世界に魁（さきがけ）ての歴史的ヴァナキュラリズムの一つの成果である。考え方によれば、それはまた一種のアドホッキズムの建築術的試みと評してもよかろう。

作者の浦辺鎮太郎氏は受賞の弁として、開口一番「全く予期しないことが起こる時勢である」として、この作品に対する、大衆の好評やジャーナリズムの反応、とくに学会の評価の意外性をあげているが、これは意外でも何でもなく、要するに作者のいうとおり文字通り〈御時勢〉のしからしめるところなのである。すなわちそれは、今日の建築の世界史的潮流の未来への展望の中で、その成果が期待される、歴史的ヴァナキュラリズムの先駆的業績に対する評価であり、その意味で、賞は作品そのものよりは、むしろ新しい局面を透視する前進的な建築精神に向けられたというべきではなかろうか。

作者はまた、この受賞が、歴史関係の目が加わっているだけに、単なる流行ではなく、流行不易（芭蕉）の見地によるものと考えるが、いかに歴史様式ヴァナキュラーによるとはいえ、ヴァナキュラリズムという名のカオスは、あくまで様式を喪った近代主義の末期的現象を示すものである以上、頭書のウェイドレーの警句は、決して価値を減ずるものではないと私は考えている。（77－11－24）

（むかい　まさや　神戸大学教授）

断面（セクション）からの証言

紙野桂人／中原文雄／森田博信

よく知られているように、美学者H・リードは、芸術における意識の進化説をとなえている。芸術は進歩するものではなく、時代や文化に応じて変化しているだけであるという一般的な諒解に対して、これは革命的な議論であった。彼の言うところは、人間は時代を追って次第に芸術創造のもととなる意識、すなわち、現実のある部面を見つめてそれを把握し再現する認識の働きを拡張してきたのであって、さらに言えばそれは、哲学や科学における認識の拡張に先行して進んできたというものであった。

彼は芸術を発生学的に説明すると同時に、それが人間の意識の進化に果たしてきた役割について主張したのであった。

人間の意識の拡張は、ひとつには、空間に関する意識の発展として見ることができる。

すべての文化は、そのどの時代の一断面をとりあげてみても、それぞれ特徴を秘めた空間概念を持っているものである。ことを建築のところにしぼった場合、それはより明瞭に見てとれるであろう。建築のデザインが、空間に関するひとつの意識を持たないでなされたとすれば、それは人間の意識の拡張に寄与する重要な部分を置き忘れた行為におわってしまうであろう。

このような考え方に立って、近代建築のデザインの流れを、空間構成の遷移を通して見た試みを紹介させていただく。

建築の空間構成を断面の型（セクション パターン）でとらえることは、いがいに行われていない。空間構成を平面の型として見ることは、建築をそこで行われる生活の地図として見ることを可能にする。空間構成を断面の型（セクション パターン）として見ることは、その空間の直接の体験の質をかなりすなおに反映する。

空間の体験は型（パターン）に支配されると同時に空間の大きさについて鋭敏に反応する。いろいろの建築から空間の概念を読みとるためにはその大きさについての比較が可能なようにしておくことも重要である。

次頁以降に１９２５年から現在にいたる代表的と思われる建築作品の断面型（セクション・パターン）を１／1000の縮尺に統一して紹介する。実際には約100の建築作品について作業を終えているのであるが、紙数の関係などから28点にしぼったので、選定にやや無理が出ている点はお許し願いたい。

× ×

さて、28の断面から何を読み取ることができるであろうか？　これについて今あまり詳細な論議を展開することはさし控え、私自身が今思い描いているいくつかの要点をあげておくことにとどめておきたい。それは読者諸兄が、自由な思索を展開される足場にすぎないものであるが。

× ×

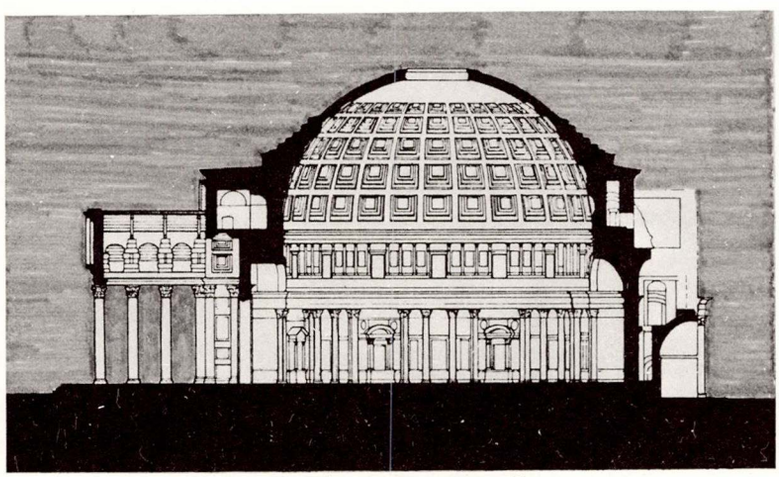
●１９２５年から５０年代の半ばにいたる流れとして、「ひとつの良くまとまった機能的空間の構築」が展開している。その空間としての抽象がクラウンホールではないか？

●５０年代の半ば以降では、それまでの緊密な内部空間のまとまりが緩められ、外へ向かって流れ出すような新しい意志が見える。

●１９６０年代に入って、外部空間の意識的な構築が、空間のより大きな規模に向けて展開している。

●それは、６０年代の後半から７０年代に向けて、タウンスポットとしての建築空間の新しい意識、街路や小広場と建築の内部空間との合体に拡張されてきた。

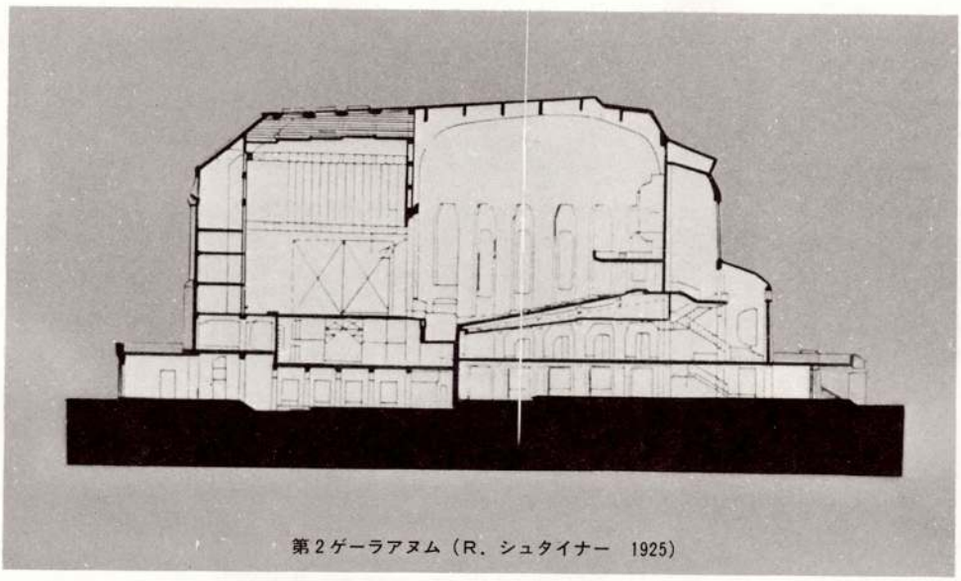
●建築空間と都市空間の一体化が、今後ますます深く意識され、空間のボキャブラリーを増していく方向と思われるのであるが？



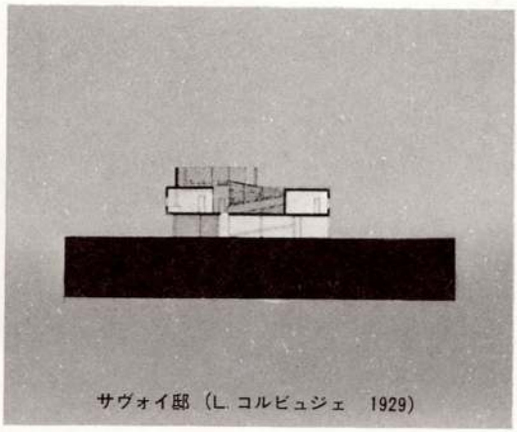
パンテオン・ローマ AD. 120頃

（かみのけいじん／大阪大学助教授・工博　なかはらふみお／竹中工務店設計部　もりたひろのぶ／大阪大学大学院）

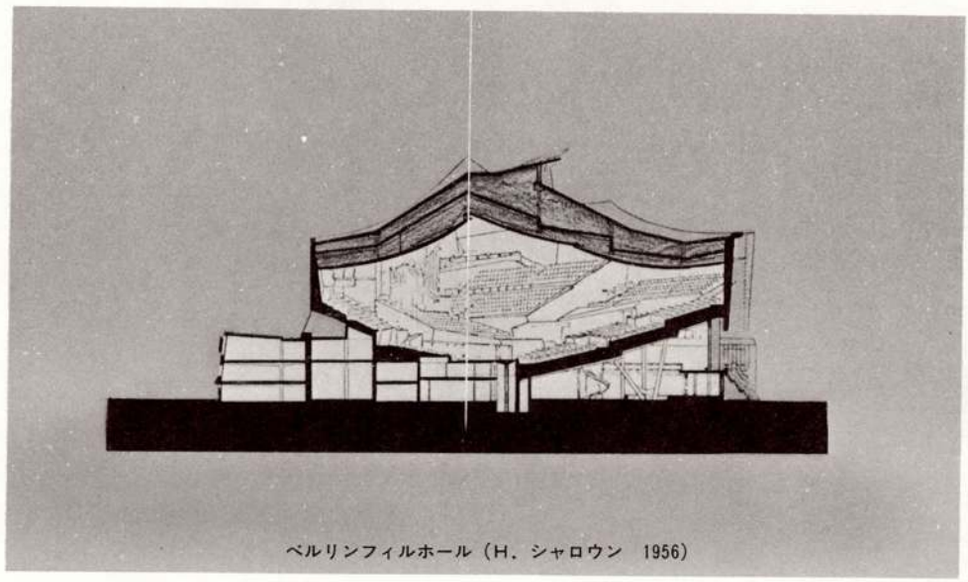
近代建築における28のセクションパターン・ Scale 1 : 1000



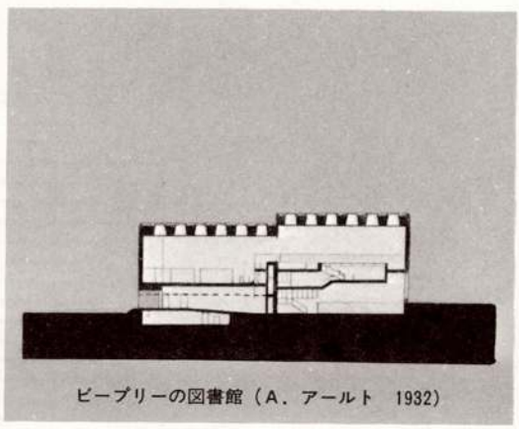
第2ゲーラアヌム（R. シュタイナー 1925）



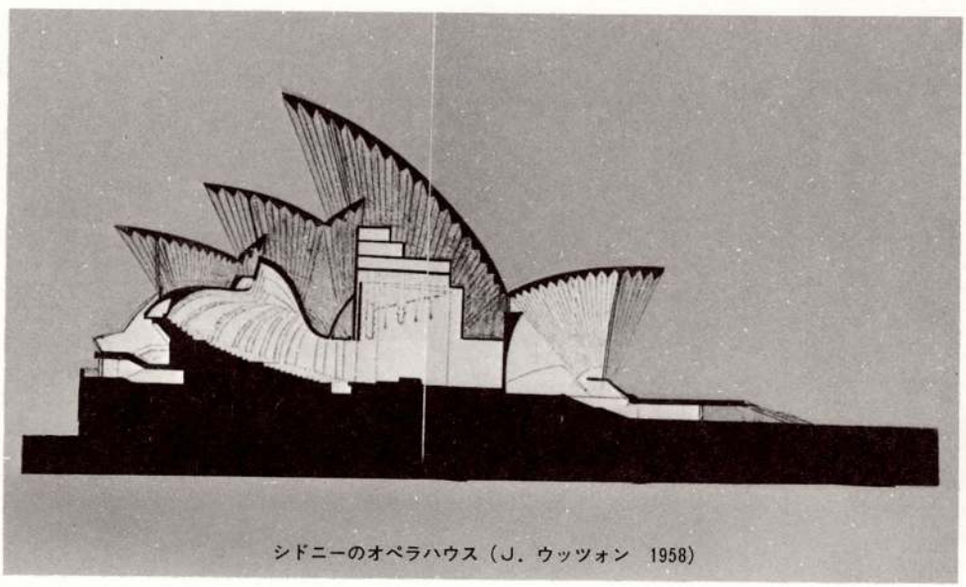
サヴォイ邸（L. コルビュジェ 1929）



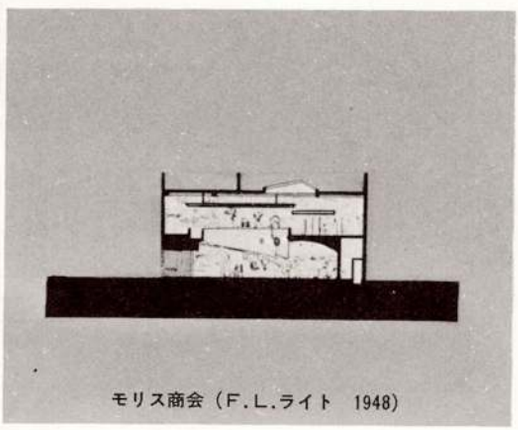
ベルリンフィルホール（H. シャロウン 1956）



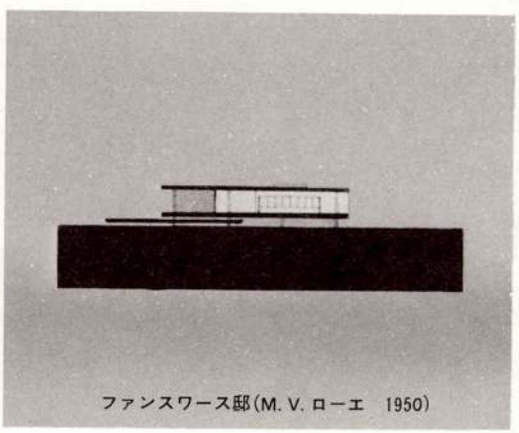
ビープリーの図書館（A. アールト 1932）



シドニーのオペラハウス（J. ウッツォン 1958）

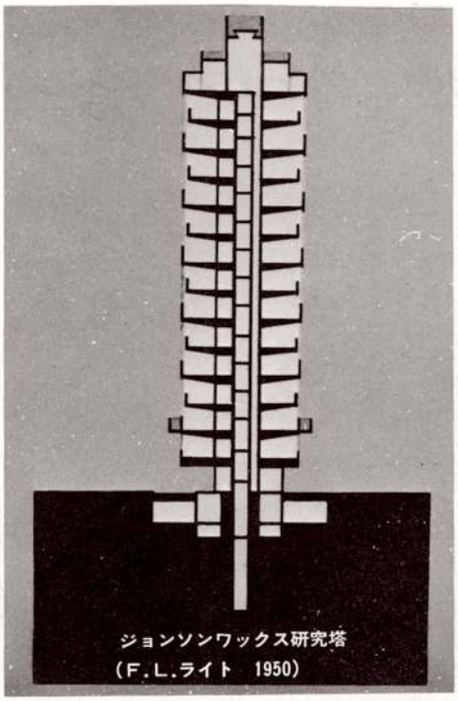


モリス商会（F.L.ライト 1948）

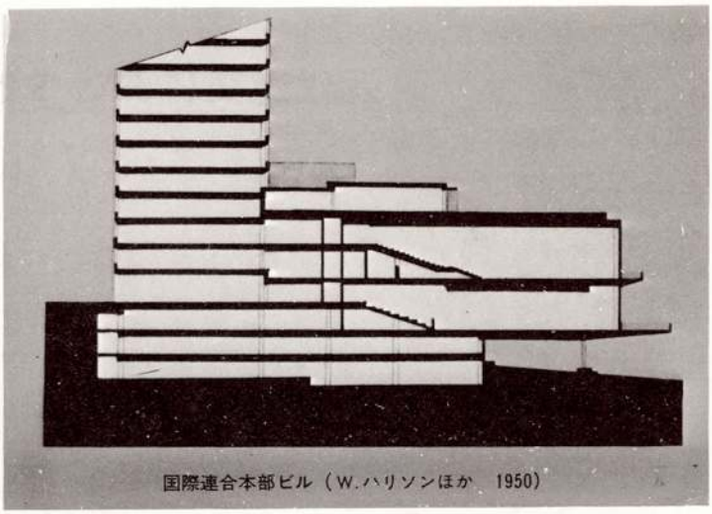


ファンスワース邸(M. V. ローエ 1950)

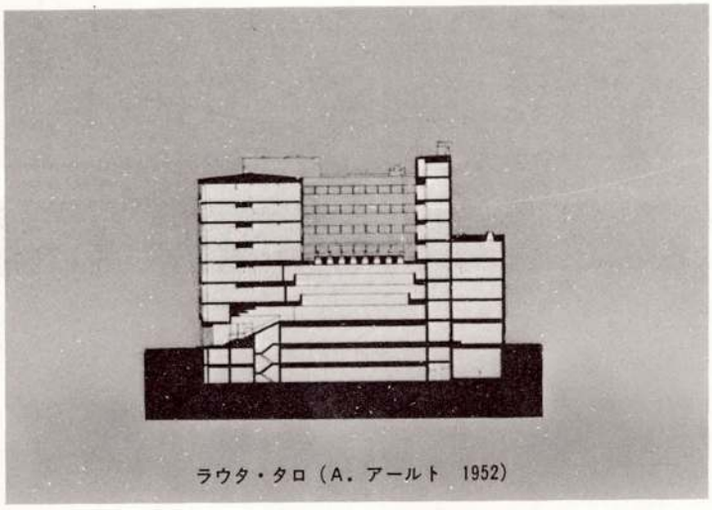
近代建築における28のセクションパターン
縮尺 1 ： 1000



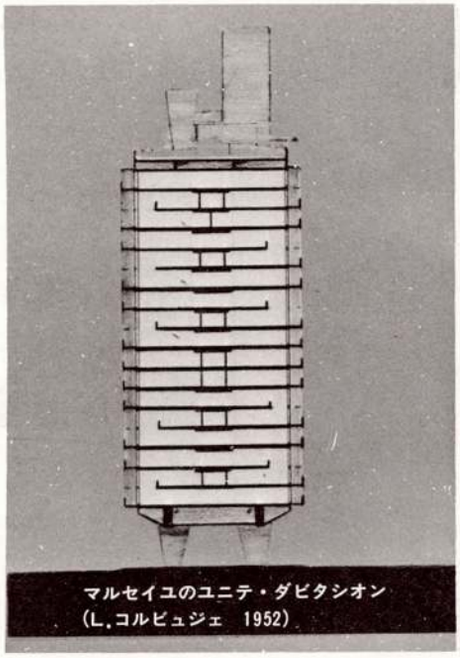
ジョンソンワックス研究塔
（F.L.ライト　1950）



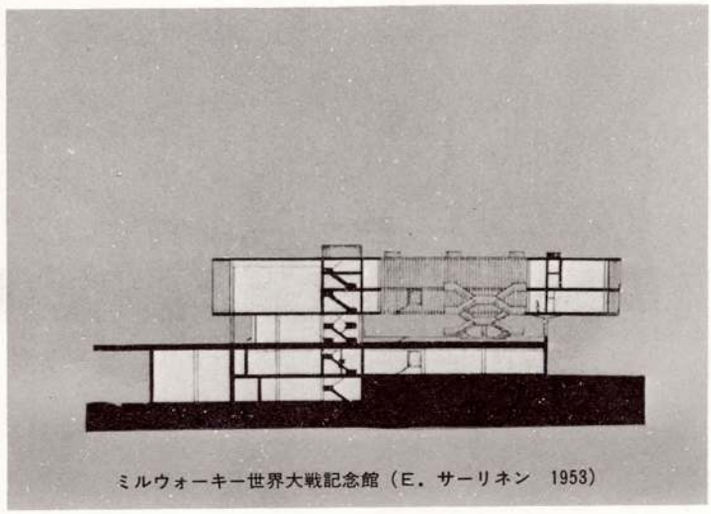
国際連合本部ビル（W.ハリソンほか　1950）



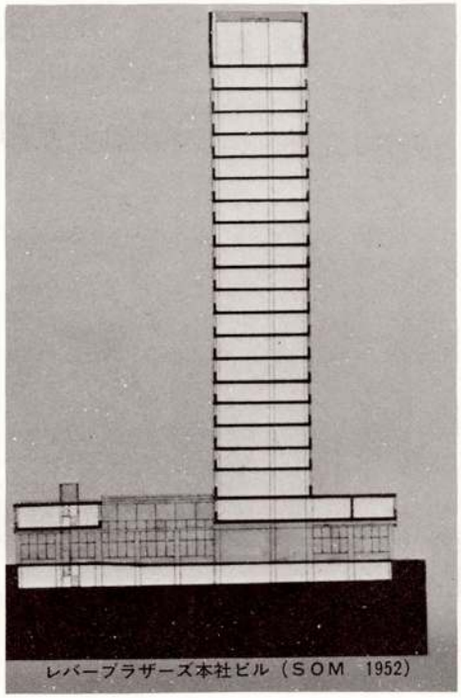
ラウタ・タロ（A. アールト　1952）



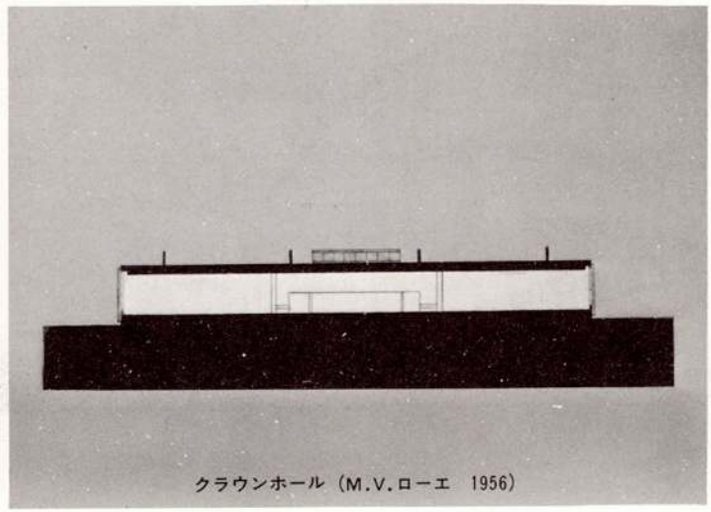
マルセイユのユニテ・ダビタシオン
（L.コルビュジェ　1952）



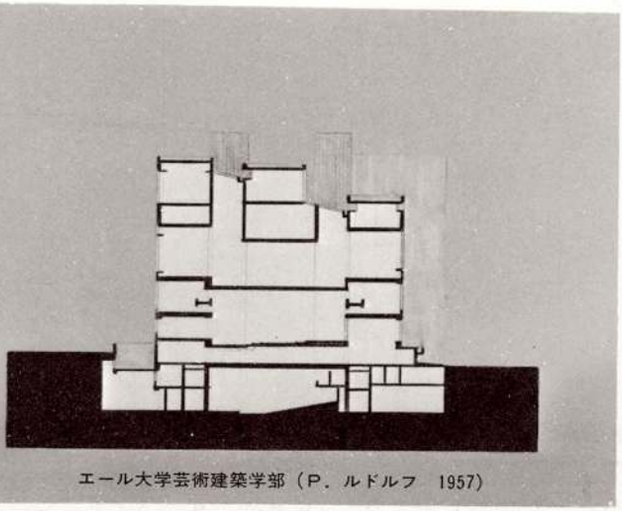
ミルウォーキー世界大戦記念館（E. サーリネン　1953）



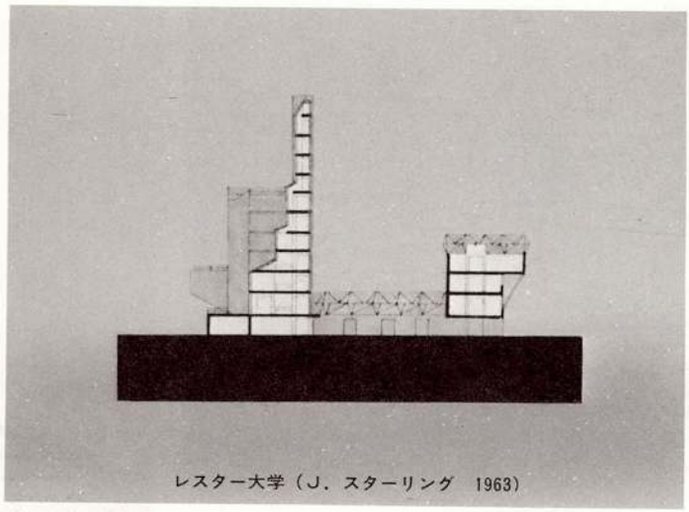
レバーブラザーズ本社ビル（SOM　1952）



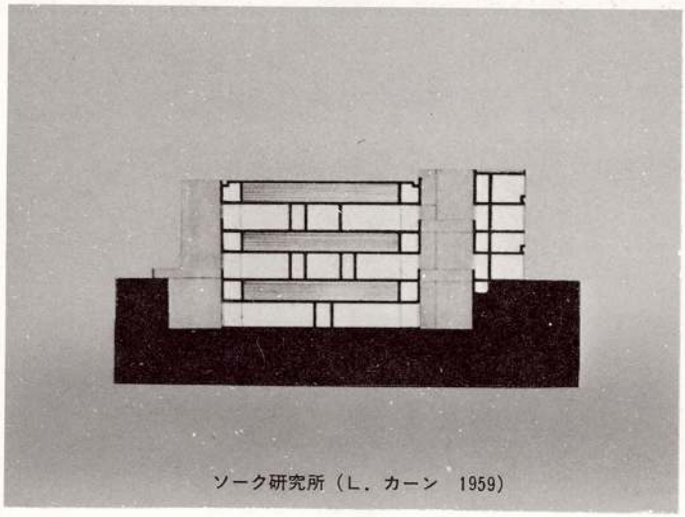
クラウンホール（M.V.ローエ　1956）



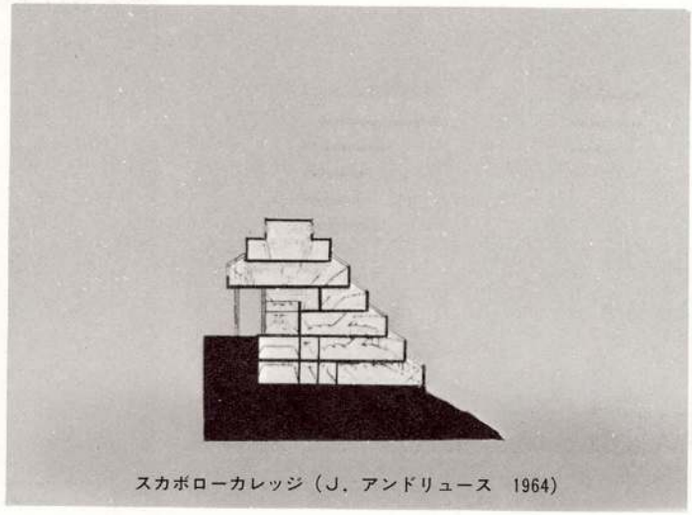
エール大学芸術建築学部（P．ルドルフ　1957）



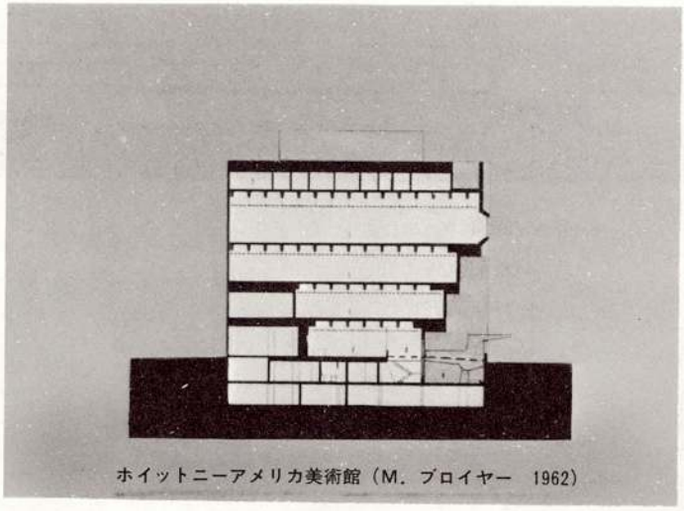
レスター大学（J．スターリング　1963）



ソーク研究所（L．カーン　1959）



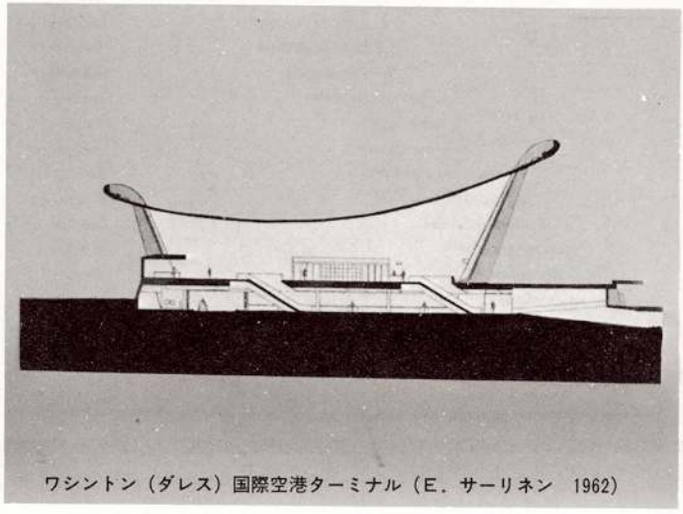
スカボローカレッジ（J．アンドリュース　1964）



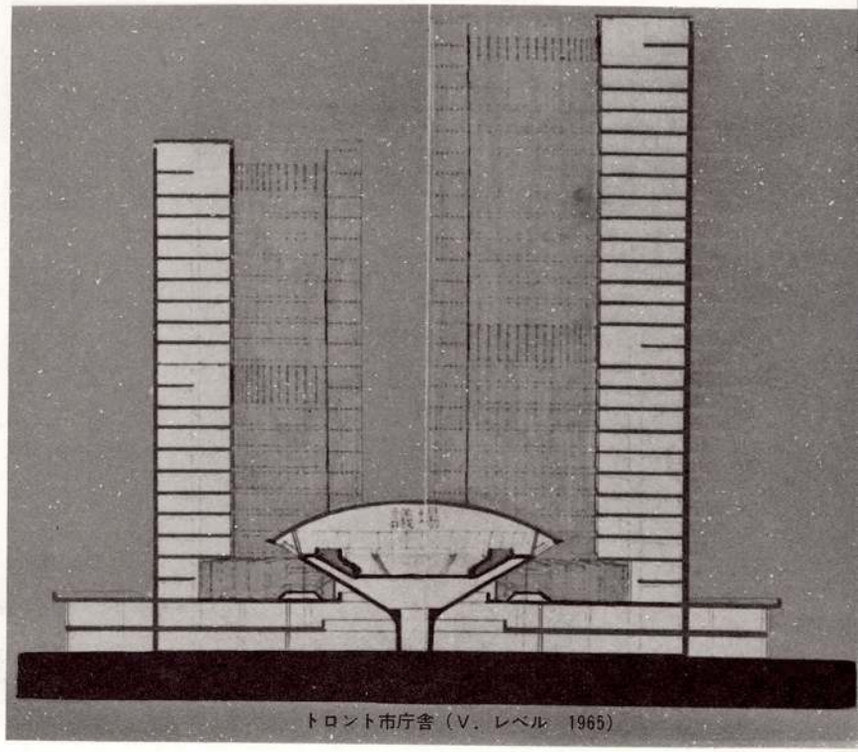
ホイットニーアメリカ美術館（M．ブロイヤー　1962）

近代建築におけるセクションパターン

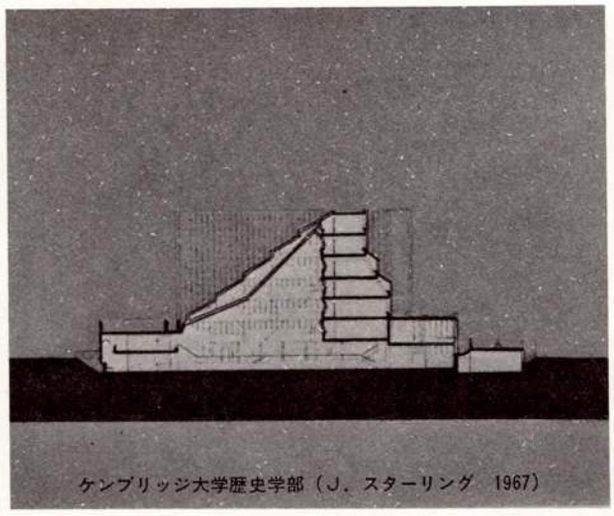
1 ： 1000



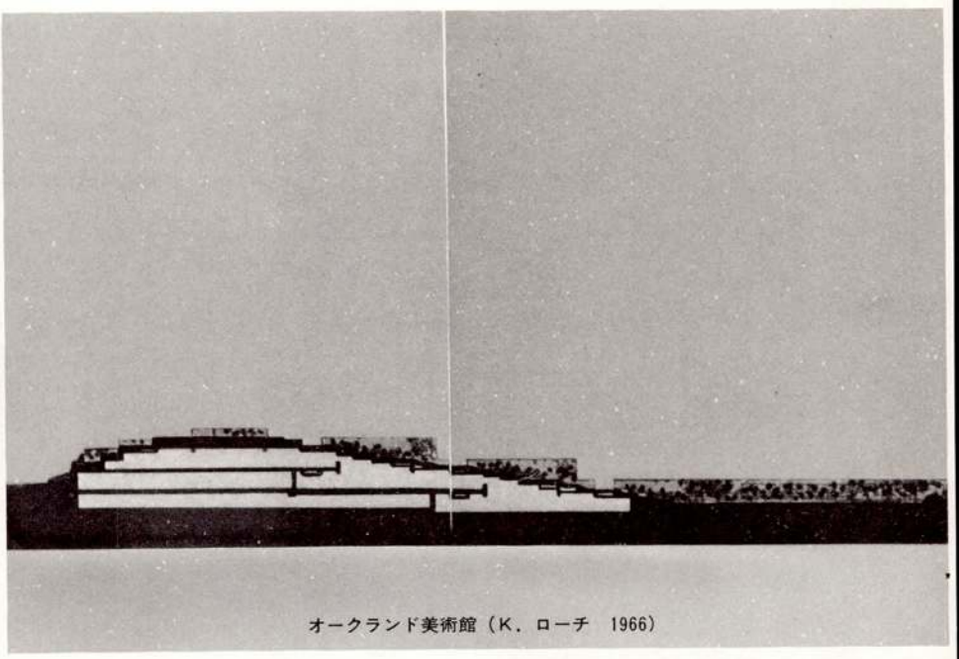
ワシントン（ダレス）国際空港ターミナル（E．サーリネン　1962）



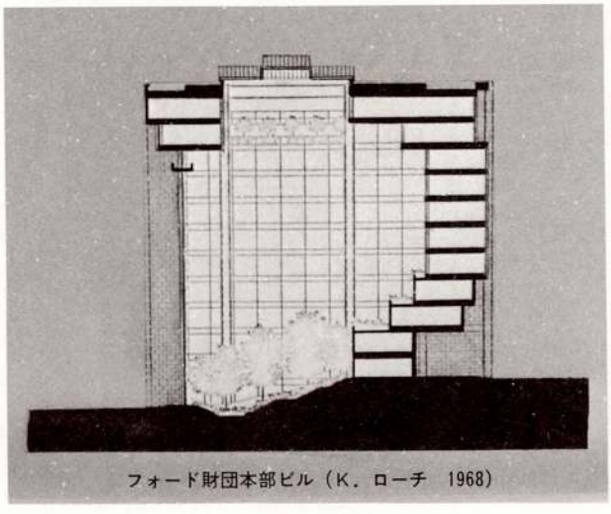
トロント市庁舎（V．レベル　1965）



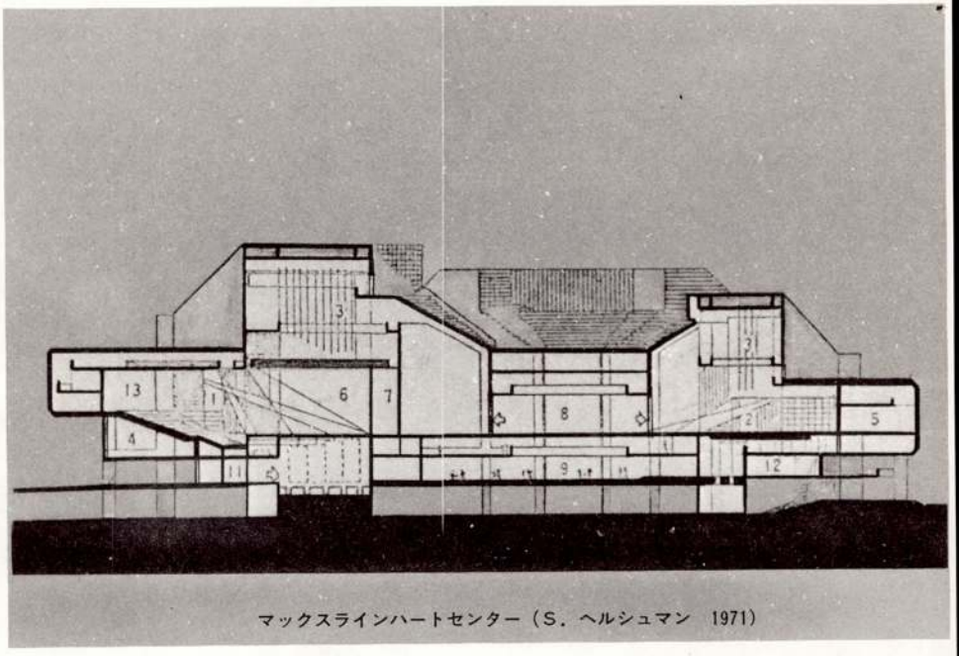
ケンブリッジ大学歴史学部（J．スターリング　1967）



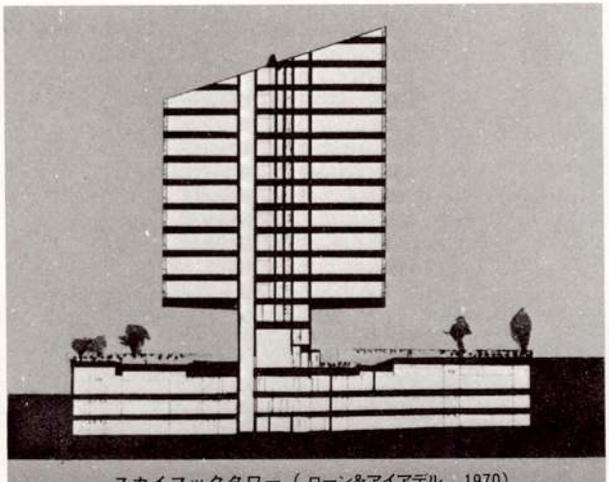
オークランド美術館（K．ローチ　1966）



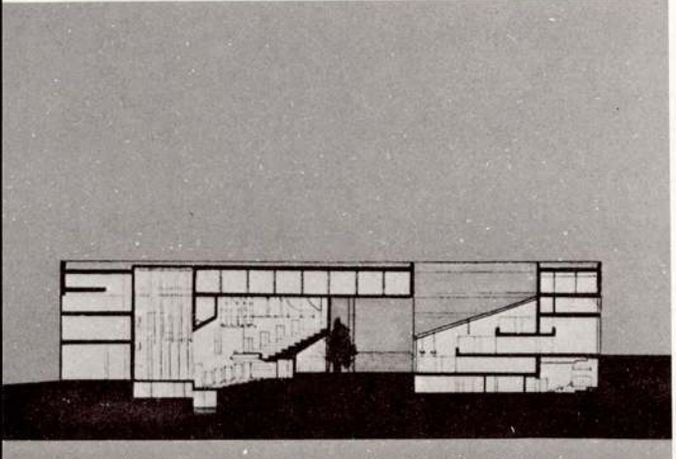
フォード財団本部ビル（K．ローチ　1968）



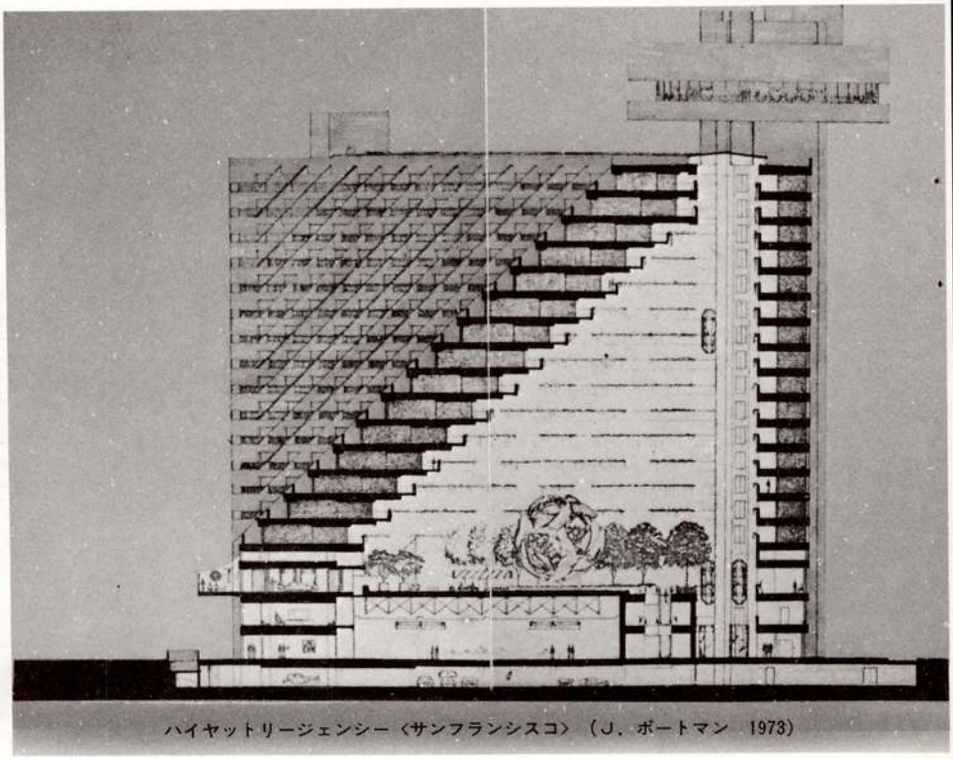
マックスラインハートセンター（S．ヘルシュマン　1971）



スカイフックタワー（ローン&アイアデル　1970）



ポールメロンアートセンター（I．M．ペイ　1971）



ハイヤットリージェンシー〈サンフランシスコ〉（J．ポートマン　1973）

アンケート
建築デザインについての証言'76

「これからのデザインの方向」を考えるにあたって、「建築デザインの証言' 76」として、とくに関西を主な建築創作活動の舞台としてこられた方、あるいはこれからも中心となって活動していく方々に、現在の眼を通じて過去の建築デザインについて語っていただくことにより、今後の建築デザインの方向をさぐろうとしたものです。関西の建築家で、下記のように、大正から戦前までに学窓をでられた方26名、戦後に学窓をでられた方28名、計54名の建築家に、別記のようなアンケートをお願いし、※印の33名の方（△印はインタビューしてまとめたもの）から回答をいただきました。次頁以降に、この玉稿を、学校卒業年代順に掲載いたします。活字にもられることもさることながら、行間に秘められた意味豊かな内容をくみとっていただければ幸いです。

なお、近代建築で大きな評価をうけている外国建築家の作品写真を偶数頁に並べ、最後に、アンケートにもられた評価の高い関西の近代建築の写真を参考までに配列しました。

1

A．1900年以降現在までの世界の建築作品の中で、あなたがこれまで深い関心を寄せられたり、あるいはご自身の創作活動に深い影響を受けたと考えられるものはなんでしょうか。

B．現在、注目され、あるいは問題視しておられるものは何でしょうか。

以上についていくつか作品名、作家名をあげ、ご指摘の主旨、作品の評価、デザイン活動において受けられた影響などについて、簡単にお話し下さい。（年代別に指摘いただければ好都合です。）参考として、一般に著名と思われる建築家の、建築作品の年代別リストを附記します（右記）。このリスト以外のものを指摘されても結構です。

2

A．これまでに、ライフのある建築として変わらず評価してこられた近畿の建築作品には何があるでしょうか。

B．評価の安定性に問題はあっても、いずれかの時点で注目された、あるいは現在注目されている近畿の建築作品について、ご自分の記憶の中からあげて下さい。

以上について、できれば、明治・大正、昭和(戦前)、昭和（戦後現在まで）の三時期に分けて作品、作家名をあげ、その主旨、評価などについて簡単にご記入下さい。

3

建築デザインの今後の流れ、問題点、目指すべき方向について考えをお示し下さい。

外国の著名建築家と作品年代別リスト

●1900～09年

Louis H. Sullivan(米)	カーソン・ピリー・スコット百貨店
Otto Wagnr（オーストリア）	シュタインホッフ教会堂
Peter Behrens（独）	AEGのタービン工場
Charles Rennie Mackintosh(英)	グラスゴー美術学校

●1910～19年

Antoni Gaudi(スペイン)	サグラダ、カサミラー連の聖堂
Antonio Sant'Elia(イタリア)	未来都市宣言

●1920～29年

Auguste Perret(フランス)	ノートルダム教会
Ragnar Ostberg(スェーデン)	ストックホルム市庁舎
Erich Mendelsohn(独)	アインシュタイン塔
Rudolf Steiner(オーストリア)	第二ゲーテ館
Walter Gropius(独→米)	デッサウのバウハウス

●1930～39年

Le Corbusier(フランス)	サボア邸
Frank Lloyd Wright(米)	落水荘（カウフマン邸）
Robert Maillart(スイス)	セメントホール
Willem Marinus Dudok(オランダ)	ヒルベルシュムの市庁舎

●1940～49年

Lucio Costa& Oscar Niemeyer(ブラジル)	リオの教育保健省
Philip jonnson(米)	ジョンソン邸
Frank Lloyd Wright(米)	ジョンソン・ワックス会社研究所
Marcel Breuer(米)	ブロイヤー邸
Erik Gunnar Asplund(スェーデン)	ストックホルムの森の火葬場

●1950～59年

Le Corbusier(フランス)	マルセーユのユニテ・ダビタシオン
SOM(米)	レバーハウス
Le Corbusier(フランス)	ロンシャンの教会
Ludwig Mies van der Rohe(米)	レイク・ショア・ドライブ・アパートメント
Paul Rudolph(米)	エール大学建築学科
Oscar Niemeyer(ブラジル)	ブラジリア
Eero Saarinen(フィンランド)	MIT講堂
Wallace Kirkman Harrison(米)	国連ビル

●1960年以降

Hans Scharoun(ドイツ)	ベルリンのフィルハーモニー
John Andrews(カナダ)	スカボローカレッジ
Viljo Revell(フィンランド)	トロント市庁舎
Louis I. Kahn(米)	ペンシルバニア大学医学研究所
Minoru Yamasaki(米)	ワールド・トレード・センター
Jorn Utzon(デンマーク)	シドニーのオペラハウス
Kevin Roche(米)	フォード財団本部ビル
James Stirling(英)	レスター大学工学部
Charles Moore(米)	シーランチ
Alison & Peter Smithson(英)	エコノミスト・タワー
Archigram(英)	プラグインシティ、ウォーキングシティほか

アンケート依頼先

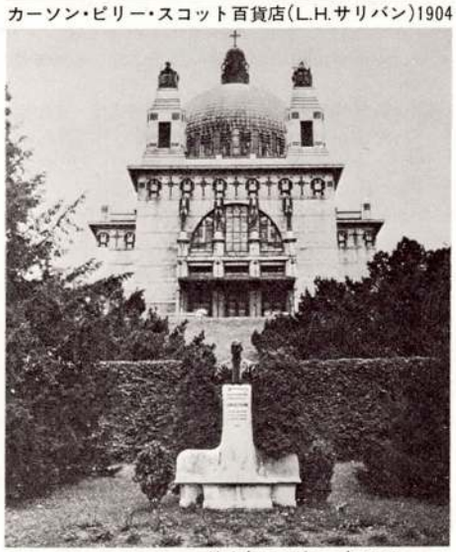
竹腰健造*△
村野藤吾*△
石川純一郎*
小田島兵吉*
森田慶一
滝沢真弓
東畑謙三*
岡橋作太郎*
徳永正三*
小川正*
浦辺鎮太郎*
西山夘三*△
高橋慶夫
岩本博行*
西沢文隆*
彦谷邦一*
西嶋徳太郎
渡辺道輝
足立孝
鳥田家弘
清水和彌
福田朝生*
佐野正一*
光安義光*
富家宏泰
片山光生
増田友也
薬袋公明
根津耕一郎*
山崎泰孝*
辻野純徳*
槇文彦
高橋詰一
蓮佛亨*
水谷頴介*
川崎清*
神出津嶺雄*
出江寛*
指宿真智雄*
徳岡昌克*
太田隆信*
東孝光
安藤忠雄*
毛綱モン太
加藤邦男
渡辺豊和*
小角亨
寺本敏則
中島龍彦*
浅井謙*
瀧光夫*
高口恭行
山本達哉
高松伸*

（順不同）

Decade1900



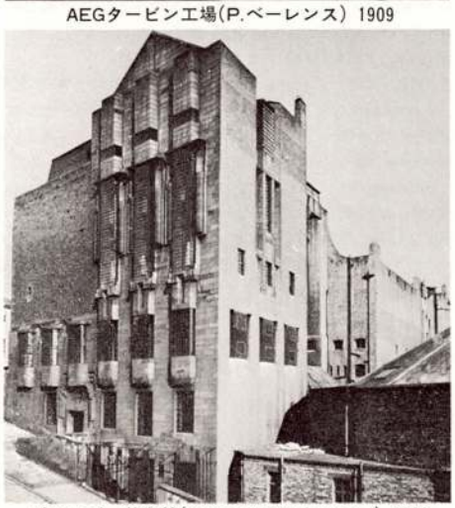
カーソン・ピリー・スコット百貨店(L.H.サリバン)1904



シュタインホッフ教会(O.ワグナー) 1907



AEGタービン工場(P.ベーレンス) 1909



グラスゴー美術館(C.R.マッキントッシュ) 1909

竹腰 健造 大正元年卒業

双星社竹腰建築事務所

1

私が大学を出たのは大正元年です。その頃は英国が世界各地に植民地をもち、最も強大な国で、文化の程度も最も進んでいるといわれておりました。これに対して芸術の方面では、フランスが世界の中心といわれ、建築の方でもエコール・デ・ボザールが建築教育の面では世界的に有名でした。しかし言葉の関係もあって、熟慮の結果、英国でもう少し勉強しようと思い、渡欧しました。

そして、英国では主としてRoyal Institute of British Architect (RIBA)の会員資格試験を通ることが一英人の進む路であることが分かってきました。それがために各植民地からロンドンにきてArchitectural Association School (AA) で補充の勉強をして受験するのです。

私も結局その方法をとることをすすめられAAに入り、英人学生の間に入って勉強し、幸いにRIBAの試験にも合格しました。ところが今日から六十数年前のことであり、また外国人として受験合格したものは初めてでありましたので、British Architect (英国人建築家) の会であると表明してあるから日本人が会員となることが問題となり論議の結果、受験に合格したという証書を出すということに決定しました。

ここで一応渡英の目的を達し、すぐオースチン・ホールのofficeで働くことになりました。この時代は建築家が建築の新様式に憧れていた時代で、セゼッションやアールヌーボーの新様式が生まれ、ル・コルビジェやその他の人の新様式論が盛んでしたが、渡英後間もなく起こった欧州戦争のため、新建築論には一時下火となり、ドイツの占領下にあったフランスの建築論者ル・コルビジェは画家に転身して建築論をやめ、ナチの政治下ではブルノ・タウトやグロピウスはドイツを追われ、タウトはトルコに客死し、グロピウスはアメリカに渡りました。

その後、新様式に憧憬するわが建築界の人々がブルノ・タウトやグロピウス等を日本に招いて講演会など開いて建築論を論じましたが、これらの人々は、進歩主義の論客で尊敬されてはおりますが、異端者的傾向の、実際の仕事の量の少ない建築家で終わったものが多く、その作品も名声の高いわりに、私は優秀さを感じません。

2

関西の建築では、中之島の図書館、大阪倶楽部などが注目されるべきものであると思います。大阪倶楽部の建物については今日余りうわさはされませんが、大正時代を代表する注目すべき建築だと思います。

東京では上野の美術館がすきです。今日では日本の建築は欧米の建築に比して少しも劣ることはないと思います。

私は昭和8年まで住友本社で、住友ビル（今日の住友銀行ビル）をはじめ各種の住友関係の建築に従事していましたが、その時代から机を並べて仕事をしていました長谷部鋭吉さんと、長谷部・竹腰建築事務所を創設し、住友を離れました。それが昭和8年です。長谷部鋭吉さんのことをいうのはさわりがあるかもしれませんが、長谷部さんは近代の最も傑出した建築家だと思っております。そして私は長谷部さんと仕事をともにしたことを一生の光栄であると思っています。

3

これからの建築は、科学の進歩とともに今日までの建築とは異なった性質のものとなり、あらゆる科学的新企画がとり入れられることとなるでしょう。したがって、構造的にも新しい計画が企図されるでしょう。新しい設備、新しい構造のために、建築費もそれぞれ従来とは異なった割合となるであろうと思います。

そういう建築の性質のため、建築士の資格、性質も従来とは異なったものとなるのは当然でありましょう。

多分に芸術家的観念をもつ従来のアーキテクトという者のほかに、科学等を総合的に合理的に組み立てていく性質をもつ新しい意味の建築家が要望されるのではありますまいか。

設備の専門家も、構造の専門家も、それぞれの専門知識の各部門に通じ、しかもこれらを合理的に調和させて組み立てることの能力をもった人が望まれるわけであります。そういう人は新時代の建築家ということになるでありましょう。(談)　（たけごし　けんぞう）

村野 藤吾 大正7年卒業

村野、森建築事務所

1

私は図面を書くばかりで歴史に対して専門家ではありませんから、特定の建築家の名前をあげて話をすることは難しいことです。また私が関心をもった建物といってもどなたも同じように関心を示されるものですから特に私が、ということもないものばかりです。例えばストックホルム市庁舎などですが、ただいえることは人が感動するということは、その時どきの見る人が置かれた状況とか心理状態に非常に大きく影響されるということです。戦後昭和24年頃、広島の教会の設計を機会に渡欧したときには、戦争中の貧困さというのは大変なもので、もう再び建築する時代はないのではないかと思っていたときでしたから、このときの感銘は以前に増して大きなものでした。

2

関西のものでというと、近代をどの頃までのするかが難しいのですが、長谷部(鋭吉)先生のものは立派だと思うし、尊敬もしています。先生は仕事の面で大変恵まれた幸福な人でありました。住友におられて仙人で暮らした人でした。この点では町の中にあって苦労して仕事をしていた人とは少し立場を分けて考える必要があるでしょう。その意味では渡辺節先生は偉かったと思います。仕事は上手で能力もあって、その上仕事をよく知っているし、人を使うことも上手でした。本当のアーキテクトらしいアーキテクトだと思います。新しいものも外国から採り入れたし、材料の使い方、請負の使い方、図面の書き方などあらゆる点で日本の建築を近代化した最初の人でした。いいデザインをするとか設計が上手だという人は沢山おると思いますが、厳しい条件のもとで、その条件をすべて満たしながら、しかも自分の考えを実現していくといったように街の中の建築とともに生きて、今日の基盤を作った人は渡辺先生以外には少ないと思う。私が教えを受けたからこういうわけではありませんが、あらゆる点でお出来になった一人であったと思います。

3

現在のものに対しては、自分の作品自体にも問題があるのだからいうことは差しひかえさせてもらう。今後のこととなるとはっきりいえないということでしょう。ただ価値観が多様化しているのは事実でしょう。ひと頃のように理論でどうするとか頭だけでやろうとする傾向は若い人にはだんだん無くなってきているように感じます。頭だけでやるのでは、やがてすぐに皆同じ答えが出てしまう、その先をどうするかの問題があるでしょう。疑問に対してとにかく裸で勉強しようという態度が若い人に出てきたように思います。迎賓館の仕事では職人を探すのが大変なことでした。「これどうかね」といえる職人がいなくなってしまった。賃上げに関連した生産性を高めることと職人技術の低下とが相関していると思う。何もかもが頭で仕事をすることになってしまっている。教育にしても誰しも大学へ行こうとするのだが、技術保存はできるだけ若い時期に早くからその職について年季をかけて習得しないといけないものです。そのためには例えば自分はこの仕事しかやらないのだ、という運動をやってはどうか。自分の技術を保存しながら間接的に賃上げにもつながるだろうし、自分の子弟が親の跡を襲うということにもなると思う。技術の保存には誰かが犠牲にならないといけないのだが、職人だけに犠牲を強いるのは今日では通用しない。ただ左官、植木職などの若い人の中でこれではいけないと思う気持が増えてきているので将来は明るいと思っています。近年いろいろな形で再開発が行われていますが、再開発は決して強権でやるべきものではない。自然に、誰も疑問をもたないし誰もが喜ぶものでなければならない。



サンフランシスコのキャナリーにて 写真提供：村野藤吾氏

例えばサンフランシスコのキャナリーは古い倉庫を改造したものだが非常によく出来ている、浦辺さんのやられたもの(倉敷アイビースクエア)もこれとは少し違う

(右段へ)

小田島 兵吉 大正11年卒業

大林組顧問 元 設計部長

1 A

いささか訝えが妥当ではありませんが、若い時に食べておいしいと思った食物が、年をとってからも同じようにおいしいとは限らぬように、若い時に感激した建物にいつまでも同じ感激を持ちつづけるとは限りません。私共の若い時は何でも見るものすべてが驚異だったようです。日本にもエライ先生方が居られるのに、それに気がつかず外国の方ばかり見つめて居りました。それもドイツ、オーストリー、オランダやフランスなどの大陸の建物が主で、例えばPeter Behrens のＡＥＧ一連の建築(タービン工場、モーター工場など1909－1912) やペテルスバークのドイツ大使館 (1912) などの大らかさに打たれ、Hans Poelzigの自由奔放さ、(例えばベルリンのCapitol theater1921)に目を見はり、W. M. Dudok の端正簡素さに (例えばヒルベルシュムの市庁舎、ロレンツ通りの学校1928－1930)目を輝やかしたものです。Behrensの小品的建築には興味はありませんでしたが、工場や公共建築には感心しました。やや年をとって建築の実物を見てからMies van der Rohe の作品に惹かれるようになりました。シカゴのＩ．Ｉ．Ｔの建物 (1953)、湖岸のアパート (1957) などの直截明晰合理的手法には驚きました。Skidmore, Owings & Merill 設計の戦後の一連の建物も、何かしら共感を呼ぶものがあり (例チェース・マンハッタン銀行) 少からず教えられました。その他影響を受けましたのはMendelsohn, F. L. Wright, L. Corbusierなど枚挙にいとまありません。

B．私は職を離れてから暫らく勉強しておりませんのでこの項の答は出来ませんが、Peter Cook, Hans Scharoun, Minoru Yamazaki あるいは日本の丹下健三、黒川紀章などの人々が夫々新しい道をひらいて行くことでしょう。

2

戦後、特に最近は数多くの建築が出来ましたが、夫々精魂をこめた作品で一々その名前を挙げるのはたいへんですし、また全部見ているわけでもないのでここでは一応戦前のものを辿りたいと思います。即ち1940年以前では大阪中之島に大阪府立図書館 (野口孫市・日高畔－1904) があります。平凡ですが端正です。1926年に大阪府庁 (平林金吾・岡本馨) が出来ています。これは図面で見ている方が愉快ですが、実物も心に残ります。同じ1926年に出来た住友ビルディング (長谷部鋭吉・竹腰健造) もどっしりとして落着きもあり私の好きな建物です。これは初めの原案は7階建だったのが施工直前地震があった為、安全を考え急遽5階にしたと聞いていますが、初めから5階の計画であればあるいは別の形をとったかもわかりません。綿業会館 (渡辺節－1931) と大阪ガスビルディング (安井武雄－1933) は夫々増築をして大きくなっていますが、いずれも旧館の方が風格があって、いぶし銀のような味わいがあると思っています。

3

建築のデザインの流れがどういう方向に向くかということはむつかしいことですがinternationalのものになることは間違いないと思います。地域によって差はあるにしろ私共の生活様式は段々と同じようになります。現に私共周囲は日に日に規格化され、型にはまった生活を強いられるようになり、それを使いそれを食べないと生きて行けないような仕組になりつつあります。建築のデザインもその風潮に従わざるを得ないと思うのです。ますます合理的に、機能的に且つ経済的になるでしょうが、人間の心を失わなければ幸いです。(文中人物敬称略) (おだしま ひょうきち)

(左段より)

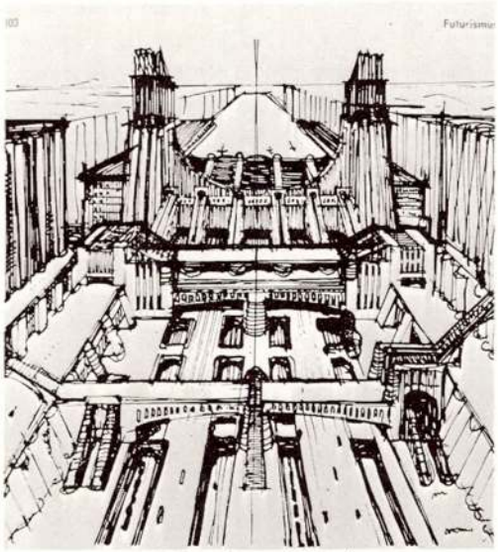
かも知れないが良いと思います。

こうしたものの計画では、人間の心理を応用して狭いところ広いところ、折れ曲がったところをよく組み合わせて作らないといけない。すっと通っていたり道幅をきちっと揃えたりしては本当の人間の喜びというものが出てこないでしょう。また建築家は民間資本による建物でも、建築が公共性あるものという認識に立って、公共の場として公開すべく提案することが必要だと思います。しかし一方で使う側の一般社会にこれを大切にする気持が欠けているのは残念です。それは結局は自分達のものであるはずなのですから大切に守っていく気持を育てることが必要です。いずれにしろ建築は社会化されるべき傾向のものでしょうが、社会化する方法は難しいと思います。(談・文責編集) (むらの とうご)

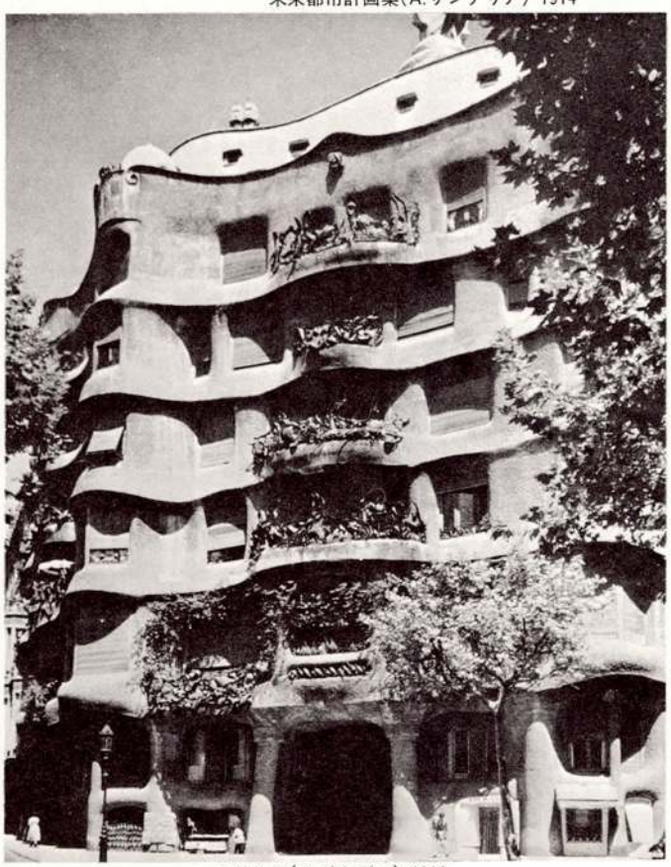
Decade1910



ロビー邸(F.L.ライト) 1909



未来都市計画案(A.サンテリア) 1914



カサミラ(A.ガウディ) 1910

石川　純一郎 大正11年卒業

元 竹中工務店設計部長

1 A

1920年夏、石本喜久治・堀口捨巳・滝沢眞弓・矢田茂・山田守及び森田慶一の諸氏は、「分離派建築会」を結成し、その宣言を発表し、「分離派建築会宣言と作品」と題する小冊を岩波から出版した。この出来事は、私の在学中のことであり、且つ上記諸氏は、私より二年先輩の同学である。私はまだウブな建築学生であり、兎に角、事はごく身近で起ったのである。大変な興奮と感動を受けたことは確かである。殊に翌々年1922年東京上野で開かれた平和博覧会で、分離派建築会の標榜する、日本最初の近代建築群が、現実に、出現するに至って、私の興奮と感動は最高潮に達したといっていい。こうした熱情的印象は、なかなか消えずに、あとあとまで、大きな影響を残すものらしい。

当然、当時の私に情緒的感銘を与えたものは、ピーター・ベーレンスのＡＥＧタービン工場、エリッヒ・メンデルゾーンのアインシュタイン塔、ワルター・グロピウスのバウハウスのデッサウの校舎など。更に1920年から22年かけて発表された、ミース・ファン・デル・ローエの一連の計画案――ベルリン・フリードリッヒ街に建つ予定の、ガラス摩天楼二案、及びコンクリート・ビル計画案、何れも無条件で魅了されたもの。その思い出の尾は今だに引かれて、今日彼のアメリカに於ける諸作は懐かしい。挙げれば、イリノイ工科大学のクラウン・ホール（1956）など。

B　現在、特に注目しつつある作家なし。ただオスカー・ニーマイヤーの境地など、羨望する程度。

2

云いふるされた言葉――「燈台下暗し」の通り。ただ大阪控訴院（河合浩蔵・明治32年）――今は姿を消してしまったが――あの堂島川を前にした赤煉瓦の建物、殆んど無技巧の高塔を中央部に持った、あの外観だけは今でも彷彿するものだ。

3

建築という概念が、隅々まで明確な、固定的な概念でないと同様、デザインという概念も、亦、甚だ不安定な概念だと云えそうだ。

しかし私はこう考える。

建築デザインとは、第1に「建築は如何にあるべきか。」という思索の態度であり、第2に「かくあるべきだ。」という信念そのものであり、第3に、その実現のための技術的意志であり、第4に、その結果、具象化する形態だ。と私は見る。右のうち、第1点から第2点への推移の部分は、建築デザインの原点で、最も本質的な部分だと私は思う。

近世になって、社会状勢変化の下で、次々に相反・齟齬する、雑多な建築の主義・主張や、運動が起った。

しかし、芸術主義・機能主義・生産主義等々、何れも、私の云うデザインの本質的な部分への規制であり、方向づけだったのではないか。これを単に、その結果としての可視的形態の特異性だけを問題にしてはなるまい。

第3点の技術的・生産的要素のレベルは、今後いくらでも上昇するかも知れないが、又その間、デザインの本質的なものの毀損・抹殺の虞れもありはしまいか。

兎に角、デザインの可視的形態のみを問題にするのはあぶない。

云ってみれば、建築デザインを、街の女性のスカートの長短と同一視するようなことは危険だ。

建築デザインは、ファッション・デザインと争わないことだ。

（いしかわ　じゅんいちろう）



アインシュタイン塔のスケッチ(メンデルゾーン)

東畑 謙三 大正15年卒業

東畑建築事務所

年をとるとむつかしい話はなるべく避けたくなる。箇条書きにして質問されるとその答えにならないかも知れぬが遠く歩んだ道を振り返ってみよう。

私等が建築を志した時代、いわば建築学生時代は（1924～1926）まだ日本は建築意匠はスタイルの時代であった。建築にデザインという言葉がチラホラ使われていて分離派活動のあった時代である。外国雑誌にペルチッヒやメンデルゾーン等の作品が出て若い血をおどらせたのである。ところがこれらの作品はいづれも個性が勝ちすぎ一種の体臭があってすぐあきがくるものである。そこへ出て来たのがル・コルブジェ・ソーニエであった。当時ドイツの建築雑誌はワスムート社のものが唯一でありこれにチラホラ出ていた。私はこれが行くべき目的地であると感じ、その著書を外国から取りよせた。勿論フランス語であるので字引きで読めても私にとっては思想はうかがわれにくい。そのうちにヒルベルザイマーと言う人の獨訳があることがわかりこれを読んでその思想と作品にますます傾倒した。そして当時、京都大学工学部建築学教室で出していた建築学研究紙上にル・コルブジェに就いてという紹介文を書いたのを記憶している。1927年頃であるからル・コルブジェが日本の活字になった最初のものと私の若い日のほこりである。当時更にくせのない設計を発表していたアンドレ・ルルサという人があったが私はこの人の方がすきであった。其後一向名前が出てこなくなった。

若い時代の傾到はいつ迄もつづく、その上第一印象は強烈である。半世紀もつづいて身は老境になったが精神は尚はてしない平野を一方をむいて歩き続けている様である。

1932年私は学窓を出て大阪で建築事務所を開いて実務についた。当時は日本が大陸侵攻時代ともいうべき時で、建築は所謂、美術建築なるものがなく、産業建築いわば工場建築ばかりであった。当時は工場は所謂建築学の中でもとりのこされた部門であった。アメリカ合衆国にアルバート・カーンという技術者がある。一つの大きな技術者の集団を造り専ら当時のアメリカ産業の中心である自動車産業の工場の設計をやっている建築事務所である。私はこの人の作品並びに著書、図面に接する機を得た。又その集団の組織、活動を目のあたり見る機会にめぐまれた。

建築論でよく聞く言葉——用を守れ、建築材料に忠実たれ——よくわかった言葉である。ところが古代から建築は美術の一分派であるという考えの中に目的とか材料とかが埋没されてしまうことが多い。ところがカーンの工場建築は目的と材料が最初に出て来て、それを忠実にまもって出来たものがあの美しい工場建築である。私はこの辺で建築の美的要素を一度洗い直す必要にせまられた。三十の手習いであり、第二の人生でもある。唯これには多くのむつかしい学習が必要である。鉛筆のすさびだけで、又己の先天的な才能だけで出来る美ではない。唯、用や材料には物理的な他人によって動かし得ない裏付けがあり、個人の体臭がない美であることが何よりのよりどころである。

そうして40年実務について歩いている。上述の二人はいずれも故人になった。又書物、作品には接していても一面識もない方である。質問に出ている多くの作者作品は私にとってはいづれも教えられるところの多い方ばかり。然しこちらも実務についていれば、面とむかって批評、評価の様なおこがましいことが出来るものではない。これも年のかげんかもしれぬ。

（とうはた　けんぞう）



クライスラー自動車工場（アルバート・カーン）1938

（右段より）

証明されたのだ。

私の合理主義は、人間がハメを外すことを禁ずるわけではない。建築に彫刻をつけるのは間違いだと云うつもりもない。

（おかはし　さくたろう）

岡橋 作太郎 昭和8年卒業

日建設計

1

F.L.ライト——ロビー邸

ロビー邸には限らない、ライトの作品の平面図を見るのは楽しい、暖炉の扱い等多くのことを教えられる。作品の中では素朴なものが私には好ましい、グッゲンハイム美術館などは好きでない。

エストベリ——ストックホルム市庁舎

海賊のように豪快で、そしてロマンチックだ。もう少しつき合ってその秘密が知りたい。

コルビュジェ——サボア邸

サボア邸に限らない、あまり重くない、軽いコルビュジェの作品は、私の青春とは切り離せない。ヴァレリーはコルビュジェの作品から音楽が聞こえるといった。ペリアン女史も忘れられない。

マイヤール——コンクリートの橋

アルプスの渓にかかる清らかな橋は、私の心の中にいつもある。

アスプルンド——ストックホルムの森の火葬場

こんなすばらしい場所はない。緩やな起伏、小さな水面をも含んで、芝地が延び延びと広がっている。周りに黒い針葉樹の森が続いている。墓はみな木立ちの中に静まっている。木洩れ日がトップライトのように供えられた花々を照らしている。アスプルンドの建築は広大な風景の縁辺に静かに息づいている。

ミース．V．ローエ——レイクショアドライブアパートメント

黒いH型鋼の柱が美しい。柱は薄い鈑で包むものではないようだ。

サーリネン——TWAターミナル

中二階に上る階段の踏面の扱い、お客様をこんなに大事にするとは。

サーリネン——CBS（ニューヨーク）

マンハッタンで一番美しいビルであろう、凹んだ敷地はうまい扱いだ。

サーリネン——エール大学の学生寮

黄色い外壁は、古い様式の隣の建物への配慮でもあろう。ざんぐりとした、豊かな中庭だ。

2 A

〔明治〕

大阪府立図書館（野口孫市）

〔大正〕

●大阪府立図書館増築（長谷部鋭吉）

純粋な石造アーチ式の心斎橋も野口先生の設計であった。図書館の増築は最初の計画のときから予想されていたものであろう。いづれにしても由緒正しい建築である。

〔昭和・戦前〕

●住友銀行本店（長谷部鋭吉・竹腰健造）

毎日のように、恭々しく、また親しく眺めている建築である。格調高く、気品に満ちたこの建物はまた暖かい人間味を漂わせている。西側外壁にあった大きな透し彫りの時計や窓の格子などが戦時に撤去されたままになっている。美しい人が眉を剃り落されたような痛ましさがある。

●大阪ビル（渡辺節・村野藤吾）

美しいものはいつまでも美しい。或る時点だけ美しいというのは本当は美しくないのだと思う。

●住友邸内芳泉堂（長谷部鋭吉）

優しいお堂である。門も庭も美しい。

〔昭和・戦後〕

●都ホテル佳水園（村野藤吾）

屋根が美しい、日本の優雅。

●御堂ビル（岩本博行）

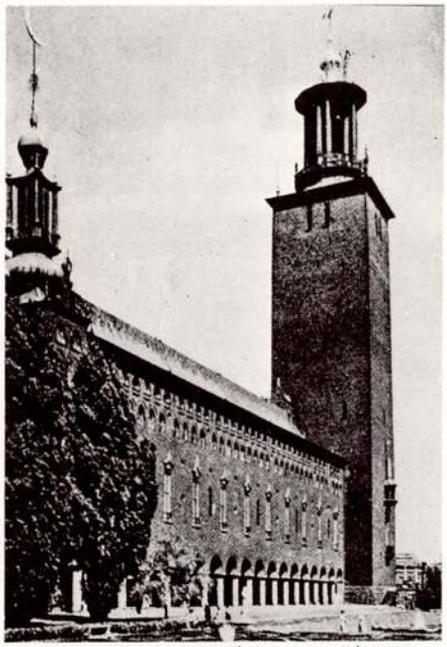
あの時、万博の事務所をこのビルに入れたのは良い決定であった。このビルは世界に通用する。

3

これからは合理主義でなければならない。地球は有限だ。物を大事にしなければならない。物を合理的に使わなければならない。地球上には飢えている人さえいるのだ、乏しきを分とうとするのだ、合理主義こそ人間的だ。「もったいない」という日本人の感じ方は素晴らしかったことが、

（左段へ）

Decade1920



ストックホルム市庁舎(R.エストベリ) 1923



ランシーのノートルダム教会(A.ペレー) 1923



アインシュタイン塔(E.メンデルゾーン) 1924



第2ゲーテ館(R.シュタイナー) 1928

西山 卯三　昭和8年卒業

京大名誉教授

1

私は実際の建物の設計をあまりしていないから、他の人と少し立場が違っていると思う。大学では私の前の学年まで武田さんが指導していて様式の練習をやっていたが、学生はそれに反発していた。当時1910年代から30年代にかけてのヨーロッパの建築運動にもとづくデザインが紹介されていて、コルビュジェ、グロピウス、デュドックといったものに皆が感心していた。日本では当時は様式建築が支配していた。私のこの時期の印象ではグロピウスが好きだった。コルビュジェは余りにも芸術家的で、好きではなかった。形だけを見れば人を驚かせるほどの独創的なものがあり敬服した。グロピウスには理詰めの態度に引かれた。しかし例えばデッソウのバウハウスのような形のきれいさに傾倒することには警戒の気持があった。というのは建築の芸術と社会とを私学的に勉強してゆくうちに、機能主義というものの本質がわかってきたからである。それは古い折衷主義を資本主義社会の求める経済的合理主義によりよく適合させようとする「建築芸術」上の革新であり、形の単純化は魅力的なものをもつが、日本にもってくると、明らかに無理なところがあらわに表れてくる。形としてはおもしろいものを感じたけれど、それに傾倒する気持にはなれなかった。建築を趣味的な楽しむ空間としてだけに限って見るならライトはすばらしい建築家だと思った。ワグナーの主張には心ひかれたが、しかしワグナー、ベーレンスらの作品については、あまり感心しなかった。ペレーは鉄筋コンクリートという材料を使って新しいものを作り出そうとしていることに魅力を感じた。また表現主義の諸作品、ベルチヒやメンデルゾーンの造形にはおどろかされたが、こういうものには非常に警戒した。同様にデュドックのものもいい建築だと思ったけれども皆が感心しているのを見て逆に警戒する気持になった。ミースはアメリカにいってからの作品に、警戒すべきものをあらわにしてきたという点で、あまり評価しない。

住宅ではグロピウスやヒルベルザイメル、それに動線分析で有名なクラインなど、いづれもドイツ人的な分析で、アプローチの仕方に学ぶべきことが多い。ハワードの田園都市論は建築作品的な興味からはあまり問題とされていないようだが、当時の現実を踏まえて、都市の将来のイメージを明確に示した理想案として、非常にすぐれたものと思う。

2

関西のもので、というとわれわれが生活の中で使っていてわが身に近いものの意味だと思うが、この点では京大楽友会館が良い。当時としても斬新なデザインだっただろうと思う。ただし外見だけの評価ではない。建築を外見だけで評価する人があるが、それも大切なこととは思うが、一見平凡なものでも使うものが使いなれなくてはならぬ大切な空間となっているものもあるし、立派なものでも使い切れなくもて余している例も多い。建物は使うことで生きるのであって、建物だけ孤立して良い悪いを云うべきものではない。どう生活の中へ入っているかが大切だし、そこで初めて建物は完成されるはずのものだ。この意味で楽友会館は私にとって良い建築である。逆に日独文化会館は形のデザインは少しおもしろかったが、とりこわしには賛成した。もっともそのあとによりよい建築ができたとは思わない。

3

最近、鬼面人を驚かす建物がたくさんできるのは建築の荒廃だと思う。九州に多い。これは人間社会が空間に対する管理能力を失ったということのあらわれといえるし、生活空間の造形に対するセンスの衰弱の証拠だと思う。こうしたものは公館（団体の建築）に多い。デザインをまかされた人がまかされたことを良いことに勝手なものを作っているし、使う方は誰も決定的に困ることが無いから少々不便を感じても批判しない。批判を積み重ねて建築家の教訓にしようとする伝統も弱い。それは日本の高密度社会の貴重な空間を浪費している。建築家は新しいものを押し出すことばかりにあくせくしてはならない。今までの歴史や過去の蓄積にもっと謙虚に学ばねばならない。生活はどういう蓄積の上に発展するのかを考えていくことが大切だし、生活空間の造形を担うということは大変な仕事なのだ。それは決して今までと違った形を創り出すことでゴマかせるものではない。住宅は建築の中で一番基本的なものだが、これ

（右段へ）

浦辺 鎮太郎 昭和9年卒業

浦辺建築事務所

1 ——歴史的な時間と社会的な空間にある建築——

私は1909年倉敷に生まれ、1930～1934京大で建築教育を受けた。当時O.ワグナーは既に紹介されていたが、前世代的で、私の関心はP.ベーレンスにあった。そのAEGタービン工場は私には近代合理主義の夜明けを告げた如く感じられた。従ってその門下のW.グロピュウスのバウハウス・デッソウへの発展には同世代的共感をそそられた。建築学生のL・コルに対する傾倒も大変なものであった。"住宅は住む為の機械である"(L.C.)は"形は機能に従う"(シカゴ派のサリバン)と共に昭和初期の学生を支配した言葉であり思想であった。ただそれらが熟慮と実践に裏付けされる為には歴史的な時間を必要とする。

然も一方に於いては反近代合理主義とまでは言わない迄も歴史と風土に根ざした流行不易とも言うべき建築に対して直感的な共感を呼ぶこともあって、例えばエストベルヒのストックホルム市庁舎やデュドックのヒルバーサム市庁舎はその好例であった。殊に後者は私をして倉敷に帰り地域の建築家として身を立てようと言う初心を発せさせた建築であった。デュドックはF.L.ライトの作風を当初に欧洲に定着させた建築家である。私は大学中途で東京の遠藤新建築創作所の食客(?)としてF.L.ライトに目を開かれて行った。ライトの帝国ホテルには当時も尚そのオリジナルデザインのカーペットが敷かれていた。五・一五事件(1932年5月15日)の翌日、遠藤新の親友でライトの支持者であった星島二郎代議士は"この帝国議事堂も完成間近だが憲政の墳墓になるかも知れん"と沈痛な表情であった。果たして時代は暗転し始め、大学を卒業した頃はひどい就職難に当っていた。私の抱いていた欧米の建築家像はそのままの形では日本に生存不能となった。日本はゆれ動いていたが倉敷はそれ程ではなかった。

2

大阪市立中央公会堂(岡田信一郎)はその由来と共に、不滅の大正建築。綿業会館(渡辺節)、住友本館(長谷部・竹腰建築事務所の前身である住友工作部)、大阪ガスビル(安井武雄)の3作品は昭和戦前の名作と思うが今日に於いてもその名に値する。

昭和戦後には新歌舞伎座(村野藤吾)、大阪ロイヤルホテル(吉田五十八、竹中工務店)その他に多数あるが、それら多数のものは少なくとも半世紀という歴史的な時間と流動常なき社会的な空間にあって存在しながら評価を受けなければならないであろう。それが建築というものの宿命であるから。

3

いつの間にか私は第一世代というか古い世代に入っている。従ってこの自覚に立って自分の理解出来ない孫の様な世代に対しては兎や角言わないこととしている。ただ孫の世代もいつか又私と同じ様に彼等自身の孫の世代を持つであろうことは予想出来るので参考の方に発言するに止める。最近、ジョン・ラスキンの"建築の七燈"を再読した。前川国男氏がフト私に"自分はラスキンの真実の燈を読みすぎた"と語ったことが動機である。新進の建築評論家長谷川堯氏は"前川さんは昭和の鬼っ子だ"と言った由、多少のニュアンスの相異はあっても私共の世代が近代合理主義のヒタムキな推進に於いては同罪であった事を反省すれば、私の世代としては前川国男氏をかかる意味で断罪することはしのびない。又最近中村雄二郎氏の"感性の覚醒"(岩波哲学叢書)を初読した。二書は時代の差を別にすれば、人間の機械文明に対する従属に対して深く考えているのであって、この深く考えるという点を失っては如何なる本も人間には役に立たない。窮すれば通ずるということは古今の人間社会の通則だと思う。

(うらべ しずたろう)

(左段より)

をデザインとして、例えばコルビュジェがデザインするように何か飛躍した創造的なものを作ったとしても商業主義やステータス・シンボルの新しいモデルづくりになるだけで、余り意味はない。このことは住宅をやってみればすぐ分かる。住宅にまつわる現象をもっと科学的に見なければならない。しかしこれは大変難しいことである。(談)

(にしやま うぞう)

徳永 正三 昭和12年卒業

徳永・田村建築事務所

1 A

①ガウディの一連の作品(スペインというよりむしろカタロニアーの建築作品とよびましょう。カタロニアーはスペインと申すよりむしろフランスと申した方が正しい国だと思います。)

②エストベリーとアスプルンド(スエーデン)(ストックホルムを訪れる度に、この二人の建築家の作品には必ず接することに努力しました。不幸にも接し得られなかったこの二人の建築家の人格には、この残された作品に接することにより、ふれあい、接し且つ又理解出来るような感じ——即ち近親感をもつことが出来るのです。魂のふれあいのごときものです。)

B たとえちいさな作品といえども目をみはるような建築作品が誌上にあります。たとえ計画案であろうとも、実現したものといえどもよいものはよいものとして、私は見つめております。

特に建築家の名前は申し上げられませんが、それは知る人ぞ知ると申し上げたく存じます。

別に質問にはないのですが、一言つけ加えさせていただけるなれば、コルビジェーの作品についてであります。スイス学生会館(パリ)・(マルセイユ住居計画(マルセイユ)・ロンシャンの教会(ロンシャン)についてはあこがれの気持をもって自らの眼でたしかめたいと思いまして足をはこんで見て来ました。しかしそのいづれもの作品が何か足りないものを内臓しているように思えてなりませんでした。それが何かははっきり言葉で申しあげることができませんが、大きな問題をなげかけていると存じます。

永遠とまで申してよい建築の生命の中で、あれほどまでに世界中に名声をはせた建築家コルビジェーの作品が、彼の死後それほどまでにもてはやされないことは、一体何がどうなのかと、今私は疑問をもち、私自身に反問している最中です。

2 A

住友銀行　　長谷部鋭吉先生
大阪株式取引所　竹腰健造先生
そごう百貨店　　村野藤吾先生

B なし

私があげた三つの建築作品は昭和(戦前)のものですが、これらの作品は今も尚健在ですし、建築家を志した時代に大きな影響を与えて下さいました。その、うけた気持は今も尚かわりません。

3

建築デザインの今後の流れは、世界的な動向にさからう訳にはゆかないのではないでしょうか?

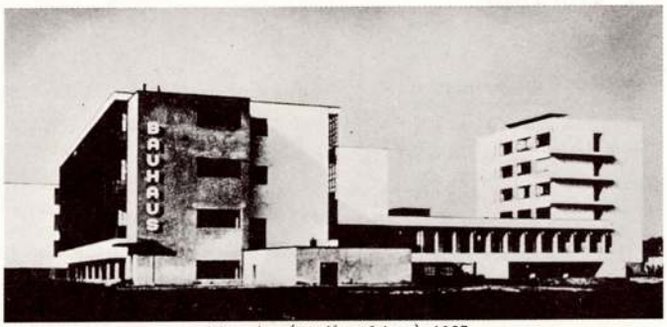
矢張り経済性が何よりも強く影響を与えると存じます。但しモニメンタルな建造物とか、万博とか海洋博のようなものは別ですから、思う存分にやればよいと思います。

経済性とか、政策を逸脱しては建築はありえないと存じております。

そういう線にそうなれば、自己の能力や発想のおもむくままに自由自在に思う存分腕をふるえばよいのではないでしょうか。(とくなが まさみ)



ヒルベルシュムの市庁舎(W.M.デュドック) 1930



バウハウス(W.グロピウス) 1927


パイミオのサナトリウム(A.アルト) 1933


落水荘〈カウフマン邸〉(F.L.ライト) 1936

Decade1930


セメントホール(R.マイヤール) 1939

小川　正　昭和12年卒業

竹中工務店常務取締役

1 A

1934年から37年の建築学生の間は奔流のように流れるヨーロッパの主流、インターナショナル建築。グロピュース、コルビュジェ、ミース、等の表向きの洗礼は受けたかもしれないが、恩師、今井兼次、故佐藤武夫先生の言葉の中から出る、エストベリイ、シュタイナー、デュドック、アアルトウ、等の傾向に対して興味と関心をもち続けた。

'37年、竹中工務店設計部で実務に着いたが、鷲尾九郎、石川純一郎、青柳貞世氏等の指導は技術よりむしろ人間形成であった。当社の甲子園寮を初めて担当させられたのは2年後であったと思う。当時は木造建築と面積制限の中で、素材としての自然石、煉瓦等を生かしたいともがいたのを覚えている。

第二次大戦に突入し、中国大陸での放浪、敗戦、抑留、'46年帰国。幸いにして'50年より廃墟の大阪に産経新聞の計画が開始され、'52年同社通信員の肩書きをもらって初めて三ヶ月間米国建築視察の機会を戴いた。

青年の私にとって強烈な印象の連続であったが、米国の建築界にも既に機能主義、技術至上主義への反省、そして人間性の復活が芽ばえ始めていた。当時、米国の商業建築と人間性の連繋に関してはSOMのG.バンシャフトの二つの作品を挙げなければならない。NYパークアベニューの重苦しい石造の一角にリバー・ブラザーズ本社が完成した。石の外壁を開放して舗道から何の抵抗もなく、太陽と柳の緑、と人間を導き入れる小さなプラザが低層部のピロティを通して連なっている。爽やかな憩の一時を高層の硝子壁を見上げて太陽と楽しむ市民の姿に、真の平和を感じたのである。一方5番街のマニュファクチァラス信託銀行では、金庫の円型大扉を硝子張の舗道寄りにもち出し、PR.には「あなたの預金はNYの全市民が見守っているから絶対に安心です。」と、営業室は吹抜けの玄関よりエスカレーターで2階に配置していることは云う迄もない。感動の中で撮ったスライドは20数年を経た今も新入社員に対する講義のテキストに常に加えている。

直接会った数多くの建築家の中で若冠37才であったミノル・ヤマサキの思想にひかされた。「建築は人間を威圧するものでなく、おだやかに抱擁してくれるものだ。壮大さより格調の高さが大切である。その建築の地肌にそっと触れてみたくなるようなものであるべきだ。」また「建築の機能、経済性、秩序の追求のみでは不充分であり、それに〝歓び〟と〝思索〟が加わるべきだ。日光、日蔭、形、装飾、驚愕、という面から出てくる〝歓び〟に現代の建築家達は気付いていない。」と。

1960年、Takenaka & Associates Inc. S. F. は、「日本文化商業センター」の設計に関してヤマサキとJV契約を結び、業務上の関連をもった。これにより設計業務の責任、権限の解釈、構造、設備など協力設計業者に関する事務処理など身を以って体験したのである。

特に彼に協力する構造設計者J.スキリング氏の人格とその協力体勢、設計の正しい理解はむしろ原案を更に助長さえしている。シヤトルのIBMビルからNYワールド・トレード・センターに至る、ベアリングウォールのフォローは全く驚異とも云えるチームワークである。

B 現在、米国に於いて活躍している建築家の中で、ジョン・ポートマンを注目している。自身の開発会社J.P.プロパティの社長を兼任しながら大胆不敵に建築法規に挑戦して、巨大空間の吹抜きを強調する一連のホテル計画、ハイアットハウスである。アトランタに定着する事業家＋建築家の性格をどう展開していくか。全米的不況に対して彼の企業計画に建築家の新しい行き方として興味をもつのである。

2 A

大　正	渡辺　節	綿業会館（旧館）	(1)
(前)昭和	村野藤吾	日独文化会館	(2)
(後)昭和	村野藤吾	平和記念聖堂（広島）	(3)

(1) 渡辺先生のご自身の真実のデティル、素材、空間の効果的な展開、いきの長い安定感に感銘を受ける。

(2) 学生の頃に見学をして、村野先生に愚問を発したことを覚えているが、初めて見たコンクリートの素材の美しさ、自然石の効果、容姿の美しさ、建築と日本的自然とのとけ込みに圧倒された。(現在の管理者、京大の保守のひどさには腹立しい。)

(3) 近畿ではないが、訪れる度に美しさを増す聖堂であり、手づくりの煉瓦と、外部より内部への整然とした空間の秩序、身の引き締まる思いの建築である。

(右段へ)

岩本 博行 昭和7年卒業

竹中工務店常務取締役

私はエストベリィのストックホルムの市庁舎が好きであるが、この作品について吉田鉄郎は次の様に言っている。「この建物が芸術的にすぐれていることには、あらそう余地もない。しかし、一面芸術至上主義にはしって、そのために、もろもろの近代的な要求が犠牲にされている点もすくなくない。この建築は、まだ、新浪漫主義的であって、近代建築にはなりきっていないのだ。われわれはこの建築を、建築が芸術的方向において最高の質に到達した、ひとつの記念碑として永久に尊重せねばならないが、この種の建築をふたたび現代に実現してはならない」——この市庁舎の建築当時は、近代建築主義の黎明期であり、世界の建築家の目は、近代主義にそそがれていた。吉田鉄郎がこれを書いたのは昭和30年代の初めで、近代主義は滔々として今の時点まで流れた。彼が指摘したように世界に芸術至上主義は消え果てた。

近代主義の黎明期にはつぎのような言葉があった。

「過去の様式がある方向に向って一つの新乾坤を開こうと試みているものは、即ち英国のアール・ヌーボーやドイツのセセッシヨンなどというものがありまして、とにかくその勇気は敬服すべきものと思います。又アメリカは最近のスタイルも同様の目的に向って着々成功せんとしつつあります。伊東忠太」「世の進歩につれて、建物の種類は性質に大変化をきたした。実利を主とする建造物が大勢力をなし、同時に間断なく進歩する科学の刺激を受くること甚だ痛切になって来た。ここにおいて建築家は皆々美術家でございとは参らなくなった。佐野利器」「実に建築の目的は実用にある。建築は芸術品でなくて実用品である。(略) かくて世界は装飾分子の少しもなくなった物になる。而も吾々の人生はその為に荒涼落莫たるものとなるを恐れる必要はない。かえって真の美をもって世界は充たされるであろう。(略)真面目な目的から建てられる余計なもののない建築は、いかに繰り返されても飽きられるはずがない。野田俊彦」「天然材料より人工材料に代りつつある。これらの新材料、新構造により合理的かつ経済的に構造すべきである。しかしてその形式と表現は材料、構造が異なるにつれて過去のものとは全く異ならねばならない。これ新建築あるゆえんである。岡田信一郎」

近代主義が起こらんとする頃、ウイリアムモリスは「すべての芸術の真の根元は手工芸の中に横たわっている。」と言った。

その手工芸は機械生産に替わり、近代主義の予言者達の言葉は実証された。そうして近代主義は尚走り続けている。その疾走の中にあって、近代主義への疑問はないのであろうか。野田俊彦の恐れなかった荒涼落莫の世界は真の美をもって充たされたであろうか。

芸術とは「人生と宇宙をつらぬく、いつわりなき生命の主体的表現」と言ったのは荘子である。「人間は生物として自然環境の中に生まれますが、生まれるやいなや文化環境にひきとられ、ならして数十年そこで生活し、死んで再び自然環境に立ち帰る」と哲学者茅野良男は言っている。文化環境の重要な要素の一つである建築を、生命の主体性はどう見るのか。実利と見るのか、芸術と見るのか。建築は社会的生産物である。社会のコンセンサスがこれを選択するであろう。 (いわもと ひろゆき)

(左段より)

B

大 正	片岡 安	新大阪ホテル	(1)
(前)昭和	石川純一郎	旧朝日ビル	(2)
(後)昭和	吉田五十八	ロイヤル・ホテル	(3)

(1) 水都大阪にふさわしいベネシアンゴシックの表現と、内部空間と室内設計との調和は素晴らしかった。

(2) 当時のロマンテシィズムと機能主義の調和をその平面に、またライフあるステンレス、と硝子でまとめ今なお健在である力量に敬意を表したい。(屋上突出部が形だけ新本社へ移されたことは問題である。)

(3) 3期に渡る綜合計画を完了して旧館、新館、別館の区別は全然なく、むしろ旧い部分が更に生かされている配慮。設計にも綜合藍理にも協力した故に、経営者と利用客とがよろこびあう環境を保つことの確認をつづけたい。

3

華麗な高度生長期を過ごしたあとを反省し、一つ一つのプロジェクトに計画と素材と工法そして品質の責任を明確にし得た建築のみが生き残る。ライフある建築とは唯一人の建築家のみでなく、多くの人々の協力によってはじめて成立し得るのである。 (おがわ ただし)

彦谷 邦一 昭和13年卒業

彦谷建築設計事務所

1

特に作品というより影響を受けた作家と言う点で私共の世代共通に言えることと思うのですが、ミース、ライト、コルビジェ、それにグロピウスといった作家ではないか。何れにしても機能主義の洗礼を受けたということだと思います。

今、手元に1935年5月号の国際建築のコルビジェ特輯は今から40年前、丁度私の20才前に出た本がボロボロになって残っているということは大変印象的です。質問にそれる様ですが、当時堀口さんがやはり国際建築誌で茶室"如庵"を紹介されたと記憶していますが、今もあの本の如庵の表玄関のエレヴェーションが私の頭の中に焦げついています。もっとも如庵は余りに有名ですが若い時に受けた印象は格別のものがあります。当時、確かこれも堀口さんのY邸も紹介されて、あの住宅も自分にとっては忘れられない作品です。同時にコルビジェのサボア邸とかライトの古い住宅から落水荘(カウフマン邸)まで勉強になった様に思います。若い時に得たものというものは、そう簡単に抜け出せないものです。豊かなイマジネーションをもって、色んな造形をされる作家にも敬意をもちますが、ミースの様に徹底したフォルムの追求、いわば一つの哲学のもとにディテールまでただこの一筋に歩む作家の作品には今も昔もうたれるものがあります。

2

例えば京都大学の近辺にあった村野先生の日独文化会館は若い時からのあこがれの建物でした。あの甍のあたりのディテールにまで感銘を受けていましたが、現在はつぶされて終いました。

ですから、建築のライフというものは私の心の中に残っているもので現実にその建築が今も生きているということとは別ではないかと思います。大正の初期から明治にかけてつくられた数寄屋の数々を見て素晴らしいと思ったものでも、いつか同じ運命をたどるのかと思うと残念ですが、あるいは仕方のないことかもしれません。そのうちで私は岡崎の野村別邸の前にあるあまり知られていませんが"清流亭"はいい。又、あの辺りの広場はこんな贅沢な空間はないと思います。特に東山を背景にした春の桜の頃は素晴らしい。

京都の町並の中には伝統のよさを感じさせるものがありますが、商業主義によってそういう建物が無残につぶされていくことは淋しいことです。もっとも保存と開発ということを二者択一をして考えるのではなく、いかにうまく開発することが保存につながるかという風に考えたいです。具体的にあまり思い当たらないのですが、前川さんの京都会館はあの場所に定着して立派な建物だと思います。

3

"不易流行"という言葉があります。その本質は永遠に変わらないが、その表現はその時々の姿である。流転するがその根元は一つでなければならない。建築の本質が見失われてただ商業主義のもとでファッションに走ることになると大変だと思います。様式という枠をはずされ機能という限界をこえて自由にはばたくことは結構なことであるけれども、自由というものは常に何らかの形の束縛を必要とするのではないか。もともと純粋な芸術ではないのだから、デザインというものは常に社会的なもの、アノニマスではないだろうか。やたらと個性がじかにムキ出たものに危惧を感じます。オーナーのない建築はないのですから、ある意味では立派な識見のある、然も美意識の高いオーナー、言葉を変えていえば、そういう風に社会全般が構成されなければならないと思います。

(ひこたに くにいち)



サヴォア邸
(L.コルビュジェ) 1931

近代建築作品（外国）　1940年～49年



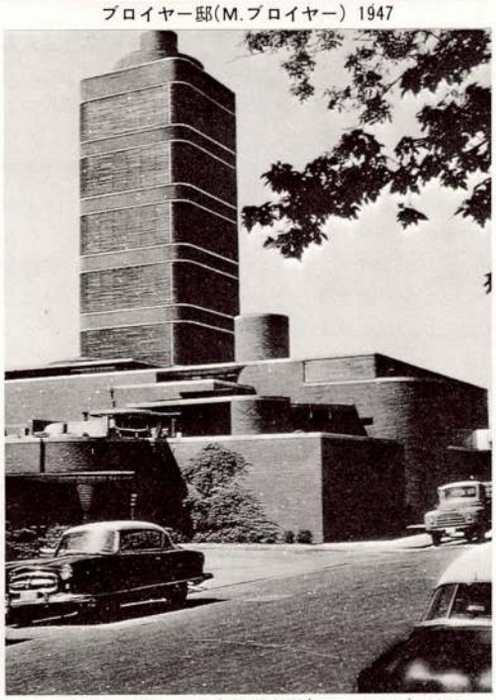
ストックホルムの森の火葬場(E.G.アスプルンド) 1940



リオの教育保健省(L.コスタ、O.ニーマイヤー) 1943



ブロイヤー邸(M.ブロイヤー) 1947



ジョンソン・ワックス会社研究所(F.L.ライト) 1949

Decade1940

西沢 文隆 昭和14年卒業

坂倉建築研究所

1

①ガウディ　②ペレー　③コルビュジェ　④ライト　⑤ローエ
⑥カーン、スターリング、ムアー

①大学在学当時今井先生が『建築世界』に紹介されに写真、図面を見たときから頭に焼きついた。バルセロナでは、他は何も見ず、ガウディを見狂った。造形的確かさの底に、構造的確かさがすごい。シュタイナーと同列に置くのはとんでもないことだ。

②卒業直後西村九二さんが新建築でペレー特集を出した。コンクリート打放しのディテールの美事さに魅入られた。

③何と言っても私の学生時代はコルビュジェ全盛。ガルシュ邸、メイヤー邸、マダム・マンドロー邸――そしてヴィラ・サボアは圧倒的であった。戦後における見事な変貌。マルセイユのユニテはポーチと玄関ホールのみ。ロンシャン、ラ・ツーレットは隅々までよい。まさに巨匠の巨匠たる貫禄。

④ライトには常についていけない面があるが、体質的にはむしろ私に合いやすい。在学中落水荘が発表されたときは全く参った。それにしても今ではライトの現代建築風のもの――落水荘、N.Y.近代美術館、マリナー・シティなどは何処かハリボテ、中ではジョンソン・ワックスのみがハリボテでなく最高か。一番よいのはタリエセン・ウエスト、次が今はなき帝国ホテル。

⑤ローエの最高傑作はファン・ファース邸か。コート・ハウス案は誠によく出来ている。一つでも実現させてみたかった。厳しい所がよい。それにしても自分で限界をつくり過ぎたのではないか。それがドイツ人気質か。

⑥カーンは大変見事なディテールと空間をつくるが大変下手糞な半面が同居している。本来下手な人か。スターリングは器用。巧いものだが何処か現代建築的弱味をもつ。ムアーでよいと思うのはシー・ランチだけ。皆理屈にごまかされて有難がり過ぎていないか。本当に巧いのはサーリネンかも知れない。ジョンソンは硝子の家と自邸だけ、その他は虫が好かない。ローチはフォード財団、オークランド・ミュージアムまで、その後はおかしくなってきた。ソレィリーの自邸がよい。造形感覚もよくコンクリートがよく理解されている。

2

あとにも先にも長谷部さんの住友銀行本店一つ。但しこれが世界に誇りうるかというと少々心もとない。中央公会堂は皆さん程感心しません。

3

何か新しいものをプラスしないことには創作にならぬことは事実であるが、新しいことをやれば創作かというとそうは問屋が下ろさない。合目的に機能を構造的に組み上げれば建築という私達の学生時代の風潮に対するリアクションとして、建築とは空間をつくることだとうそぶく若い人達の意気旺んなのはよいが、単細胞的思考は危険。建築は当然空間がなければならない。空間とは材質感、光も含まれる。それだけでは建築にはならない。住宅なら住宅、ホテルならホテルとしてそれを使う人々にまず機能しなければならない。見てくれだけよく、こわれ易い、耐久性に乏しい建築をつくつていては建築家の信用は危険に曝される。使い捨て文化の時代は過ぎ去った。政府までが夢よもう一度と考えているようでは話にならないが、少なくとも建築家は新事態に対処する心構えが必要。曽て盲人蛇におじずで現代建築家が単細胞に捨て去ったものを拾い直すのはよい。現代建築の一面が悪かっただけのことであるから、再び現代建築を単細胞的に捨て去るのは又危険。

曽て材料も工法も殆んど定り、使用勝手も単純であった時代でも昔の人は営々として創作活動をやってきた。尤も当時の材料にニセモノはなかったからある面では楽だったと言えよう。今は工法は進んだが材料の方はバリエーションは多くても殆んどがニセモノ時代。その中でホンモノの材料だけ使ってやろうとするのは一種の逃避行為か。ニセモノをホンモノにまで高める仕事も含めて使い方を考える必要がある。時間がない、お金がない、要求が撞着している――あらゆる悪条件は私達の時代だけのことではない。逃避せず直面して雄々しく処理する実力を養わなければならない。

'75/11/1（にしざわ　ふみたか）

福田　朝生　昭和15年卒業

双星社竹腰建築事務所

1 A

●A．ペレー　　ノートルダム（ランシー、1932）
　　聖テレーズ　（モントマニー、1925）

学生時代に日本女子大学（A.レーモンド設計）を見学したことがあります。そのチャペルを見たとき、写真で紹介されたペレーの教会の良さを連想し、感銘をうけました。

●F．L．ライト　　落水荘　（1937）その他

落水荘に限らない、彼の作品は何れも好きです。理屈ぬきで。どんな大規模な建物でも人間味を失わない不思議な魅力に満ちています。

●A．アールトオ　M.I.Tベーカーハウス（1948）
　　クルトウーリ・タロ　（1958）

のびやかな曲線、テクスチュアの暖かさ、行き届いたディテール、何れも人間味溢れる魅力が感じられます。

B　特にありません。

2 A

1．ガスビル
2．住友本社ビル
3．綿業クラブ
4．新大ビル

B

1．府立図書館
2．中央郵便局
3．新歌舞伎座

A、B何れも説明を要しないと思います。

3

1．人間味豊かな都市づくり

都市はそこに働く人々が、そこに住まうことによって美しくなるのではないでしょうか。

2．建築の機械化、工業化は益々進むと思われますがその中で人間味を失わないためにはどうすればよいか、常に心すべきことと思います。

3．年を経るほど美しくなる建物を造りたいものです。

（ふくだ　あさお）



アアルトのクルトウーリタロ（文化の家）1955

（右段より）

考えさせられる。

●大阪商工会議所ビル　1967　日建設計

設計チームの安定した技倆、判断の確かさを感じさせる建物。

●新大阪センイシティ　1969　ＲＩＡ

大阪の繊維業界の体質をよく理解し表現した作品。大阪の都市再開発の捨石的意義が大きい。

●大阪府青少年野外活動センター　1970　坂倉建築研究所

リーダー西沢文隆の人間味を強く感ずる。建築を作り、これを使うことの楽しさを教えられる。

●千里ニュータウン　1970　大阪府

日本ではじめての本格的なニュータウン。多くの都市計画や建築家の組織的な起用が成功している。

●阪急三番街　1971　竹中工務店

建築的な地下街としてはじめての充実ぶりを示した仕事。

（さの　しょういち）

佐野　正一　昭和17年卒業

安井建築設計事務所

1 A

建築学生のころ、フィンランドのアルヴァ・アールトのパイミオサナトリウム（1933）、ヴィプリ図書館（1935）などの仕事に初心の眼を開かれる感銘を受けた。これが最初で彼への関心はその後もかわらない。殊に第二次大戦後一層風土への理解を基に個性的な傾向の強い仕事ぶりに貴重な示唆を受けている。セイナッツァロのタウンホール（1952）など教えられるところが多い。

イーロ・サーリネンは生れはフィンランド、育ちはアメリカだが、その作品には北欧の匂いを濃厚に感じさせる。第二次大戦後のアメリカで一作ごと問題になる仕事を残している。ニューヨークケネディ空港ＴＷＡターミナル（1962）、ベル研究所（1962）、ディアカンパニー（1963）、それぞれ内容は違うが大きな魅力をもって私をひきつけたと思う。

イーロ・サーリネンとつながりをもちその後はサーリネンをのり越えて成長している現存の作家ケヴィン・ローチとエドワード・バセット（ＳＯＭ）が今、私の注目している建築家である。前者にはオークランド美術館（1961）、ニューヨークフォード財団本部（1964）があり、後者にはサンフランシスコのバンクオブアメリカ（1970）がある。

父の安井武雄はシカゴのルイス・サリヴァンとオランダのＷ．Ｍ．デュドックに関心をち、若い頃のアルヴァ・アールトに注目していたと云う。時の流れと建築思想の移りかわりを思わずにおれない。

2 A

明治－大正期の建物は日ごと消えてゆく。淋しい気はするが、この時期の建物は西欧建の移入の所産だからその時期として意義は認られるが永い批判に耐えるとは考えられない。ここには昭和（戦前）期から次の4点をライフある建築作品に挙げる。

住友ビル　　1926　長谷部鋭吉
大阪ガスビル　　1933　安井武雄
そごう百貨店　　1936　村野藤吾
大阪中央郵便局　1939　吉田鉄郎

四作品とも、日本の建築が西欧の模倣時代を終えて自己確立へ歩みはじめたころの、日本の経済活動の中心という高揚した気分にあふれていた大阪を象徴する建物であり、夫々の設計者にとっても代表的な作品と考えられる。当時の建築界にあって先駆的な仕事で、今日の水準からみても完成度の高いことに驚かされる。

B．記憶に残る建築作品を列記する。

明治・大正期

●大阪高等裁判所　　1917　司法省

赤煉瓦のいい建物だったが、最近取り壊された。

●大阪倶楽部　　1924　安井武雄

倶楽部建築というジャンルは今後の都市では成り立たなくなるのかしれない。この建物と後出の綿業倶楽部は古き良き時代の代表的なものだ。

昭和（戦前）期

●日本綿業会館　　1931　渡辺節

大阪の紡績と貿易の力を思い出させる作品。渡辺節の名作として記憶されよう。

昭和（戦後）期

●新大阪ビル　　1958　村野藤吾

貸事務所建築として実用性と美しさを結びつけたはじめての好作品。

●新朝日ビル　　1958　竹中工務店

戦後初の大規模な事務所、ホテル、コンサートホールの複合ビル。殊にホールの音の良さが注目された。

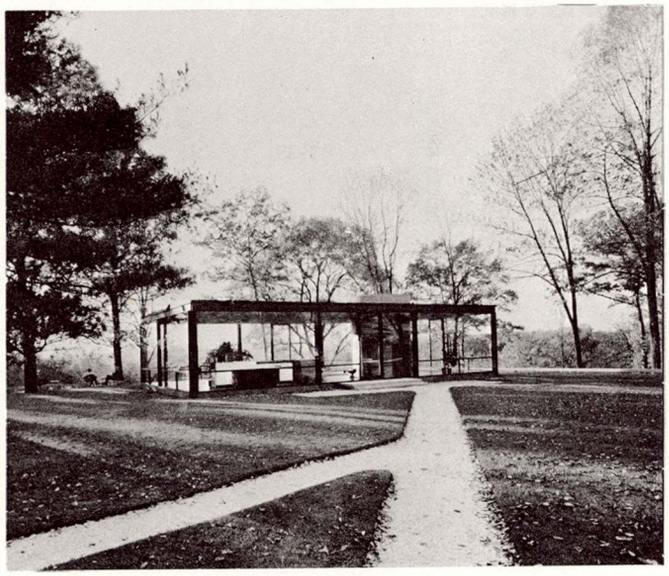
●京都会館　　1960　前川國男

この建築家のホール設計に対する確かな腕を感じさせた。京都という難しい環境に良く定着した名作。

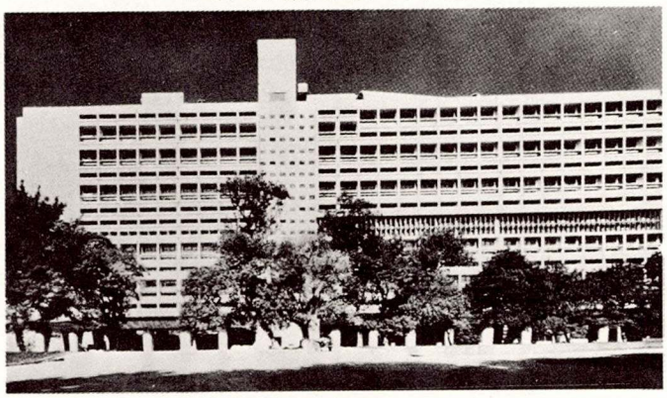
●京都国際会議場　　1966　大谷幸夫

オープンコンペで実現した記念的建物。コンペという方式について色々

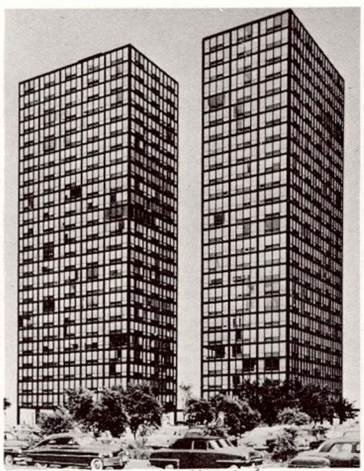
近代建築作品（外国）　1950年～59年



ジョンソン邸(P.ジョンソン) 1949



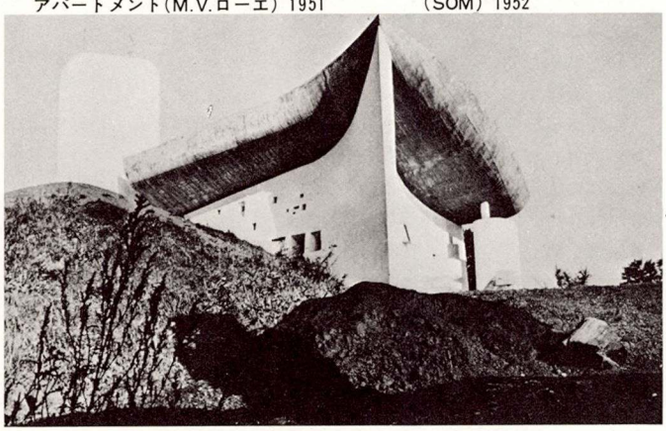
ユニテ・ダビタシオン(L.コルビュジェ) 1953



レイク・ショア・ドライブ・アパートメント(M.V.ローエ) 1951



レバーブラザーズハウス(SOM) 1952



ロンシャンの教会(L.コルビュジェ) 1954

光安　義光　昭和17年卒業

明石工専教授　元 兵庫県営繕課長

1 A

1936年代の作品として、ＦＬライトの落水荘、アスプルンドのストックホルムの森の火葬場に学生時代深い感銘を受けたのを思い出します。他にＡ．アールトのヘルシンキのオリンピック塔やＲ．ノイトラの一連の住宅作品に強く引きつけられていました。

此等の作品に共通している点は、緻密で厳しい均整と無垢な単純化です。アールトの澄んだ北欧の冷たい空気を感じさせる点、アスプルンドの深い森の中に印象的な十字架と間合いをとった火葬場の空間的配置の中に、死者との対話を思わせる、ボイドスラブからの青空の眺めなど憎らしい程巧みである。30年経て現地を訪れると狭隘になってきているものの、初心に受けた感情はやはり脈々と流れていて嬉しい思いがした。

最も進んでいる工業国の中で、高度な工学的技術を背景として、自然との融合調和をとって、人間生活に潤いをもたらしたライトのカウフマン邸は私にとって非常な救いであった。生活を考えさせてくれた緒口ともなったし、対称的にノイトラの冷徹に計算され組込まれた工業技術の住宅に烈しい知性を感じ引廻されていた。

Ｂ　Ｋ．ローチの一連の作品である。Ｅ．サーリネン亡き後の彼のオークランド美術館、フォード財団本部、カレッジ生命保険、マサチューセッツ大学芸術学部は夫々環境の中での立地に対し異常な解決法のように驚きで接したものだが、暫らくすると現代文明の中で見直すべき人間のための原点のようなものが、ぬくぬくと多忙な都会生活構造の内奥に暖められているのを知り始めるのである。次の時代に力強く踏みだす歩みのほかに過去への愛着を断ち切った冷たさを感じさせない不思議な作品である。

2 A

大阪中之島の建築群や1930年代の甲子園ホテル（遠藤新）、32年の西宮カトリック教会（梅木省三）をとりあげる。そこには個人の独創的魅力に欠けているけれど、重厚で伝統的な（日本のものではないが）積層技術は私共の心をゆさぶってくる。建築には此程表象的な意味を持たせられることを示している。巨大なものに含まれた形式、権威、信頼、い怖感等である。

Ｂ　1935年大阪そごう（村野藤吾）、57年アメリカ領事館（ミノル・ヤマサキ）、75年西山記念館（村野藤吾）・電々センターを注目したい。

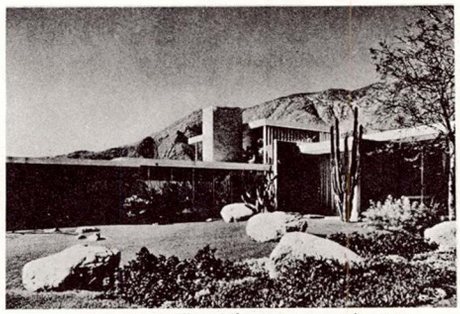
そごう百貨店には内部手法の細部にまで気遣いされた華麗さと、外観に於ける格子のコンポジションの近代感に圧倒された記憶があり、西山記念館の中にも、そうした流れを見出せる。職人芸的な手作りの詩を熱い情熱として感受する。アメリカ領事館では、貧弱な日本の技術環境に彼等の力の一部と共に、発達した近代性を感じとったものである。

作家としては、谷口吉郎、渡辺節、竹腰健造、安井武雄ら大家の作品に影響された事を思い出す。

3

建築材料、技術の高度の発達は日本建築界の宝庫であり、その中でデザインを進める時、人間のもつ本然の欲求を空間に造型する訳だが、技術をあらわにしただけで、驚きを与え満足させた時代は遠くに去っている。それだけに、ディテールと空間感情の密実な追求を要求されるだろう。そこに人間の希いに対し充足させ得るものと思う。言いかえれば、建築の美しさとは何か？を余りに見逃し忘れていた点を手直しされる時代に組織的に入らざるを得ないと思う。

ほんとの美しい建築を求めて流浪する時代である。　（みつやす　よしみつ）



ノイトラの砂漠の家（カウフマン邸）1947

徳岡 昌克 昭和26年卒業

竹中工務店大阪本店設計部副部長（設計、意匠担当）

1 A

建築デザインを志して以来、所属する組織の伝統的デザインに深い影響を受けている。この間、2年間の滞米と数度の海外出張はこの影響の整理と教えのより広義の理解へと導いてくれた。タリアセン・イーストでライトはやさしい自然環境へ融合させ、又、ウエストではアリゾナのドライな環境のなかに、雄々しくロマンティックに対応する優れた建築デザインの有り方を示している。

I. I. T.から、レイクショアドライブアパートメント、シーグラムビル、ベルリン美術館と常に建築に秩序、空間、プロポーションを追いつづけたミースからは、理屈をこえた美しいヒューマンスケールとそのディテールへの厳しい探求のあり方を学んだ。M.I.T.のチャペル、講堂、ニューヨークやダレスの空港ビル、エール大のスケートリンク、コールテン鋼のディアCO.等はいづれも材料の特質を生かし現代の技術を駆使した格調ある芸術作品であり、サーリネンの人間の感情をとらえる造型力に感動した。ペンシルバニア大学医学研究所等、カーンのデザインプロセスに共感と示唆を受けた。サーリネンは経過を語らず結果（作品）で語り、カーンは経過と結果を通じて、熱っぽく語りかける。

B L.ハルプリン等の都市環境についての考察、かつての名建築のあるものも、その後の急激な都市環境の変化によって、そのデザイン的存在までもおびやかされている。新しい都市空間に対する洞察力のある建築デザインが必要とされている。

2 A

大阪ビルディング旧館 渡辺節 オーソドックスな見事な構成と装飾の手法で格調高くまとめられている。大阪ガスビル 安井武雄 全館を通じ実にしっかりしたディテールでデザインが裏付けされており、外観は軽快さと気品をそなえ街区といったいとなって格調ある都市景観をつくっている。大阪中央郵便局 吉田鉄郎 柱と梁で構成された我国の伝統的な建築表現を新しい材料と技術でなしとげた。その美しく厳しいプロポーション、特に窓のプロポーションやリビール等、ゆきとどいたディテールとともにタイルを組積造まがいの材料としての役割から脱却させた色合い、形状、貼り方でみごとに使いこなしている。クラブ関西 坂倉建築研究所 シャーレン屋根のデザインの成功例であり、好ましい都市環境の構成に役立っている。

B 大阪市中央公会堂 岡田信一郎 色々な様式の手法を使いながらユニークにまとめられている。収容人員に比してヒューマンスケールを感じさせ好感がもてる。

日本聖公会川口基督教会 ヴォーリズ 環境構成や材料と技術の使い方に貴重な示唆を受ける。臨南寺本堂 大成建設㈱、伝統的、宗教的雰囲気の創造に新しい材料と技術によって挑戦して成功している。

3

一人の建築家が建築を創るのではなく、彼の存在した時代の人々が建築を創る。巨匠の時代は去って建築デザインはその社会の人々の顕在的、潜在的な要求の最大公約数を悟って、それを建築に訳いあげることにはじまろう。日本の民家や世界各地のアノニマス建築やそれらが構成する街区にフレッシュな示唆を受ける。気候、風土、生活様式の違いを超えて夫々に人間の知恵が結集されてきた故であろう。彼らの建築や街はその社会や時代のニーズによって当時の限られた材料や技術で造られて来たが、それは現代と比較しても決して容易ではなかった筈だ。現代の多種多様な材料や技術はその材料の本質をよく吟味して使うという建築を造る者には極くあたり前であったことをなおざりにさせてしまった。多くの建築が材料や技術のミス、ユーズの中に造られているのではないか。新しい建築を新しい材料と技術で創ってみたいが、なかなか新しくて良い材料がみつからない。年とともに風格が出てくる建築であり得ない。せめて材料や技術の使い方について、建築は重力に逆らって構築するのだから、視覚的に力の流れを無理なく大地に伝えているように使っておきたい。これからの新しい建築デザインは単なる自己主張を押えて、その周辺環境や街区をよく観察した上でそこに欠けているものを補って、そこに生気や情感をとりもどせる節度あるものでありたい。

（とくおか まさかつ）

蓮佛 亨 昭和28年卒業

京都建築事務所

1 A 『民衆に愛される建築とは』

ライトのカウフマン邸（落水荘）からルドルフのエール大学芸術および建築学部の建物へと変化した。学生時代を含む設計組織の実体を知らない時期と創作活動を体験した時期との変化である。私は初期には感覚的に建物を観たのであろう。形として強烈な印象を与えしかも全体として均整のとれた建築、周囲の情景にマッチし色彩や陰影など感覚的に観たのである。

計画の背景を知るようになってからは建築家と「家」を支える設計組織を見ながら評するようになり、後日雑誌でライトやルドルフのそれを知り、失望している。作品の社会的背景を見て評価というより批判的に観るようにしようと思っている。

B 最近の世界的作品をそう見ていない。昨年ヨーロッパの諸都市を観て廻ったが感動するものはあまりなかった。パリーのフランス共産党本部（オスカー・ニーマイヤーの作品）を観て評価する人がいたが自らの眼で確かめることが出来なかった。むしろ中世紀のカテドラルなど諸建築に関心をもったのは何故だろうか。

2 A

最近改築され悲観しているが四条通りの前大和銀行京都支店は（故安井先生の作品）はとくにファサードが立派な建築として脳裡に残っている。昭和の初年に建設された近衛通りにある京大楽友会館（森田先生）で戦後は岡崎の京都会館（前川先生）である。いづれも京都という風土の中になじみ、その周辺地域の風景からみても地域環境をよくし、ひきたて、しかも利用者に愛されている建築である。

B 明治、大正にかけては京都三条通りにその建築の姿を観るし、昭和（戦前）では京都府警察五条署、戦後では府立医大前の京都文化芸術会館（富家先生）であろう。五条署は学生時代に、その他はその後に注目した。巨大なコンクリートの塊が岩倉の地にそびえる国際会議場が姿を消す日はいつであろうか。作者よりコンペ審査員の良識を疑う。京都市民は居丈高なものを好まぬが、私も京都人なのかもしれない。

3

建築のデザインが建築家の個人的才能と資質のみによって決定されてきたいままでのあり方について一定の矛盾が生じていることを直視しなければならない。計画設計の過程で個人的才能と意志を貫徹するというやり方、すすめ方そのことに焦点をあてて考えてみなければ社会や国民に真に評価される建築を創ることが出来ないだろう。才能と能力に限界があるからである。

建築家は生身でありオールマイティではない。建築家を支え、裏うちする設計組織があってこそ建築家の才能や能力が生かされよう。創作の能力をもった建築家をもち得ない設計組織がよりよい作品を創りうるかどうか逆もまたいえる。

建築家技術者がいかに社会性をもつか、技術、創作能力を社会的に験し、批判を受け、反省して自らの血や肉にし、民衆（国民、市民、住民）の裏うちをえようとする建築家技術者になりきるかどうかである。地方でうまず、たゆまず創作をつづけている建築家（'30年代のデュドックのような）のなかにその姿がみられる。国土の何処に建てようと地域とのかかわりを軽視すればそれなりの反応があり、とりまく住民、利用者からきびしく批判される。住民運動のより経験と蓄積をもつ都市部においては特にそうである。

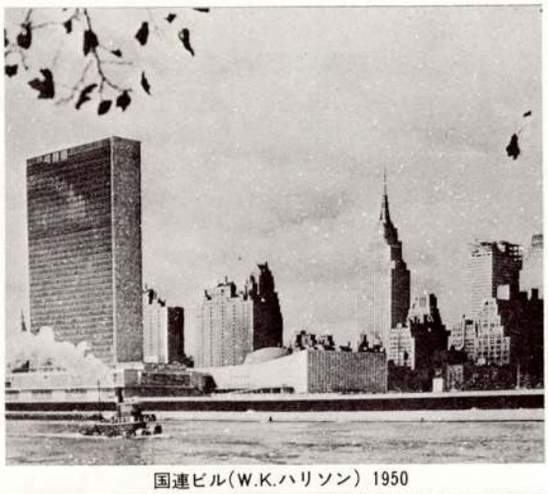
建築デザインを近視眼的に観るのではなく、鳥かん的に見ることである。地域環境とのかかわりだけでなく、それを利用する市民、住民の要求や気持ちを現し、具現化した形として建築が創られるべきだという意味から鳥かん的、大局的と言いたいのである。それを創る建築家と設計組織の担当するスタッフメンバーがその立場にたったとき、真の建築の創造、民衆に愛される建築が創り出されるであろう。それは努力の結果としてである。

1975・11・9記

（れんぶつ とおる）

近代建築作品（外国）　1950年～59年

Decade1950



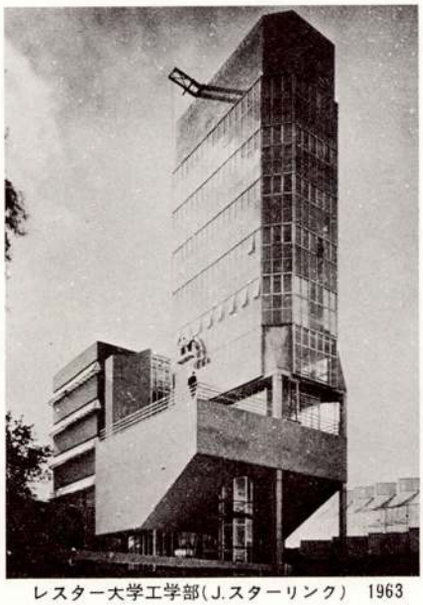
国連ビル(W.K.ハリソン) 1950



マサチューセッツ工科大学クレスジ講堂(E.サーリネン) 1955



ブラジリア(O.ニーマイヤー) 1958



レスター大学工学部(J.スターリンク) 1963



シーグラム・ビル
(M.V.ローエ) 1958

神出　津嶺雄　昭和30年卒業

ジェネラルドラフティング

1

デッソウのバウハウスだと考えます。
私共の建築的物心のついた昭和27年前後は我国及びヨーロッパは戦後の荒廃、アメリカのみが本格的建築の可能な経済力技術力を発揮し始めた頃で、学生としては戦前の建築をしかも印刷物でしか感受出来ない悪条件にあったわけですが、それにしても「工作室の隅角部」とタイトルされたカーテンウォールの出隅をすっぱりと、撮った一枚の写真は大変なインパクトの大きさでした。
もっともこの建物は、ギーディオンによる花輪花火のような平面計画にそれまでのヨーロッパの平面技法から離脱する大きな力を表明した事の方が、より建築史的評価があると思いますが、昭和2年という年にいわゆるインターナショナルスタイルのすべてをやり尽くし、しかも大規模に実現し、加えてそれが世界のデザイン活動の中心となった学校建築であるということから後進に与えたものは極度に大きいと感じられます。
これに対して現在は、量的にも質的にも目的別にも余りに事務的に巨大化した建築活動の中に自らを置き情報過多の内から新しい方向をという苛立ちを感じること自身、現在の建築のもつ多方向性の表れかと感じます。ローチ／デインケルーの故サーリネンチームは如何でしょうか。巨大なアメリカをバックに一作一作かなりのショックを与えてくれますが、何かもう一つ一貫性というか、考え方又形態上の脈絡の弱い所は気になります。
その時代の人間にはその時代が解らないという事かも知れません。

2

やはり御堂筋の大阪ガス本社だと思っています。
安井建築事務所に在職中に関連深かった建物という特殊事情を除外しても、その竣工写真の周辺の瓦屋根や人力車を見ても今に至る物理的精神的なライフの長さに驚かされます。私なりにこの建物のポイントを列記しますと、まず都市と建物のいい関連いい位置、当時として余りにも明解な平面計画、事務所建築の限界を心得た気持よい立面、特に1階廻りのピロティ部に見る構造的現代性、建築設備技術の先取性―アメリカキャリヤー社施工の空調から機械駐車設備までが組込まれた―、最後に市民と建物のいい関連―アーケード、ショーウインドー、展示場が一番いいスペースにあり懐かしいガスビルホール―いづれもが即現代のテーマであり、それが40年前に実現している事実に設計者の力量と心地よい大阪を感じさせられます。
更に現代の近畿の建築ということですが、現在は建物の現実に建つ位置の意味は希薄であると考えています。むしろ関西人による建築とか、更に関西風の考え方による建築といった区分なら自分なりに受入れられますが、その意味では村野藤吾先生の一連の作品かと考えます。まず技術あり、これは関西の風土であると同時に全く建築そのもののベースであると信じております。

3

今までもそうであったわけですが、それ以上の建物のジャンル別の考え方の整理が必要ではないでしょうか。その建物が大局的な経済活動のどの位置に位するかによっての建物の性格づけが更にきびしくなりそうです。建築のアートとテクノロジーとの相関関係の見直しが今後の一番の問題点かと考えます。

（かみで　つねお）



オスカー・シュレンマー作
バウハウスの校章1922

川崎　清 昭和30年卒業

大阪大学教授

1

興味をもった建築、建築家など強いて10ケに絞って見ると次の様になる。ワグナーのシュタインホフ教会、シュタイナーの第2ゲーテ館、ミースのファンスワース邸、カーンのペンシルバニア大学医学研究所、スターリングのケンブリッヂ歴史学舎、ケビンローチのオークランド美術館、ベンチューリとアレキサンダーの方法論などである。これらは神格化されて学生時代から憧れていたもの、構成的手法と共に不思議な魅力をもっているもの、哲理や方法論に関心のあったものなどである。

しかし、私が一番大きな影響を受けたのは、世界的名声の点では上記の作品に及びもつかないが、実は11番目に加えたい次の作品である。それは1958年に建てられたルルドの地下大聖堂である。ルルドを訪れたのは15年も前のことであり、建築を始めて間もない頃の事でもあり、ピレネー山脈の美しい雰囲気の中で、古い教会堂に対して、地下に埋めるという大胆な手法で新旧二つの環境を両立させたP. Vagoの発想は私に強烈な印象を残した。ギリシャ建築のプロポーションを学ぶことから始まった私の建築的修練に対して、建築の構成に新たな洞察が必要なことを実感として教えられた最初の経験であった。この時の実感はその後ずっと大事に持ちつづけている。

2

京都を中心に選ぶことにする。京都の風物の中にあって、不思議異和感のないのは明治のレンガ造である。辰野金吾の旧日銀は平安博物館として生れ変ったが、中京郵便局と共に、この辺りの町空間の雰囲気を代表している。同志社礼拝堂（グリーン、1886）のある同志社キャンパスも、新旧の調和が比較的うまくいって現代に活きづいている空間である。片山東熊の旧京都博物館と森田慶一の新館は直角に交る軸線上に対峙しつつ東山の風物の中に調和して、市民に親しまれた空間となっている。前川国男の京都会館は岡崎公園一帯の風景とマッチして大胆なピロテーは市民に快適なひろばを与え、又公園の各時代の建物とも良くバランスを保っている。都心の商業ビルとしては昭和初期に建てられたもとの朝日会館（1935年石川純一郎）はその大胆なカーテンウォールの扱いや、現代のスーパーグラフィックスにも匹敵する大壁画など、決して新しさを失わない建物であった。しかし新しく建て直した岩本博行の新朝日会館も又一級品である。新旧が時間的にうまくひきつがれた例であろう。

3

我々は生理的に日本人であることと、知識として欧米人であることの二重の性格が既に体内化している。現代は知識や文化の面の混沌を止むを得ないものとして、世界通有性への一応の目標を達成した時機である。そこで建築の世界においても、この様な世界通有性を一つの経過として、そこから再び独自性への模索が開始されると考えられる。どれとか誰とかを注目すると言うことでなしに一般的に追求に値するものとして次の様な項目が考えられる。

1．体系的把握の方法はかなり進歩して来ているが、同時にそれの限界も見えて来た。そこで部分からの発想が今後の重要な課題の一つになろう。部分の持つ具象性を密度高く捉え、全体を抱括する時に捨象しないこと、部分を薄めずに全体につなぐ方法が必要である。

2．メタボリやウォーキングシテーなどテクノロジーオリエンテッドな発想を止めること。

建築を文明論の範疇から引き出して、生活、社会、風土などの文化の範疇で考えること、そしてテクノロジーの持つ共通の思考から解放されること。

3．客観性と言うことに頼りすぎないこと。即ち空間の質を統計量的概念で扱う習慣を止めること。量の問題から質の問題へ主題を移す必要がある。固有の質の問題や個人の好みの問題などを軽視しない態度を保つことが要求されると思われる。

（かわさき　きよし）

根津 耕一郎 昭和31年卒業

根津建築事務所

1 A

ある種の近づきをもって感じられる年代の建築家群とそうでない、歴史的なスクリーンが存在して隔絶的な意識で把えられる系統の建築家群がある。その境はほぼ私にとって1930年代以降と以前にみられる。1930年代以降の作家群に対し個別に主観的な驚き、共感的情念、反抗、劣等感等々様々な人間的感情を含めて個々の作品に接することができる。それらの刺戟と自己反応が自分の中で自然に連続的に形成され、一種の建築を中心とした私の内部的社会核を形成している。

しかし1900年代初期のガウディーやシュタイナー、メンデルスゾーン等の既成の建築概念にたち向かったエネルギーには敬意を表したい。

B　私は何にでもものすごく好奇心をもっている性質なので、いいものも良くないものも貪欲にみつめてゆきたい。そしてできてしまった作品でなくて、それが造られたプロセスを読み返したりプロセスを推理することに興味と問題性を感じる。

2

A　具体的にありません。

B　　同　上

3

建築がよりメガな都市的な骨格に置換されるイメージの胎動があった。一種の発散的な不定項化であろう。また、建築の空間を部品化したり、メカニックな機構に分解し再構成するミクロ化した収斂性を与える示唆が行われた。しかし人間との相対性を含めて具体化が危ぶまれる思考であった。しかし一方に於いて現実に空間が商品化され、それに伴って建築家は空間の演出家となりその手によりディスプレイが繰り返された。しかしこの手法もほぼ限界に達しつつある。

演出家化した自らの非力性を自覚すると共に、更に一般社会に於いて進行する超高層からプレハブ住居に至る空間の均質化とその経済的合理性の指向に対し、その現実を直視しながら、それに対する人間的不満や鬱積を内部に蓄積させることだと思う。その蓄積のために自壊するかも知れない危機を感じながら、蓄積の中から得るアンチテーゼに次に目指すべき方向の暗示を得るかも知れない

（ねづ　こういちろう）



エーリッヒ・メンデルゾーン設計　ユダヤ教会計画案



ルルドの大聖堂(P.Vago)

近代建築作品（外国）　1960年以降



ベルリンフィルハーモニーコンサートホール(H.シャロウン) 1963



ペンシルバニア大学医学研究所(LI.カーン) 1960



スカボローカレッジ(J.アンドリュース) 1966



トロント市庁舎(V.レベル) 1965

水谷 頴介 昭和32年卒業

都市・計画・設計研究所

1

外からの刺戟的要因として、ふりかえってみたいと思います。
まず、イギリスのハウジングの蓄積から、社会体制的なことも含めて学んだことが多いと思います。同様にアムステルダムがあります。次に、日本の歴史的風土と民家、瀬戸内海←→河内←→大和から、です。それらに加えて、関心をひかされた建築デザインは、ルイス・カーン、スターリング、ムーア（MLTW）です。ルイス・カーンについては、トレントン・バス・ハウスやリチャーズ研究所の作品・プロジェクトがArchitectural Forum誌にはじめて発表された頃からの印象でした。
それを活用？して、尾崎記念館の第一次コンペに入選（RIAの富永、北島氏と協同）しました。スターリングについては、レスター大学のレンガとガラスの見事な写真を見て、イギリスの伝統を強く感じさせられました。
MLTWについては、何といっても、シーランチの諸作品です。

2

内なる体験的要因を整理してみたいと思います。
まず、育ってきた阪神間の住宅地です。六甲山の山の緑と大阪湾の海の青、そして、ヴォーリズの赤い屋根瓦が、身近でした。
次は、勉学のプロセスにおいての諸先生との接触です。順番からいうと、故絹谷祐規氏をとおしての西山研、RIAと山口文象氏、大谷幸夫氏をとおしての東京学派、です。
西山研の周辺からは、自ら町を訪ねて自ら研究する方法を学びました。RIA・山口文象氏からは、建築家のきびしき世界と、そのなかにあっての楽しさを味わいました。大谷幸夫氏たちからは、建築家・計画家の主体性と姿勢を教えられました。
これらの過程をへて、現在では、建築家村野藤吾氏を、第一に想い考察しています。村野先生の作品をすべて評価しているというわけではありませんし、先生の社会的身のおきどころや行動をすべてそのままというわけではありませんが、先生の学生時代以来の思想的持続性と建築の持つべき質に対する心と手を尊敬しています。

3

建築は、次の3つの要素から構成され創られるべきだ、と考えています。町なみのストーリーをうけとめ生み出すものとして、人間の自由なる協同労働の喜びの結果と表現として、都市と農村を交流する地域経済・地域産業のしくみのなかで、の3つです。もちろん、建築家は、それを思想の基本におき、それをプロデュースし、その高き実現を可能にする社会を求めて行動しつづけなければなりません。
自ら生活工芸にかかわり、社会運動に投じ、反権力のユートピアンであったウイリアム・モリスのような行き方こそ、夫々の地域社会のなかで必要なのだと考えています。
社会・経済の基本領域にまでさかのぼって問題をとらえ計画しうるプランナー、日本の風土と歴史の町並みを大切にするアーキテクト、また、生活工芸を愛するクラフトマン・ギルド、この3つのより総合化をめざして研鑽し、多彩な断面でのユートピアをじっくりと実現していきたいのです。

（みずたに　えいすけ）



シーランチ(C.ムーア) 1966

辻野 純徳 昭和32年卒業

浦辺建築事務所

1 A

1）ジョンソン・ワックス事務所・研究所（1936～9）／F. L. ライト

構造と材料が、柔らかい曲面と水平的デザインが、光の中に融け新しい空間となっていた。特に時には邪魔な柱列が見事昇華している。有機的建築、そこにはオーダも理屈もなく、感動する建築があった。1957年、正月のこと。

2）カサ・ミラ（1905～10）他／A. ガウディの一連の建築

"Gaudi" Le Corbusier Fotoscop Gomis Prats-1958は、美術誌をとおしての柔らかく毛深い芸術的ガウディだけでなく、構造に優れ、技術的にも完璧なディテールを写し出していた。一見必要以上にうねる外壁の窓廻りの水切も、奇怪にみえる面格子の機能等々も明確で充分デザインされ、西欧建築の壁の歴史や製作の為のエネルギーが驚異であった。ディテールの技術とデザインに苦しみぬいていた社会へ出て一年余のこと。翌1960年、新建築誌に「アントニオ・ガウディの作品における自由と束縛」（ユルゲン・イエデックBauen＋Wohnen'1950-5）の訳が紹介された。

3）ラウタ・タロなどケスクスカツ通りのファサード／A・アアルト

1971年に接したエリール・サーリネンの銀行ビル（1921）の両側にあるアアルトの二つのビル、ラウタ・タロ（1955）とアカデミ・ブックストア（1969）が、それぞれデザイン、ディテール、時代を異にしていながら壁面線も軒高も揃えてすばらしい街区を形成していた。アアルトほどの巨匠ですら既存の街に和するデザイン、これが都市の建築であると。

B

1）ニューメキシコの教会／ジョージ中島（1970年頃）

赤い山にとける赤い土壁、数10マイルを車で馳せ祈る若者、風土と心がある。詳細を知りたい。

2）欧米の都市保存や既存建物と新建築のかかわりあい、その意味での都市での建築家の仕事すべて。

3）レスター大学／スターリング、ビバリーヒルズホテル／ラムスデンなど「壁」に代わる「ガラス」の建物。

2

◎明治大正

●京都博物館（1895）片山東熊／●日銀大阪支店（1903）辰野金吾／●大阪中央公会堂（1918）岡田信一郎

明治期西欧に学んだ成果を伝える。機能的にも耐えられる。歴史的意味を含めて。

●近江八幡YMCA会館（1907）／●聖公会川口教会（1922）／日本基督教団大阪教会（1922）

宗教建築という特殊性か、様式にこだわりのないやさしさか、今も充分。

●大阪クラブ（1924）安井武雄＋片岡事務所／●大阪ビル（1925）・綿業会館（1931）渡辺節／●住友ビル（1926）長谷部鋭吉＋住友建設部

適度のスタイリッシュ、機能もディテールも質も充分。

◎昭和初期

●ガスビル（1933）安井武雄／●十合百貨店（1935）・大丸神戸店（1936）村野藤吾

合理性追求の結果でも質は守られ、都市建築の代表的存在。

●神戸女学院（1934）ウォーリス

様式をこえた素直な建築。立地もよい。

●甲子園ホテル（1930）遠藤新

ライトに学んだヒューマンスケールの空間処理。

●西宮球場（1936）中尾

外観はともかく見やすさでは抜群のスタンド、その機能性を評価。

●大阪中央郵便局（1939）吉田鉄郎

合理性と機能性にすぐれ、バランスも見事。

◎昭和戦後

●新大ビル　村野藤吾　堂島川の景観と一体。

●新朝日ビル　竹中工務店　金属パネルの性能を生かす。しかし切角のピロティ部分も道路を車に分断されたのは惜しい。

B

●新大阪ホテル（1935）大阪市＋長谷部竹腰

シティホテルの機能を現在まで果たしてきた。宴会部門のプランもよかった。惜しい建物。

3

欧米の都市建築の質・量・生活等の歴史の連続と、我国の江戸での断絶、明治よりの欧米文化の急激な吸収が果たされぬまま、高度成長とマスコミ全盛で、様式も風土も建築の意味すら喪失した。その見直しで歴史的に連続させることがまず必要。（つじの　よしのり）

出江 寛 昭和32年卒業

竹中工務店大阪本店設計部副部長（設計担当）

1

○フランク・ロイド・ライト

落水荘（カウフマン邸）。タリアセンウエスト

精神的ロマンティシズムに満ち、のびのびとした造形力と、適格な素材の選択によって、自然とのみごとな融合と対比を生み、自然に迎合することなく、自然の中での美しい点景となっている。

○ル・コルビュジェ

ラ・トゥーレットの修道院。　ロンシャンの教会。　マルセーユのユニテ・ダビタシオン。　チャンディガール

建築を光の中における芸術としてとらえる、彼の生涯を通じての偉大な創造性と、自由奔放で、おおらかな空間に対し、大きな感銘を受けている。

以上、簡単に挙げてみたが、私の個人的なデザイン活動においては、むしろ、日本的な歴史にはぐくまれた空間意識こそが、デザインの原点であることを付記したい。

2

■ビザンチン、ルネッサンス、バロックの美しい建築に、今益々魅力を感じている。

旧兵庫県庁（1902）山口半六。日本銀行大阪支店（1903）辰野金吾。大阪府立図書館（1904）野口孫市。大阪市中央公会堂（1918）岡田信一郎。

■セミクラシックなデザインに人間的な暖かさを感じる。

大阪倶楽部（1923）安井武雄。大阪ビルディング旧館（1925）渡辺節。住友ビルディング（1926）長谷部鋭吉・竹腰健造。

■セミクラシックからの脱皮が、新しい素材、形態、構造美を生み出し、近代建築の黎明を感じさせる。

朝日ビル（1931）㈱竹中工務店。大阪ガスビル（1933）安井武雄。大阪中央郵便局（1939）吉田鉄郎。

■戦後の作品

○関西大学円形図書館（1955）村野藤吾

学園にふさわしいロマンをたたえている。

○新朝日ビル（1958）㈱竹中工務店

軽金属板を素材とした最初の建築として評価した。

○都ホテル佳水園（1959）村野藤吾

東山を背景とし、リズミカルで軽やかな日本的優雅を誇いあげている。

○電通大阪支社（1960）丹下健三

プレキャストによる、ホリの深いファサードが、印象的である。

○御堂ビル（1965）㈱竹中工務店

タイルの情感とあいまって、堂々と美しい。

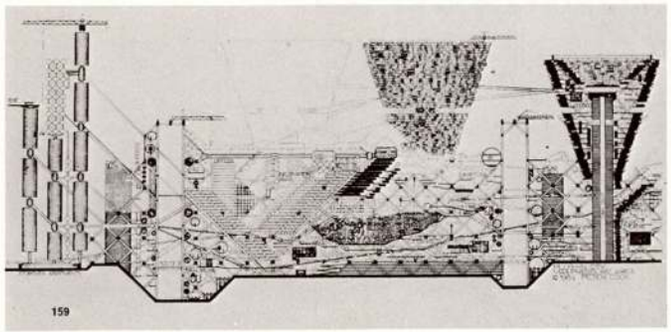
3

"普通の空間"が、ある時突然"普通"であることをやめる瞬間、物理的空間は、"精神的空間"へと昇華する。禅的"無の空間"は、宇宙的普遍性への象徴なのだろうか。

一切の装飾性を排した、無機質で、メタリックで、SF的で、モンドリアン的な世界、様々な空間のあり様が、私の頭をよぎる。

空間デザインの究極とは、"冷やかなモノクロームの世界"なのかも知れない。私のデザインの指向性もそこにある。それなのに何故私は、あの装飾性に満ちた中世建築や、雑然とした地中海村落にひかれるのであろうか。両極のかなたに、フォルムを超えたはるかかなたに、私は"普通の空間"が"宇宙的空間"へとはばたくのを予感し、夢みるのである。

著名な建築家が、どんなに素晴らしいものを創ったとしても、彼等の作品は、社会的ニーズに応えるべく組織され、量産される圧倒的な物量建築群の流れを徐々にしか変えることは出来ないであろう。私達の最も重要で焦眉の問題は、これらの建築群を如何に取り扱うかという点であろう。そこで、私は声を大にして主張したいのである。"普通"のことが"普通"に行われない昨今、"普通"のことをごく"普通"に考え、心をこめて"普通の建築"へと具象化していくことにこそ、私達建築家の使命があるのだと。しかし、そこにはマンネリズムへの甘い、危険な落し穴が隠されていることを忘れてはならない。マンネリズムの彼方には、精神の堕落が横たわるのみである。衒もなく、飾り気もない、透明な空間こそが、静かに醒めた精神の宿る故郷なのでろう。（いずえ　ゆたか）



プラグイン・シティ計画案(アーキグラム) 1964

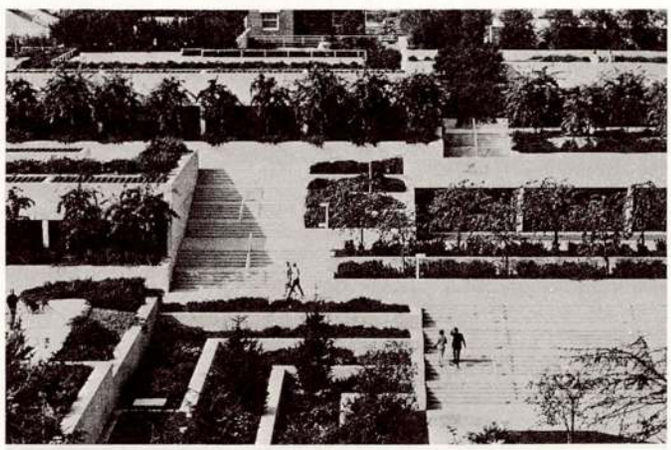
Decade 1960



エコノミスト・ビル(スミッソン夫妻) 1964



フォード財団ビル(K.ローチ) 1967



オークランド美術館(ケビン・ローチ) 1968

指宿 真智雄 昭和32年卒業

建築デザイン一級建築士事務所

1 A

●世紀のホール（1913）マックス・ベルグ
当時としての技術革新と経済性を確保しかつ美しい。
●セメントホール（1939）マイヤール
総ての建築要素を以って成した、テーマの完全な表現。
●ＭＩＴ講堂（1955）Ｅ．サーリネン
構造の徹底した追求が、デザインの美に昇華している。
●ＰＪパビリオン（1962）Ｐ．ジョンソン
構築物と風景の対比的な補完。哲学的でさえある。
●トロント市庁舎（1965）Ｖ．レベル
優雅なたたずまいと暖かい内部。官公庁建築の範。
●ワールドトレードセンター（1972）Ｍ・ヤマサキ
端麗な姿、見事な空間的構造的解決。建築の極地。

B

●ミュジェ・ド・ポンピドー（1976？）ピアノ&ロジャース
技術・環境・財政等あらゆる面で、今日的問題を含む。

2 A

明治
●日本銀行大阪支店（1903）辰野金吾
邦人が初めて主となって設計した関西の作品。
大正
●大阪市公会堂（1918）辰野金吾・岡田信一郎
分離派との論争、コンペ等を経て折衷様式となった作品。
昭和（戦前）
●大阪中央郵便局（1930）吉田鉄郎
構造的解決と意匠的処理のすなおな一致。
昭和（戦後）
●香川県庁（1958）丹下健三
現代建築の技術を以って伝統的様式を表現した。

B

昭和（戦後）
●国立屋内総合競技場（1965）丹下健三
釣構造の新しいかたちに挑戦。
●霞ヶ関ビル（1968）山下寿郎
超高層建築の本邦初の実現。
●沖縄博アクアポリス（1975）菊竹清訓
海上都市構想の具現化への挑戦。

3

「装飾の復権」という事がいわれ出している。
今は未だ、その声は小さいが、今後の課題ではなかろうか。尤も、デザインとデコレーションの葛藤（といえるとして）が建築を媒介として繰り返された歴史は、あたかも時計の振子の如く、交互に起っているといえる。そして、その背景には、工業技術の発展とそれに倶う社会構造の変化が、常に存在しており、この変化を先取りした建築家達の問題意識が、新しい傾向を生み出して来たといえないだろうか。
長谷川堯氏によると、今日の建築は「人々に、そのディテールを楽しむ喜びをもたらさない」のである。そして、それは建築家がコルビュジェのテーゼに呪縛され、「創作の結果よりもむしろ過程を楽しもうとする」ため、建築家の「近視眼的でありたくない」とする性癖は、国土計画→都市計画→建築→インテリア→部分という具合に「ディテールを全体（シルエット）の下に従属させてしまったからだ」――という事になる。
この意見は、妙に私の心を把えた。たしかに、今日の様相はデザインの世界でも、全体主義的傾向が徐々に強まっているといえる。奈良県では「保存」の大義の下に、市内のある公共建築物の屋根を、古都に因んでアオニ色にする事を強制している。又、京都市では、民間の新築にさえ、特別修景保全の名の下に、ディテールはもとより使用材の質から寸法迄を、行政（つまり担当官）が指導（つまり設計）している。この様な極端な例を見る迄もなく、現行の基準法令規や官公庁の設計基準は、設計の要らない程微に入り細を穿っている。そこには、およそ建築家の設計の「裁量権」等と云う“文化”の存在する余地は無い。 （右段へ）

太田　隆信　昭和33年卒業

坂倉建築研究所

1

強い影響というとやはり建築を学んですぐの頃の事になりますが、教えを受けたという意味では今井先生が情熱的に語られたガウディと、吉阪、坂倉両先生に教えていただいたル・コルビジュジエに深い感銘を受けました。特にル・コルビジュジエの場合、短期間ではありましたが西洋美術館の現場にもタッチさせていただき、貴重な体験をいたしました。それからやはり学生時代、雑誌や本等で関心を寄せた作品というと、私達の頃はやはりニーマイヤー、レイディ等の中南米の建築家の華やかな活動、特にレイディのリオの近代美術館、L・コスタニーマイヤー等の文部省と保健省の合同庁舎（この建物が第2次大戦中に完成したという事を知って、本当にショックでした）等が印象的でした。ウッツォンのシドニーオペラハウスのプランをPAの表紙で見た時のショックは今でも鮮明におぼえています。

ライトの建築に実は上記の作家を知る以前から、強い関心を持っていたのですが、未だに核心に触れることが出来ず、ライト・マニヤの域を脱する事が出来ません。

2

子供の頃から大阪に住んでいる私としては、建築を学ぶ以前から心に残っている建築という風に解釈して答えさせていただきます。

●ガスビル／子供の頃の視界の高さ、広がりの関係もあると思いますが、この建物の内外のデテイルの記憶が鮮明です。

●そごう／戦争直後の灰色の御堂筋に、そごうが建っていたあの感じは言葉ではなかなか表現出来ません。私にとって、あの体験は貴重なものです。

●中之島かいわい／中之島の旧い建物の中では、赤レンガの裁判所が一番印象に残っています。これは中之島公園から堂島川をへだてて、眺めるという位置関係によるものだと思います。府立図書館は中学生の頃（昭和22～24年）しばしば出かけましたが、宿題をかたづける為、夏の暑い盛りか、冬の寒い盛りにおとずれた日が集中していて、あまり良い思い出はありません。それはとにかく、もう少しメンテがきちんとおこなわれていられれば……、いささか残念です。

●阪神間の住宅地／六甲山麓から伊丹平野の周辺につながる住宅地の広がり、質の高い住宅がその間に点在していて、思いもしなかった所に、はっとするような建物を発見した驚きが記憶に残っています。

（おおた　たかのぶ）

（左段より）

しかし他方、「保存」を「正義」の同義語かと錯覚させる程の破壊や汚染を引き起した、その同じ〝利潤追求〟の論理は、そこから逃がれて人間的な営みを得ようとする人々を更に市場として、ますますデザインの喪失と装飾性の退廃を進行させている。そこには、吉阪隆正氏をして「各時代の特徴を保存する事が、若しその評価と無関係に必要ならば、戦後の一時代を風靡したラヴ・ホテルとボーリング場の代表作品は、ぜひとも保存されなければならない」と皮肉らせた程、あやしげなディテールとデコレーションが、百花撩乱と咲き誇っている。

この様な、デザインに於ける今日的状況は、ヴァン・デ・ベルデやヴィクトル・オルタ等がアール・ヌーボーを以って、又M・ヤマサキがレイノルズ・メタル・ビルを以って、その健康で格調のある装飾性を世に問うた時の状況に、時代こそ違えどこか似かよってはいないだろうか？　かつての鉄やガラスやコンクリートの、本来人間に奉仕すべき、技術革新の生んだ工業化社会が、やがて人間の尺度を無視し支配する程巨大化してしまった歴史――、それは現在に置き替えれば、人工頭脳や量産工法の技術革新がもたらした高度管理型社会、と云えるのではなかろうか。

すでに人々は、その嗜好や価値観迄が管理されつつある事に反撥し、より人間的な撰択を激しく希求している。しかしその解は、決して官僚的統制による保存でもなければ、〝利潤追求〟の論理に演出された装飾の徒花でも無い筈である。この様に思いめぐらすと、これからの建築は、物理的な量は更に増加するであろうが、全体としては建築的な誇示が控えられ風景の中へ溶け込んだ様な傾向が一層深まるのではなかろうか。亦、ディテールに於いては、全く新しいタイプの装飾の理論によって裏付けられた工芸的な処理が施される様になるであろう。そしてその為には、建築家を始め美術家や造園家達の表現の自由を高度に管理しようとする今日的全体主義との対決が問題点となるに違いない。（いぶすき　まちお）

瀧　光夫　昭和34年卒業

瀧光夫建築・都市設計事務所

1 A

リストの中で実物を見たのが約3分の1。同作家の別作品を入れると約3分の2は見て歩いたことになります。ほとんどはサボア邸以後です。いづれもそのつもりで見に出かけたわけですから（ブラジリアなど地球の裏側まで）大いに関心があったことになります。

自分の作品にどれがどう影響しているかは手短かにはいえません。それぞれの良いところを参考にしてもっといいものを創りたいと思ってやっているつもりです。

リストの中から強いてあげるとすればL・カーンの医学研究所。空間構成のしかたに普遍性があり、キャンバスにもぴたりと合って、数多い彼の労作中でもきわだった名品と思います。

B　ローチ・ディンケルーなどがさかんにやっているグリーンハウスアーキテクチャー（又はインテリアオーブンスペース。）建築の中に都市や自然を積極的にとり入れようとする方向。こういう具体的なデザインが、我々の既成概念をかえるでしょう。鉄、ガラス、コンクリートを手にした現代建築が、古典のやきなおしでない本来の方向を見つけかかっているように思います。

2 A

残念ながらすぐに頭にうかぶものがありません。みなさんが指摘されるのを見て勉強したい。新しいものでは京都会館（前川国男）ぐらいか。ツタがまつわりついてコルビジェが前川をへて京都になじんでいる点を評価したい。それにしても近畿といえば古建築ということになって、国際的評価にたえるものはまだあまり出来ていないのではないでしょうか。（外人を案内するときみなさんお困りのはずと思います。）

B　万博さわぎ。アクロバットを沢山つくって尚且つ、何百億円相当か知らないが、これをことごとくこわしてしまったこと。もっと計画的にやれば歴史にのこる街が本当につくれたであろうに。人材も予算もあってのこの建築的大浪費は記憶されるべきこととおもいます。

3

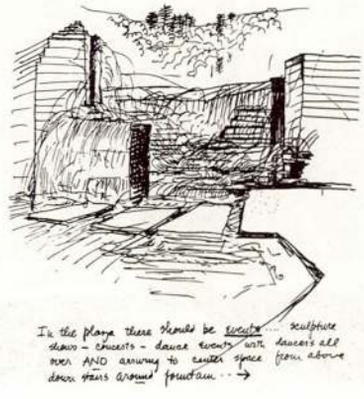
(i)今後の流れ：相変らず俗悪なのが沢山つくられることでしょう。しかし今に目のこえた施主側からもっといいのをやってほしいとつき上げられて建築家は困るようになるでしょう。近代の見なおしと称して復古調が一時的にはやるでしょうがデザインの本流とはなりえないと思います。

(ii)問題点：　建築家の養成、教育をもっと重視しないといつまでたってもいいものは出来ない。幼児教育から考えなおすべきと思います。

(iii)目指すべき方向：　現世では少々の抵抗（たとえば予算、法規、施主etc）があっても、100年後に評価が定まるぐらいの意気込みで、大いなる作家主義をおしすすめるべきと思います。関西には根づよいデザイン禁欲主義のようなものがあって、いい作品が生まれにくい原因になっているように思われます。組織、人間、コミュニティといった言葉は、デザインの貧困をおぎなうためにつかわれているようです。この風潮をうちやぶるには、少々極端なデザイン至上主義のようなものをかかげて、お互いがデザイン上の冒険をくりかえす以外にはありません。古刹名園に匹敵する現代の作品（あるいは環境）は、そういう冒険のつみかさねの中からしか生れてこないでしょう。

今のところデザインの方向を云々する以前の、いわば作品のできる素地がきわめてうすいという気がします。

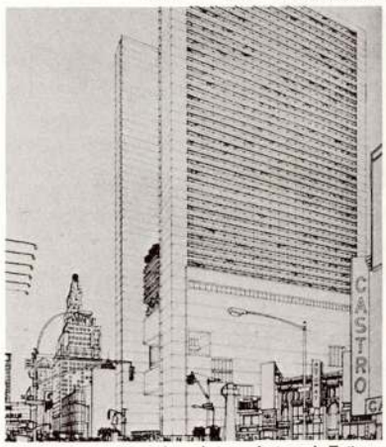
（たき　みつお）



近代建築作品（外国）　1970年以降

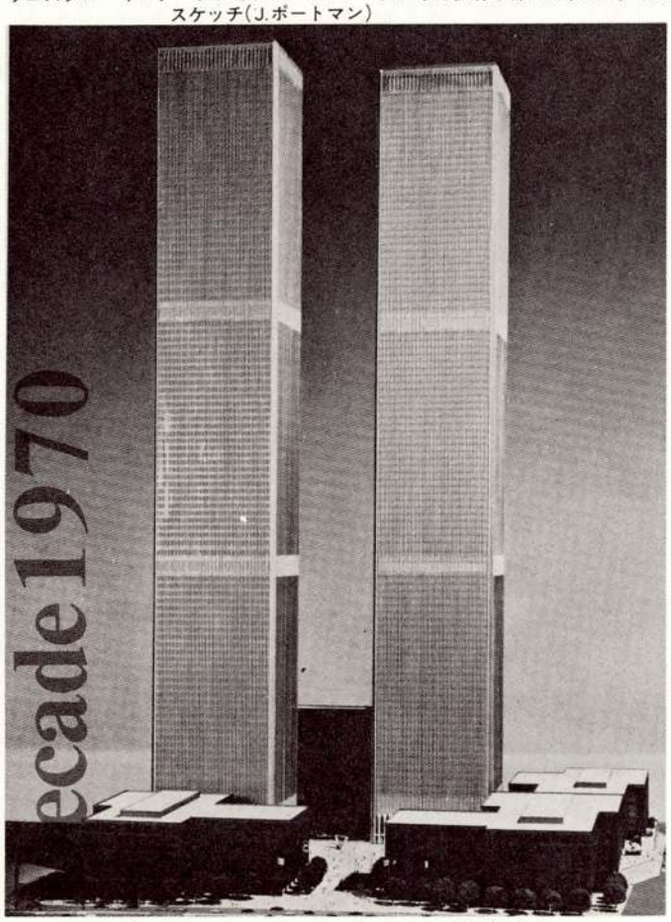


シドニーのオペラハウス(J.ウッツォン) 1970





ウエスタン・インターナショナル・ホテル　アメリカ銀行本部ビル(SOM) 1970
スケッチ(J.ポートマン)



ワールド・トレード・センター(M.ヤマサキ) 1972

山崎　泰孝　昭和35年卒業

AZ Institute 環境計画研究所

1 A

深い関心を寄せたものはガウディ　サグラダ、カサミラー連の聖堂、コルビュジェ　サボア邸、ライト　落水荘、ジョンソン　ジョンソン邸、ライト　ジョンソン・ワックス会社研究所、ルイス・バラガン　PLaza del Bebedero de los Caballos　・メキシコ（庭園）、ローチ　フォード財団、ミース　ベルリン美術館。

深い影響を受けたものは、建築よりも、むしろ生活体験や風景体験、あるいは他の芸術や文学などです。

B　一般社会、文化の中での「建築」のあり方が量的、質的両面において大きく変ってきているので、その中で今後の各建築、建築界のあり方、デザインの方向、方法等が一般文化、生活、人間との関係でどんな位置を占めていくかに注目したい。

2 A

古建築が多いが近代のものに限ると、ライトの山邑邸､甲子園ホテル(遠藤)､旧ガスビル、住友銀行本店、綿業会館、京都会館、中之島公会堂。

B　古建築はもとより、明治、大正、昭和初期の建物が次々に消えてゆくなかで、それらの建築が建築的ストックの少ない日本文化の中でどんなストックのされ方が行われているかに注目している。Aに示したものの他、現在工事中の日銀大阪支店改修工事における一般市民の評価と建築界の評価の仕方に注目している。これは私の聞く限りにおいては、経済的な意味での社会資本のストックとはなっていないので、大阪の一般市民や建築界が増築部分も含めどれだけ文化的ストックとして評価するかに興味がある。私個人としては、作品そのものの評価ではなく、この種の仕事がどれだけ一般市民の「ものを大切にする気持」､ひいては文化を支える土壌を育てうるかによって評価したい。

その他、私にとってはルナ・ホールがあるが、これは設計関係者でもあるので、さしひかえるが、これがどれだけ劇場文化に影響を与え個性ある地域文化を育て得るかに私個人は最大の関心がある。

3

現在、一般に建築界といわれている中で、大きくわけて新しい文化を前向きに創って行こうとするごく少数の流れと、この新しい日本文化を支えて行くその他の大部分流れとに分けられるだろう。前者は全く個人的、個性的なワークであるから一概にはいえないが、共通にいえることは、それだけ近年とかく忘れられてきた地域文化との関係や歴史的関係、それに各個人の立つ位置、思想や物（材料・空間・人間）への洞察力をより厳しく問われるだろうと思う。そして、それらの行為や作品が、本当に評価が定まるのは数世代後、百年以上たってのことだろうと考える。

一方、大多数の後者は、産業革命以後、長らく合理主義、機能主義を追求して来ながらも、未だに古い芸術観の尻尾が切れないで、モデュールやシステム化の追求を中途半端にして来たのではないだろうか。今や宇宙のスケールから数ミリミクロンの世界までの科学が可能となり、人間の手で操作さえされつつある。建築から人間の個人的個性的な部分である情念やイメージの世界を取り除けば、それを科学することは全く容易なはずである。むしろそんな科学としての建築のあり方の進歩こそが、本当に人々の生活文化を支え前者のより先鋭的な創造活動を可能なものとするのである。後者に於いて現在、今後の大きな課題として考えなければならない問題として、私は次のことをあげたいと思う。

一つは文化としての生活環境の中での建築物のあり方、役割をはっきりさせ、その機能を果たすべく科学されなければならないだろう。それは環境という言葉でよくいわれるように、他の物理的存在との関係と、機能的存在の関係で「建築物」と「建築すること」を科学することであろう。今迄の科学がほとんど縦(タテ)科学であったのに比べ、それは横科学とでもいうべきものである。その中でも特に近年の「量」の時代が過ぎた今「質」が問題であり、またその中でも特に生活文化（人々の生活技術や生活作法等）や、地域文化（近年、中央集権化した文化の為にふみにじられて来た各地域固有の文化）との関係をより大切にして行かなければならないだろう。

第二は、建築文化に於ける歴史的ストックの問題であろう。日本の建築文化が、木造の歴史が永かったが故に今まで文化の建築的ストックは一

（右段へ）

渡辺 豊和 昭和36年卒業

渡辺豊和建築工房主宰

1 A

近代建築の巨匠としてやはりコルビュジェであり、次にはアアルトに魅せられます。コルビュジエは非常に戦斗的な建築家だったとされていますが、私はコルビュジエの裸形に近いむき出しのコンクリート壁の構成にはむしろ悲しみを感じます。その点前川国男にしても坂倉準三にしてもその建物には悲しみや喜びが表現されていず、何か白々しいのは彼等を含めたコルビュジエ信仰者達には本当のコルビュジエが理解されていなかったのではないでしょうか。私はむしろコルビュジエの建築にある深いカゲリにフランスに於いて疎外され続けたと言われるコルビュジエの叫びを聞く様に思われ、建築は建築家が心底から己を語りかけて来るものでなければならないものであることを教えられたと思います。

アアルトのうねうねしたふくらみのある壁面はある確かな意匠の方法を示しているようでいつも彼の作品集をそばに置いています。日本人には比較的なじみにくい造形であることには違いません。アアルト好みの建築家の建物が一つとに成功していないのでも分かります。あれはそのまま真似てはいけない建築だといつも思っています。

ヴェンチュリーにはポップアートが如何に建築化されるのかを学びました。というより絵画や文学等の他分野の思潮が建築の世界に移入するにはどうしたらよいのか眼のあたりにさせてもらったと思っています。

B．ガイタナペーシュ（イタリア）の未来に遺跡化された現在の建築や人間達の計画案には建築に於ける文学的方法を明示してくれています。私が最も注目する建築家です。

2 A

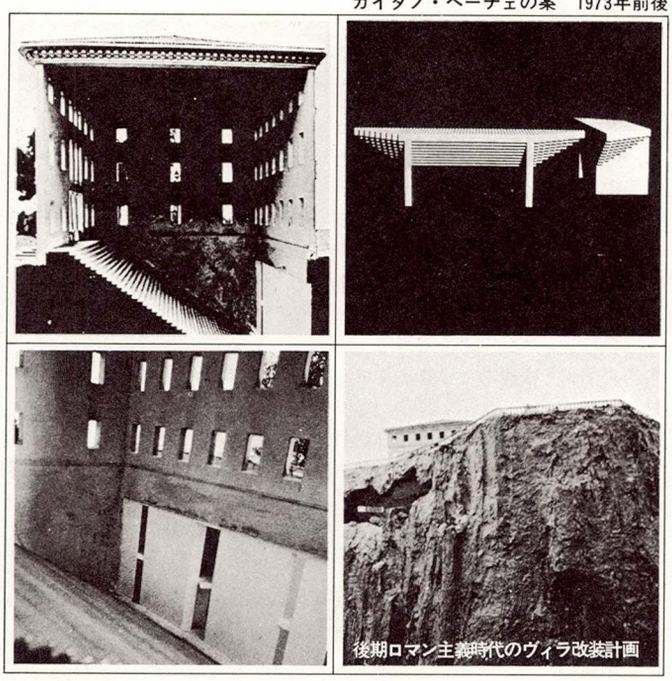
近畿にある建築という風に意識して見たことがありませんから答えは出来ません。

B．村野藤吾の新歌舞伎座。

3

建築意匠の世界がどの様な方向に向ってゆくかなどは皆目分かりません。ただ私自身のことについて言わせてもらうならスタイリシュな分かり易い素人好みのする建築意匠をやってゆきたいと思います。但し誤解して欲しくないのは、素人好みとは建主、住み易い家などというレベルの話ではありませんから、どうも関西の人達は他人任せの思考をしますのでヘキエキとしています。蛇足まで。（わたなべ とよかず）

ガイタノ・ベーチェの案 1973年前後



後期ロマン主義時代のヴィラ改装計画

（左段より）

般にはそれ程関心がなかったし、我々の文化構造そのものが「うつり変わるもの」であった。しかし、コンクリートの歴史も100年をこえようとしている今、この歴史的ストックをいかに積重ねるかが、今後の日本文化の構造を大きく左右するものと思われる。（やまざき やすたか）

中島 龍彦 昭和37年卒業

中島龍彦建築事務所

1 A

1．サグラダファミリア、彼の燃焼する建築への情念の形体化、しかもごくありふれた手近かな材料を使いながら一見不定形とも見える建築空間創造手法の中で実に精確に力学を駆使したこと。又、一般に寺院建築の息の長い創造時間の中での彼の勢力的な作図に大いなる関心をおぼえる。

2．Dr. ジョンストラーハウス、規格化されたコンクリートブロックによる端正な造形の中に蓄積された手法の積重ね、ライトならではの建築である。ライトの一連の住宅作品の中に大いなる興味をおぼえる。その自然との融合の仕方、自然への同化の仕方、又内部空間の微妙な変化の連続と平面によるヒエラルキーの設定を通じて自然に外部へと拡がって行く空間の雄大にして流暢なダイナミズムに若き建築心をゆさぶられる。

3．レスター工科大学　永年に亙る沈黙の中にゆっくりとイギリスの風土の中で醸造されたウイスキーにも似た風格の中に現代技術をブレンドしたこの建物は、本当にショッキングであった。かくも無性格な振りをしてこれほどあくの強い建物は未だかつてなかったであろう。

4．出雲大社庁の舎　ややもすれば畏縮しそうな歴史の重荷の中で安易な日本風に流れる事なくどこまでも彼の理論を実践し、そしてそれが見事な結実をみた事。当時の彼を取りまいていたスタッフの優秀さとも相まって近来まれにみる傑作をものにする事が出来た。又、周囲の建築、自然的環境に見事にとけこんだたたずまいはこれからも行く人をして魅了することであろう。

B　1．ウッツォンの先行き　あれほど大胆な造形を可能にして行った彼の行動力と造形力の行く末をみたい。

最近は量産家具のデザインをする為、北欧の自然の中のアトリエにこもっているとのうわさであるが、この先どの様な建築を創って行くのであろうか。

2．リチャード・マイヤーの一連の作品。

2 A

1．住友銀行本店　鉄とガラスの軽薄なビル建築が、そろそろと建築の枠よりはみ出しかけている中で、我々に建築のあり方を暗示してくれる様な気になる建物。

2．日独文化会館　今はなくなってしまって本当にさびしい気持ですが、京大の前のあのつつましやかなたたずまいになんとなく好感を持っていました。残念な事だ。

3．京都文化会館　古都のたたずまいの中で近代建築でありながら周りの古建築と四つに組んでもけっして、ひけを取らない。特に大ホールの屋根はどこから眺めても京都を感じさせる。

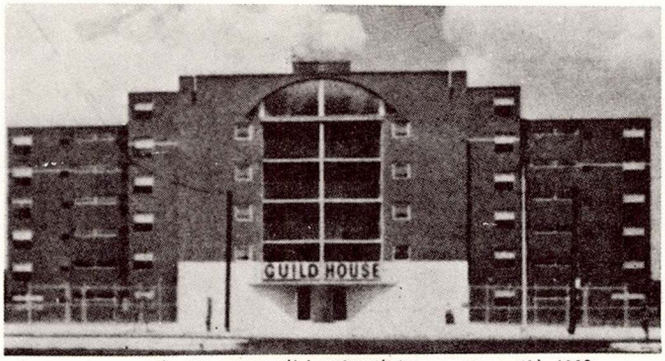
B　Aに同じ

3

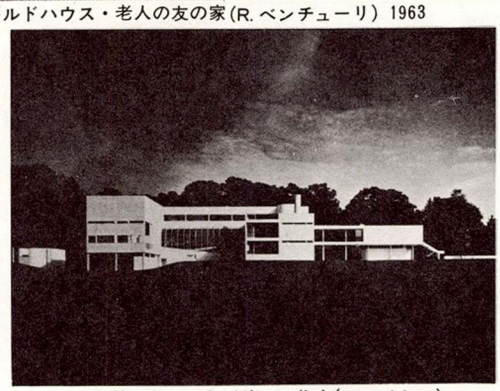
最近の我が国のジャーナリズムをわかしている建築は正直なところ前衛である筈の僕の建築に対する心構えの外へどんどんはみだして行く様な気がする。そこにはイリュージョンとトリックと遊離した概念の人間疎外のみが感じられてならない。空間を創造し人間に還元して行く筈の理論が頭の中で空転している様に思える。或いは私はもはや古い人間となってしまったのかも知れない。しかし、建築空間はやはり、快適にして人と共に有り、又人と対話を持ちうるものでなければならない。空間を話し合える言葉、言い換えれば、建築は血肉化された原体験を通じてのみ人と触れあう事が出来るのだ。いかに理論が発展し、科学がそれに支えられて来たといえども、人の喜怒哀楽は古今の東西を通じて変化し、又発展してきたであろうか。ただあったのは、バタリに入れられたブロイラーの様な馴れともあきらめともつかない怠惰と無関心だけではなかったのか。

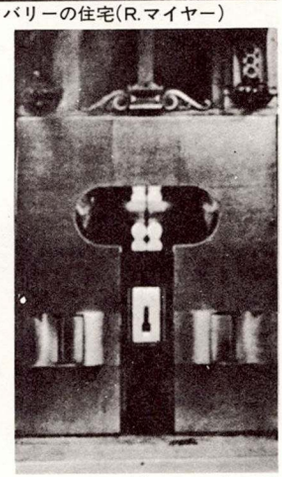
泥臭い、血のにじむような汗にまみれたそんな空間、運動のあとのビールの様なそんな空間、僕はそれを創って行く事にする。（なかじま たつひこ）

Decade1960

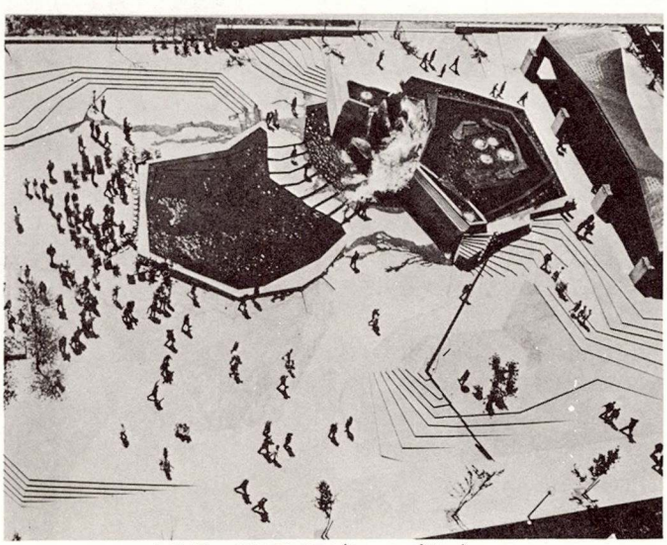


ギルドハウス・老人の友の家(R.ベンチューリ) 1963


オルド・ウエストバリーの住宅(R.マイヤー)


レッティ蠟燭店(ホライン) 1965


アビタ'67(サフディ) 1967


LOVE　JOY PLAZA(L.ハルプリン)

浅井　謙　昭和34年卒業

浅井建築設計事務所

1 A

①F.L.ライトの一連の作品・特に落水荘、グッゲンハイム美術館、ジョンソンワックス会社研究所。
既成概念にとらわれずに空間を自由に創作し新しい空間の価値体系を作り出した事、および装飾的な所があるがその空間のすばらしさ、空間構成のシステムのうまさ。
②コルビジェのロンシャンの教会・美術館計画。
ロンシャンについてはＲＣ造の自由さの極である。すばらしい空間であるが、自分の創作活動には直接的な影響はなく、美術館計画のシステムや採光システムに引かれる。
③ルドルフのエール大学建築学科棟。
やはり建物のシステムと周辺環境の対応の仕方。
④ウッツォンのシドニーのオペラハウス。
環境の対応の仕方およびプランのうまさ。
⑤菊竹清訓の出雲大社の庁舎および島根県立図書館。
出雲大社についてはＲＣ造の日本建築に対応させる解決案の一つの方法として、又、図書館については小品ではあるが私の好きな空間として。
⑥丹下健三の代々木の体育館。
技術的問題点や発想のソースについての問題はあるが、それはともかくとして、あの案の機能的な明快さと空間のすばらしさ。
⑦アルバーアールトの一連の作品。
オタニエミの工科大学やセイナッツアロの教育大学・フィンランディアホール等決してシステム的でも、社会的な新しい意味もないがあの空間の計算された演出のうまさと、あたたかさ、私の好きな作家である。
⑧ヘルシンキのタイバラーチ教会。
コンペ入選案で、岩をくり抜いて上に屋根をかぶせルーバーで採光しているものだが、アプローチおよび教会内部のうまさ。
⑨ピムリコ（イギリス）の団地計画。
基本的にスキップフロアーの低層アパート団地のコンペ入選案であるが、この様な団地なら人々は永住するであろうたたずまい。

B　建築物として特にないが、人間社会の基本に係わる問題として、―ある調査によれば世界に核戦争が起っても今迄云われていた様に人類が亡びるのではなく、全滅せず数分の1の人々が生き残り（全滅は出来ない）、ものの4～50年で、遅れても2～300年で元の状態にもどるであろうと云う事、又、現実に世界でもいや日本でもそれに対応した施設が世間に対し極秘裏に実際に作られている事、又それによって核戦争の可能性が大きくなる事。

2 A

京都文化会館－前川国男－
十数年過ぎた現在、京都のたたずまいの中で調和し、かつ今なお新鮮さがある。時代の中を生き続ける建物の代表として。
②大阪府総合青少年野外活動センター　－坂倉建築研究所－
自然の中の同センターとしてすぐれたものである。
③宝塚教会－村野森建築事務所－
生活の中にとけ込んだ建物として。

B

①日本銀行大阪支店新築案－日建設計－
今後日本も歴史の重みとしての都市景観と新しく建てられる建物との調和が大きな問題となってくるであろうその先駆として又、うまい解決案として。

3

第2次大戦後30年を経過し、社会情勢も大きく変わり、経済大発展の波に乗り建築界も色々多くの事項が出、多くの作品が創られて来たが、ものの10年前のものが旧く見えて来るものが多くなってきたこの頃、もっと、長い歴史の中で、生々と生き続ける建物がこれからは真剣に求められ、社会的なニーズとしても目先的な経済バランスのみに、とらわれるのではなく、もっと長い目でみた本当の経済性に目ざめる事と思う。そして、そこから新しい町の歴史が重みのあるものとして出来てくるのであり、それが真の建築ではないかと思う。　（あさい　けん）

安藤 忠雄 昭和35年卒業

安藤忠雄建築研究所

1 A B

19Cの建築の中には、強い関心と、創造上の強い影響を受けた作品は、数多くありますが、好奇心が強いため、それらは、複雑に関わり合いながら、イメージの中にあり、単体として取り出し指摘することはできない。

2 A B

ライフのある建築とは？

3

近代建築と、それを支えてきた社会をトータルに把握した上で、近代建築の批判を続けながら創ってゆく事が、新しい道を開く手だてとなるでしょう。

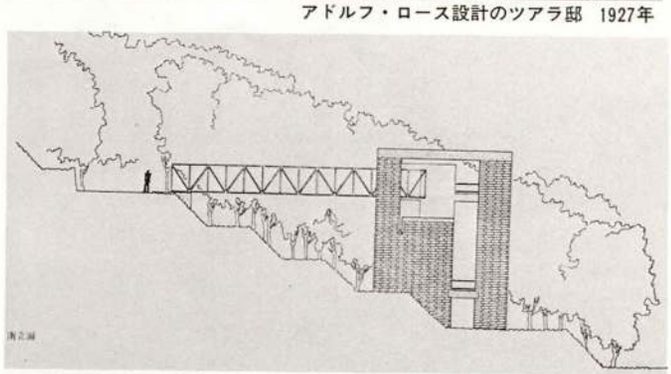
（あんどう ただお）



哲学者ルードヴィッヒ・ヴィトゲンシュタイン設計の姉の家1927年



アドルフ・ロース設計のツアラ邸 1927年



マリオボッタ設計のルガーノの家



シャロー設計のヴレ邸 1932年

高松 伸 昭和47年卒業

匠設計室

1 A

影響云々はともかく、情報雑食の傾向がありますので様々なものに魅かれるわけですが、ともかく思いつくまま…。

サリバン：キャーンリー邸。ワグナー：第二のヴィラ。ベーレンス：バセット・ロウク邸。マッキントッシュ：ブラッキー邸。アーヴィングとギル：ダッジ邸。ヴェルデ：自邸。ライト：ウィンスロー邸、エニス邸。ピエール・シャロー：ヴレ邸。ルードウィッヒ・ヴィトゲンシュタイン：姉の家。コルビジェ：ヴノ邸。カスティリオーニ：学者の家。カーン：エシュリック邸，ゴールデンバーグ邸。エドワード・クリナン：マーヴィン邸。マリオ・ボッタ：ガディナッツオの家、ルガーノの家。ガエターノ・ヴェーチェ：後期ロマン主義ヴィラの改造。ジョージ・ネメニイとリチャード・ヘンダーソン：ロングアイランドの家。アドルフ・ロース：ツアラ邸。

B 特に注目しているものはありませんが、ルイス・カーンの死後も続行中の作品の完成と発表は楽しみにしています。

2 A

山口半六設計「兵庫県庁舎」(時治35年)：気負いのない素直で直截な表現には、節度ある建築の放つ風格の典型を感じる気がします。

B 特に思いあたりませんが、強いてあげれば、篠原一男設計「花山の家」(昭和40年)：極めてあでやかで官能的でさえあり、嫌味に堕すぎりぎりのところで、日本人の逃れることのできないひとつの領域をつきつけているような気がします。そういう意味では見逃せないでしょう。

3

(1)一般的趨勢について述べる事自体には無理がありますが、若干感じていることを記してみたいと思います。ひとつは一貫して創作の本流であったところの、大枠からの意味づけの文脈の上に設計自体を搦め取ってしまう傾向、それは決して破綻を来たさないであろうという事の確認。むしろそれはリアリティの欠如という致命的な弱点を指摘されながらも、逆に、その未練たらしさを切り捨てて行く過程のもとに、自らの方法の中に収斂し、極めて明快でクールな形式へと昇華してゆくような気がしています。システムの分野や、建築で使われる意味でのコンセプチュアルなデザインなどにおいて、傾向としては見え始めていると思いますし、むしろそのような方法は、リアリティから離反しつつ、逆に最も人間臭い芸の領域へと接近して行く気がしないでもありません。また同時に、今までと同様そのような方法が落していったものの拾い集めの作業も、常に多少の愚痴っぽさとともに営々と続くでしょう。

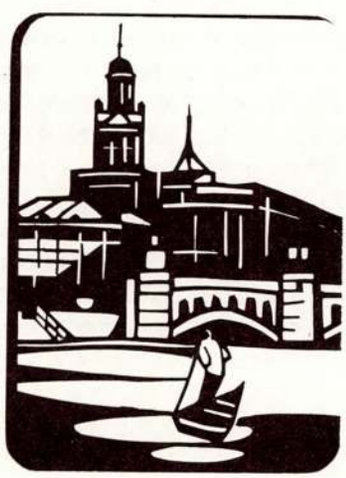
(2)他方、極めて個人的な経験や修練を通して形造られた極めて個人的な領域を、強いてひとつの設計可能領域とし、その限界線上で、むしろ自らの技倆を軸として設計を続行することへの、どちらかというと偏執的な構えもまた考え得ると思いますし、私自身は、むしろそちらを問題にしています。もちろん設計は、他者の文脈から切り離し得るわけではありませんが、その関りの始点において既に外文脈との相対的な位置のもとに踏まえる事には疑問を持ち続けているわけです。それはむしろ、どちらかというと極めて独善的ともとれる構えなわけですが、どうもそれは創作の領域からは削除できぬことをそろそろ認めてもよさそうです。しかし、それはまた同時に、いずれの時点においてもあらかじめ外文脈免罪符を手にすることができないということにおいて、極めて厳しい節度を要求されるということも確かなようです。それが(3)どの様な形態を見出し得るかは不可測ですし、語るとしても非常に感覚的な言葉の域を出ないでしょうが、ただ、一方的に威嚇的なものでもなく、またその反動としての外文脈への媚をあからさまにしたものでもないという気はします。それは建築は建築であっておかしくはあるまい…という、いくらか正面切った開き直りを持って輪郭の明瞭な形をとりそうな予感はあります。そして、実はその様な作品を、私達は歴史的にも既に数多く持って来ているのではないかということも、私は今さらに気づき始めている次第です。

（たかまつ しん）

近代建築作品（日本・関西）

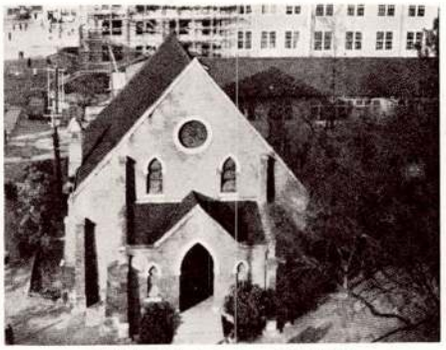
関西で評価の高い建築作品

以下の写真は、今回の「建築デザインについての証言'76」のアンケートで、寄せられた関西で評価の高い、あるいはライフのあると思われる建築作品である。とくに2人以上の人が指摘されているものは、ほとんど網羅したが、そのほかに、強調できるものはとりだしてみた。それを、明治大正、昭和前期（戦前）、昭和後期（戦後）の時代別に並べてみたものである。
なお、アンケートであげられながら紙面の都合で写真で掲載しなかったものの作品名は後掲のリストに示した。



きりえ：加藤義明

明治・大正



同志社大学チャペル　明治19年



帝室京都博物館　明治25年



旧兵庫県庁　明治35年



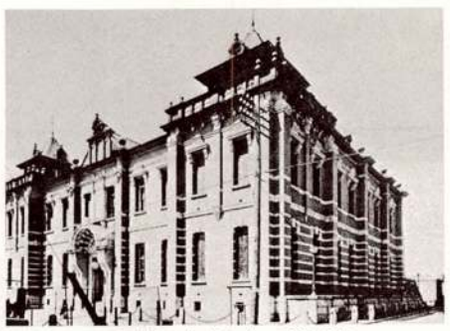
日本銀行大阪支店　明治36年



大阪府立図書館　明治37年



中京郵便局　明治38年



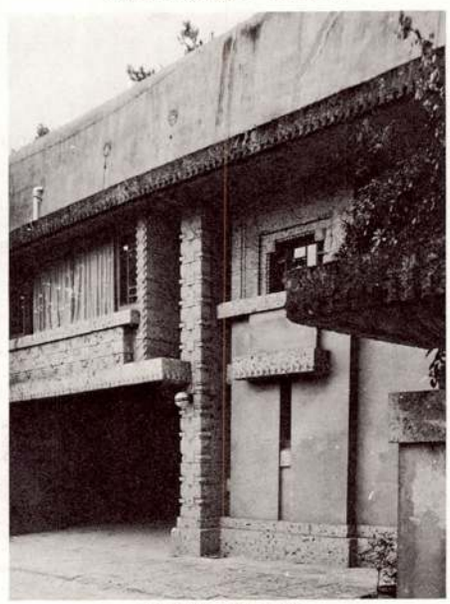
日本銀行京都支店　明治39年



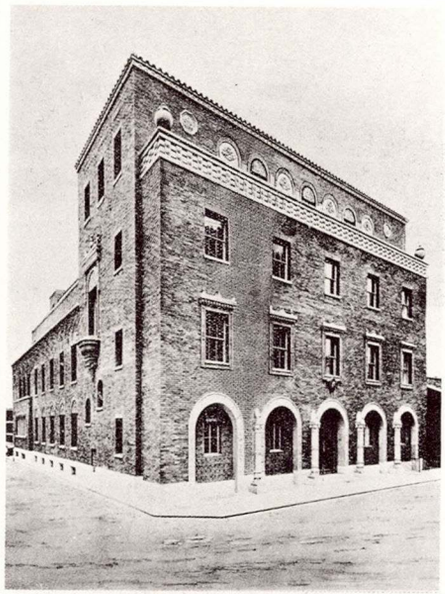
大阪控訴院　大正6年



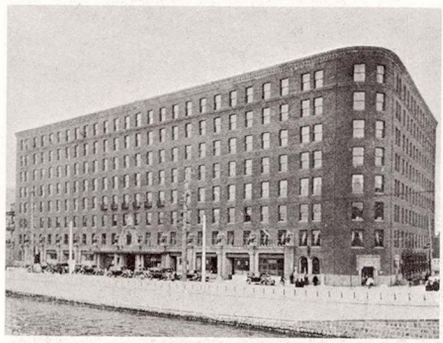
大阪市中央公会堂　大正7年



山邑邸　大正8年



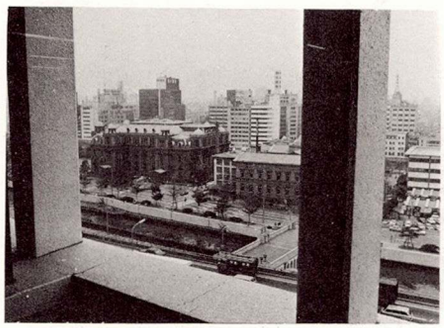
大阪倶楽部　大正13年



大阪ビルディング　大正14年



楽友会館　大正14年



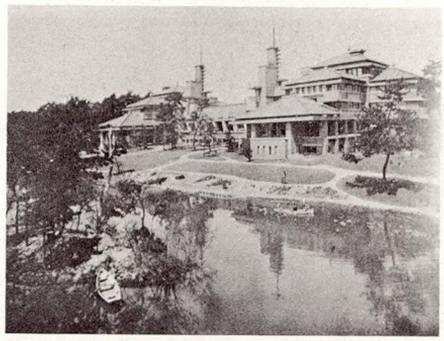
中之島かいわい



住友ビルディング　昭和５年



日本綿業会館　昭和５年



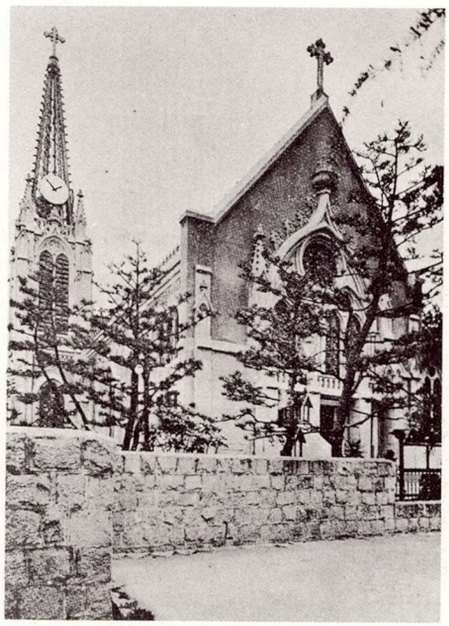
甲子園ホテル　昭和５年



朝日ビルディング　昭和６年



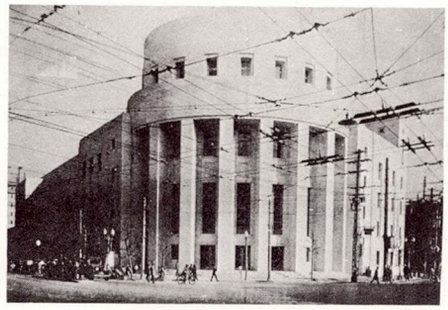
大阪瓦斯ビルディング　昭和７年



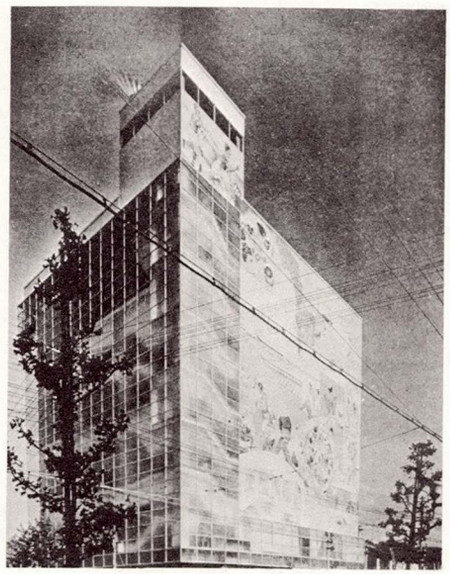
西宮カトリック教会　昭和７年



新大阪ホテル　昭和９年



大阪株式取引所　昭和10年



旧京都朝日会館　昭和10年



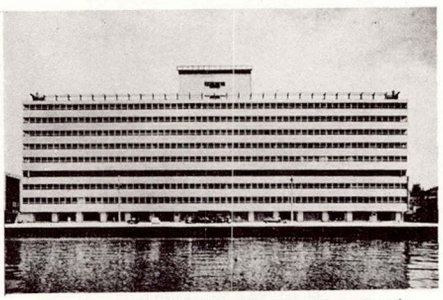
そごう百貨店　昭和10年



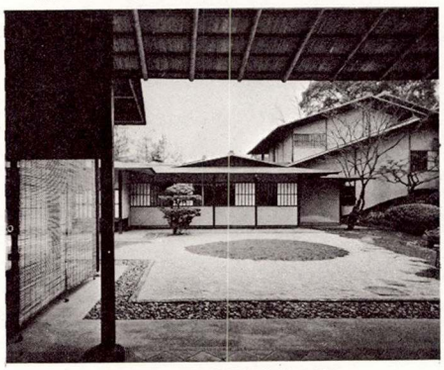
大阪中央郵便局　昭和14年



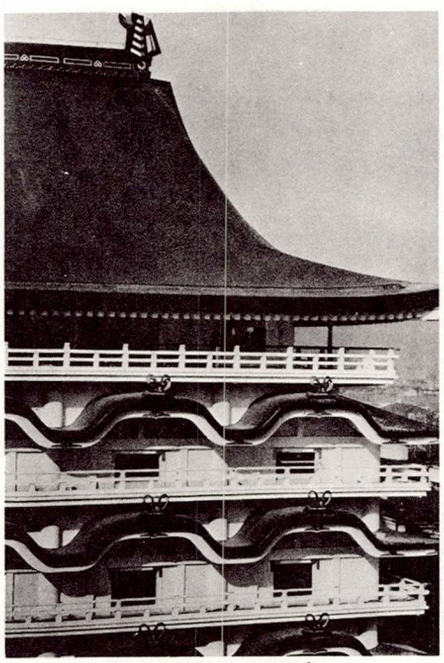
新朝日ビル　昭和33年



新大ビル　第１期昭和33年・第２期昭和38年



都ホテル佳水園　昭和34年



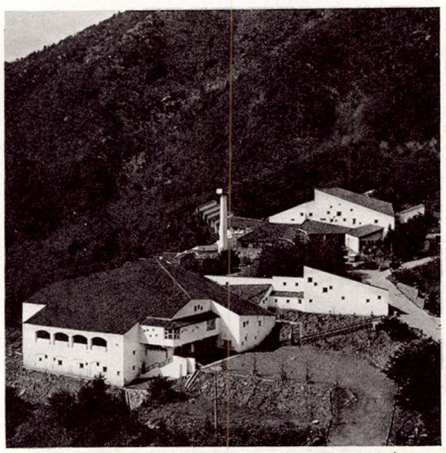
新歌舞伎座　昭和33年



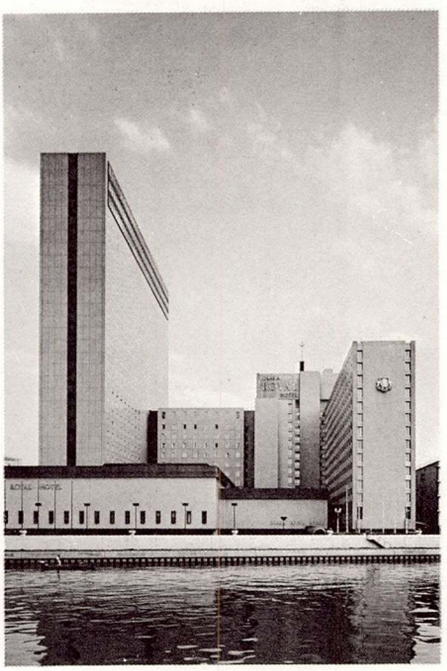
京都会館　昭和35年



御堂ビル　昭和40年



大阪府青少年野外活動センター　昭和45年



大阪ロイヤルホテル
第１期 昭和40年　第２期昭和48年

●写真掲載以外にアンケートであげられている関西の建築リスト（順不同）

- ●大阪府庁
- ●日本聖公会川口基督教会
- ●近江八幡ＹＭＣＡ会館
- ●阪神間のヴォーリズの住宅
- ●日本基督教団大阪教会
- ●神戸女学院
- ●前大和銀行京都支店
- ●京都府警五条署
- ●大丸神戸店
- ●日独文化会館
- ●西宮球場
- ●芳泉堂（住友邸内）
- ●清流亭
- ●クラブ関西
- ●アメリカ領事館
- ●京都博物館（新）
- ●関西大学円形図書館
- ●電通大阪支社
- ●大阪商工会議所ビル
- ●京都国際会議場
- ●千里ニュータウン
- ●大阪センイシティ
- ●ルナホール
- ●宝塚教会
- ●京都文化芸術会館
- ●臨南寺本堂
- ●篠原一男の花山の家
- ●阪急三番街
- ●西山記念館
- ●京都朝日会館（新）
- ●電々センター
- ●日銀大阪支店改修工事案

関西以外の作品名は省略。

■ 関西で評価の高い建築作品 ■

今後の建築デザインの流れ

「建築デザインについての証言'76」のアンケート質問3をみて

80才代の長老級の建築家から30才近くの青年建築家にいたるまでの関西在住の33氏の、今回の「証言」には、多くの示唆がふくまれており、むしろ活字にあらわれていない内にかくされた意味をくみとることの方がより大事と思うが、一応、「今後の建築デザインの流れ」について、このアンケートの質問3を通じて感じたことをメモとして記し、「まとめ」の代用としたい。

× × × ×

❶今後は「科学等を総合的に合理的に組立てていく性質をもつ新しい意味の建築家[1]」の登場となり、建築は「多くの人々の協力によって成立し、計画と素材と工法、品質管理の責任を明確にしたデザインが生き残る[2]」というように、組織建築家の重要な役割が描かれる。

❷一方、「用と美」—「目的と材料が最初にできてそれを守ってきたものが美しい[3]」という主張から、建築デザインは「インタナショナル[4]」なもので、「経済性とか政策を逸脱しない[5]」方向で流れるという主張もある。しかし、「人間の機械文明の従属[6]」から深く考えて、「物を大切にする合理主義こそ人間的[7]」であり、「人間味[8]」「人間の心[9]」を失わないように、それをどう建築や都市に加味し、そこに「生命の主体性をどう見る[10]」のか、あるいは「人間の心理を応用して狭いところ、広いところ、折れ曲ったところをよく組合わせて……[11]」といった意見へ進み、さらに、人間的な「泥臭い、血のにじむような汗にまみれたそんな空間[12]」へ、「人間的不満や欝積を内部に蓄積させる[13]」ような希求が強くなりつつあるようである。

❸長い間蓄積されてきた文化遺産や風土を見直し、「歴史的に連続させることがまず必要[14]」という方向、「歴史の町なみを大切にする[15]」「生活、社会、風土など文化の範疇で考える[16]」というように、「建築文化の歴史的ストックを積重ね[17]て、「街区をよく観察した上で、生や情感をとりもどせる節度あるもの[18]」や、「長い歴史のなかで生き続ける建物[19]」をつくるという流れが強調されている。そして、「全体として建築的な誇示が控えられ、風景のなかに溶け込んだような傾向[20]」が強くなるという。

❹そのなかで、「新しいタイプの装飾の理論によって裏打ちされた工芸的な処理が施され[21]」、ディテール（部分）の評価が生まれてきている。「部分からの発想が今後の重要な課題[22]」のひとつと指摘し、「量的概念の問題から質の問題へと主張を移す[23]」必要があるといわれる。「アートとテクノロジーとの相関関係の見直し[24]」、「ディテールと空間感情の着実な追求[25]」の主張や、「生活工芸を愛するクラフトマンギルド[26]」もこの一環であろう。

❺「近代建築とそれを支配してきた社会をトータルに把握した上で批判的に[27]」創るということ、また「社会経済の基本領域まで問題をとらえ[28]」るプランナーとしての役割を強調することは、建築は単に形だけの問題ではなくなっている証左を示すものであろうか。

❻「鬼面人を驚かす建物ができるのは建築の荒廃[29]」だと批判し、「生活はどういう蓄積の上に発展していくのかを考えていくことが大切[30]」だといい、「デザインの可視的形態のみを問題にするのはあぶない[31]」と警告される。「地域環境とのかかわりだけでなく、それを利用する市民・住民の要求や気持ち[32]」をどう具現化するか、「民衆に愛される建築[33]」とは何か、「鳥かん的[34]」にみる手法とは何かという問いかけがなされる。そのなかで、「単細胞的思索は危険で、建築は使う人々に機能すること[35]」を知り、「ニセモノ時代にニセモノをホンモノにまで高める仕事も含めて使い方を考える[36]」必要があろう。

❼「現下のデザインの貧困をうちやぶるには、お互いにデザインの冒険をくりかえすこと[37]」だという意見もあるし、「極めて個人的な経験や修練を通じて形づくられる個人的な領域をひとつの設計可能領域[38]」としてみる立場もある。「普通の建築[39]」をつくるということに徹するとともに、それが陥りやすいマンネリズムをいましめ、「てらいのない飾り気のない透明な空間こそ静かに醒めた精神の宿る故郷[40]」だという立場もあるし、「スタイリッシュな分り易い素人のする建築意匠[41]」をやっていきたい人もある。

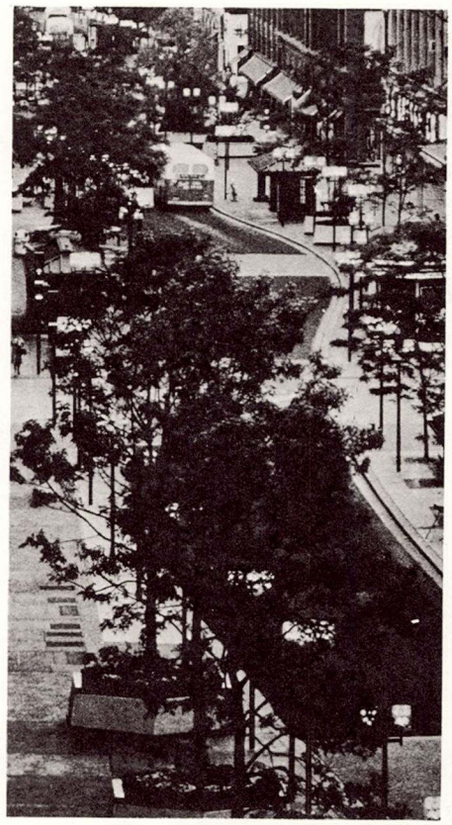
❽けれど、「デザインは社会的なもの、アノニマスではないか[42]」という問いかけと、「建築は社会的生産物である。社会のコンセンサス[43]」の必要性とは相関的なもののように思う。歴史の発展の流れからみれば、「建築が公共性あるものという認識にたって公共の場として公開すべく提案する[44]」ことがこれから必要であると、ある長老建築家は強調する。そのような「建築を社会化する[45]」方法なり手法はむづかしいけれど、最近の広場やまちづくりのなかに、それが段々とあらわれはじめてきていることは今後のデザインの流れを知るうえで、特徴的である。まさに、建築とは「歴史的な時間と社会的な空間[46]」にあるものといえよう。

× × × ×

以上、文意をとりちがえているところも多少あるかも知れないけれど、失礼をかえりみず記してみた。重ねていうが、行間にひめられた意味あいを関西の土壌からの発言としてくみとっていただくことをねがう。（松井 昭光）

註はアンケート回答者の意見を示す

(1)竹腰 健造　(17)山崎 泰孝　(33)蓮仏 亨
(2)小川 正　(18)徳岡 昌克　(34)蓮仏 亨
(3)東畑 謙三　(19)浅井 謙　(35)西沢 文隆
(4)小田島兵吉　(20)指宿真智雄　(36)西沢 文隆
(5)徳永 正三　(21)指宿真智雄　(37)瀧 光夫
(6)浦辺鎮太郎　(22)川崎 清　(38)高松 伸
(7)岡橋作太郎　(23)川崎 清　(39)出江 寛
(8)福田 朝生　(24)神出津嶺雄　(40)出江 寛
(9)小田島兵吉　(25)光安 義光　(41)渡辺 豊和
(10)岩本 博行　(26)水谷 顕介　(42)彦谷 邦一
(11)村野 藤吾　(27)安藤 忠雄　(43)岩本 博行
(12)中島 龍彦　(28)水谷 顕介　(44)村野 藤吾
(13)根津耕一郎　(29)西山 夘三　(45)村野 藤吾
(14)辻野 純徳　(30)西山 夘三　(46)浦辺鎮太郎
(15)水谷 顕介　(31)石川純一郎
(16)川崎 清　(32)蓮仏 亨



ニコレットモール

●**本特集の写真**は、編集部撮影・執筆者提供のほかにつぎの書籍、雑誌などから複写して掲載させていただいた。記して感謝申しあげる。

- 「Architects on Architecture」
- 「A Visual History of Twentieth-Century Architecture」by Dennis Sharp
- 「Architecture U.S.A」
- 「Kuaurs lexikon der Modernen Architettur」
- 「The PRVP Cycles:Creative Processes in the Human Environment」by Lawrence Halprin
- 「James Stirling -Bauten und Projekte 1950～1974」1975 Verlag Gerd Hatje Stuttgart
- 「The Aesthetics of Contemporary Architecture」by Michel Ragon 1968
- 「Phillip Johnson Architecture 1946～1965」by Henry Russell Hitchcock
- 「Architecture in Chicago & mid-america」
- 「Jürgen jeediclse Architecture Suice 1945」
- 「近代建築史図集」
- 「GI-Global Interior」No.3
- 「a＋u」
- 「都市住宅」
- 「Ottagono」No.37
- 「Architectural Record」
- 「The Architectural Review」
- 「現代建築事典」浜口隆一・神代雄一郎監修 鹿島出版会
- 「近代建築画譜」近代建築画譜刊行会編
- 「建築と社会」
- 「新建築」

●**特集・証言'76—デザインの動向—編集幹事**
（順不同）

川崎 清（大阪大学）————特別幹事
太田隆信（板倉建築研究所）——特別幹事
河辺 聡（京都工芸繊維大学）—特別幹事
紙野桂人（大阪大学）————特別幹事
片倉健雄（近畿大学）————計画分科会幹事
松村慶三（浦辺建築事務所）——編集委員長
松井昭光（日本建築協会）

インタヴユアーとして、紙野、河辺、松井が当たり、その記録を河辺が担当した。ほかに計画分科会委員（荒木兵一郎、西岡康夫、稲垣雅彦）が当初の企画（これからのデザインの方向特集）に参加した。

構造の頁

19

大スパン架構の設計にあたって

國技　治郎

大スパン架構建設の機会はわが国ではきわめて少なく、読者に実設計の経験者は少ないと思われるので、細部の問題よりむしろ基本的な問題について述べてみたい。

一口に大スパン架構といっても内容はシェル、吊り、スペースフレーム、空気膜構造等多岐にわたり、おのおのその特性は異なるが、いずれにあっても設計に当たってまず重要なことは、構造物に生じた内力が地盤に伝達されるまで力の流れを本筋において充分に追跡し、正確に把握して、力の流れに矛盾のない構造を考えねばならないことである。建築物の安全性を低くする要素として坪井善勝博士が〝アーキテクトが誤った形で構造物を理解し、つぎに構造設計者が実施設計の段階でチェック、修正したとする。事故にならなかったのが幸いというだけで建築の造形は完全に力の流れとの間に矛盾を余儀なくされる〟（建築雑誌 vol. 90 no. 1097, pp. 760）とご指摘のことが最もあてはまるのがこの架構といえる。

力の流れは当然構造形式あるいは形状によって随分と異なるが、一般的には力は構造物内に自然に作り出されるアーチ作用と吊り作用によって伝えられる。ただ単一アーチでは形状が定まるとそれに対応する外力分布の場合にのみ有効であり、また、単一吊り構造では形状が自由に変化し得る場合にのみいかなる外力分布状態に対しても有効となる。大スパン架構では一般に形状は既定であり、かなりの剛性を有し自由には変形しない。だが通常この構造は全体的には連続体で、曲面形である。それゆえに通常の分布外力に対しては面内に一方向あるいは適当な二方向に外力分布に対応する任意の形状のアーチ、吊り作用が自然に生じて力を伝達する。これらの作用が全面にわたって有効に生じ、能率よくできるだけ一様に力を伝えるほど力学的には効率のよい構造物だといえる。構造物面内のいかなる方向にどのような形状のアーチ作用あるいは吊り作用が生じるかを知ることが力の流れを把握することになり、良き設計への第一歩となる。

しかしこれらアーチ、吊り作用の存在が充分に期待されるためには、これら作用により伝えられた力が完全につぎの力の伝達機構（支持構造物等）へ流れねばならない。すなわち支持構造物への力の流れが上手に処理されてはじめて大スパン架構はその能力を発揮できる。例をシェル構造にとり、外力が自重の場合を考えてみよう。偏平なドームでは緯線（リング状）、経線方向の二方向にアーチ作用が期待される。前者の力の流れは閉形だが、後者の力はドーム下端で斜下方に向かう。ドームの支持構造物は斜上方にこの力を受けとめねばならないが、実構造では鉛直方向支持は容易であっても斜め支持は困難であり、斜方向の力の水平成分をドームの下端にテンションリングを設けこれに負担せしめるのが望まれる。このようにすれば鉛直方向支持であってもドーム内に充分なアーチ作用が期待できる。円筒形屋根の場合、円弧方向にはアーチの連続であるゆえその支承として梁が必要になる。また、長手方向に梁と同様にアーチ作用と吊り作用が生じる（この両作用の共存状態とは面内剪断力の生じている状態に対応）。そのために両妻側端でこれら作用により生じた力を受け、柱等の支持構造物へ力を伝達する中間の構造物が必要になる。それが妻壁あるいは妻梁である。これら周辺の梁（壁）を設けることによって面内に充分なアーチ、吊り作用を期待することができる。通常屋根に用いられるH．P．シェル（$z=xy/c$ 形）では全面に対角方向にアーチ、吊り作用が対をなして生じ、面内一様剪断状態になる。この両作用による力はシェル周辺で境界に沿っての大きな力に変わる。この力を支持物に伝えるためにはシェルの周辺に軸方向力に耐える大きな梁が必要となる。換言すれば周辺に梁が存在することによりシェル全面にアーチ、吊り作用が期待される。どのような形のシェルでも以上三種の場合のいずれかに似た性質をもっているので、一般にシェル構造はその周辺に別個の境界構造物を有する場合においてはじめて効率よく外力を負担し得る場合が多いといえる。

だが、つぎの問題が生じる。これら境界構造物（主に梁状）では剛性、力の作用方向等がシェルのそれらと異なり、また、自重等シェルより伝わる力以外の外力も加わる。力を受け変形した両者が変形後も連続一体化しているためには、境界周辺でシェルの形状に変化が強制されねばならない。ために境界周辺部（ときにはシェル全面）の力の流れに大きな乱れが生じ、曲げ作用（厚さ方向のアーチ、吊り作用）による力が附加されて、局部的（ときには全域的）に大きな内力を生じる。この力を充分に評価しないと破壊につながる。境界構造の設計に当たってシェルの局部的な形状変化をあまり強制しないような工夫が望まれる。吊り構造の境界構造の重要性は述べるまでもない。

一般に当架構の主要外力は自重である。ゆえにできるだけ軽く作ることが望ましいし、上述のようにこの構造は力学的に有利であるから、力の流れを正確に把握すれば薄肉の、あるいは細い断面材で充分の余力がある場合が多い。

だが新たな問題が生じる。このような場合、剛性が低下する点であり、外力に対する応答挙動に大きく関係する。静的座屈耐力が低下し、風や地震等の動的外力による共振、動的座屈等の動的不安定現象が発生しやすくなるので、応答挙動が建築物の機能を阻害しないかどうかが設計上重要となる。吊り屋根、空気膜構造のフラッター、シェル、スペースフレーム構造の共振、座屈等である。

座屈の発生が常に構造物の崩壊につながるとはかぎらない。屋根状シェルとして一般的な座屈（主として飛移座屈）の場合、R.C.造のように脆性材料の構造では崩壊に至ることが多いが、鋼構造では破壊にまで至らないことが多いと考えられる。他のシェルに比してH.P.シェルでは座屈は発生し難いが、周辺の梁（特に棟梁）が座屈すると構造材料の如何にかかわらず全体的な崩壊を引き起こすであろう。通常当架構では変形が増すと剛性が増す場合が多い（幾何学的非線形性）ので、動的不安定現象が直ちに崩壊につながらない場合が多いと思われる。だがこれら静的座屈、動的不安定現象による大変形によって周辺構造物の破壊、内外装材の破損、内部空間の圧迫、振動・音響障害の発生、容器状建物の附設パイプ類の破損等機能上の障害を招く恐れがある。構造形式・材料に応じてこのような応答挙動の発生を許さないか、許す場合の対処法等を考えねばならない。面に直交する方向に一様な分布外力を受けると（自重の場合もこれに近い）、一般に（シェル厚／半径）の自乗に比例して外力の座屈臨界値は増すので、偏平形になるほど座屈耐力は急速に低下する。固有振動数も厚／（半径）^{2}に関係するので、偏平になるほど固有周期は長くなる。ライズが増すと飛移型座屈ではなく、しわ状の座屈形状を示すようになり、偏平な場合に比して変形は大きくない。外力が一様でないと、一般に座屈臨界値が低下する場合が多い。偏平シェルにおける積雪荷重、高いライズの場合の風による側圧時等である。後者の場合、座屈臨界値はかなり低く、また、ライズが増すほど不利になると考えられるが、まだ充分に解明されていない。なお、大スパン架構では地震時、水平入力の空間的位相差、面外加振により面内、面外両方向に同時に力を受けるが、剛性が低いと容易に座屈の発生することが示されている。吊り屋根の固有振動数を高めるためには初張力や材の曲げ剛性によるよりライズを増すのが最も有効であることが示されているが、風によるフラッター現象における臨界風速を増すには初張力を増すことが最も有効のようである。

上述の事柄は全くの一部だが、当架構の設計に当たっては多くの錯綜する問題を考慮せねばならないことが分かる。それだけに楽しくやりがいがあるともいえるだろう。

（くにえだ　はるお　京都大学防災研究所　助教授）

設備の頁

19 低温における蛍光灯

矢後　朗

1．周囲温度と点灯寿命との関係

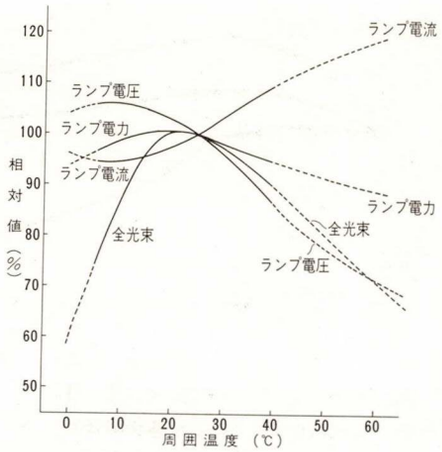
蛍光ランプは低圧水銀蒸気放電灯であるので、ランプの特性は水銀蒸気圧によって変化する。周囲温度、周囲の空気の流動、さらにランプに点灯する灯具の形式や点灯方法によってランプの管壁温度が変わり、それにしたがってランプ内の水銀蒸気圧が変わる。したがって通常の使用状態を考慮した寿命試験は周囲温度15℃～25℃のはなはだしい空気の流動のないところで行われる。これにより周囲温度条件がはなはだしく異なる場合には、つぎの理由により低温の場合でも、高温の場合でも蛍光ランプの寿命は短くなる。

高温の場合は、ランプの水銀蒸気圧が過度に高くなるため、ランプ電流が増加し、陰極物質の消費が早くなり、寿命は短くなる。（さらに、はなはだしい高温では、普通安定器の温度も高くなりすぎて、焼損の事故を起こす。）低温の場合では、ランプの水銀蒸気圧が低くなりすぎるため、とくに陰極降下電圧が上昇し、陰極物質の飛散消費が多くなり、黒化が増進し、寿命が短くなる。さらに低い温度では一般にランプの始動が不確実になり、安定に点灯しなくなる。とくに点灯管式のランプでは、ランプの始動が不確実なため、点灯管が動作を繰り返し、そのたびに陰極物質がはげしく衝撃を受け、寿命を短くする。

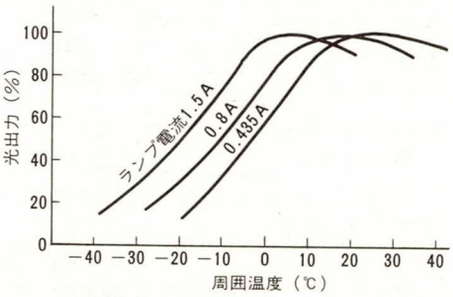
2．ランプの光出力

蛍光ランプは水銀原子の発光による波長253.7 nmの紫外線が蛍光体を照射することにより、蛍光体から連続した可視光が発生することを利用したものである。したがって上記紫外線を最も効率よく発生させることが最大光出力を得ることになる。水銀からの上記紫外線が最も多量に蛍光体を照射するのは、ランプの管壁温度が約40℃のときであり、これにより高い場合には前記水銀輝線スペクトルの再吸収損失により、また低い場合には紫外線を放射しうる水銀蒸気密度の低下により、いずれも出力は減少する。

最も一般的な40W蛍光ランプの場合の管壁温度上昇は約20degに設計されており、周囲温度



図－1　蛍光ランプの温度特性
（ランプ：FL40S・W　安定器：試験用安定器使用）



図－2　周囲温度とランプ光出力

20℃程度で使用する場合に管壁温度が約40℃になり、最大光出力、最大効率が得られる。ランプの温度特性を図－1に示す。

したがってこのランプを低温で使用する場合、ランプ管壁温度が低いため、電力が消費されているにもかかわらず光出力が小さいすなわち効率の低下が起こる。図－2は40Wネオラインランプの場合の電流をパラメーターとした光出力特性を示す。これは裸点灯の場合であるが、電流の大きいものほど低温に適していることがわかる。さらに密閉形灯具にランプを点灯することにより、最大光出力の得られる周囲温度をより低温側に移動することができる。

3．低温用蛍光灯器具

冷蔵庫、冷凍室などの低温室での蛍光灯の照明は従来ランプの始動が困難になったり、また始動しても十分な明るさが得られないほどの問題があったが、これらの問題に対策を施し低温での使用にもっとも適した蛍光灯器具が開発されている。利点は以下のとおり。

① 発光効率がよい。（ℓm/w）
② 白熱電球に比べ冷凍負荷を増加させない。
③ 明るさが得られやすい。

(1) **種類**　冷蔵庫、冷凍室等の低温室の温度に

表－1　種類

使用温度範囲	使用温度範囲	使用温度範囲
−10℃～＋5℃	−30℃～−10℃	−50℃～−30℃
40W×1 40W×2	80W×1	110W×1

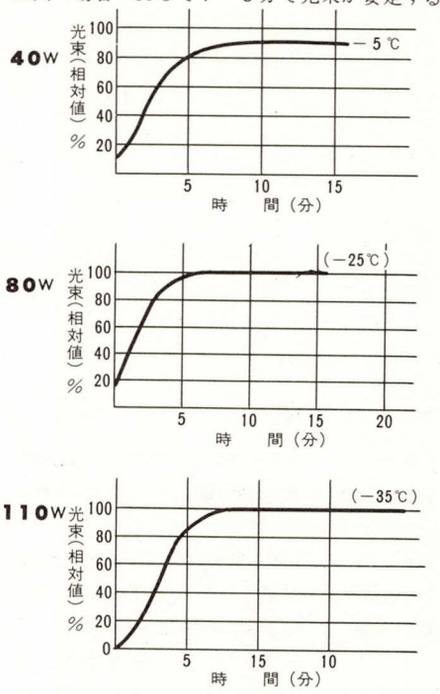
よりランプ、器具を選択できる。種類を**表－1**に示す。

(2) **使用温度と光束の変化**　低温室の温度により光束が変化するので、照明設計は**図－3**により求める。光束の求め方はつぎのようである。

器具全光束
＝ランプ全光束×器具効率×光束相対値

4．点灯直後の光束

低温用器具は点灯直後、低温のため紫外線の発生効率が悪くなるが、ランプが徐々に暖まって光束が安定する。**図－4**に示すように110 W器具の場合−35℃で7～8分で光束が安定する。



図－4

5．低温用蛍光灯器具の定格

表－2

ランプ	定格電圧	入力電力（W）	入力電流（A）	二次無負荷(V)	力率	器具重量（kg）
40W×1	100V	53.5	0.6	260	高率	8
	200V	〃	0.3	〃	〃	〃
40W×2	100V	107	1.2	〃	〃	12
	200V	〃	0.6	〃	〃	〃
80W×1	100V	100	1.1	290	〃	11
	200V	〃	0.55	〃	〃	〃
110W×1	100V	160	1.7	420	〃	20
	200V	〃	0.85	〃	〃	〃

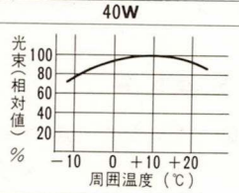
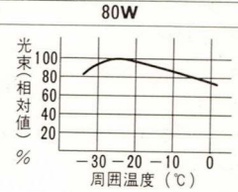
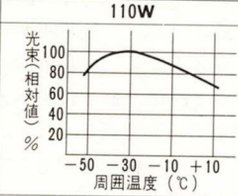
6．あとがき

最近、冷凍食品などを扱うコールドチェーンは流通機構の合理化と食品価格の安定化および冷凍技術の発達により重要視されてきた。従来、これらの冷蔵庫、冷凍室などの低温室では電球による照明が主流であったが、蛍光灯を使用した低温用器具の開発により、一段と明るい環境での作業ができるようになった。

（やごあきら　東芝電材KK営業本部営業技術担当主任）

図－3　使用温度と光束の変化

注　（　）内は100時間使用後

	40W	80W	110W
温度と光束			
光色	白色	ネオラインデラックス	白色
形名	FLR40SW／M	FLR80S・H・W-DL-X／A	FLR110S・EH・W／A
ランプ全光束（ℓm）	3,250(3,160)	4,000(3.700)	8,000(7,150)
ランプ電流（A）	0.415	0.9	1.5
平均寿命（Hr）	10,000	5,000	3,000
器具効率（%）	70	70	70

施工材料の頁

19

膨張コンクリートのひびわれ防止効果

日本建築協会建材委員会
（担当・和田得也）

1．まえがき

昨今、コンクリートのひびわれによる構造物の故障が大きな問題としてクローズアップされている。

コンクリート構造物に生ずるひびわれは古くて新しい問題であり、業界ではその対策に苦慮しているのが現状といえる。

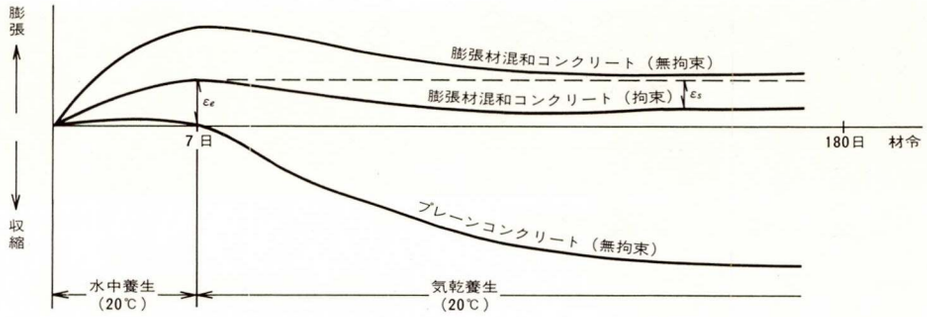
コンクリートのひびわれを防止するには設計当初から「設計、施工、材料」の各面できめのこまかい対策をたてる必要があるが、最近、コンクリートのひびわれ防止に役立つものとして「膨張コンクリート」が注目を集めているので、その効果、用途、使用上の注意事項などについて紹介する。

2．膨張コンクリートの効果

コンクリートの最大の欠点は乾燥収縮を起こすことと、引張強度が小さいことである。

膨張材を混入したコンクリートは**図－1**に示すように、硬化の初期段階で膨張（ε_e）するが、その際、拘束材（鉄筋、型枠）の作用により自由膨張が妨げられ、コンクリートに圧縮応力が導入される〔ケミカルプレストレス〕とともに、コンクリート中の微細空隙が充填され〔ケミカルプレス〕コンクリートの引張強度が増大するので、乾燥収縮（ε_s）により生ずる引張応力が補償され、コンクリートのひびわれの発生が防止される。

3．膨張材の種類



図－1

現在市販されている膨張材にはエトリンガイトと呼ばれる針状結晶を膨張素因とする「カルシウム・サルホ・アルミネート（ＣＳＡ）系」と水酸化カルシウムを膨張素因とする「石灰系」の２種類があり、原料はいずれも石膏、石灰石、ボーキサイトなどである。

商品名	タイプ	会社名
デシカＣＳＡ	CSA系膨張材	電気化学工業㈱
アサノジプカル	CSA系膨張材	日本セメント㈱
小野田エクスパン	石灰系膨張材	小野田セメント㈱

4．膨張材の用途

膨張材はその特性から下記のような広範囲の用途に使用することができる。

対象	用途
建築工事	・構造体の収縮ひびわれ防止と躯体防水 ・逆打工法用コンクリート ・左官用モルタルの収縮ひびわれ防止
土木工事	・舗装コンクリート（道路、滑走路など）の伸縮目地の減少 ・貯水槽、プール、サイロなどの収縮ひびわれ防止と躯体防水
コンクリート２次製品	・高強度のヒューム官、矢板、ボックスカルバート、ＰＣ板などの作成
グラウト	・アンカーボールト、プレストレストコンクリートのシース、ＰＣ板のウェットジョイントなどのグラウト

5．膨張材の使用方法

①混和量　使用目的にもよるが、一般には、使用セメント重量の８～10％をセメントと置き換えて使用する。なお、その際、単位水量や細骨材率の補正は不必要である。

②混練　ミキサーにセメントと同時に投入し、練り混ぜ時間は通常のコンクリート（モルタル）の場合より長めにする。

③養生　施工後少なくとも３日（夏季）～７日（冬季）は表面が乾燥しないよう均等に散水する。（初期材令時の湿潤養生が不十分であると、水和物の結晶が十分に成長せず、膨張効果が減殺される。）

④保管　普通セメントに比べ若干吸湿性が高いので、開封したらなるべくその日のうちに使用する。

6．膨張材使用上の注意事項

①自由膨張を鉄筋で拘束するために、配筋については下記のような配慮が必要である。

㈠普通コンクリートより鉄筋量を多少割増する。

㈡板状の部材（壁、床版）は縦と横の配筋量をできるだけ等しくする。

㈢径の小さい鉄筋を多く配筋する。

㈣鉄筋のかぶり厚を必要以上に大きくしない。

②壁や床版のように表面積が大きいものは、できるだけ早期乾燥しないように養生する。

③左官用モルタルに使用する場合は、とくにつぎの点に留意する。

㈠モルタルの水分が下地に吸水されるのを防止するため、下地の水しめしを普通モルタル以上に十分に行う。

㈡下塗りから上塗りまで一貫して膨張モルタルを使用する。

㈢塗付け後の乾燥が早いと膨張効果が発現されないので、施工翌日から３日～５日間は１日に１～２回モルタル表面が湿る程度に散水する。

7．結　論

膨張材を使用したコンクリートは、上述のようにコンクリート構造物の収縮ひびわれを防止し得る手段として着目され、好結果を得ているが、現時点ではなおいくつかの問題点を併せ持っている。

①使用量を誤れば異常膨張を生じ破壊する。

②ひびわれの発生要因のすべてを吸収することはできない。

③膨張効果を発揮させるには十分な拘束体（鉄筋）が必要であり、そのためには通常の鉄筋量より割増した配筋が必要である。（膨張コンクリートと合わせれば相当のコストアップとなる。）

④ひびわれを生じた場合の被害やこれを補修するための費用とは十分バランスするにもかかわらず、現状ではコスト高となるため設計当初からの積極的な折り込みが少ない。

8．あとがき

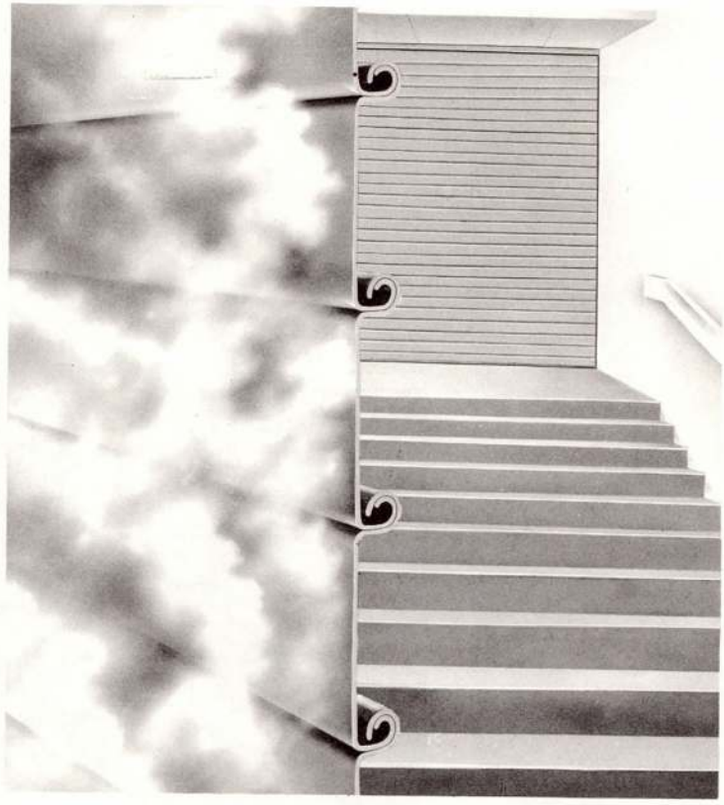
当建材委員会で本題を検討するにあたり、電気化学工業株式会社、日本セメント株式会社、小野田セメント株式会社の各社には資料の提供、講演等ご協力をいただきました。紙面を借りて深く謝意を表します。

（筆者・わだとくや　KK藤木工務店）

煙の惨事を未然に防ぐ 防煙シャッター

NS防煙シャッターは建設省告示第2564号の規定に適合!!

政令基準、火災時の空気圧2kg/m²時、煙の漏気量0.2m³/min. m²をはるかに下廻る0.03 m³/min. m²（業界No.1）を記録しました。

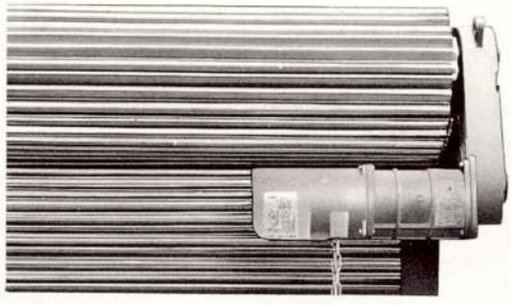


近年、ビル火災でのいたましい、犠牲者の続出はそのほとんどが《火》よりも《煙》によるものでその為建築物の防煙性能の向上が一段と重要になってまいりました。

建築物の設計上、防煙、防火区画でのシャッターの役割は非常に重要なポイントとなっております。

その防煙区画に、すばらしい遮煙性能を備えた、　ＮＳ防煙シャッターを、御採用下さい。

防煙シャッターの開閉には、業界最高の性能を誇る、Ｌ型電動開閉機を使用しております。



御一報次第カタログお送りします。

株式会社 日本シャッター製作所

大阪本社　大阪市淀川区田川北３丁目２番４号　電話06(301) 3656～9
大阪工場　大阪府枚方市招提田近１丁目７番地　電話0720(57)4535～9
東京工場　川崎市中原区新丸子東３丁目１１５９番地　電話㈹044 (411) 6325
名古屋支店　名古屋市中川区北江町２丁目１２番地　電話㈹052 (361) 7441
九州支店・工場　福岡県粕屋郡粕屋町大字仲原字明神984－4　電話 09293 (８) 4661

営業所　横浜・大宮・静岡・千葉
北陸・京都・神戸・高松
広島・北九州・大分・宮崎
鹿児島・佐賀・長崎

都市設計資料— 6 —　《河川》

神戸市都市設計資料研究会

古来多くの都市は、河川を利用することにより発達してきた歴史がある。しかし、現在の都市河川は、水はよどみ、悪臭を放ち、時々、氾濫するという都市のやっかいものとなりつつある。

しかし、河川は、都市生活をおびやかす無用なものではない。水面のオープンスペースや水辺は、人々の生活をより豊かにしていく装置として、都市にとって非常に重要である。だが、非常に重要でありながら、現在の河川に対する整備は、上流の水を下流に、いかにスムースに流すかということに終始している。都市河川の土木の本を開いてみると、最大流量はどうで、それに持ちこたえる護岸はどのように設計するかが、非常に詳細に述べられている。そして、他の利用方法として、上水や農業用水としての利用方法が述べられているくらいで、都市河川のもっと重要な利用価値を見いだしていない。

こういった状況の中で、もう一度都市河川を生活環境の面からとらえなおし、都市に潤いをもたらすものとして、よみがえらせていくことが、現在、急務とされている。この意味で、今回、都市河川と人間のつながりとして、いろいろな使われ方の例をあげてみた。これらの使われ方の前提として、まず美しい水を取りもどすことが必要であり、そして、樹々の緑と同じく、河川の流れも又、人間に欠くことの出来ない自然として、より多くの人々が求めていくことが必要だろう。グリーン作戦ならぬウォーター作戦が、どの都市でも行われていくことが望まれる。

まず、河川を人間のものとするためには、水面を人間に近づけることが必要である。その方法としては、

①複断面により、水辺の高低差を無くす。

②運河などで行われているように、水量を調節して、水位を一定に保ち、岸辺と水面を近づける。

③護岸を、階段やスロープにして、水位の高低を調節しながら人間を近づける。

更に河川を人間のものとする為には、水面のオープンスペースを積極的に利用することが必要である。それには、河岸緑地を大きくとったり、川に沿って公園をとったりして、両岸を散策の場としていくべきであろう。

（稲毛　政信）

6－1．複断面の利用



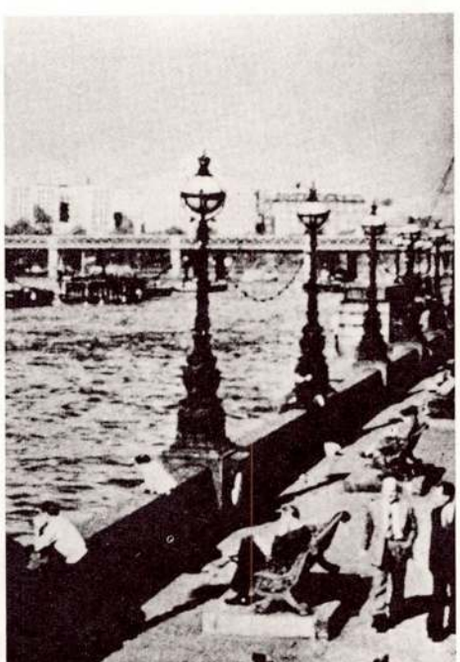
▲パリ・セーヌ川　画家、恋人、散歩する人、漁師たちのための場所として大いに使われている。洪水時に洗われても良いように、ほとんどをペーブで処理している。（都市環境の演出より）



▲芦屋川　下段は芝生、上段に松並木があり、気持ち良いオープンスペースを作っている。しかし、上段のすぐ端が歩道となっており、のぞきこみがあるので、人々に余り使われていない。



▶京都・賀茂川　日本の都市内河川の中では、オープンスペースがゆったりと取られている。複断面化する事により、平常時の川幅を一定に保ち、両岸を散策の場としている。（都市住宅より）



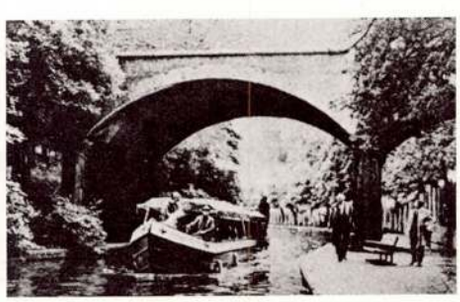
▲ロンドン・テームズ川　古いベンチと手摺と外燈だけしかないが、ロンドン子の憩いの場となっている。ベンチを一段上げているのが面白い。（都市環境の演出）

6－2．水量を調節し水面を一定に



▲チェサピークーオハイオ運河　第2次世界大戦末期に、レクリエーション水路として修復されたものである。自然のもつ表情を豊かにあらわし、素晴らしい空間となっている。（Rivers in The Cityより）

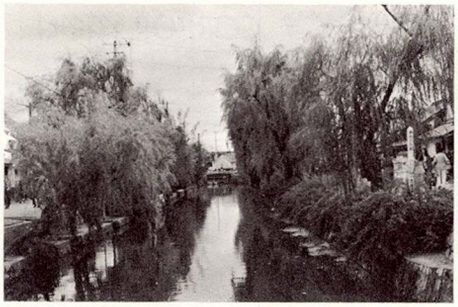




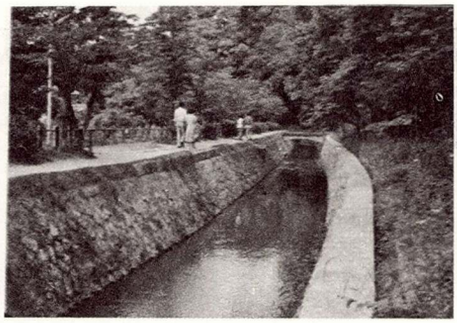
▲ロンドン・リージェント運河　イギリスでは、交通省により多くの運河が〝レジャーウェイ〟として保護される事となり、修復が促進された。美しい景色を楽しむため、多くの人々によって利用されている。（都市空間の計画技法より）

◀アムステルダム・サウスの運河岸　ヨーロッパの川は、平野を流れていることもあって、水量もほぼ一定で、水面と岸の高低差は非常に少ない。そんな中で運河は、更に岸辺と水面を一体のものとしている。（Rivers in The Cityより）

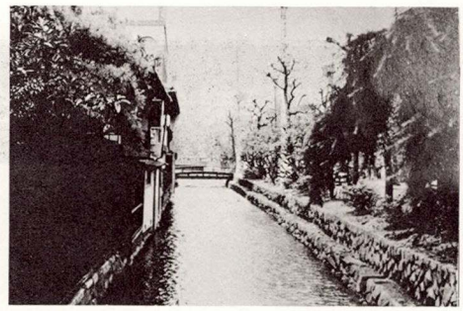
6－2．水量を調節し水面を一定に



▲倉敷の運河　倉敷の雰囲気は、運河によって形造られていると言っても過言ではない。岸辺と水面の取り合いが、運河であった事により近づきやすくなっている。

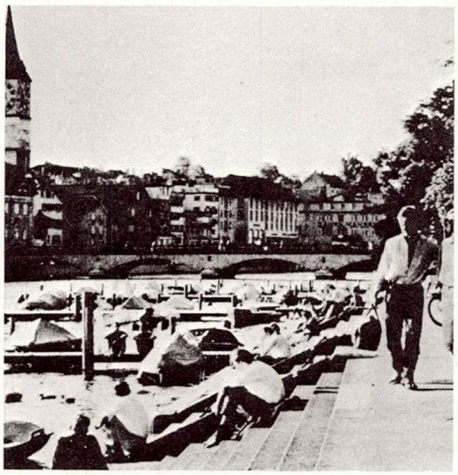


▲京都・哲学の道　流水べりを改修し、遊歩道として整備している。大衆化する事により昔ののどかな静けさが失しなわれてしまったが、銀閣寺道からの多くの人々に利用されるようになった。

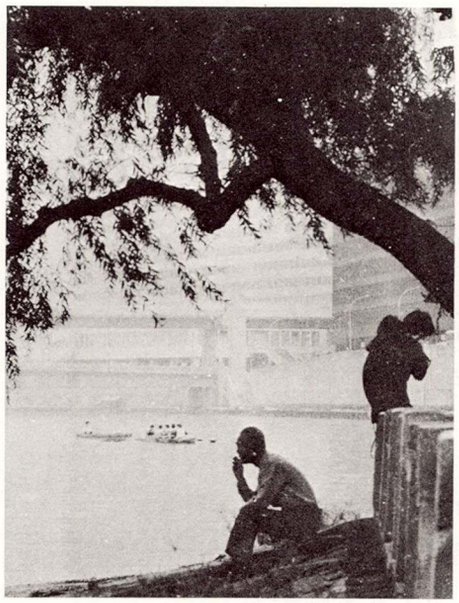


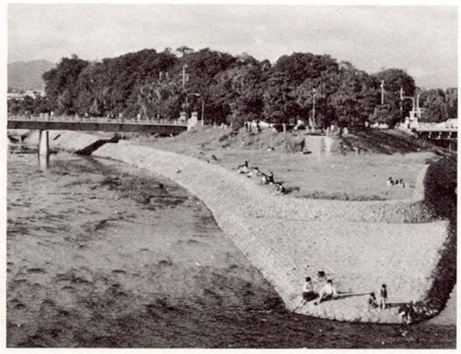
▲京都・高瀬川　昔〈艀船〉（たかせぶね）がゆきかっていたが、今は都心で京都らしさを感じさせてくれる風流な空間を提供している。何度かの取りこわし計画の中で、京都市民の保存の熱意がみのり、何とか残されて来たと言える。水面と岸辺の高低差が少なくて良い。（都市住宅より）

6－3．護岸を階段やスロープに



▲チューリッヒ・リマート川　河川の通りから階段が水辺に向って降りており、人々が楽しむことが出来るようになっている。（Rivers in The Cityより）





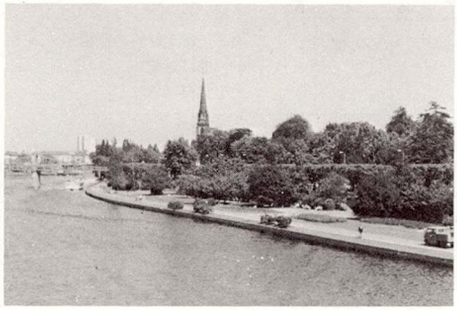
▲京都・賀茂川　スロープになっているが、少し勾配がきつい感じである。

◀大阪・中之島剣先付近　スロープが水面下まで続いており、岸辺の手摺も簡単なものとなっている。水面に手をつける事も可能である。（中之島より）

6－4．河岸を公園に

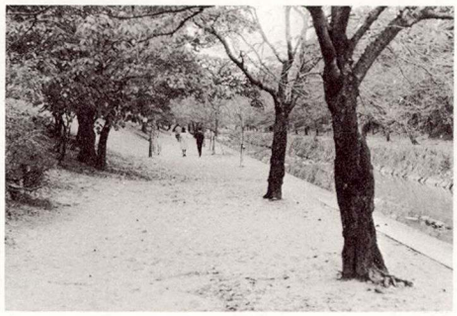


▲神戸の川　神戸市では、河川に沿って緑地や公園を取り、グリーンベルトを形成している。しかし、河川と公園は、一体に設計されておらず人々は川面に接する事は出来ない。



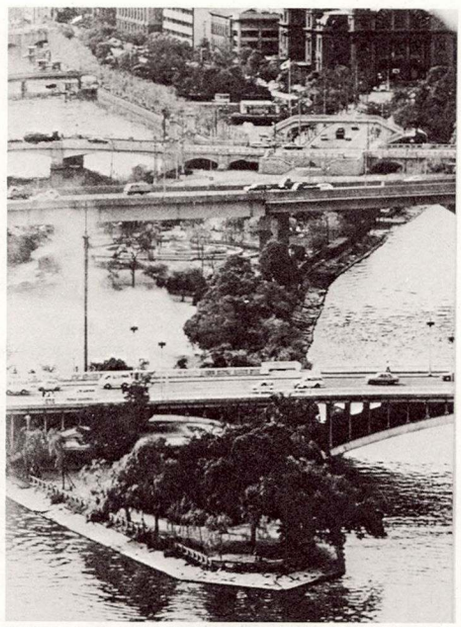
▲西ドイツ・フランクフルト　広々とした水面と岸辺に続く公園や緑地は都市の憩い場である。





▲西宮・夙川　川そのものは平凡な段面であるが、岸の土手を大きく設け、松や桜が良く育っている。以前は土手の上端に道路があったが、今は通行止めとして、歩行者の空間となっている。

▶大阪・中之島公園　大阪市の中で、川に沿った公園として唯一のものである。もっと多くの岸辺が、散策の場、憩いの場にされる事が望まれる。





日本建築総合試験所だより 41

GENERAL BUILDING RESEARCH CORPORATION
本試験所：〒565　吹田市藤白台5丁目125　　電話／大阪(06)872－0391代表
大淀分室：〒531　大阪市大淀区長柄西通2丁目35　電話／大阪　(06) 351－7217

新年のごあいさつ

理事長　坂　静雄

明けましておめでとうございます。

輝やかしい昭和51年の新春をむかえ、心から新春の御祝詞を申し上げます。

当試験所も創立12周年目をむかえ、お蔭さまで業務も順調に推移いたしておりますが、これもひとえに関係各位のご支援の賜と深く感謝致しております。

御承知のとおり、当試験所は現在建設、通産両省の共管の下、西日本唯一の指定試験機関となっておりまして、建築技術の向上発展に及ばずながら努力致しておりますが、更に今後とも試験施設の整備拡充と優秀な人材の育成に努め、皆様のご期待に添いたいと念願しておりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●「日本建築総合試験所だより」目次（「建築と社会」昭和49年～50年）

昭和49年　　号
17. 新年のごあいさつ／坂　静雄……1
18. プレストレストコンクリートくいの曲げ試験について／富田幸次郎……2
19. 騒音防止用防音パネルの音響性能その1 残響室法吸音率について／長橋英彦……3
20. 騒音防止用防音パネルの音響性能その2 音響透過損失について／長橋英彦……4
21. 各種建築材料の熱伝導率について／坂　啓智……5
22. ごあいさつ／理事長・坂　静雄　所長・奥島正一……6
23. 中高層をもつプレストレストコンクリート板の熱貫流率試験について／坂　啓智……7
24. 創立10周年記念によせて／坂　静雄……8
25. 鉄筋コンクリート造建物の構造体に関する火害調査について／田村　博……9
26. 防火材料について／藤川　慧……10
27. 工業化住宅性能認定における音に関する性能試験について／長橋英彦……11
28. 動風圧試験施設について／谷村嘉英……12
昭和50年　　号
29. 新年のごあいさつ／坂　静雄……1
30. 大淀分室における取扱業務その他について／中山　次雄 2
31. 耐火構造・防火構造および乙種防火戸の個別指定について／坂　啓智……3
32. 工業化住宅認定制度について／阪田　憲次……4
33. 音響・熱部門の現状／十倉　毅……5
34. 工業化住宅性能認定について（その2）構造耐力性能に関する試験について／上田哲夫……6
35. 防火材料について／藤川　慧……7
36. 新建材認証制度のあらまし／正法院陽三……8
37. 繊維インテリア材料による省エネルギー効果／長橋英彦 9
38. 防火構造について／坂　啓智……10
39. 優良住宅部品（better living）認定制度に関連して／谷村　嘉英……11
40. 鉄筋コンクリート造建物の耐久性調査について／星野善孝……12

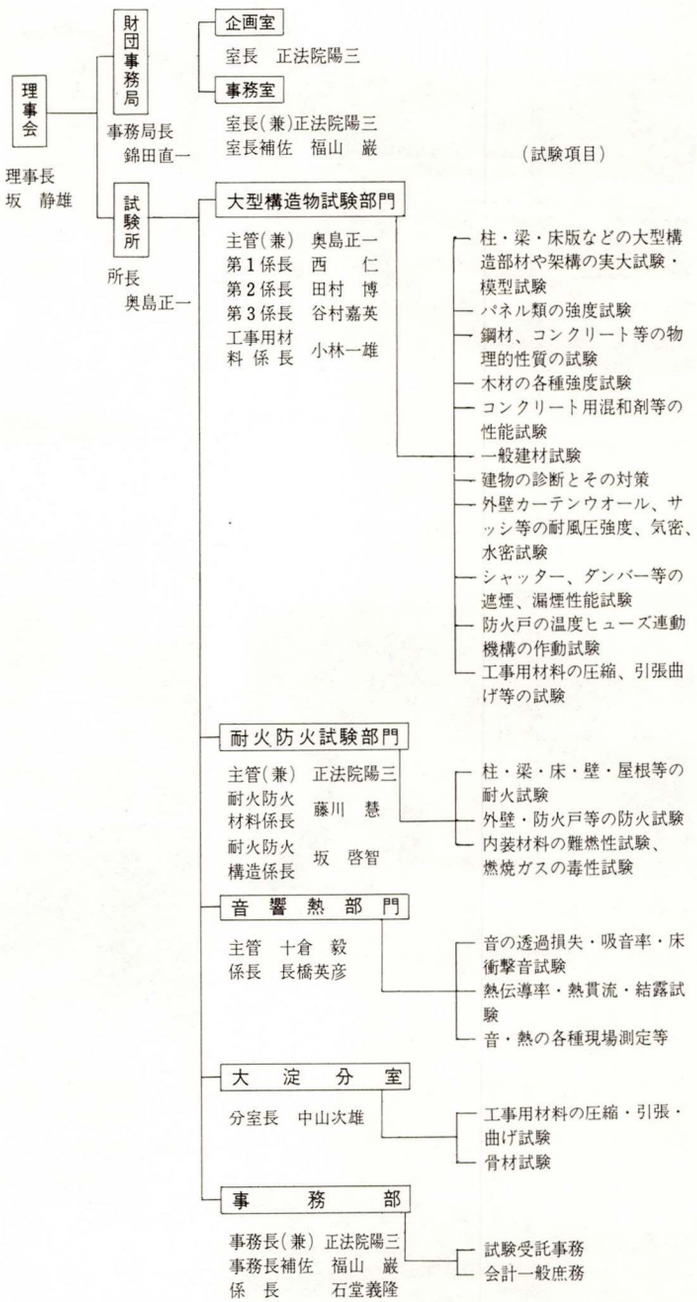
●当試験所の組織

事務室より

当試験所の組織は下記のとおりです。

各種試験のお問い合わせは、それぞれの担当者にお気がるにお申し出下さい。

今年も一層のご利用をお待ちしています。



本試験所：〒565　吹田市藤白台5丁目125　電話（06）872－0391代表
大淀分室：〒531　大阪市大淀区長柄西通2丁目35　電話（06）351－7217

日本建築協会

月間の動き

昭和50年11月分

評議員会

定時評議員会に代えて書面表決
11月20日付をもって下記事項について文書により、お諮りした。
昭和51年度評議員選出数決定の件

理事会

19日　4時～5時　　於会館集会室
出席者　塚本会長ほか8理事、和歌山正副支部長
議事　(1)建築6団体共催新年交礼会会費の件
(2)事務局職員本年下期賞与支給の件
(3)12月定例理事会休会の件
(4)入退会者承認の件
(5)事業報告

事業委員会

若い会員の集い小委員会
4日　6時～9時　　於会館集会室
出席者　西村副委員長ほか11名
議事　(1)第4回「海とレクリエーション」の実施報告
(2)第5回「ディスカバー大阪」の実施について
(3)第6回「建築家のための〝みどり〟学習会(4)」の企画について
(4)第7回「ビル防災のゼミナール」会告案について
(5)教育環境分科会について
(6)そのほか

広報小委員会
5日　6時～7時半　　於会館集会室
出席者　三品副委員長、打浪幹事ほか9名
議事　(1)PR分科会の事業企画について
(2)研修分科会の事業企画について
(3)親睦分科会の事業企画について
(4)そのほか

見学会小委員会
6日　6時～8時　　於会館集会室
出席者　水谷幹事ほか7名
議事　(1)9月、10月の見学会についての報告
(2)11月の見学会の申込状況について
(3)12月以降の見学会の企画について
(4)そのほか

委員会
13日　6時～8時　　於会館集会室
出席者　窪田委員長、大橋、小泉、花房、柳、三品各副委員長ほか2名
議事　(1)各小委員会の事業報告ならびに事業企画について
(2)そのほか

若い会員の集い小委員会教育環境分科会
20日　6時半～10時　　於会館3階会議室
出席者　関根主査ほか2名
議事　(1)収集資料の検討
(2)そのほか

編集委員会

委員会
5日　4時～6時　　於会館集会室
出席者　松村委員長ほか6名
議事　(1)11月号＝第22回青年技術者特集経過報告
(2)12月号＝集合住宅の設備特集報告
(3)1月号＝これからのデザインの方向特集報告
(4)2月号＝建築基礎構造の問題点特集報告
(5)3月号＝医療施設特集編集幹事会報告
(6)51年正月号よりの表紙デザインの件
(6)建築の眼の新執筆者の件
(7)4月号＝施工材料特集について
(8)5月号＝法令特集について
(9)収支関係と次年度の件
(10)第7回広告企画小委員会報告
(11)第6回作品作風小委員会報告

2月号広告企画検討会
5日　6時～8時　　於会館3階会議室
出席者　須賀幹事、星委員ほか2名
議事　2月号「建築基礎構造」特集に関連する広告について

第2回設備分科会
6日　正午～2時　　於会館集会室
出席者　佐々木幹事ほか3名
議事　「設備の頁」の2月以降の企画について

5月号法令特集幹事会
6日　3時～4時半　　於会館集会室
出席者　平林幹事ほか8名
議事　(1)編集委員会の報告
(2)編集方法について

1月号「これからのデザインの方向」特集編集打合会
10日　5時～8時半　　於会館集会室
出席者　紙野桂人、河辺聡、太田隆信各持別幹事、松村委員長、片倉幹事
議事　アンケートのまとめ

広告企画小委員会
12日　4時～6時半　　於会館集会室
出席者　松村委員長ほか4名
議事　(1)11月号結果、12月号経過報告
(2)51年1月号広告収入計画の検討
(3)2月号広告企画
(4)3月号広告企画

投稿欄小委員会
13日　4時～6時　　於会館集会室
出席者　鈴木副委員長ほか2名
議事　(1)11月号〝私のきらいな空間〟の報告
(2)1月号の読者の頁のテーマについて

1月号広告関係打合会
28日　4時半～5時　　於会館集会室
出席者　松村委員長、広告関係者
議事　新建築、宗教建築、謹賀新年欄の件

1月号「これからのデザインの方向」特集編集打合会
28日　5時～7時半　　於会館集会室
出席者　紙野桂人、川崎清、太田隆信各特別幹事、松村委員長、片倉幹事
議事　1月号「これからのデザインの方向」特集編集打合わせ

法規委員会

四回合同法規委員会
17日　3時～5時
於大阪科学技術センター
出席者　市川委員長ほか16名（建築協会)、学会5名、建築士会6名、家協会3名
議事　「建築関係法令の研究4」の報告と質疑応答

住宅委員会

委員会
18日　5時50分～7時　　於会館集会室
出席者　小西委員長ほか10名
議事　第12回住宅展について

住宅展懇親会
26日　5時半～9時　　於ニュージャパン
出席者　小西委員長ほか20名
第12回よろず相談住宅展の反省と51年度住宅展等について懇談した。

建築データシート委員会

Bグループ打合会
28日　11時～1時半　　於会館集会室
出席者　羽入幹事ほか4名
議事　(1)Bグループの幹事選出について
(2)No.53号(51年5月発行)の掲載候補リストについて
(3)そのほか

建材委員会

委員会
28日　5時半～9時　　於会館3階会議室
出席者　山田、元木、牧田正副委員長ほか3名
議事　今後の事業計画、運営について

第12回よろず相談住宅展

自7日　至12日
於そごう百貨店7階催場
相談件数　　601件
入場人員　　約12,000名

見学会

京都福徳ビル新築工事の見学会
8日　2時～4時半
参加者　　40名
設計・施工　　株式会社大林組

大徳寺の茶室見学の会(2)
15日　1時半～4時半
参加者　30名
講師　帝塚山学院大学教授
工学博士　岡田孝男氏

若い会員の集い

建築家のための〝みどり〟学習会（第4回）
―みどりを建築に……ディスカッションと樹木スケッチ―

22日　11時～16時半　於私市植物園
参加者　22名
ゲスト　坂倉建築研究所大阪事務所
取締役　太田隆信氏
大阪府立園芸高等学校
教諭　西　良祐氏
大阪府土木部公園課
計画係長　沢田宗久氏
大阪市公園局企画課
主査　宮崎研一氏

第21回工高生デザインコンクール表彰式

15日　2時～3時　於会館集会室
出席者　池田審査委員長および青木審査員、関西建築家懇談会一の会　清水和彌氏、岡田、斎藤正副委員長ほか2名



岡田教育委員長の挨拶、池田審査委員長の審査結果の報告に続いて入選者に対し賞状、賞牌を岡田委員長より、最優秀作品に対し関西建築家懇談会一の会清水代表よりそれぞれ授与した後、茶話会を開催した。なお終了後大阪駅前吉本ダイヤビル新築工事の見学を行った。

建　築　ク　ラ　ブ

朝　食　会
11日　8時半～9時半
於大阪グランドホテル
出席者　73名
当日は京都大学名誉教授岡崎文彬氏よりヨーロッパの造園についてのお話を伺った。

役　員　会
28日　2時～3時半　於会館3階会議室
出席者　海上委員長ほか3名
議事　(1)忘年懇親会に関する件
(2)明年1月講師変更の件

建築業務基準委員会

25日　2時～4時　於日本建築学会
出席者　山根委員ほか
議事　(1)建築業務基準委員会当面の問題点について
(2)そのほか

11月の入会者（敬称略）

〔団体会員1社〕
南海住宅株式会社
〔個人会員11名〕

大生　仁雄	桶田　利正	児玉　浩光
周　四全	高井　権一	長田　博志
羽田野盛政	橋本　俊一	町田　益朗
山口　兼一	山田　恒夫	

〔准会員1名（氏名省略）〕

設計者と施工者のための
「地下工法の考え方」講習会開催

日本建築学会近畿支部主催、日本建築協会・大阪府建築士会協賛の本講習会は、近年の都市機能の多様化、建築物の高層化による地下工法の高度化のなか、建築施工者・設計者が地下工法について、今一度学び考えてみる機会が必要であるという、第一線で活躍している建築家諸氏の要望により企画されたもので、現在参加者を募っている。なお、土木学会関西支部・土質工学会関西支部の協賛が予定されている。

- **と　き**　昭和51年2月3日(火)　13：00～17：00　2月4日(水)　10：00～17：00
- **ところ**　大阪科学技術センター・大ホール（大阪市西区靱1－118 うつぼ公園四ツ橋筋北詰）
- **定　員**　380名
- **会　費**　会員10,000円（テキスト代含む）　非会員12,000円（テキスト代含む）
- **申込締切**　昭和51年1月29日(木)（但し先着順）
- **申込方法**　氏名、年令、勤務先、連絡先、電話を記入した申込書、返信用封筒を同封し、現金書留にて会費を添えてお申し込み下さい。

●申込先
大阪市西区靱1丁目118 大阪科学技術センター内
日本建築学会近畿支部「地下工法講習会」係宛　電話　06（443）0538

●テーマ・講師

□　序　論　「地下工法の未来像を考える」／京都大学工学部教授　横　尾　義　貫　氏

□　「地下工法の設計よりみた問題点」／福井大学工学部教授　鳥　海　　勲　氏
構造物地下部も上部構造と一緒に耐震設計をしようという動きが活発になり、いろいろの試みがなされている。しかし、現段階では、上から下までの設計の一貫性を主体にしており、それが地盤との関連において示す実際現象との対応は余り考慮されていない。この辺の問題点を主体にして取り扱う。

□　「地下工法の施工の現状」／大林組工務部長　橋　本　良　介　氏
地下工法の施工には、経験によるノー・ハウの集積が必要で、それが設計にどのように関連するか考える。

□　「市街地における山止め工」／竹中工務店工事部技術課長　木　村　征　夫　氏
近年市街地における山止め工は種々の条件により、複雑化及び多様化されている。
ここでは、実施工面から計画段階及び施工段階において考慮しておくべき諸問題をとりあげる。

□　「地盤改良」／中堀ソイルコーナー代表　中　堀　和　英　氏
地盤改良の各種工法の概括説明。それらを原理別に分類し、発生の経過を述べる。特に重要な工法を詳述し、そのときの実例・土質調査のポイントを示す。

□　「　杭　」／日建設計構造部副部長　福　井　　寛　氏
昭和49年秋、建築基礎構造設計規準が改定され、新しい支持力公式の提案があり、杭の水平力・負の摩擦力等の問題についてもふれられている。これらの諸問題について、失敗例も含めて実務的に考察する。

■日本建築協会の展示窓紹介

本会事業の一端として、昭和44年11月より、下記通路に展示窓を設け、2ケ月を周期として主に公共性のある新建築を紹介してきましたが、今回は第30回として昨年4月に竣功した「近畿大学医学部附属病院」を採りあげることになりました。
自然の風致に恵まれた阪南の地、狭山に誕生したこの病院は、医療はもとより、教育・看護・研究などの各機能がゾーンごとに大別されており、可能な限り有機的に連繋された一大メディカルセンターとなっています。周囲の緑樹に調和した赤褐色タイルの外観はこの病院のもつアカディミックな雰囲気を表現するとともに、暖色系色彩によって統一された内部には、患者の気持を和らげるためのさまざまな配慮がなされています。
ショーケースには、病院棟外観、全景の写真および手術室・特別病室の一例などを紹介展示しています。ご通行のおりにはご覧下さい。

▶展示期間　12月中旬より2ケ月間
▶展示場所　京阪電鉄　地下通路（淀屋橋→北浜の中間南側のショーケース）



賀　正

1976

設計事務所有志

アトリエtrefoil（トリフォイル）
一級建築士事務所　菅　家　克　子
室内建築設計事務所　佐々木　恵　子

大阪市北区岩井町1丁目79の2玉置ビル4階　〒530（06）351－8920・6307

一級建築士事務所
株式会社 A.R.I（あり）建築事務所

代表取締役　亀　井　晃　治

事務所　大阪市南区谷町7丁目12番地の1　新谷町第3ビル2F　TEL（06)768－1771(代)
アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14－35　TEL 07437(3)6137
分　室　大阪市旭区新森1－7－33－910　TEL 大阪(06)953－1284

株式会社 赤崎建築事務所

代表取締役　赤　崎　尚　信

大阪市西区立売堀北通り1－90 第三富士ビル TEL（06)541－7625代表

株式会社 赤松菅野建築設計事務所

代表取締役　赤　松　　修

大阪市北区梅ヶ枝町123（瑞穂ビル）　電話06（364）5651
東　京・横　浜・大　宮・富士ノ宮

株式会社 東建築設計事務所

代表取締役　東　　秀　保

大阪市北区天神橋筋3－67　マチスビル　電話06（358）5598・3497

石川建築事務所

石川寛三
石川宏

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町111　電話 06 (779)9491(代)
〒170 東京都豊島区駒込1－11－9　電話 03 (946)5431(代)

株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉沢哲史

大阪市北区真砂町48－1　オオシマビル　電話 06(364)9071～2

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　竹原永一郎

〒556 大阪市浪速区幸町通2－6(清光ビル)　電話(562)4343～5

株式会社 伊藤建築設計事務所

取締役社長　伊藤鑛一

本社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日本経済新聞ビル)　電話<052>951-1110(代)
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町7(久保ビル)　電話<03> 294-6061(代)
大阪出張所　芦屋市山手町69　電話<0797>22-2163

株式会社 井上久雄建築設計事務所

代表取締役　井上久雄

〒550 大阪市西区京町堀1丁目38　千島ビル　電話大阪 06 (443) 7386(代)

株式会社 井上達明建築事務所

代表取締役　井上達明

〒530 大阪市北区鶴野町51番地(安田ビル)　電話 06 (372) 2821(代)

指宿真智雄

大阪市東区南本町4－47 イトウビル
〒541 TEL（06）252－1011～4

株式会社 建築デザイン 1級建築士事務所

東京都千代田区永田町2－14－3 赤坂東急ビル
〒100 TEL（03）580－1011～4

株式会社 緑地デザイン 技術士事務所

株式会社 設備デザイン 設備士事務所

京都市中京区柳馬場通御池下る 京都朝日ビル
〒604 TEL（075）221－1101～4

株式会社 入江三宅設計事務所

代表取締役 三宅 晋

東京都港区芝西久保桜川町28（第10森ビル） 電話 03（501）0286(代)
大阪市東区北浜4－48－3 電話 06（201）5305

株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役 浦辺鎮太郎
取締役 松村慶三

大阪市北区梅田8番地・新阪急ビル 電話06（341）1680
東京事務所 東京都千代田区平河町2－7－1 塩崎ビル
福岡事務所 福岡市中央区大名1－9－27 西部ビル

株式会社 栄和設計事務所

取締役社長 小泉善重
専務取締役 神山一郎

本社 大阪市福島区福島3丁目1番54号 TEL大阪（452）1651～4
京都連絡所 京都市南区唐橋西寺町40番地 TEL京都（691）4946

株式会社 久米建築事務所

取締役社長 永井賢城

本社 東京都港区西麻布1丁目13番11号 電話03（403）0251大代表
大阪事務所 大阪市北区堂島中1丁目23番地 堂島中町ビル 電話06（344）2096代表

コータケ建築設計事務所

所長 高武主計

大阪市西区江戸堀5丁目110番地の2 末弘ビル TEL 06(448)0178・2408

株式会社 **篠田川口建築事務所**
株式会社 **協同設備事務所**

代表取締役社長　川口喜代枝

名古屋市東区富士塚町3－2　TEL 962－7581(代)
TEL 971－2255(協同)

株式会社 **昭和設計**

計画・設計・監理

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役専務　林唯夫

本社事務所　大阪市西区西長堀北通1-8 四ツ橋ビル　TEL代表 532－3421
神戸事務所　神戸市葺合区八幡通4丁目2番17号　久徳ビル　TEL078－251－0651

建築土木設計監理・建設コンサルタント（建設省登録第1253号）

株式会社 **神京設計事務所**

Shinkyo Associated Architects & Engineers

代表取締役　大川慶一　　専務取締役　越智隆晴

〒650 神戸市生田区中山手通5丁目15－17浜地ビル5F県庁正面向い TEL(078)371－2929㈹

株式会社 **新日本設備計画**

代表取締役　長谷川幸雄

本　社　大阪市北区金屋町2－31（佐川ビル）　電話 353－4061㈹
九州事務所　福岡市博多区博多駅前3丁目30－1（博多第2平和ビル）　電話 431－7823㈹

株式会社 **創美設計**

代表取締役　中原英雄

大阪市北区末広町17.日生不動産扇町ビル9階　TEL大阪(06)312－3587代表

株式会社 **大建設計**

取締役会長　西嶋徳太郎
取締役社長　高橋慶夫
取締役副社長　千原大五郎

本　社　大阪市西区京町堀2丁目75番地　大阪(441)9351(代)
大阪本社　大阪市西区京町堀2丁目75番地　大阪(441)9351(代)
東京本社　東京都港区新橋1丁目10番7号(大和銀行新橋ビル)　東京(572)4595(代)
名古屋事務所　名古屋市中区栄4丁目6番15号名古屋日産生命館ビル　名古屋(261)8531(代)
九州事務所　北九州市小倉北区紺屋町9番1号　明治生命小倉ビル6階　小倉(521)4285(代)
分室　大分・室蘭

株式会社 田中小西 建築事務所

取締役社長　小　西　　岬

本社 大阪事務所　大阪市西区阿波座南通2－60　電話(532)4051大代表
東京事務所　東京都千代田区神田鍛冶町3ノ3(大木ビル内)　電話(256)9301代　表
名古屋事務所　名古屋市中区丸の内1の8番39号(三信ビル内)　電話(211)4035
大津事務所　大津市梅林1丁目4番15号(滋賀県教育会館内)　電話(22)5373～4番
広島事務所　広島市大手町2丁目7番1号(三葉ビル)　電話(46)0144

株式会社 地域計画・建築研究所

代表取締役所長　三　輪　泰　司
大阪事務所長　糸　乗　貞　喜
京都事務所長　霜　田　　稔
東京事務所長　河　野　通　祐

本社事務所　京都市下京区四条通高倉　大和銀行京都ビル8階　TEL (075)221-5132㈹
大阪事務所　大阪市淀川区西中島3丁目20番地9号　中島ビル6階　TEL (06) 302-6121㈹
東京事務所　東京都港区芝西久保明舟町14番地　博友ビル　TEL (03) 591-0682㈹

株式会社 翼建築設計事務所

代表取締役　畠　中　　繁
大阪事務所次長　川　岡　司　郎
京都事務所次長　山　田　寛　治

本社・大阪事務所　大阪市西区靱1－130(布亀ビル)　TEL　06－441－2288(代)
京都事務所　京都市中京区西ノ京南原町1番地(中常ビル)　TEL　075－811－4166(代)

株式会社 東海設計

代表取締役　小　坂　忠　勝

名古屋市中区栄3丁目7番1号(伊勢町ビル)　〒460　TEL052-261-2651(代表)

東西建築サービス株式会社

取締役社長　布　袋　國　雄

本　　社　大阪市東区横堀2－48　電話 202－3626
東京事務所　東京都中央区日本橋馬喰町2-1-1　電話 663－1765
(住友銀行 浅草橋ビル6階)

株式会社 東畑建築事務所

代表取締役社長　東　畑　謙　三

本社 大阪事務所　大阪市東区伏見町5丁目19　電話　大阪(06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2(永田町ビル)　電話　東京(03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区堀内町2(堀内ビル)　電話名古屋(052)571-8471
北九州支所　北九州市小倉北区魚町1－4－21　電話　小倉(093)541-6531
(北九州清和ビル)

株式会社　内藤建築事務所

代表取締役会長　内藤資忠
代表取締役社長　片山光生

本　社　〒606京都市左京区中大堰町189番地　電話075(781)6195代
事務所・出張所　青森・東京・松本・静岡・名古屋・京都・奈良・大阪
四国・福岡

中根庭園研究所

所　長　中根金作
建設コンサルタント（造園部門）　（建設省認定　第445号）

京都市左京区下鴨森本町15　電話 075（781）1107
自宅　京都市右京区谷口唐田の内町1の6　電話 075（463）5548
公園一般・造園設計・施工・監理

株式会社　日建設計

取締役社長　塚本猛次

大阪市東区横堀2丁目38番地　電話203－2361（大代表）

株式会社　根津建築事務所

代表取締役　根津耕一郎

本　社　大阪市北区梅ヶ枝町81（大阪弁護士ビル）　電話(06)364－8301(代表)

株式会社　彦谷建築設計事務所

代表取締役　彦谷邦一

大阪市東区横堀1－23(寺杣ビル)電話 231－2810・7634

株式会社　福永建築設計事務所

代表取締役　福永薫
代表取締役　福永健一

大阪市南区順慶町通4ノ61　電話（06）251－3102・5189

株式会社 宮後建築事務所

代表取締役　宮後　健

本　社　大阪市天王寺区上汐町6－35　電話 772－0165(代表)
分　室　大阪椎寺町・大阪本町

有限会社 村野，森建築事務所

村野藤吾，森　忠一

大阪市阿倍野区阿倍野筋2－3－8　電話(624)0926代表
研究室　大阪市南区心斎橋筋1－43　電話(253)0875代表
東京事務所　東京都中央区日本橋茅場町2－3　電話(669)5651

株式会社 安井建築設計事務所

取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区島町2丁目7番地　電話 06(943)1371(大代)
事務所　大阪・東京・名古屋・神戸・九州

株式会社 洋建築事務所

設楽貞三
橋口賢之
太田勝

大阪市北区松ヶ枝町88（大徳ビル）　電話 358－6372(代)

株式会社 吉田建築事務所

取締役社長　吉田信武

大阪市西区北堀江上通3－22（久竹ビル）　電話（538）2991 代表

渡辺建築事務所

渡辺道輝

〒541 大阪市東区今橋2丁目21番地(藤浪ビル)　電話 06（231）1696番(代)
〒102 東京都千代田区二番町11-10(麹町山王マンション)　電話 03(264)1444番(代)

賀　正

1976
建設業者有志



株式会社 **青木建設**

取締役社長　青木宏悦

専務取締役
大阪支店長　笠井晶二

本　社　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL06(458)5851
東京本社　東京都渋谷区渋谷2－17－3　TEL03(407)8511
大阪支店　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL06(458)5851



株式会社 **浅沼組**

取締役社長　浅沼茂夫

本　社
本　店・大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話 代表 (768) 5222
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・福岡・広島
営業所・旭川・秋田・盛岡・福島・水戸・北関東・千葉・立川・横浜・新潟
北陸・浜松・静岡・岐阜・長野・三重・滋賀・奈良・京都・大和郡山
和歌山・神戸・岡山・鳥取・山口・高松・徳島・松山・熊本・沖縄



株式会社 **新工務所**（アタラシ）

取締役社長　新昭一

本　店・大阪市北区曽根崎中1丁目43　電話 代表 大阪(313)1331番
支　店・東京都千代田区猿楽町2丁目1番14号　電話 代表 東京(291)3741番
営業所・名古屋市中区大須4丁目1番71号(時計ビル)　電話 名古屋 (262)1725番



株式会社 **あめりか屋**

取締役社長　前野慶太郎

本　社　〒530 大阪市北区常安町17番地　電話 代表 (444) 1501番



安藤建設株式会社大阪支店

常務取締役大阪支店長　野口清

大阪市福島区福島6丁目3番21号　電話 代表 (453) 2190
本　社・東京都中央区八重州4丁目7番地　電話 大代表 (272) 7411
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社 井上組

取締役社長　井上福蔵

本社　大阪市都島区網島町6番25号　大阪(351)0530　(352)4031～4
出張所　神戸市生田区加納町3丁目2番地　電話　神戸(33)1780

株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町7丁目2番地ノ1　電話06(779)3361
支店　東京都新宿区内藤町1番地　電話03(354)0581
営業所　京都・神戸・奈良・埼玉

株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 大代表 (292) 1111番
本　店・大阪市東区京橋3丁目37番地　電話 大代表 (943) 1131番
支　店・札幌・仙台・横浜・名古屋・神戸・岡山・広島・高松・福岡

株式会社 奥村組

社長　奥村俊夫

本　社　大阪市阿倍野区松崎町1の2の3　電話 大阪(06)621－1101(大代表)
東京本社　東京都港区元赤坂1の3の10　電話 東京(03)404－8111(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・浦和・名古屋・大阪・広島・高松・北九州・福岡

鹿島建設株式会社

取締役社長　渥美健夫
取締役大阪支店長　金田伝一郎

本　社　東京都港区元赤坂1－2－7　電話 03 (404)3311(大代)
大阪支店　大阪市南区鰻谷西之町6　電話 06 (245)2311(大代)

株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷吉太郎

本　社　尼崎市玄番南之町4番地　電話大阪 06(411)1451(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田

株式会社 神崎組大阪支店

取締役支店長　江藤忠實

大阪市北区曽根崎新地1丁目21　電話　大阪(341)7371(代表)
本　社・姫路市北条口86－3　電話　姫路(23)2021(代表)

株式会社 近畿建設

代表取締役　川崎敬三

本　社　大阪市西区江戸堀5丁目118 和光ビル　電話　大阪06(448)5601代
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡193の1　電話　07755(2)1361～2

熊谷組

代表取締役社長　牧田甚一
常務取締役大阪支店長　星野晴彦

本　社　東京都新宿区津久戸町17番1号　電話(260)2111番(大代表)
大阪支店　大阪市都島区片町2丁目10番5号　電話(352)1151番(大代表)
支　店　札幌・仙台・北関東・東京土木・東京建築・横浜・名古屋・広島・四国・福岡・北陸・那覇

甲南建設工業株式会社

代表取締役　原精一

大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号　電話(06)302－1551代表
東京都千代田区神田須田町1-18(共同ビル)　電話(03)253－4455代表
尼崎市南武庫荘2丁目7番23号　電話(06)427－9631代表
神戸市葺合区八幡通4丁目2番8号(松井ビル)　電話(078)221－6293代表
堺市宿屋町東3丁1番19号　電話(0722)29－0088

株式会社 鴻池組

取締役社長　鴻池藤一

本　店　大阪市東区北久宝寺町4-27　電話　ダイヤルイン(244)3500(受付台)
支　店　東京・名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台・高松・横浜・札幌・神戸・京都・金沢

佐藤工業株式会社

取締役社長　佐藤欣治・常務取締役大阪支店長　小町谷武司

本　社・東京都中央区日本橋本町4－8　電話　東京(662)2331(大代)
大阪支店・大阪市東区北浜1－25　電話　大阪(203)7221(代表)
支　店・東京・名古屋・富山・札幌・福岡・仙台・広島・横浜

島藤建設工業株式会社 大阪支店

常務取締役 西田康治

常務取締役支店長 亀田晃

本社 東京都港区赤坂8丁目5番34号 電話 東京(403) 1511

支店 大阪市北区茶屋町31番地の2 電話 大阪(372) 6001代表

清水建設株式会社

社長 野地紀一

本社 東京都中央区宝町2－1

支店 大阪・名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌

住友建設株式會社

常務取締役大阪支店長 小山武

大阪支店 大阪市東区北浜5丁目22番地(新住友ビル2号館)電話 06(220)8712

本店 東京都新宿区荒木町13番地 電話 03(353)代表5111番

株式会社 錢高組

取締役社長 錢高輝之

本店 大阪市西区阿波座上通3丁目2番地 電話 大阪(531) 6431番(大代表)

支店 札幌・仙台・東京・名古屋・広島・福岡

営業所 青森・秋田・盛岡・福島・新潟・前橋・宇都宮・水戸・浦和・千葉・多摩・横浜・甲府・静岡・津・金沢・京都・神戸・岡山・松江・山口・高松・松山北九州・大分・熊本・長崎・鹿児島・沖縄

大幸建設株式会社

取締役社長 大沢幸平

本社 大阪市西区西長堀北通一丁目五番地 電話 06(538)0881代

本社分室 大阪市東区今橋五丁目二番地 電話 06(203)0373代

東京支店 東京都渋谷区渋谷二丁目十番七号 電話 03(407)7426代

名古屋支店 名古屋市中村区若狭町一ノ二五 電話052(581)7376代

松江営業所 松江市和多見町一七五 電話0852(21)3747代

出張所 富山・岐阜・滋賀・兵庫・岡山・広島・愛媛・福岡・静岡

大末建設株式会社

取締役社長 山本末男

本社 大阪市南区大和町1番地 TEL06(213)0555(大代表)

支社 東京・大阪・九州

大成建設株式会社

取締役社長　菅澤英夫
常務取締役大阪支店長　原田眞三

本　社　東京都中央区銀座2丁目5番11号　TEL東京（567）1511大代表
大阪支店　大阪市東区本町4丁目27番地　TEL大阪（262）1131大代表
支　店　東京・名古屋・横浜・福岡・高松・新潟・仙台・札幌・広島

大日本土木株式会社大阪支店

取締役支店長　倉田通夫

530 大阪市北区堂島北町9　電話06（341）代表5931
東京本社　162 東京都新宿区市ヶ谷田町2丁目35　電話03（268）5511
本　店　500 岐阜市六条1483番地5　電話 0582（72）3141
支　店　東京・横浜・仙台・名古屋・九州
営業所　神戸・京都・奈良・大津・和歌山・上六・高松・岡山・広島

株式会社竹中工務店

取締役社長　竹中錬一

本　店　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪（252）1201番(大代表)
支　店　北海道・東北・東京・名古屋・広島・九州
営業所　千葉・横浜・沖縄・静岡・北陸・京都・神戸・岡山・四国・北九州

鉄建建設株式会社大阪支店

西日本建築担当常務取締役　児島章
取締役支店長　金子越郎

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地(天六阪急ビル）電話（358）0321(代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話東京（262）3411(代表)

東海興業株式會社大阪支店

大阪駐在専務取締役　小松英二
常務取締役支店長　田中巖夫

本　社　東京都千代田区丸の内3-4-2日石ビル　電話 東京（212）3261
大阪支店　大阪市北区豊宮町3−2 住生豊崎ビル　電話 大阪（373）1181
支　店　東京・名古屋・仙台・札幌・福岡

東洋基礎工業株式会社

取締役社長　杉村繁
常務取締役所長　石井蔀

本　社　東京都渋谷区広尾5丁目4-12(大成鋼機ビル）　電話 03（444）2141
大阪営業所　大阪市西区京町堀1丁目156(中谷ビル）　電話 06（441）6678

戸田建設株式会社 大阪支店

常務取締役支店長　加納秀雄

大阪市西区靱本町2丁目117番地(新信濃橋ビル) 電話06−531−6561(大代表)
本社 東京都中央区京橋1丁目3番地
支店 東京・関東・横浜・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

飛島建設株式會社大阪支店

取締役支店長　山本龍男

大阪市東区島町2丁目28番地　電話　大阪（942）2481(代表)
本社　東京都千代田区九段南2丁目3番28号 電話 東京（263）3151(大代表)

明日をささえる

西松建設

大阪建築支店　大阪市東区釣鐘町2丁目41番地

取締役支店長　板井正彦

本社　東京都港区芝西久保桜川町13番地

日東建設株式会社

取締役会長　長久保俊夫
取締役社長　石澤六郎
常務取締役（大阪駐在）　近藤義雄
取締役支店長　本澤平八郎

本社　102 東京都千代田区平河町1丁目4番地9　電話東京　03（265）（大代表）4281番
支店　530 大阪市北区末広町12番地(新末広ビル) 電話大阪　06（351）　代0623番

日本建設株式会社

社長　生田重政

本社　大阪市東区安土町4−5　TEL（261）7591−8 〒541
支店　東京・大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・四国・沖縄

野村建設工業株式会社

取締役社長　岩本義心

本社　大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話(202)代表4791
東京支店　東京都千代田区大手町2丁目1番1号　電話(241)代表4171

株式会社 間組大阪支店

専務取締役
大阪支店長　土上三之丞

大阪市東区瓦町5丁目20番1号　電話 (201)2751(大代表)
本　店・東京都港区北青山2丁目5番8号　(405) 1111番(大代表)
支　店・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・北陸・札幌・広島・高松・海外工事局

長谷川組株式会社

取締役社長　長谷川為一

本　社 大阪市天王寺区大道町4丁目130
電　話 (771) (代表) 4148・4149・4140
工作場 大阪市生野区巽四条町103の2
電　話 (791) 2744番

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本社
大阪本店・大阪市東区両替町一丁目十三　電話　06(942) 1461(代)
支　店・東京都新宿区三栄町二三ノ四　電話　03(357) 1611(代)
倉敷市鶴形一丁目十ノ三二　電話　0864(22) 3330(代)
高松市丸ノ内十一ノ十三　電話　0878(51) 7272(代)
京都市右京区西院寿町十三　電話　075(311) 4131(代)
出張所・名古屋・津・静岡・岡山・新居浜・徳島・福岡・熊本

不二建設株式会社

取締役社長　山口吾郎

本　社 大阪市西区阿波座上通4丁目8　〒550 電話 大阪 541−5534代表・9301代表
支　店 東京都新宿区西新宿4丁目5番2号　〒160 電話 東京 377− 5171代表
名古屋市中区千代田4丁目11番17号　〒460 電話名古屋 321− 8481代表
出張所 仙台・大垣・京都・姫路・岡山・広島・博多・大分

株式会社 富士工 西日本支社

取締役支社長　二村和男

大阪市北区兎我野町108(聚楽ビル)　TEL 06-313-1081(代) 〒530
本社・東日本支社・東京都港区高輪2−21−46　TEL 03-449-1111(代) 〒108
支　店・札幌・横浜・仙台・名古屋・福岡
営業所・青森・福島・千葉・浦和・宇都宮・多摩・沼津・松本・滋賀・京都・神戸・岡山・高松・熊本

未来をひらく フジタ工業

取締役大阪支店長　志賀修一

大阪市北区堂島中2丁目38番地　電話(345)代表7671
本社・東京都渋谷区千駄ヶ谷4−6−15
支店・東京・札幌・横浜・名古屋・大阪・広島
九州・仙台・リマ・カラカス・サンパウロ

不動建設株式会社

取締役社長　庄野　勝

大阪本社　大阪市東区平野町５丁目３０番地　電話 大阪(201)1121
東京本社　東京都台東区台東１丁目２番１号　電話 東京(831)9111

前田建設工業株式会社大阪支店

取締役支店長　林　甚四郎

支店　大阪市都島区東野田町２丁目４番２０号　電話大阪 (353)7891(代表)
本社　東京都千代田区富士見２丁目10番地の26号　電話東京 (265)5551(代表)

真柄建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　佐々木孝治

大阪支店　大阪市西区京町堀３丁目12番地　電話 大阪(06) 443－0641(代表)
東京本社　東京都千代田区麹町5丁目1番地　電話 東京(03) 263－1211(代表)
支店・営業所　東京・名古屋・金沢・富山・福井・京都・大津・神戸・新潟・広島・福岡

株式会社 松村組

取締役社長　松村雄二

本　社・大阪市北区空心町一丁目七〇番地　電話大代表 大阪(353)1131
支　店・東　京・名　古　屋・札　幌・仙　台・広　島・福　岡

三井建設 株式会社 大阪支店

取締役支店長　滝口　開

大阪支店　大阪市北区中之島３－７（三井ビル２号館）　TEL　06－443－1321
本　店　東京都千代田区岩本町３－10－１　TEL　03－863－3111

株式会社 村上工務店

取締役社長　村上晃一

本　社　大阪市大淀区豊崎東通り３丁目16番地の16　TEL (372)2924
営業所　東京・神戸

村本建設株式会社

代表取締役社長　村本豊嗣

本　店　奈良県北葛城郡広陵町安部５４７　電話　大和高田　(55) 1151(代表)
大阪本社　大阪市天王寺区上本町９丁目４９　電話　大　阪　(779)1571(代表)
東京支店　電話　東京　(265)5851㈹　名古屋支店　電話　名古屋　(241)1511㈹
福岡支店　電話　福岡　(741)0119　三重支店　電話　津　(26) 2949

望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本　社　大阪市北区堂島上１丁目18　電話大阪(344) ８６５１(代表)

株式会社　森組

取締役社長　森　幸治

本　社　大阪市東区横堀２丁目１４番地　電話　201－2761(代)
(支　店)　東京・名古屋・奈良・九州　(営業所)仙台・滋賀・京都・神戸・広島

株式会社　盛工務店

代表取締役　盛道雄

本　社　大阪市北区南森町４７(成興ビル)　電話　(364) 1581(代表)
営業所　神戸・赤川・西宮

矢島建設株式会社

取締役社長　矢島浩三
本　社　東京都中央区銀座７丁目11－３　電話　東京(572)代表1436
大阪支店　大阪市南区北炭屋町８番地　電話　大阪(244)大代1181
取締役副社長　仁平信也
取締役支店長　越川太郎
支店・営業所　仙台・福岡・蒲郡・和歌山

株式會社　米田工務店

取締役会長　米田治郎兵衛
代表取締役　米田良男

本　社　〒543　大阪市天王寺区逢阪上ノ町７　ＴＥＬ　大阪(06)771-7771代表

賀　正

1976

建材・設備工事業者有志

アイエム換気工業株式会社

代表取締役　松岡晃一郎

本　　社　大阪市浪速区芦原町1183　TEL（06）561－3901代
東京出張所　東京都豊島区西池袋5－13－13　TEL（03）982－0271
東都自動車ビル1411号
泉北出張所　堺市泉北若松台1－1－1310号　TEL（0722）92－3321

青盛建材株式会社

取締役社長　青盛繁男

広島市舟入幸町19－10　電話 0822－92－3200
福岡・岡山・松江・下関

防熱並に防水工事

株式会社 井上冷熱

代表取締役会長　井上浄夫

本店　大阪市西区江戸堀1－101　電話(06)441－8531㈹
支店　東京都中央区八丁堀4-2-2 共同ビル八階　電話(03) 551－6756
工場　岡山市中原375　電話(0862)52－5371

株式会社 梅彦

代表取締役　松永嘉一郎

本　　社　大阪市北区舟場町20番地　電話 06（371）4036代
営業所　大阪市北区道本町40番地　電話 06（312）6171代
茨木工場　茨木市字清水246番地　電話0726（43）6149代

大阪装飾株式会社

取締役社長　蜷川智造

本　社　大阪市西区京町堀2丁目64番地　電話代表 06（441）0931
営業所　東京都港区西新橋2－26－1　電話代表 03（437）2577

＊特許小俣式防火シャッター

防煙・防火は KOMATA で… OK!

小俣シャッター工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区此花町２－51(第５新興ビル)　電話大阪（353）７３７７代
本社工場　東京都北区田端町１１３８　電話東京（893）５２１１代

片岡工業株式会社

代表取締役社長　片岡好一

本　　社　大阪市浪速区東関谷町２丁目12の１　電話（06)643代表３５６７
京都営業所　京都市南区吉祥院石町西町１番地　電話(075)672代表３１０６
東大阪営業所　東大阪市善根寺町４丁目12の24　電話河内枚岡(0729)84－5301

株式会社 木下謹三商店

取締役社長　木下光雄

〒550　大阪市西区江戸堀５丁目５番地　電話 06（443）0115

Sonjitto Sutsu

建設省認定の防火材料

品目			
セメント系吹付材	ソリジットスタイン	基材同等	０００３号
特殊リシン吹付材	エバウォール	基材同等	０００３号
アクリル系吹付材	エバーサンド	基材同等	０００４号
ヒル石吹付材	エバテックス	基材同等	０００４号

合同特許建材工業株式会社

代表取締役　山下密男

本社営業所　大阪市東住吉区駒川町３－54　電話（702）代 7814～7
事業所　東京　03(990)3252　札幌　011(582)6976
名古屋　052(503)4344　福岡　092(521)2731

営業品目　アスファルト防水
三星シングル
ウレタン防水　工事並に材料販売
カラーベスト
コーキング

株式会社 佐々木商店

代表取締役　佐々木信之

〒532 大阪市淀川区東三国６丁目２５番２号　電話 06（392）７８７１(代)

FLINTKOTE

株式会社 シエル石油大阪発売所

フリントコート部門

本部長　栗山和三

本　社　大阪市北区堂島浜通り１－２５　電話 大阪(343) 0441大代表
本　部　大阪市淀川区西中島２丁目11番30号　電話 大阪(303) 7131　代表
事務所　東京・名古屋・広島・福岡

須賀工業株式会社

取締役社長　須賀　孝

本店　大阪市西区土佐堀通1丁目　電話（06）441－5171
支店　東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡・札幌・千葉・横浜・静岡・広島・高松

精研冷機株式会社

取締役社長　木内清三
専務取締役　和田正八郎

本社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地（オートセンタービル）電話768-5031㈹
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号（九段ビル）電話262-3241㈹

成幸工業株式会社

代表取締役　國藤光弘

本社　大阪市西区靱本町1－96　電話 06－531－8801番
支店　東京都千代田区麹町5－3　電話 03－263－1691番

高千穂電機株式会社

取締役社長　岩崎久雄

本社　大阪市都島区中野町4丁目8番10号　電話 06(358)1171大代表
支店　福岡市中央区天神1丁目10番24号　電話092(712)0126代表
営業所　東京・神戸・鹿児島

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－7221(代)

凸版印刷株式会社

TOPPAN

専務取締役支社長　田中貞司

関西支社　大阪市福島区海老江3の22の61　電話 06（458）2251
本社　東京都台東区台東1の5の1　電話 03（833）2111

特許 強力アスロン・アスタイト防水

東西アスファルト事業協同組合

田島ルーフィング株式会社

大　阪：大阪市西区京町堀１－７４　電話（06）443－0431
東　京：東高都千代田区岩本町３－11－13　電話（03）862－8531
名古屋・広　島・福　岡

東邦パーライト断熱軽量コンクリート、東邦パーライト断熱軽量モルタル、建設省防火認定材料（ネオパールスキン）

東邦パーライト株式会社

取締役社長　橘　泰治

本　社　大阪市東区森之宮西の町５９４　電話（941）９２４３～７（代）
営業所　東京、横浜、広島、福岡、高松、松山、金沢

室内装飾施工全般

東洋建装株式会社

代表取締役　二四岡久男

大阪市城東区古市３丁目13番14号　TEL 大阪（06）932－4321 代表

友田工業株式會社

取締役社長　友田俊夫

本　社　〒534 大阪市都島区都島中通３丁目3番6号　電話大阪06(921)0331～6
奈良営業所　〒630 奈良市鳥見町３丁目９－５　電話　0742（43）5620

東亜印ルーフィング

東亜工業株式会社

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話0729－23－3921
営業所　東京・名古屋
工　場　大阪・東京・和歌山

東亜アス防水工事ビニボンデル工法
合繊不織布・ＴＮコート使用のメンブレン防水

建設省計振発第55号認可

東亜アスファルト防水事業協同組合

〒581　大阪府八尾市南太子堂６丁目４番２７号　電話　0729－23－3921

TOTO特約店　株式会社　ナニワ

代表取締役　吉田広助

営業所　大阪市生野区巽西2丁目7番24号　電話 757－1101㈹
本　社　大阪市天王寺区烏ヶ辻町61　電話 771－9123㈹

株式会社　西原衛生工業所大阪店

取締役社長　伴　一郎

大阪市大淀区中津南通4丁目11番地　電話大阪（458）代3531番

日刊建設産業新聞・日刊建産速報

株式会社　日刊建設産業新聞社

取締役社長　花村茂彦　　常務取締役 大阪支社長　山邊敏郎

大阪支社　大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル)　電話06(231)8171(代)
本　社　東京都板橋区板橋町1丁目48－8　電話03(961)1691(代)
神戸支局　神戸市葺合区八幡通4丁目2－25　電話078(291)0541～2
京都支局　京都市上京区河原町丸太町東入俵屋町460　電話075(211)1911

大阪で唯一の

株式会社　日刊建設新聞社

代表取締役会長　中山豊雄
代表取締役　中山敏夫

大阪本社　大阪市東区高麗橋1丁目3（東洋ビル）　電話 202－6861(代表)

マルエス印▲ルーフィング▲シングル▲ビニエスタイルSP

日新工業株式会社 大阪支店

大阪支店長　紫富田忠雄

本社営業所　東京都足立区千住東2－21－28　☎東京(882) 2424(代)
大阪支店　大阪市東淀川区瑞光通り4－30－2　☎大阪(329) 7737～40
出張所　名古屋・広島・福岡・札幌・山形・工場／東京・埼玉・山形

日本アスファルト防水工業 協同組合
関西支部

大阪市東淀川区瑞光通り4－30－2　日新工業株式会社大阪支店内
電話（329）7737～40

株式会社 日刊建設通信新社関西支社

代表取締役会長　田中　一

常務取締役
関西支社長　林田不二夫

大阪市西区江戸堀1－144 エハラビル　電話（444）4451代表

本社・東京都港区西新橋2－11－4　電話（502）8581代表

日本アスファルト年限保証防水（日本アス協組合）

ニトルーフシート防水
NPシート2号防水
トーヨーシート防水．ウレタン　冷工法

N．S塗膜防水工法
旭ダウスタイロフォームGK防水

日新工材株式会社

代表取締役　井場正孝

大阪市西区新町北通1－17　電話（541）3785～6・2721

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作・据付・修理

日本エレベータ工業K.K.

代表取締役　長尾正大

本　社　大阪市大淀区天神橋筋6丁目　天六阪急ビル　電話 06（351）4927㈹
東京営業所　東京都北区田端町311　東京建築興業ビル　電話 03（822）0995㈹
工　場　大阪市東淀川区小松中通5丁目6番地　電話 06（328）0363㈹

温水ボイラ製造・販売

株式会社 ニホンボイラ

代表取締役　岡本　了

本社　大阪市西淀川区佃2丁目5－35　TEL 06（474）3441（代）
営業所　東京・名古屋・仙台・福岡・広島・松山・新潟

HI

原田今商事株式会社

アサノセメント
アサノコンクリート
日本YTONG

取締役社長　原田守蔵

本　社　電話06－541－7455（代）
水分営業所　電話06－541－3843～4

阪急電気工事株式会社

取締役社長　杉村正三郎

本　社　大阪市淀川区十三本町2丁目13番15号　電話　代表 06（302）0231
営業所　名古屋市南区観音町6－7　電話　代表 052（692）1141

Vandex

無機質浸透性塗布防水剤

ウレタン防水剤――バンデコート・カラーバンデコート
防塵用カラー床剤―バンデコート F500
ウレタンシーラント―S-340
エポキシ防蝕剤―バンデコートV-H

〈信越化学グループ〉

株式会社 バンデックス・ジャパン

代表取締役社長　村川一雄
関西営業所長　南澤甚八

本　　社　東京都中央区八丁堀2－27－10　03－552－6954(代表)
関西営業所　大阪市北区伊勢町19-2 高橋ビル北2号館　06－312－5765

SF

福西鋳物株式会社

取締役社長　福西佐嗣

本　　社　大阪市西区西道頓堀通6の8　〒550　TEL 06：541－3806(代) 2924(代)
東京営業所　東京都台東区上野1丁目17の2　〒110　TEL 03：831－2646(代)
中部営業所　三重県四日市市八田3丁目5の33　〒510　TEL 0593：64－2631 65－2559
工　　場　三重県四日市市八田3丁目5の33　〒510　TEL 0593：64－2631 65－2559

富士造園土木株式会社

代表取締役　金岡秀輔

宝塚市山本東2丁目6番17号　電話（宝塚）0797－88－0501～5

電気設備工事　計装工事

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65　電話(538)1171代表
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

普通赤煉瓦、焼過煉瓦製造、販売、施工
㊨日本工業規格表示許可工場

松本煉瓦株式会社大阪出張所

大阪出張所　大阪市西区南安治川通1丁目28番地　TEL 06－582－2923
本社工場　広島県竹原市吉名町517　TEL 08462－8－0211

ビニロイド　防水　責任施工
アコシート　防水　責任施工
防熱工事設計施工
プラスオール
コーキング　販売施工
ピサロン

三星産業株式会社

〒550 大阪市西区江戸堀1－126(大栄ビル)　Tel.〈443〉9721(代)
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)　Tel.〈292〉1961(代)
出張所：札幌〈721〉6031・6307　仙台〈21〉5366(代)
名古屋〈931〉4574・3393　福岡〈78〉3361(代)



三協アルミニウム工業株式会社代理店
日立化成工業株式會社代理店
新明和工業株式會社代理店

ムツミ産業株式会社

代表取締役　傳馬正明

〒550 大阪市西区靱本町2丁目47番地　電話（06）大代表 441－0378番
広島出張所・広島県竹原市吉名町5254番地　工場・大津工場



室谷商事株式会社

取締役社長　室谷山水

本　社　神戸市生田区北長狭通4丁目1（英和ビル）電話078－331－0881
支　店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル）電話 06－364－2031



営業品目　建築金物、装飾金物、其他諸金物別注設計製作
オリジナル金属製家具

株式会社 山本金属製作所

〒542 本社・本社工場　大阪市南区西賑町25　TEL（761）0127代
〒570 守口工場　守口市浜町2－1　TEL（993）7192



文化建材・金属建材・装備品

株式会社 山建建材

本　　社　大阪市西区四ツ橋筋・四ツ橋　電話 541－1861～7
東　　店　東大阪市金物町3番1号　電話 723－2277～8
山建ソビース　大阪市西区立花通2（展示屋敷）　電話 541－2152～3



山本窯業化工株式会社

取締役社長　山本泰通

本社・工場　大阪府摂津市東別府1-3-6　電話（06）340－9131～5
営業所　東京・名古屋・大阪・広島・福岡・仙台



銘木と建材

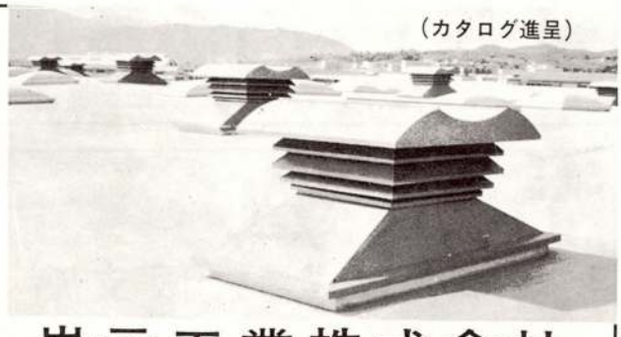
株式会社 吉川

本　　社　和歌山市西布経町1の1　電話 0734(23) 5257(代)
営　業　所　和歌山県海草郡下津町下222　電話 07349(2) 1423(代)
営　業　所　田辺市新庄町491　電話 0739(22) 0259・6350
配送センター　和歌山市中島字荒代新田618-3　電話 0734(25) 5595

信用ある技術と伝統の
アスファルト工事 専業大店
シート防水・ウレタン防水・シングル葺工事
株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5番地　TEL 06-364-0206(代表)

室谷
内装不燃材
室谷商事株式会社
本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5(電話221 2923)

OKUYAMA KAKOGYO WATER・PROOF OAM
新工法！
プレノテクト吹付工法
陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を
カッパー防水帯
コーパータイト
8対2の防水(冷工法) デラタイト
特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層
奥山化工業株式會社
本社　東京都中央区銀座8－4－11　電話 03(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り2-3-1　電話 06(921)2497・(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話 052(811)3660・3104
札幌出張所　札幌市中央区北三条東四丁目　電話 011(231)7　5　1　1

特許　岩元式ベンチレーター
(電動式並固定型各種)
岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　(特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する)
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式
(カタログ進呈)

岩元工業株式会社
大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電　話　(981) 0615～0618

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備 設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝松町1-25-7　電話（434）6171（大代）
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302）2271（代）
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町65番地　電話（352）1131（代）
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話（667）3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

電気・空調・給排水衛生設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

本　社　大阪市西区江戸堀1－60　電話（441）8231代表
支　店　東京・名古屋・大阪・福岡・仙台・金沢・広島
営業所　札幌・新潟・岡山・高松・熊本
出張所　盛岡・秋田・横浜・富山・豊田・福井・京都・神戸・鹿児島・那覇

空気調和・衛生設備

株式会社 三晃空調

東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区富田町16番地　電話 06－363－1371
支　店　名古屋市中村区下笹島町11－2　電話052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話0822－47－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
出張所　横浜・福井・京都・神戸・松江・沖縄

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一　電話 大阪372局7151（代）
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944（代）
神戸市生田区下山手通六ノ一　電話 神戸341局5892

――冷・暖房、衛生、機器配管、設計施工――

株式会社 清水工業所

本　社　大阪市大淀区南浜町3丁目14番地
〒531　電話 大阪（372）2851（代表）
東京支店　東京都中央区八丁堀4丁目11番7号（神谷ビル）
〒104　電話 東京（551）8041（代表）
出張所　鳥取・群馬・宇都宮・君津
島根・福岡・松山・高松

空気調和設備
給排水衛生設備 設計施工
各種プラント設備
各種送風機・風力輸送装置
空調機器類・公害防止装置 設計製作

株式会社 カンダン

本　社　大阪市住吉区万代東6丁目3　TEL（672）1281（大代）
営業所　東京・名古屋・京都・広島・福岡　工場　和泉・名古屋
テレックス：本社 No. 562－7688　和泉工場 No. 538－5898

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話（06）344－6031（代）
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2（三井第二別館）
電話（03）279－5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備
■その他管工事一切の設計・施工
（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区常安町11　電話 06－443－5041代
東京本社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビルデング）
電話 03－270－7411代
営業所　札幌・仙台・金沢・高松・岡山
出張所　福井・倉敷・広島・苫小牧

空気調和　衛生設備／設計施工

須賀工業

大阪市西区土佐堀通1-14　TEL 06-441-5171
支　店　東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所　札幌・千葉・横浜・静岡・高松・広島
出張所　金沢

冷暖房
給排水・衛生水道
電気
厨房
環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　各務節
取締役支店長　藤田初藏
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪（202）代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、北陸
出張所　横浜、高松、静岡、豊田、岡山、金沢

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地（オートセンタービル2階）
郵便番号542　電話 大阪（06）768－5031番
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号（九段ビル8階）
郵便番号102　電話 東京（03）262－3241～4番

●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機 ●公害防止関連機器／設計・製作・施工

大気社

（旧社名　建材社）

本社・東京支店＝東京都新宿区西新宿2-6(新宿住友ビル12・13F) ㊫(344)1851大代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22 ㊫(203)3721代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13 ㊫(211)1535代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸・高松
広島・松山・福岡・沖縄・バンコック

Carrier
冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪（384）1201～7

一般空調設備・恒温恒湿設備・冷凍冷蔵設備
冷却乾燥設備・環境改善設備その他上記に附
帯する衛生、電気等一切の工事の設計・施工

ダイキンプラント株式会社

取締役社長 北川一郎

本社　大阪市大淀区中津本通1丁目2番地 ホーコクビル
〒531　電話　大阪(06)372－5171(代表)
支店　東京都中央区日本橋本町3の1 共同ビル
〒103　電話　東京(03)242－5521(代表)
営業所　福岡・名古屋・広島・札幌・仙台

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪(458)3531番
営業所　京都・広島・天理・福岡

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

髙砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田町55番地(北阪急ビル9階)
電話　大阪（372）2511（代表）
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備・設計・施工

大阪市西区江戸堀通2の2　TEL(441)㈹1994・(443)㈹0331

温・湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話（364）6661（代）
本社　東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話（211）8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話（21）4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話（971）3621

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生 設備　設計施工

不二熱學工業株式會社

本店　大阪市南区順慶町2－50　電話 261－2436㈹
東京支店　東京都大田区西馬込1－2－1　電話 773－1231㈹
営業所　銀座・浜松・京都・神戸・福岡

MODAIR

空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(433) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

親切真心で御用させて頂きます
大型パッケージ、ヒーター等々
（市価の半値以下の出物も少量あります）

宮地空調専門店

代表御用役　宮地一彦
大阪市西成区山王3－16－7
代表 649－0008　夜間 641－1242

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施行

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話（352）3501～3
四日市支店　四日市市浜田西末広町　電話㊲7431～3
滋賀営業所　大津市打出浜13－15　電話 0775 ㉒9738
津営業所　津市栄町2－111　電話 0592 ㉖3610

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話 06（443)8161(大代表)
名古屋支社　名古屋市中区栄2丁目16－13 京極ビル　電話 055（202）0077(代表)
出張所　東京都港区北青山3丁目6－18 共同ビルディング青山3階　電話 03（409）8905
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話 078（341）1778・4386

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗　原　信　英

大阪市北区高垣町16番地　（東阪急ビル）

電話　大阪（313）1101　（大代）

支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山　本　博　三

本社　大阪市北区中之島3－3　朝日ビル
TEL　大阪06（385）1361（代）

本社営業所　吹田市垂水町3－34－6
TEL　大阪06（385）1361（代）

京都営業所　京都市右京区西京極葛野町21
TEL　京都075（311）1185（代）

福岡出張所　福岡市中央区薬院1－14－8
TEL　福岡092（771）6168

電気工事設計施工

株式会社　三興社

代表取締役　林　敏夫

本社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話（361）3671（代）

支店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話（671）1478（代）

出張所　川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

取締役支社長　姉　川　正　男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪（202）0325～9番
本社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
営業所・出張所　全国主要都市20ヶ所

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉　納　伝　三

本社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル3階）
電話（364）1471（代）

支店　東京都港区新橋2－16（ニュー新橋ビル7階）
電話（504）0231

支店　名古屋市北区城見通2丁目20番地
電話（991）5131（代）

営業所　神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中　本　正　明

本社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話　大阪（931）代表　7341～5
（0388）2193

資材倉庫　大阪市城東区野江東之町3丁目11　電話大阪（931）7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通360　電話御所（2）0122
枚方営業所　枚方市山之上西町1の1　電話枚方（43）8659・（44）9232

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今　村　　勝
取締役社長　平　木　　寛

本社　大阪市北区梅ヶ枝町56番地
電話　大阪　大代表（312）8881

支店　東京・名古屋・四日市・神戸

営業所　松山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池　内　文　夫

本社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話　大阪（472）代表1101－7

支店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号（福島ビル）
電話話　東京（491）1746（492）0182・0350

営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話　小倉（56）5665・5818

出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役社長　小　林　四　郎

本社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL（06）452－1151（代）

電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL（06）462－1301（代）

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田　中　実

本社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪（538）1171代表

営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気設備設計施工

高千穂電機株式会社

取締役社長　岩　崎　久　雄

本社　大阪市都島区中野町4丁目8－10
電話　大阪（06）358－1171大代表

営業所　東京・神戸・九州

電気工事・計装工事・設計施工

株式会社　ヤマト電気商会

取締役社長　山　本　永　造

本社　大阪市北区西堀川町15番地
電話　大阪（364）代3056

支店　東京・神戸・広島

営業所　名古屋・岡山・水島

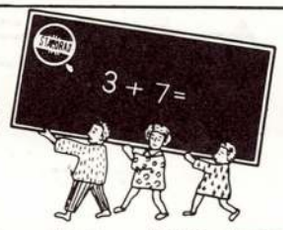
出張所　札幌・滋賀・高砂・松山・三原・沖縄

青写真とマイクロフィルム
株式会社
ナイガイ
製図・トレース・複写写真
本　社　大阪市北区堂島北町16　TEL (345)9055(代表)
御堂営業所　大阪市東区本町4－27御堂ビル　TEL (252)3906
横堀営業所　大阪市東区横堀2－36　TEL (202)5260

仏
社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
床・壁内外装用瓦……大仏敷・貼瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
新発売…古代土器調高温〆タイル……大仏古代タイル
株式会社 大仏
本　社　京都市東山区今熊野大仏池田町9の9　075(541)3344(代)
東京営業所　東京都千代田区内神田1丁目6番2号　03(291)0491～2
南特許ビル3F
工　場　京都清水・山城・瀬戸

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量
大阪市浪速区元町一丁目七四二電話(641)〇六五
ナニワ瓦株式会社
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

奉仕感謝の店
タイル工事施工
株式会社 川岸窯業商店
本　社　大阪市西区靱本町2丁目98番地(靱本町バス停前)
電話　大阪 06(532)代0461　〒550
姫路営業所　姫路市北条口126番地(住友生命保険ビル7F)
電話　姫路 0792(82) 0999　〒670



Standard Board&Slate
フタバ黒板
〒547　大阪市平野区加美北3－4－5　TEL 大阪06(792)5858㈹

営業品目　建設省認定の防火材料
セメント系吹付材　ソリジットスタイン　基材同等　0003号
特殊リシン吹付材　エバウォール　基材同等　0003号
アクリル系吹付材　エバーサンド　基材同等　0004号
ヒル石吹付材　エバテックス　基材同等　0004号
合同特許建材工業株式会社
本　社　大阪市東住吉区駒川町3－54　電話 (06)702－7814～7
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。

株式会社 吉田芳雄商店
本　店　大阪市北区旅篭町18　電話(361)3450・(364)2345
源八橋店　大阪市北区天満橋筋4－78　電話(358)1790・1838

内外装ホーロー建材及スパンドレル(ヨドウォル・ヨドスパン)
屋根折版（ヨドルーフ）販売及責任施工
サクラ建産株式会社
大阪市都島区都島中通2丁目17番4号
電話　大阪(922) 代表4421～3

株式会社矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋2丁目9　野村ビル5階　電話 大阪(202)4905

FUTABAYA DECORATORS,LTD


（創業大正7年）
建築物船舶等造作工事、家具建具・室内装備工事
内外装飾織物・窓掛敷物壁紙類一式/設計施工
二葉屋装備工業株式会社
取締役社長　若林繁吉
大阪府摂津市東別府3丁目7番8号
電話　大阪 (06)349－9193代表
大阪府知事建築業者許可(般－48)第12064号

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許 鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町33番地 電話大阪(06市外局番)371代表4151～6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番)65－5135～6
神戸営業所 神戸市長田区大橋8-4-7 電話神戸(078市外局番)611－7971
631－2021

腐らない・燃えない・軽い

ケミカラーオーシマメタル

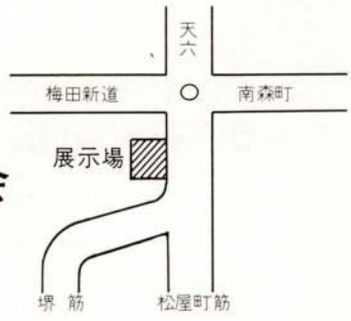
屋根材・壁 材・谷樋棟包水切りに
スタンダードメタルの 大島応用化学 東大阪市新庄 (745)5121～5

年中見ていただける 皆様の見本室

タイル
常設展示場

AM. 10.00～P.M. 5.00
日曜・祝日は休館

全国タイル展示協会
大阪市北区南森町46番地
八千代ビル南館2F
TEL (06)364－2059



防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本社：大阪市東区両替町1－12 日生ビル ☎ (943)6571代表
東京・横浜・盛岡・郡山・水戸・浜松・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・堺・神戸・広島・福岡他全国主要都市

日進式 総合天井システム <Jライン工法> <ALTS工法>

当社独特の照明燈ユニット及アルミ製Tバーを建物のモジュールに配列し、天井仕上材と一体化したシステム天井で空調、照明、防災器機、スピーカー等の設備ゾーンとの組合せ、更に間仕切、ブランドBOXなどの取付をも可能にした多様機能を有するシステム天井です。(PAT.6件)

奥村重兵衛株式会社
旧社名 株式会社 奥村重兵衛商店

本社	大阪市北区伊勢町22番地	〒530 電話(06) 312−4131(代)
東京	東京都中央区銀座1丁目27番9号	〒104 電話(03) 563−3351(代)
福岡	福岡市博多区住吉2丁目16番27号	〒812 電話(092)291−0459(代)
名古屋	名古屋市西区倹町2丁目1番6号	〒733 電話(052)522−5436(代)
広島	広島市舟入本町19番13号	〒733 電話(0822)91−1533(代)
仙台	仙台市燕沢字西山5の18	〒983 電話(0222)52−2631(代)

豊かな生活環境をお届けします

ina

伊奈タイル・伊奈衛生陶器・伊奈ポリバス

ina 伊奈製陶株式会社

本社 愛知県常滑市　　大阪支店 大阪市西区新町南通1-62 TEL 532−6081(代)

Taniyama

送風機



営業品目

LAF リミットロードエヤーホイルファン	CAF 直流式静音送風機
LEF リミットロードアードファン	VAF 可変式軸流送風機
SAF ストリームラインファン	TAF 軸流送風機
HAF ターボファン	JOY 可変節軸流送風機
PAF プレートファン	マルチウイング軸流送風機
MAF 多翼送風機	塩ビ製耐酸送風機

株式会社 谷山鐵工所

本社・工場 〒536 大阪市城東区野江東之町2丁目1番地
電話 大阪(06)931−7802(代)
東京出張所 〒113 東京都文京区湯島4丁目6番17号
電話 東京(03)814−6651(代)
九州出張所 〒812 福岡市博多区下呉服町5番21号
電話 福岡(092)281−7396番

快適なオフィスの
環境づくりには
やっぱりすぐれた
製品が必要です。



スチールパーティション
UNI-PART
不燃(個)第1097号
日米のユニパートは不燃材料の認定をうけています。

NBP
日米パーティション株式会社
大阪営業所 550 大阪市西区本田二番町38 辰己ビル
TEL (06) 581−1131
総販売店 三井物産㈱ 三菱商事㈱ 住友商事㈱

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

燃えない
われない
腐らない

長尺物・色彩自由・責任施工

品種　オリエンタルメタル(O.P.M)
オリエンタルスーパーメタル(S.P.M)
オリエンタルカラードメタル(C.P.M)
カラースーパーオリエンタルメタル(C.S.P.M)

波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波

用途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
通風器・排気ダクト・モニター

カタログ御請求下さい。

オリエンタルメタル製造株式会社

本社　兵庫県尼崎市昭和南通り3－26松本ビル　電話　大阪(412) 5131代表
東京支社及工場　埼玉県蕨市塚越5丁目6番32号　電話　蕨　(42) 3115～8
大阪支社及工場　兵庫県尼崎市長洲稲川新田44　電話　大阪(488) 1081代表
九州支店及工場　福岡県遠賀郡水巻町頃末　電話　八幡(69) 2831～4
名古屋支店及工場　名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル　電話　名古屋(581)2781～4

全国で好評の……新興の内外装壁材を!

インテリヤ…カラーストーン…研出し仕上!
(旭化成ミュールコート・セット品)

シンコーストーン

いつも美しい　ワンタッチ…洗出し仕上…

ミュールストーン

(旭化成ミュールコート・セット品)

純日本壁の最高峰

ヤマト緊楽

吹付…に
塗付…に
完全耐火
主材 石綿

●全国有名建材店へ御問合せ下さい　●カタログお送りします

(株)新興建材工業所
大阪市西区南堀江通6丁目39番地　TEL大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

発売元

新興壁材工業(株)
大阪市住吉区粉浜本町4丁目26番地　TEL 大阪(672) 1661～3

(株)九州新興建材工業所
福岡市博多区上牟田八田町26の1　TEL 福岡 (41) 5225～6

福祉の国からやってきた。



長尺吸音床材 ▶ アコスチフロア ▶ ターケットジムフロア

スウェーデン。社会保証が高度にすすんでいる国。
病院、学校、老人ホーム、図書館、体育施設などの
あらゆる公共施設が、もっとも充実している国。
この人間中心の土壌から生みだされた、画期的な長尺床材、
ことに吸音性、断熱性にすぐれたヒューマンな床材、
これがアコスチフロア、ターケットジムフロアです。
アコスチフロア、ターケットジムフロアは、その機能面、施工面に
おける独特のメリットにより、
北欧はじめ欧米各国の著名な設計者によって採用され、
重要建築物に数多く使われています。
そしていまや"世界の床材""新しい時代の床材"として
高い評価を受けています。
そのアコスチフロア、ターケットジムフロアが
日本にもやってきたのです。

●規格・組成

品名	規格	組成	色数
アコスチ（一般用）	厚 幅 長 3.5㎜×184㎝×25m	表層：塩化ビニール樹脂80% 可塑剤、顔料、安定剤20%	7色
ジム（体育館専用）	5.5㎜×184㎝×21m	発泡層：塩化ビニール樹脂 可塑剤	1色（グリーン）

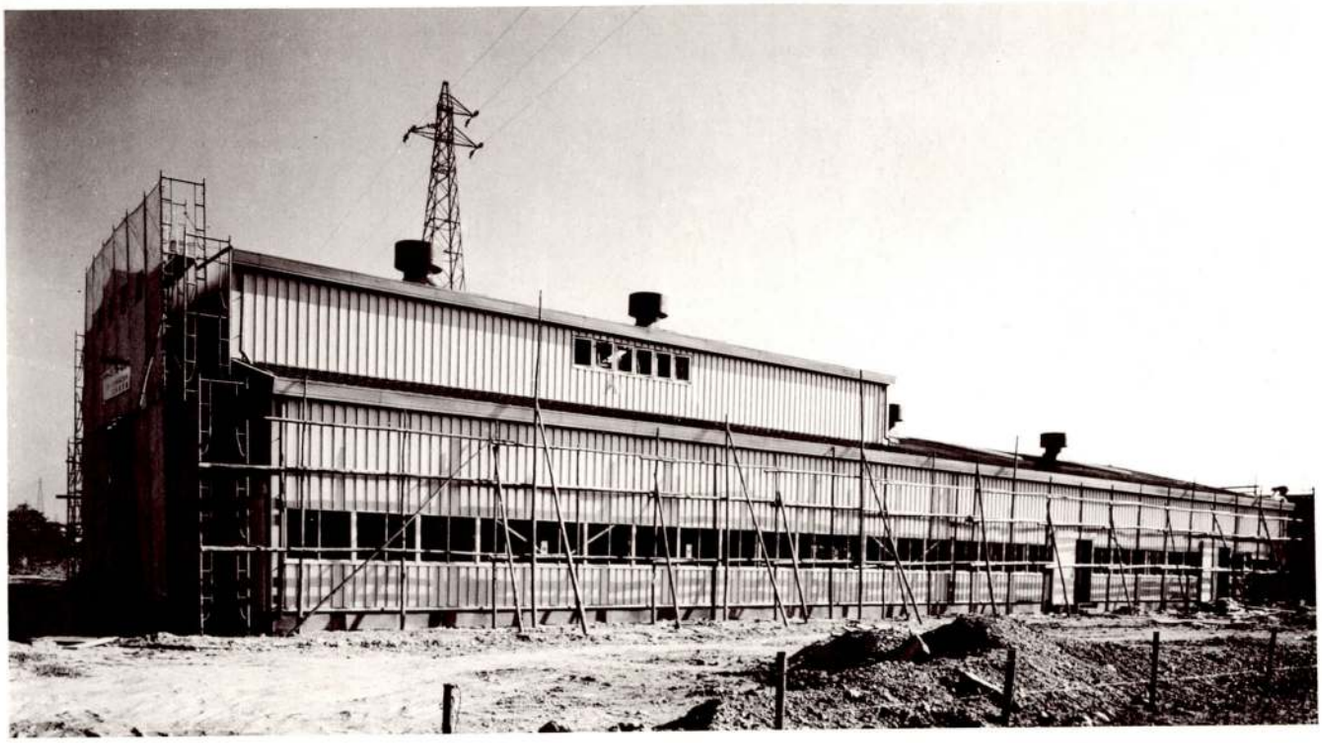
●使用接着剤――標準工法――セメントL
耐水工法――セメントNEP
●目地部分は合わせ切りで施工、
特に耐水性を要求される箇所では目地溶接施工。
価格……アコスチフロアー4,800円/㎡（材工共）
ターケットジムフロアー9,200円/㎡（材工共）
耐水工法は200円/㎡高。溶接は300円/㎡高。
（価格はいずれも300㎡以上の場合）

Tarkett
MADE IN SWEDEN

三星Pタイル
田島応用
TAJIMA OYO KAKO CO., LTD.
大阪／大阪市西区京町堀1－74電話大阪(441)代表5951㊟550
東京／東京都千代田区岩本町3－11電話東京(866)代表6101㊟101

建築と社会　ARCHITECTURE & SOCIETY　第57輯第1号
昭和51年1月25日発行（毎月1回25日発行）　昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人　日本建築協会　〒541 大阪市東区北浜5-15　電話大阪(220)5111
定価六百円

プレハブ建築システム　スミフレームパック



早く
安く、のご要望どおり。

住友の設計・施工建築システム

スミコラム&Hシステム
ビル建築の新工法



建築材料の高騰、人手不足による工期の遅延など様々な問題をかかえる建築界。こうした厳しい条件の中で、住友はこれまでに節材節労をお約束する構造部材スミコラム（高層用主柱）。H形鋼(主柱・梁材)。リップ付軽量H形鋼(中低層用主柱)。軽量H形鋼（梁・つなぎ材）等を遂次生産。お届けしてまいりました。そしてこのたび、建築構造物のパッケージ販売として〈スミフレームパック〉などを開発。これらは住友構造材をたくみに組合せたプレハブ建築システムで、現場環境、作業条件を最大限に生かせる画期的なものです。また住友では工法のシステム化の面から高層ビルの建築設計システム〈スミコラム＆H〉を開発。これはスミコラムとH形鋼を使用、設計から施工まで一貫してコンピューター管理の下で進められる最も新しい工法システムです。

住友金属
住友金属工業株式会社
大阪＝大阪市東区北浜5－15（新住友ビル）　電（220）5111
東京＝東京都千代田区丸の内1－3－2（新住友ビル）　電（282）6111
営業所＝那覇・福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・宇都宮・仙台・札幌

お問合せ先　東京鉄構課
大阪鉄構課

（表紙写真・吉井孝治）